

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (6)

美濃国本巢郡長屋村 長屋家文書目録

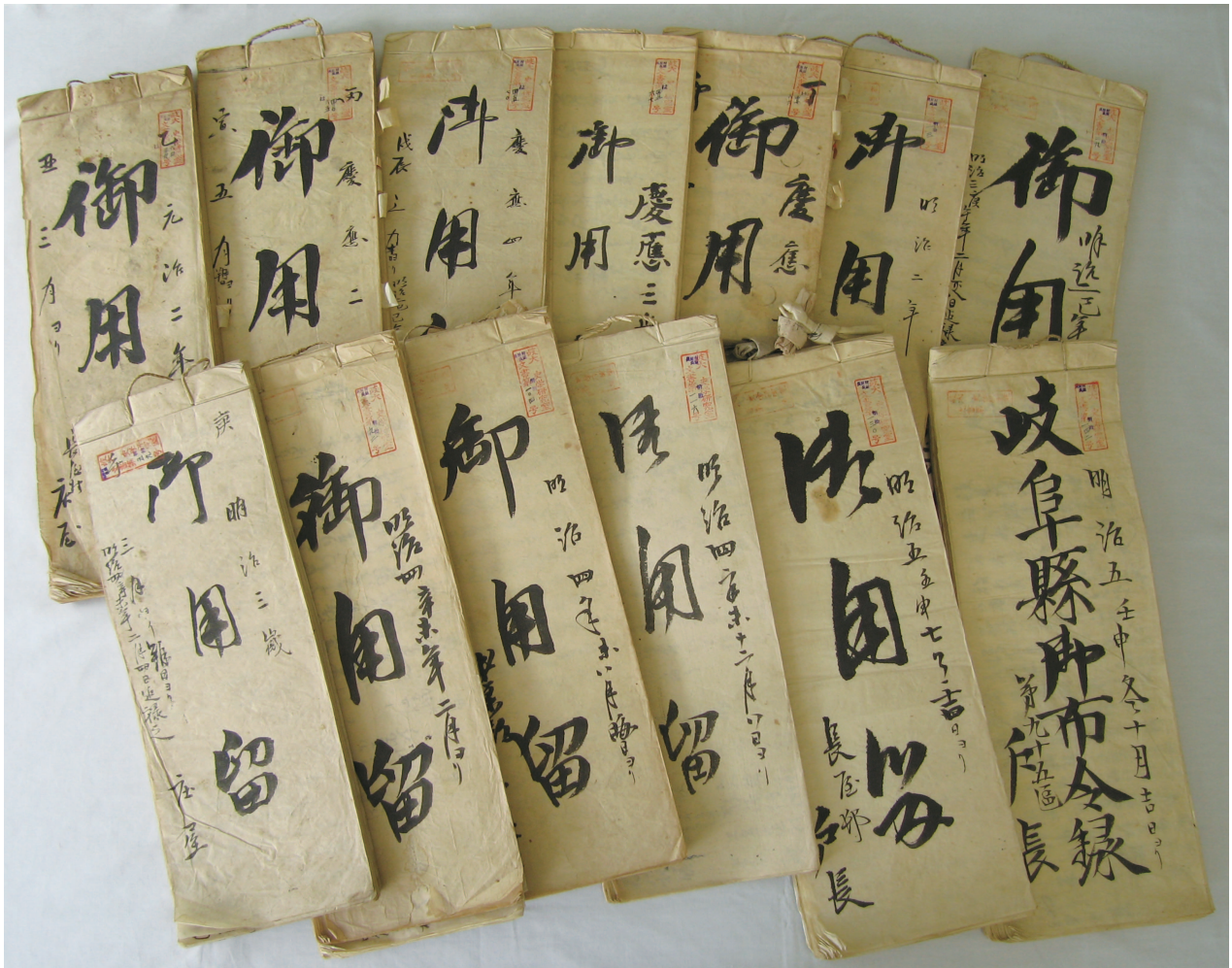
岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (6)

美濃国本巢郡長屋村 長屋家文書目録



天保9年(1838)閏4月 長屋村絵図

天保8年(1837)、11代将軍徳川家斉から12代将軍家慶へと将軍の代替わりがあり、その翌年に諸国巡見使が派遣された。その時に作られた村絵図の控である(は90)。村の北部に牛頭天王宮があり、畑・居村は黄色で明示されている。糸貫川沿いには堤があり、糸貫川からの用水路をはじめとする、村内を流れる水路も描かれている。



長屋家文書に残された御用留

長屋八郎左衛門は、幕末には長屋村の庄屋を、維新後は戸籍区本巢郡第36区の副戸長、そして岐阜県管轄第95区美濃国本巢郡長屋村の戸長を勤めた。そのため、元治2年(1865)3月～明治6年(1873)2月にかけての御用留がまとめて残されている（は64～は67・は70・明治13・明治29・明治59・明治92・明治104・明治116・明治130・明治142）。戸籍区とは、明治4年(1871)に、新たに戸籍を編成するために、4～5の町、あるいは7～8か村を組み合わせ設定されたもの（解題 p.7参照）。

目録の刊行によせて

前岐阜大学地域科学部准教授

(日本大学法学部准教授・本目録監修) 朴 澤 直 秀

岐阜大学地域科学部地域資料・情報センターでは、地域に関する資料・情報を収集するとともに、そのデータを広く発信して、学内外の利用に供すべく、鋭意事業を進めている。

その一環として、学内に所在する貴重な地域資料の情報整理・発信を行っている。岐阜大学教育学部郷土博物館には、1万6千点程度の規模に及ぶ美濃国大野郡高屋村（現本巣市）の古田家文書を筆頭に、おおよそ4万5千点に及ぶ近世・近代文書がある。これらの多くは長良川水系流域を中心とした地域の村々の庄屋家の文書であり、当該地域の近世・近代を知る上でたいへん貴重かつ内容豊富な史料である。

これらの史料の大部分については粗々の整理がなされ、岐阜大学教養部教授であった日置弥三郎氏の監修のもと、『岐阜大学教育学部庶民史料目録』(1)～(3)(1967年～1968年)として目録が刊行されている。しかしながら、人員・経費の不足のもとで行われた事情もあり、それらの目録は現在からみると不備が多い。また、史料自体の保存状況も良好ではなく、早急の手当が必要である。よって、これらの貴重な史料をより広汎な利用に供し、かつ喫緊の課題である劣化防止の措置を講ずべく、2005年度より、再整理と新規の目録作成とを行ってきた。

これまで、『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録』(1)～(5)、および同別冊(1)『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵村絵図』を刊行した。本年度も、幸いにして平成25(2013)年度岐阜大学活性化経費(地域連携：一般)として、「岐阜大学所蔵地域史料の再整理と情報発信」が採択された。本目録の刊行は、同事業の一環として行われるものである。同事業は、地域科学部と教育学部との共同事業(申請者：富樫幸一、共同事業者：早川万年〈教育学部教授〉、中尾喜代美〈地域資料・情報センター教務補佐員〉)であり、遂行にあたっては教育学部より多大なご協力を賜った。本目録の作成実務は、既刊の目録・図録等に引き続き中尾喜代美が担当した。また地域資料・情報センター事務補佐員の山田美由紀が、史料整理・目録作成の補佐に当たった。

本目録では長屋村長屋家文書を取り上げる。美濃国本巣郡長屋村(現本巣市)は、糸貫川右岸の扇状地に立地する幕府領の村で、のち大垣藩が支配を委託された(預所^{あずかりしょ})。長屋家の当主は、幕末維新时期に大垣藩預所の惣代庄屋や長屋村の庄屋を、明治初期には戸長や、副区長などを勤めている。そのため長屋家文書には、幕末維新时期から明治初期にかけての村政に関する史料が、とくに多く含まれている。美濃国に多くみられる村内の家格制「頭分制」に関することをはじめ、多様な論点を窺うことができる。本目録の刊行を期に、広く活用されることを期待したい。

郷土博物館収蔵史料の整理・保存、そして活用のための体制の整備が、より安定した形で、永続的に継続されることを心より願う。また岐阜大学におけるこのような事業の成果が、地域社会における歴史的資産の保存・活用というより大きな文脈のなかでどのように位置づけられていくのか、永く注視していきたい。

目 次

口 絵

目録の刊行によせて

目 次

凡 例

解 題 1

長屋村長屋家文書について

現状記録

長屋村について

長屋家について

概 要

長屋村関連史料

参考文献・参考資料

目 録

い	「土 地」	16
ろ	「貢 租」	16
は	「村 役」	18
に	「村 経 済」	26
ほ	「戸 口」	28
へ	「治 水 土 木」	36
と	「災 害・救 恤」	36
り	「社 寺・習 俗」	36
ぬ	「個 人 雑 事」	40
る	「金 融」	44
明治	「明治時代文書」	52
未	「未 整 理 史 料」	106

凡 例

- 1 本目録は、岐阜大学教育学部郷土博物館が収蔵する美濃国本巢郡長屋村長屋家文書の目録である。
- 2 現状において長屋村長屋家文書は、1968年(昭和43)発行『岐阜大学教育学部庶民史料目録(2)』の通りに配架されており、本目録の配列もそれに従った。1968年発行の目録の凡例は解題に引用している。史料の一部で先の目録に明記されておらず、史料に付番されているものは、その通りの番号とした。付番されていないものは、適宜番号を追加した。以前の整理で、未整理であった書状などの史料は、「未」という文書の単位番号を加え、現状の秩序に従って整理し付番した。
- 3 目録は「推定」、「番号」、「表題」、「年代」、「西暦」、「形態」、「数」、「作成」、「受取」、「備考」の順に記載した。「推定」には、長屋家文書中に他の史料群の史料が混在しているため、他の史料群の略称を入れた。詳細は解題を参照されたい。「番号」の頭には、文書の単位記号(「い」～「と」・「り」～「る」「明治」)を加えている。「枝番」の中の丸番号は綴であることを示す。
- 4 史料中の旧字体や異体字は常用漢字などに改めた。合字の「㇆」は「より」と表記した。破損などで判読不明の部分は□(字数が推定できるもの)や[](字数が推定できないもの)で表現した。判読などに疑問のある文字については(…カ)と記した。
- 5 表題は史料に記載されたものを採用し、補足が必要なものは()を付け、その内容を示した。表題がない史料は、[]を付け、仮表題を作成した。内容が不明な場合は、史料の最初の文言の一部を、また袋や封筒の場合、その書付を抜き出して「 」内に記した。所在不明の史料については、《 》で示した。
- 6 年代は史料に記載されたものを取り、推定・参考年代は()、(カ)で記した。
- 7 形態は冊子物では縦・横長・横半・横本・綴・冊子・新聞などとし、一紙物では一紙・切紙・折紙・葉書とした。村絵図や図面などは絵図とした。寸法などは、適宜備考に記載した。
- 8 作成・受取は史料に記載された地名・肩書き・人名などを記載したが、多人数の場合、役職・人数などを記し、適宜省略した。
- 9 備考には史料の状態(破損など)や、端裏や裏書の記載など必要と思われる情報を記している。
- 10 史料の保存状態については現状記録を参照されたい。
- 11 史料の閲覧の際の連絡先は下記の通りである。

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部 庶務係

TEL 058-230-1111 (代)

* 史料などの閲覧は、事前予約で対応。詳細は、上記係まで。

解 題

長屋村長屋家文書について

岐阜大学教育学部郷土博物館（以下、郷土博物館と表記）収蔵の美濃国本巢郡長屋村長屋家文書は、幕末維新期から明治初期にかけての史料を中心とした長屋村（現、本巢市）の庄屋・戸長を勤めた家の史料である。ただし、長屋家文書以外の博物館収蔵史料群の一部も混在している。これらすべてを合わせた史料の総点数（綴の中の史料も1点と数える）は、1705点を数える（欠番や所在不明史料は除外）。

この文書は、つとに1948年発足の近世庶民史料調査委員会が行った全国的な史料所在調査時点で、岐阜大学学芸学部（現在の教育学部）史学研究室に保管されており、概要については近世庶民史料調査委員会編『近世庶民史料所在目録 第三輯』（1955年、日本学術振興会）に収録され、その内容は以下の通りである。

中部 一六八一

所蔵者 岐阜市長良町 岐阜大学学芸部史学研究室 保管

旧地名 美濃国本巢郡長屋村（天領大垣藩預り地）

数 量 公六七二冊 二二二通 私五六冊 一〇七通

年 代 寛文三年―大正七年 主として江戸後期・明治初期

内 容 寛文以降の名寄帳・検地帳を初めとして、明治年間までの土地・租税・村政関係の史料が最も多く、戸口、治安、救恤、土木、農林業、金融、寺社等に関するもの、及び家事・家計文書も多い。本巢郡長屋村庄屋長屋氏の旧蔵文書。

この後、長屋村長屋家文書は整理され、『岐阜大学教育学部 庶民史料目録(2)』（1968年）として目録が刊行された。その時の整理の概要は、以下の通りである。

凡 例

1. 本目録には、次の10種の文書が収載されている。これらは戦後の混乱に近世庶民史料が一時に散逸するのをおしんで、当学部が相ついで購入したものである。（中略）

長 屋 家 本巢郡糸貫町長屋（中略）

2. 各文書の整理は、江戸と明治の2時代に大別し、江戸時代は次の分類を立てた。同一分類項目内はほぼ年代順に配列し、関係文書は一括することにとめた。

〔い〕土 地 〔ろ〕貢 租 〔は〕村 政 〔に〕村 経 済

〔ほ〕戸 口 〔へ〕治水土木 〔と〕災害・救恤 〔ち〕交 通

〔り〕社寺・習俗 〔ぬ〕個人雑事 〔る〕金 融 〔お〕雑

3. 明治時代文書は分類しないで一括し、大体年代順に配列し、文書には「明治」の印を押して江戸時代文書と区別してある。

4. 書状など未整理のものが、各文書とも相当数残されている。

以上文書整理には史学研究室の岩田喜代子事務官の協力をえたが、余暇をみてのこととて、大まかな分類原則も乱れがちに終っている。（日置弥三郎）

この目録で、長屋家文書の総点数は1126点となっており、ブリキ製の文書箱12箱に収納された。未整理分に関しては、段ボール製の文書箱1箱に収納された。1964年に、岐阜大学長良キャンパス内に郷土博物館が建設・開館されたことにより、史料は博物館に収蔵された。その後、大学移転に伴い、現在は柳戸キャンパス教育学部本館5階の郷土博物館収蔵室に保管されている。

郷土博物館保管の長屋村長屋家文書の一部は、『糸貫町史 史料編』(1969年)、『岐阜県史 史料編 近世八』(1972年)に収載されている。但し、史料の中には、今回現物が確認できなかったものもある(『糸貫町史 史料編』三一 安政五年一二月長屋村免定(p.582)、八八 延享二年六月牛頭天王社八人八座定書(pp.669~670))。1968年の目録には収録されているが、現在、所在不明の史料もある。『近世庶民史料所在目録 第三輯』の概要には、寛文以降の名寄帳・検地帳が明示されているが、その所在も不明である。

長屋家文書中には、郷土博物館に収蔵されている他の史料群の一部と思われるものも混在する。おそらく、長屋家文書の整理過程で紛れ込んだものと思われる。混在している史料群としては、方県郡河渡村村木家文書(略称・河)・方県郡木田村山田家文書(木)・大野郡野村後藤家文書(野)・池田郡八幡村竹中家文書(八)・大野郡高屋村古田家文書(高)などが確認できた。すべての混入史料を判別することはできなかったが、目録の推定に、その略称(丸括弧内に記載したもの)を加えている。

すでに目録は刊行されているが、さらに広範な利用に寄与するため、目録整備と史料保存を目的として、2013年から再整理を開始した。保存のために、史料を1点ずつ中性紙仕様の文書封筒へ収納し、ブリキ製・段ボール製の文書箱から中性紙仕様の文書箱へ入れ替えを行った。今回の整理に当たり、史料番号は1968年刊行の目録の通りとしている。以前の整理では未整理であった書状などの整理も行い、目録の最後に加えた。それらについては現状の秩序に従って、整理順に番号を付けている。

現状記録

中性紙仕様の文書箱に入れ替える前は、ブリキ製文書箱12箱(蓋55.6×45.0×10.7cm、身:54.2×44.2×12.0cm)、段ボール製文書箱1箱(蓋55.6×45.0×10.7cm、身:54.2×44.2×12.0cm)に入れられていた。詳細は以下の表の通りである。

箱(箱書・収納史料)	一括状態	
文書箱1(ブリキ製)	い2~4は封筒一括	
箱書「長屋文書(一) 土地(い) 貢租(ろ) 村経済(に) 戸口(ほ)」 い1~4、ろ1~5・7~15・17~42、に1~32、ほ1~4・6~88	ろ1・2・7・12・13・18・28・40は封筒一括	
	ろ3~5・8~11・14・15・17・19~27・29~39・41・42はビニール紐一括	ろ25・26はこより紐一括
	に1~32はビニール紐一括	
	ほ1~4・6~8・11~15はビニール紐一括	
	ほ9・10は封筒一括	
	ほ34~70は紙紐一括	
	ほ71~88は紙紐一括	
文書箱2(ブリキ製)	は1・2・4~10は封筒一括	
箱書「長屋文書(二) 村政(は)」 は1・2・4~11・13~19・21~90	は11・13~19・21~30は封筒一括	は21~29はビニール紐一括
	は31~40は封筒一括	
	は41~49はビニール紐一括	
	は50~60は封筒一括	
	は61~70はビニール紐一括	
	は71~90は封筒一括	
文書箱3(ブリキ製)	へ1~16は封筒一括	
箱書「長屋文書(三) 治水土木(へ) 災害救恤(と) 社寺(り) 金融(る)」 へ1~16、と1~8、り1~46・50・51、る1~9・11~107	と1~8は封筒一括	
	り1~13は封筒一括	り10~13は袋一括
	り14~30は封筒一括	
	り31~46・50・51は封筒一括	
	る1~9はビニール紐一括	
	る11~107は封筒一括	る11~50はビニール紐一括 る51~107はビニール紐一括
文書箱4(ブリキ製)	ぬ1~9は封筒一括	
	ぬ10~21はビニール紐一括	

箱書「長屋文書（四） 個人雑事（ぬ）」 ぬ1～74・76～86	ぬ23～32は封筒一括	
	ぬ33～49はビニール紐一括	
	ぬ50～59は封筒一括	ぬ56～58は包紙一括
	ぬ60～70はビニール紐一括	
	ぬ71～74・76・77は封筒一括	
文書箱5（ブリキ製） 箱書「長屋文書（五） 明治1～86」 明治1～86	明治1～29はビニール紐一括	
	明治30～57はビニール紐一括	明治42-1-1～-3は重ね折一括 明治42-6-1が-2を包んでいた 明治42-8-1～-3は-4に挟まれていた 明治42-9-1～-5は重ね折一括 明治42-11-1～-7は重ね折一括
	明治58～67はビニール紐一括	
	明治73～86はビニール紐一括	
	明治87～112・114～118・120～124はビニール紐一括	
文書箱6（ブリキ製） 箱書「長屋文書（六） 明治87～183」 明治87～118・120～136・138～140・142・144～149・151～154・156・157・159～169・171・173～176・178～183・771	明治125～136・138～140・142・144～150・771はビニール紐一括	
	明治154・157・159～169・171・173～176・178～183はビニール紐一括	
文書箱7（ブリキ製） 箱書「長屋文書（七） 明治184～251」 明治184～216・220～246・248～251	明治184～208はビニール紐一括	明治185～193は包紙一括
	明治209～216はビニール紐一括	明治209～212は袋一括
	明治220～222はビニール紐一括	
	明治223～246・248～251はビニール紐一括	明治225～230は袋一括 明治234・235は袋一括 明治236～246は袋一括
文書箱8（ブリキ製） 箱書「長屋文書（八） 明治252～337」 明治252～337	明治252～270は封筒一括	明治252～264は袋一括
	明治271～289は封筒一括	明治275～286は袋一括 明治288・289は袋一括
	明治290～308はビニール紐一括	明治292～297は封筒一括 明治294～296は封筒一括 明治303-1～-33は袋一括
	明治309～322はビニール紐一括	
	明治323～330は封筒一括	明治323～330はビニール紐一括
	明治331～337は封筒一括	
文書箱9（ブリキ製） 箱書「長屋文書（九） 明治338～371」 明治338～366・368～371	明治338～362はビニール紐一括	
	明治366・368～371はビニール紐一括	
文書箱10（ブリキ製） 箱書「長屋文書（十） 明治372～378」 明治372～378		
	明治381～394は封筒一括	明治381～394はビニール紐一括
	明治395～400は封筒一括	明治395～400はビニール紐一括
	明治501～520は封筒一括	明治501～507はこより紐一括 明治501・502はこより紐一括
	明治521～540は封筒一括	
	明治541～570は封筒一括	
	明治571～573・772・574～590は封筒一括	明治584～588は二重の袋一括 明治587-1が-2・-3を巻きこんでいた 明治587-2が-3を巻きこんでいた
	明治591～618は封筒一括	明治604～611はこより紐一括 明治612～615はこより紐一括 明治613-1が-2を巻いていた
	明治619～688は封筒一括	明治619～644はビニール紐一括 明治645～670はビニール紐一括 明治671～679はビニール紐一括 明治680～688はビニール紐一括 明治683～688はこより紐一括
	明治690～701は封筒一括	明治691-1～-4はこより紐一括
	文書箱12（ブリキ製） 箱書「長屋文書（十二） 明治702～770」 明治702～770	明治702～745は封筒一括
明治746～759は封筒一括		明治750～753はビニール紐一括
明治760～766は封筒一括		
明治767～770は封筒一括		明治768～770はビニール紐・袋一括

本目録発行段階において所在不明の史料は、ろ6・ろ16・は3・は12・は20・ほ5・り47～り49・ぬ75・明治119・明治137・明治141・明治143・明治150・明治155・明治158・明治170・明治172・明治177・明治217～明治219・明治247・明治367である。また、欠番は、る10・明治401～明治500・明治689である。未整理分の現状記録は、次ページの通りである。

箱 (箱書・収納史料)	一括状態	
文書箱13 (段ボール製) 箱書「長屋文書 (十二) 止 書状など未整理」 未1～52	未2-1～-35はこより紐一括	未2-1の包紙に-2～-35が包まれていた
	未3-1～-77は紐一括	未3-36-1～-5はこより紐一括
	未4-1～-45は紐一括	未4-2-1・-2は封筒一括
		未4-2-2-1・-2は重ね折一括
		未4-8-1に-2が包まれていた
		未4-10-1～-14は紙帯一括
		未4-39-1～-4は封筒一括
	未5-1～-23は袋一括	未5-5-1～-4は重ね折一括
		未5-6-1・-2は紙紐一括
		未5-21-1～-7はこより紐一括
		未5-22-1～-4は包紙一括
		未5-22-1に-2～-4が包まれていた 未5-22-3に-4が挟まれていた
	未9-1・-2は重ね折一括	
	未10-1～-11は包紙一括	
	未22-1～-20は袋一括	未22-2-1が-2を包んでいた
		未22-13-1～-21は袋一括
		未22-13-9-1～-16は重ね折一括
		未22-13-10-1～-19は重ね折一括
		未22-13-16-1～-2は包紙一括
		未22-13-16-1～-2は重ね折一括
未22-15-1～-10は重ね折一括		
未22-17-1・-2は重ね折一括		
未22-19-1～-6は重ねてねじられていた		
未22-20-1・-2は重ねて丸められていた		

長屋村について

現在は、岐阜県本巣市の中央部、糸貫川右岸の扇状地に位置している (p.13地図参照)。16世紀にはすでに存在していた、美濃国の代表的な用水である席田・真桑用水と密接にかかわる地域で、両用水井組の村々などで争論が繰り返されていた。

天保9年 (1838) の村差出明細書上帳 (岐阜県歴史資料館所蔵) には、以下のような内容が記されている (抄出。数値は算用数字で表記した)。

高862石6斗2升4合 (反別64町4反3畝26歩)

田反別52町9反8畝23歩 (高751石9斗7升2合)、畑反別6町8反5畝3歩 (高73石5斗4升8合)

屋敷1町9反7畝歩 (高23石6斗4升)、砂畑2町3反5畝18歩 (高9石4斗2升4合)

御冥加御膳糶別上納30俵 (文化6巳年より)

農業間稼 男ハ作第一二仕、藁・縄・筵等入用丈仕候 女ハ布・木綿漸ク着用程仕候

家数130軒 4ヶ寺：高持寺、3軒：高持社人、65軒：高持百姓、58軒：水呑百姓

人数558人 2人：僧、3人：社人、288人：男、265人：女

寺4ヶ寺 真言宗 普賢寺、禅宗 大安寺、禅宗 桃林寺、本願寺宗 常德寺

牛頭天王宮 境内反別1町7反8畝6歩、祭礼壺ヶ年ニ2月6日・6月15日・11月6日、末社8ヶ所

糸貫川通堤長延958間半：1ヶ所、糸貫川通：川巾平均40間内、掛樋：2ヶ所、悪水吐：1ヶ所

井堰2ヶ所：長平均49間・堰巾平均6尺、用水坎1ヶ所：長5間半・巾9尺

田方稲草 丹後早稲、京早稲、こほれ早稲、長浜、とそん、八石、赤餅、白餅等作り申候

畑作 大麦、小麦、菜種、麦作、稗、粟、芋、大豆、小豆、麻、木綿、大角豆、大根作り申候

田畑こやし 草灰、種かす、干鯛仕候

薪柴 山林無御座候ニ付、岐礼村・高科村・日向村江3里罷越、買求申候

明治14年 (1881) の「本巣郡各町村略誌 上」(濃飛両国町村略誌、岐阜県図書館所蔵) では、以下のような村勢であった (抄出。数値は算用数字で表記した)。

疆 域：東ハ本巣郡曾井中島村・席田郡上ノ保村、西ハ大野郡高屋村・同郡石神村、南ハ本巣郡見延村、

北ハ本巢郡曾井中島村、東西凡8町、南北凡10町
旧石高：862石6斗2升4合、総反別115町7反3畝18歩内
垆 樋：用水ノ垆樋2ヶ所、糸貫川筋、一ハ曾井中島村地内字野口ニ設置ス、長9尺・内法高1間・
横2間、一ハ本村内字森後ニ設置ス、長9尺・内法高1間・横4間
井 堰：用水ノ井堰、藪川筋山口村地内字南原ニ設置ス、長48間、但常井堰
用水路：野口・森後・南原三用水、糸貫・藪川筋ヨリ引キ水田凡85町歩ノ灌養トシ、末見延村ニ至ル
戸 数：本籍162戸○寄留2戸○社2社○寺3寺
学 校：見延村一色校下、本村生徒110人内 男56人・女54人
神 社：郷社長屋神社 例祭4月15日○村社春日社 例祭3月28日
寺 堂：大安寺 天正2甲戌年創建○桃林寺 創建年月未詳○常德寺 創建大永3癸未年10月
人 口：803人 男419人・女384人○出寄留19人 男11人・女8人○入寄留2人男
職 別：兵隊1人○農 男398人・女368人○工 男17人・女14人○僧3人○尼2人
物 産：米1ヶ年産出凡1191石○大麦521石○小麦76石8斗○雑穀16石6斗4升○菜種18石6斗
名 産：米

支配・行政 慶長郷帳では、「林丹後（波）領」（林丹波正利領）とあり、「元和弐年美濃国村高御領知改帳」・正保郷帳でも「御蔵入」とみえる（『岐阜県史 史料編近世一』）。元禄郷帳（『明治大学刑事博物館資料 第10集』）では「石原清左衛門御代官所」とあり、江戸時代初期から幕府領であった。明和7年（1770）に大垣藩預所となり、幕末まで続く（『大垣藩地方雑記』）。明治維新後も大垣藩預りであったが、明治4年（1871）3月、大垣藩預所の村々は笠松県へ編入され、同年11月には岐阜県となった。

岐阜県下では、明治5年（1872）9月の区制実施により第95区となり、明治6年（1873）4月の大区小区制によって第7大区6小区（本巢郡長屋村・西秋沢村・文殊村・法林寺村・曾井中島村）に含まれたが、大区小区制は明治12年（1879）に廃止された。明治17年（1884）に見延村・長屋村・早野村・七五三村の連合村となり、見延村に戸長役場を置いた。明治22年（1889）の市制・町村制下において、見延村外6か村組合役場（長屋村・石神村・上高屋村・数屋村・有里村・随原村）が置かれた。明治30年（1897）に見延村外6か村が合併し一色村となり、昭和30年（1955）に糸貫村、昭和35年（1960）に糸貫町となり、平成16年（2004）に糸貫町・本巢町・真正町・根尾村が合併し本巢市となる（pp. 14～15参照）。

石 高 慶長郷帳によると高853石2斗とあり、「元和弐年美濃国村高御領知改帳」でも同高で、正保郷帳でも同じ高で、その内訳は田方752石9斗2（異本「7」）升、畑方100石2斗3（異本「8」）升と見える（『岐阜県史 史料編近世一』）。元禄郷帳（『明治大学刑事博物館資料 第10集』）でも増減はないが、天保郷帳（『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55巻 天保郷帳（一）』）では、高862石6斗2升4合とあり、幕末まで続いていく。この増加分は、長屋家文書の明和2年（1765）「美濃国本巢郡長屋村新田検地帳」（い1）で畑高6石7斗6升8合、安永6年（1777）「美濃国本巢郡長屋村検地帳」（い2）で畑高2斗6斗5升6合、合計9石4斗2升4合の畑が増えたことによる。

長屋家について

長屋家文書に残された長屋氏の系図には、天文年間に長屋村の地に牛頭天王社を勧請した長屋大膳亮景興の名が見える（ぬ1・ぬ2・ぬ5・ぬ6-1）。また、元禄4年（1691）「長屋牛頭天王棟札写」（り1）に記された「社家 長屋六郎左衛門好元、同 長屋加左衛門好久、同 長屋徳左衛門好守」の3人は、長屋大膳亮景興の流れをくむ者として系図にも書かれている。長屋家は代々加左衛門（嘉左衛門、可左衛門、歌左衛門とも）と名乗っており、棟札にある「長屋加左衛門好久」とのつながりを想起させるが、関係は不詳であ

る。長屋家文書は、幕末・維新时期から明治初期の史料が中心であり、18世紀・19世紀初めの史料の点数は多くない。残された系図から、確実であろうと思われる元行—景明—景寿に関して、一部を抽出した（ぬ6-1）。

○元行 長屋歌左衛門 法号徳昌院殿大法寿□居士 天保十一子年六月十四日卒 七十才
母 同（席田郡福田地村井上浅右衛門女）

享和元酉年二十五歳続長屋家高拾壹石余、文政元寅年ヨリ同八酉年迄県吏相勤、天保九戌年大垣城主戸田采女正殿江独礼被免、同十一子年六月十四日卒、不幸ニシテ子多ク早世、于時五男可十郎十七歳種子五才也

○景明 幼名長屋可十郎 後長屋歌左衛門尉 母同（上真桑邑守屋助大夫女歌）

天保十一子年家督十七歳高百貳拾七石余、同年戸田采女殿独礼、同十四卯年本巢郡上本田邑関谷源右衛門女娶、同十三寅年妹種病死、安政七申年三月従公義苗字免許、同年六月戸田采女正殿別段独礼、同年十一月笠松郡代岩田鉄三郎殿ヨリ濃勢両国水防役蒙ル、慶応元丑年従公義嫡子八郎左衛門迄苗字免許、同十二月戸田采女正殿同人別段独礼、同二寅年戸田采女正殿ヨリ上下拝領、同三卯年九月又上下拝領

○景寿 幼名長屋金八郎 後長屋八郎左衛門尉 母同（本巢郡上本田村関谷源右衛門女繁）

慶応元乙丑年十五歳ニシテ大垣城主戸田采女正別段独礼被免、同年従徳川將軍家茂公苗字免許

長屋元行の代では、石高は11石余りとある（る12~14）が、その後景明の代では石高は127石余となっている。万延2年（1861）から明治2年（1869）の宗門人別改帳（ほ8~14・明治18）では、石高は178石余となり、さらに増加している。元行が長屋家を相続した享和元年（1801）以降の借金証文や質地証文など（【る】参照）が多数残されており、元行・景明の代で土地集積がなされていったと思われる。長屋家は頭百姓の家であり、宗門人別改帳によると、美濃国方県郡長良（中福光）村崇福寺末寺大安寺が檀那寺であった。

その他の史料から確認できたことも含めて、元行・景明・景寿について判明したことを摘記したい。

○長屋元行（嘉左衛門、可左衛門）

文政期ごろに年寄役を勤めているが、文政8年（1825）に退役願いを出し、文政2年（1819）笠松代官所より、川方取締役にも命じられている（は36）。

○長屋景明（歌左衛門）

嫡子の長屋金八郎が庄屋になった慶応2年（1866）12月に後見庄屋となった（明治94）。安政7年（1860）、笠松代官所から水防役に任じられ苗字・帯刀免許となったが、慶応4年（1868）に停止された（は69）。また、糸貫川通井上井頭（井水取締）にもなっており、井水に関する記録も残している。

大垣藩預所には、一番西組・一番東組・一番島方組・二番組・三番西組・三番東組・四番不破組・四番多芸石津組・四番南安八組・四番北安八組の10組の組合村があり、組ごとに惣代庄屋を置いた。明治元年（1868）11月から、長屋景明（歌左衛門）は一番西組20か村（pp. 14~15の表参照）の惣代となり、「郡中惣代御用留」（明治323）や「郡中御用日記帳」（明治324）をはじめとした廻米や宗門改など組合村々に関係する史料が残されている（ろ25~ろ28・は75・は76・は78・ほ85~88・と6・り17・り18・明治1・明治17・明治19・明治27・明治34・明治36・明治37・明治40・明治41・明治48・明治49・明治55・明治511・明治513~518・明治526・明治591・明治604~611・未3-20・未3-25・未3-31・未3-33・未3-36・未3-40~42・未3-46・未3-48~50・未3-52・未3-59・未3-62・未3-66・未3-68・未3-69・未4-43・未4-44・未22-13-5・未22-13-9-7・未22-13-9-8・未22-19-2・未22-19-5など）。

○長屋景寿（金八郎、後に八郎左衛門）

慶応2年（1866）12月に庄屋となり（明治94）、明治4年（1871）に戸籍区の副戸長を（明治92）、明治5年（1872）の庄屋・名主・年寄など村役人の廃止時には入札によって長屋村の戸長となり（明治125）、明治6年（1873）7月まで勤めた（明治161）。翌8月からは、第32番中学区59番小学の愛敬義校（長屋村と石神

村との連合で設立)の取締役に任命されている。その後、明治10~12年(1877~1879)まで、第7大区6小区の副区長としてみえる。

○明治4年の戸籍区

長屋村も含めた大垣藩預所の村々が、笠松県へ移管された明治4年(1871)4月、戸籍法が公布された。戸籍編成のための戸籍区や戸長・副長の設定が行われたが、長屋村を含む地域の詳細が御用留(明治92)に記されていた。副長に、長屋八郎左衛門の名前がみえる(下線部)。

本巢郡 西秋沢村、文殊村、曾井中島村、法林寺村、長屋村、見延村、西早野村、東早野村、上真桑村、下真桑村、小弾正村、中野村、更屋敷村 メ拾三ヶ村

右区内 戸長 文殊村 東作、戸長 東早野村 半助

副長 西秋沢村 八郎、同断 曾井中島村 兵右衛門、同断 長屋村 八郎左衛門、同断 見延村 儀右衛門、同断 上真桑村 継治郎、同断 下真桑村 三之丞

この13か村は、大区小区制時の第7大区5小区・6小区に含まれる村々である。明治4年(1871)8月晦日からの御用留には、人別送り状の写しが記されていた(明治104)。明治4年9月に、「笠松県御支配所第三十六区美濃国本巢郡長屋村」の女子が大野郡石神村(大垣藩領)の者へ縁付く時のもので、「当区人別相除之間、其御区人別ニ御差加江可被成候」とあり、「右区(第三十六区美濃国本巢郡長屋村)戸副 長屋八郎左衛門、戸長 高橋東作」から石神村の村役人宛てに出され、笠松県庁の裏印があったことが明記されている(明治104)。明治4年11月に笠松県は岐阜県となるが、その翌年、岐阜県から戸籍区の戸長・副戸長宛ての差紙が、御用留(明治116)に記されていた。

元笠松県管下本巢郡第三拾六区
 戸長 文殊村 高橋東作
 同 東早野村 中島半助
 副戸長 長屋村 長屋八郎左衛門
 同 見延村 飯尾義右衛門
 同 上真桑村 福田継治郎
 第三十七区
 戸長 北方村 柴田三郎右衛門
 副戸長 同 大野弘平
 第三十八区
 戸長 上本田村 関谷貫三
 副戸長 牛牧村 説田九郎蔵
 同 十八条村 林伝八郎
 戸長 十九条村 土屋熊治郎

第三十九区
 戸長 穂積村 井上源右衛門
 副戸長 生津村 加藤耕之助
 同 別府村 広瀬益之丞

第四十区
 戸長 高屋村 馬場競
 副長 十四条村 安藤参
 同 高屋村 豊田定
 同 十五条村 名和七五三
 右申渡儀有之間、来ル十七日朝、可罷出もの也
 此廻状、至急順達之上、留りより可差戻事
 壬申五月十三日
 岐阜県庁□ 本巢郡村々戸長・副戸長
 右五月十四日午刻文殊村より請取、□刻見延村へ送ル

この史料から、本巢郡の一部に、第36区から第40区までの戸籍区が設定されたことがわかる。この戸籍区はどのように設定されたのか、また大区小区制にはどのようにつながっていくのか、今後の検討課題は多い。長屋家文書に残されていた、元治2年(1865)から明治6年(1873)までの御用留の分析を進める必要があらう(解題末尾の関係村行政区画変遷表参照)。

概要

長屋家文書は、現状において『岐阜大学教育学部 庶民史料目録(2)』の通りに配架されており、整理にあたってはその配列を踏襲した。以下の解説において、煩雑を避けるため、【い】～【る】の項目で【明治】の文章に、また【明治】の項目で【い】～【る】の文章に言及したところがある。

【い】「土地」

明和2年(1765)「美濃国本巢郡長屋村新田検地帳」(い1)、安永6年(1777)「美濃国本巢郡長屋村検地帳」(い2)は、ともに『糸貫町史 史料編』に収録されている(pp.191~195)。これらの検地帳は、長屋八郎が戸長を勤めていた時期に筆写されたものである。

【ろ】「貢 租」

「文化六(1809)巳年御膳糶別上納御勘定目録」(ろ1)は、長屋村・上真桑村・下真桑村の3か村が初めて将軍への御膳糶30俵を上納した時のものである(『糸貫町史 史料編』pp.636~638)。長屋村が笠松県へ引き渡された明治4年(1871)、大垣藩預所にて上真桑村の守屋政助が持参したものを写したという記載がある。表紙に「御歴代附御膳糶」と記された史料(ろ2)には、長屋村が幕府領であった時期の代官名が列記されている。長屋金八郎(後に八郎左衛門)が庄屋を勤めた慶応2年(1866)12月以降の年貢関係の史料が残されている(ろ9~12・ろ14・ろ15・ろ17~24・ろ29~38-1・明治31・明治32・明治38・明治53・明治66~74・明治84・明治85・明治113・明治114・明治118・明治502など)。慶応3年(1867)「御冥加献金名前帳」(ろ13)には、長屋歌左衛門が金6両2朱献金したことが記されている(『糸貫町史 史料編』pp.548~549)。また、廻米関係の史料(ろ25~28)も残されている。

【は】「村 政」

長屋村とその東隣の上之保村との糸貫川河原境争論に関する史料が2点あり、長屋家文書で最も古いものである(は33・は34)。この境争論の関係史料として、上之保村からの訴状が『糸貫町史 史料編』に所収されている(pp.99~101)。また、名古屋大学附属図書館のHP(高木家文書データベース)から「上之保村・長屋村論所絵図」の閲覧が可能である(2014年2月現在)。

「公用記 全」(は36)は、春夏秋冬別に村役人や井頭などから大垣藩預所役所や笠松堤方役所へ出した願書・届書などをまとめたものである。「御用留」(は37)には、享和3年(1803)・文化2年(1805)に、美濃国の御領所から私領への替地があるという風聞があり、長屋村・上真桑村・下真桑村の3か村は、往古よりの御料所と主張し、永久に「御料百姓相続」を求めた願書などが含まれている。結果として私領とならなかったため、3か村より御膳糶の上納願いも書き留められている(ろ1関連)。文久元年(1861)にも、御料所から私領渡しの風聞があり、その関連史料も残されている(は62・は63・に11)。

長屋村には頭分制と呼ばれる村落内秩序があり、頭百姓一頭分格一脇百姓一下百姓という家格が存在していた。脇百姓から頭分格へ、下百姓から脇百姓へとといった家格の上昇(身上がり)に関する史料が残されている(は1・は2・は4~11・は13~19・は21~32・に1)。

弘化2年(1845)、牛頭天王神主が村役人らを相手取り、神田や神職、社の修復金など多岐にわたる事柄で訴訟を起こした。関連史料は多数あり、訴訟で江戸まで行った際の記録や、訴訟費用が嵩んだことからその対応に関する史料も残されている(ろ7・は41~54・は60・り9・り10・り22・ぬ30・ぬ31・る4・る85)。この訴訟は嘉永4年(1851)に内済となったが、文久年間にも牛頭天王神主が訴えられる事件が発生している(り11~13・明治509)。

慶應3年(1867)に長屋村は分村し、田中組に庄屋を1人立てることを決めた(は72・は73)。年貢米や、村役人の給料などに関する取り決めが行われ、その詳細も確認できる(免割高848石7斗6升一本郷組:高574石1斗3升4合、田中組:高274石6斗2升6合など、ぬ79より)。

【に】「村 経 済」

元治2年(1865)「濃州本巢郡長屋村丑年小入用帳」(に13)や、慶応3年(1867)「年内村方小入用月々帳」(に16、『糸貫町史 史料編』pp.555~576)など、長屋村の諸入用などが確認できる史料が残されている(に18・に20・に25・明治2・明治28・明治46・明治47・明治56・明治91・明治132・明治161・明治168など)。

【ほ】「戸 口」

弘化5年(1848)・万延2年(1861)・慶応3年(1867)・明治2年(1869)の「人別増減差引帳」(ほ1～4・明治21)や、慶応3年～明治2年(1867～1869)の「五人組仕置帳」(ほ6・ほ7・明治16)がある。万延2年(1861)から明治2年(1869)の「宗門人別改帳」(ほ8～14・明治18)からは、長屋家の家族構成が確認できる。文久2年(1862)から明治6年(1873)にかけての奉公人請状など(ほ16～24・明治60・明治506・明治507)は、長屋家が岐阜縮緬の織元であったことと関連すると思われる(【ぬ】参照)。天保12年(1841)から明治6年(1873)までの送り証文が、57通残されている(ほ25～47・ほ49・ほ52～69・ほ71～81・明治503～505・明治541)。ほ1・ほ8・ほ30・ほ32については、『糸貫町史 史料編』(pp. 522～523、pp. 530～534)に収録されている。

【へ】「治水土木」

根尾川に取水口をもつ席田・南原井・真桑用水では、各用水井組の村々相互間で、また同じ用水井組内の村々で頻繁に争論が繰り返されていた。享保7年(1722)の席田用水内での争論の結果、長屋村に井頭一人を置くことが許可された。詳細は『岐阜県史』などを参照されたい(『岐阜県史 通史編近世下』pp. 68～100、『岐阜県史 史料編近世五』pp. 974～993)。長屋景明(歌左衛門・平馬)は、糸貫川通井上井頭(井水取締)となっており、明治期の井水記録が残されている(明治126・明治265・明治309・明治318・明治331・明治333)。明治期に入っても争論は発生し、糸貫川水行障害訴訟に関する史料も残されている(明治287・明治335・明治336・明治560・明治561・明治563・明治564・明治566・明治572・明治573など)。

長屋村は席田井水の井上8か村(長屋村・曾井中島村・見延村・文殊村・法林寺村・上西郷村・中西郷村・下西郷村)に含まれ、弘化3年(1846)「井水方諸入用八ヶ村割賦帳」(へ5)などの他、明治期にかけても井水方諸入用に関わる史料が残されている(明治42・明治51・明治52・明治80・明治81・明治90・明治303～306・明治310・明治313)。また、長屋村は南原井水組合にも含まれ、「糸貫川通井水鑑」(へ1)には、南原井水の費用賦課法、井水に関する事件や渇水時の対策など定めた条約書や、それに関する史料も記録されている。明治15年(1882)の南原井水組合は、長屋村・山口村・曾井中島村・石神村の4か村であり、諸入用割賦などに関する史料も残されている(明治145・明治312・明治315・明治582・未10-10)。

その他に、明治4年(1871)、笠松県土木司へ差出した長屋村御堤・川筋絵図(明治106・明治691)や、明治16年(1883)の水利土功会設置に関わる史料も残されている(明治583・明治585・明治588・明治589)。

【と】「災害・救恤」

幕末期の困窮者への助成に関する史料が残されている(と1～3・と7・と8・明治62)。慶応4年(1868)、大垣藩預所村々から「苛政之廉々郡中村々難渋仕居」として、所属改めを求める願書が出された(と6)。

【り】「社寺・習俗」

安永4年(1775)「濃州本巢郡長屋村寺社書上帳」(り2)には、牛頭天王社をはじめとする長屋村の神社・寺院の規模や由緒などの詳細が記されている(『岐阜県史 史料編近世八』pp. 722～726に所収)。明治維新後に牛頭天王社の改称が命ぜられ長屋神社となり、その関係史料も残されている(り23・り25・り27・り43・り44・明治508・明治519・明治523・明治528など)。ええじゃないかに関する史料もあるが、長屋村では慶応3年(1867)9月28・29日の夜に天照太神宮や多度太神宮の御札が降ったと記されている(り21)。

【ぬ】「個人雑事」・【る】「金融」

長屋家の土地集積に関するものとして、「名寄畝歩帳」(ぬ9)や「金貸帳」(ぬ12・ぬ21)があげられる。これは、【る】に含まれている文化年間以降の借金証文・質流証文と関連するものである(る16～24・る26～31・る33～84・る87・る89～94・る96・る97・る103・る105～107など)。

長屋歌左衛門（景明）が書き留めた「公私要用雑記」（ぬ43）には、安政7年（1860）に海岸御備筋御用途として上納金を納めた人名が列記され、長屋歌左衛門（景明）は金200両を上納したことが確認できる。また、役人への謝礼金や地拍子口伝讓受け誓文（『岐阜県史 史料編近世八』pp.1039～1040に所収）なども含まれている。「公私雑記」（ぬ79）にも、慶応2年（1866）から明治2年（1869）にかけての願書や覚書、年貢免定の写など様々な情報が記録されている。

長屋家は岐阜縮緬（近世美濃国の代表的織物の一つ）の織元で、御蔵縮緬織屋仲間への加入に際して出した一札（『岐阜県史 通史編近世下』pp.455～457参照）など、織元に関する史料が残されている（ぬ50～ぬ54）。慶応2年（1866）「諸画買入附留」（ぬ61）には、京都や大垣の書店で購入した本の書名（『増続大広益会玉篇大全』、『文選正文 字引』、『文選正文』、『掌中以呂波韻大成』など）、価格などが記されている。

【明治】「明治時代文書」

村関係：元治2年（1865）から明治6年（1873）までの御用留が残されている（は64～67・は70・明治13・明治29・明治59・明治92・明治104・明治116・明治130・明治142）。明治5年（1872）10月からは、「御用留」ではなく「岐阜県御布令録」と記されている（明治142、口絵参照）。戸長を勤めた長屋八郎（景寿）が、明治5年（1872）から明治10年（1877）にかけての各種届や願書をまとめた「御用郵用記」や「公私要用記」などの史料も残されている（明治125・明治134・明治182）。明治5年からの「公私要用記」（明治134）には、未仮免定や、辛未貢米皆済目録、長屋神社修復願いなどが収録されている。明治5・6年にかけての「御用廻状継立請取牒」（明治133）も残されている。明治9年（1876）に、明治8年分の各大区副区長給料賦課方法に関して、改正反別・人口による割り当てにするか、旧反別・人口による割り当てかについての伺いが出されている（明治544）。明治9・10年（1876・1877）の第七大区六小区の特有・普通物産綴や馬一覽表などがある（明治251・明治268～270）。明治10・11年（1877・1878）の夏までの「公用勤日記」（明治266）や、明治20年度（1887）の「見延村外三ヶ村聯合村費支出元帳」（明治317）が残されている。また、明治4年（1871）に笠松県へ提出した本巢郡長屋村絵図などの絵図（明治106-2・明治690～693）や、明治9年（1876）に写した長屋村絵図（明治700）もある。

社寺関係：明治4年（1871）の社寺戸籍や、寺院絵図面などが残されている（明治98・明治103）。明治6年（1873）の郷社祠官への月給に関する口達（明治537）や、明治7年（1874）の「郷社諸入用取調帳」（明治206）なども残されている。明治24年（1891）、長屋神社を県社に加える願書が出されている（明治590）。明治19～41年度（1886～1908）の長屋神社修葺小作掟勘定帳が、まとまっている（明治338～362）。

兵事関係：明治6年（1873）に徴兵制が公布され、それに関する史料が残されている（明治185～193・明治225～230）。

戸籍関係：明治4年（1871）4月の「家数人別増減差引帳」「戸籍人別増減帳」（明治99・明治100）や、明治5・6年（1872・1873）の第九十五区戸籍総計（明治153・明治166）などが残されている。第七大区六小区五ヶ村の戸籍総計や取調書などは、まとまって残されている（明治162～165・明治207・明治209～212・明治224・明治234～246・明治252～264・明治275～286・明治551・明治552・明治562など）

土地関係：明治5年（1872）「高反別総計」など（明治138～140）や、明治6年（1873）「田畑屋舗也并名寄惣計帳」や「本巢郡長屋村地券総計帳」など（明治198～200）がある。また、明治6年（1873）には長屋村・上之保村立会秣場の地券下げ渡しのため、両村による地券取調帳が出されている（明治201・203・204）。明治8年（1875）のものとしては、実地丈量帳・地価取調帳・田方等級区別簿（明治214～216・明治220～223）などがあり、明治10年（1877）「名寄帳」（明治267）や、明治17年（1884）「本巢郡長屋村地券大帳」も残されている（明治363～365・明治399）。明治23年（1890）の「本巢郡長屋村土地台帳」は5冊あり、明治8年の地価は墨書で、明治23年の特別修正の地価は朱書で記されている（明治375～379）。明治8年（1875）

に本巢郡上真桑村地内の官林払い下げ分の開拓届けが出され、それに関連する史料も残されている（明治231・明治232・明治272・明治290・明治300・明治311・明治319・明治543・明治559・明治695など）。

租税関係 : 明治5年（1873）の年貢米改正についての規則書がある（明治135）。明治5年（1873）に年貢米上納が滞ったことの史料（明治194～196・明治542）や、「明治八年三月御廻米桑名四日市湊納諸入費割賦帳」には岐阜県管下第七大区六ノ小区納総代長屋八郎の名前がある（明治233）。長屋八郎が、第七大区六小区の副区長であったため、明治10～12年（1877～1879）「区費・地価費・郷社費・其他諸費・取替金割賦帳」や関連史料が残されている（明治271・明治288・明治289）。

学校関係 : 明治6年（1873）の「小学義校開業願書」や「学資金取立簿」など、長屋村と石神村との連合で設立した愛敬義校に関わる史料が多く残されている（明治147・明治175・明治176・明治183・明治184・明治202・明治530～533・明治539・明治540・明治701など、愛敬義校の詳細については、参考文献に掲げた堀論文参照）。長屋八郎は学区取締であったため、明治12年（1879）ごろの学校教則や学区費割などの史料が残されている（明治292～296・明治570・明治571・明治574～576）。学区の範囲を示した図も残されている（明治618・明治694・明治697・明治698）。

家関係 : 長屋歌左衛門や長屋八郎左衛門が記録した「公私日用雑記」などの記録が残されている（明治110・明治326～330・明治332）。明治23年（1890）の「所有地名寄帳」があり、「勅令特別地価修正ニ付更正」されたものである（明治374）。「新古名寄畝歩帳」など、長屋家の所持地などに関する帳簿（明治366・明治384・明治390・明治397・明治398・明治400）や、明治19～大正6年（1886～1917）までの間の長屋家の支出入費に関する帳簿（明治368～373）も断片的に残されている。

新聞 : 明治37・38年（1904・1905）の日露戦争の号外を中心とした新聞号外が50点残されている（明治702～746・明治749・明治756～759）。岐阜日日新聞社・濃飛日報社・中京新報社・大阪朝日新聞社・大阪毎日新聞社などから出されたものである。この時期は大阪朝日新聞社と大阪毎日新聞社との間で、日露戦争の号外発行をめぐる競争が熾烈を極めていたが、地方新聞でも号外が頻繁に出されていたことが確認できる（参考文献参照）。また、明治37年（1904）6月18日付大阪毎日新聞の号外は、名古屋支局と大阪（本局）で発行され内容はほぼ同じであるが、紙面のレイアウトなどは異なっている（明治759）。

【未】「未整理史料」

ほとんどは、書状・領収証・書付などで、幕末から明治初期のものであろう。長屋歌左衛門が、大垣藩預所の惣代庄屋を勤めていた時のものや、糸貫川訴訟の際のものなどが含まれている。

長屋村関連史料

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵の村絵図の中に、年未詳の長屋村絵図が3点（史料番号160～162）あり、長屋村文書の一部であったものが、各史料群の整理過程で混入した可能性も想定される。

立教大学図書館に、美濃国本巢郡長屋村文書が9件所蔵されている。この史料目録は、立教大学図書館のホームページ（地方古文書総目録）から確認することが可能である（2014年2月現在）。

岐阜県歴史資料館に、天保9年（1838）の長屋村明細帳、明治14年（1881）の各村略誌などが所蔵されている。岐阜県図書館に「第七大区六小区本巢郡長屋村字分切絵図」、明治8年（1875）「第七大区六小区本巢郡長屋村社寺絵図」が所蔵されている。

名古屋大学所蔵の西高木家文書に、長屋村の水利などに関わる史料が残されている。名古屋大学附属図書館ホームページから、高木家文書のデータベースが公開されている（2014年2月現在）。

年未詳の「美濃国本巢郡長屋村絵図」が、山下和正著『江戸時代 古地図をめぐる』（1996、NTT出版）に掲載されている（pp. 162～163）。

参考文献・参考資料

- ・『糸貫町史 史料編』1969、『糸貫町史 通史編』1982
- ・『岐阜県史 通史編近世上』1968、『岐阜県史 通史編近世下』1972、『岐阜県史 史料編近世一』1965、『岐阜県史 史料編近世五』1969、『岐阜県史 史料編近世八』1972、『岐阜県史 史料編近代一』1998
- ・『岐阜市史 通史編近世』1981、『岐阜市史 通史編近代』1981
- ・吉岡勲『本巣郡に於ける近世社会』1952、本巣郡教育研究所
- ・細川道夫「近世美濃国預所について」（『岐阜工業高等専門学校紀要』2、1967）
- ・堀浩太郎「明治初期小学校設立過程の一考察—岐阜県本巣郡長屋村の場合—」（『名古屋大学大学院教育学研究科教育学専攻 教育論叢』22、1978年度）
- ・清水昭男「糸貫町長屋神社の馬駆け祭り—疫病・災難除けを祈願する天王祭り—」（『岐阜県の祭りから』Ⅲ、2001、初出は1999～2000、一つ葉文庫）
- ・羽島知之編『「号外」明治史 Vol.1 1968-1912』『「号外」明治史 Vol.2 1968-1912』1997、大空社
- ・小林宗之「戦争と号外（1）—号外の誕生から日露戦争まで—」（『Core Ethics』8、2012、立命館大学大学院先端総合学術研究科）
- ・大島美津子「維新以後の村制度改革」（『明治国家と地域社会』1994、岩波書店）
- ・松沢裕作『「組合村」から「大区小区制」へ』（『明治地方自治体制の起源』2009、初出は2003、東京大学出版会）
- ・松沢裕作『町村合併から生まれた日本近代 明治の経験』2013、講談社



国土地理院発行の5万分の1地形図（大垣） 平成7年修正・平成8年発行

長屋村は、地図の上部の糸貫川右岸（根尾川左岸）に位置している（点線で囲まれた部分）。長屋村が含まれた戸籍区の村々（本巣郡36区カ、上真桑・下真桑・東早野・西早野・小弾正・中野・更屋敷・見延・文殊・法林寺・曾井中島・西秋沢村、次頁の表で太枠で囲った部分）、第7大区6小区の村々（文殊・法林寺・曾井中島・西秋沢村、次頁の表で網掛けの箇所）、明治17年（1884）の連合役場設置期の連合村（早野・七五三〈小弾正・中野・更屋敷村〉・見延村、次頁の表で網掛けの箇所）、市制及び町村制施行下の連合村（随原・有里・上高屋・数屋・石神・見延村、次頁の表で網掛けの箇所）も、周辺部に所在している。現行（2014年）の自治体名は次頁の表参照。

本巢郡長屋村及び関係村の行政区画変遷表

(『岐阜県の地名 日本歴史地名大系21』行政区画変遷・石高一覧をもとに一部抄出・加筆作成)

郡	天保郷帳 (1834) 町村名	石高	旧領名 (1868) * 1	戸籍区 (1871~2) * 2	大区小区 (1876)	地方行政区画 便覧 (1886)	市町村制施行 による町村名 (1889)	郡制施行に 伴う新村名 (1897)	現在 (1989)	現在 * 3		
本巢郡	上穂積村	861.439	大垣藩預所 (二番)	本巢郡39区	7 大区 2 小区	本巢郡	穂積村	穂積村	穂積村	瑞穂市		
	下穂積村	863.103						穂積村			穂積村	
	前野村	347.804						穂積村			穂積村	
	別府村	1414.587	本巢郡39区				別府村	別府村				
	上橋本村	365.686	名古屋藩				7 大区 1 小区	本巢郡			稲里村	稲里村
	柳一色村	280.79										稲里村
	祖父江村	674.52				祖父江村			祖父江村			
	牛牧村	1585.211		本巢郡38区		牛牧村			牛牧村			
	牛牧内野新田	188.903	大垣藩預所 (二番)			本巢郡	野田新田	野田新田	牛牧村			
	牛牧野田新田	352.47					野田新田	野田新田				
	野白新田	194.169					野白新田	野白新田				
	十九条村	660.078		本巢郡38区			十九条村	十九条村				
	只越村	847.82			7 大区 2 小区		只越村	只越村				
	下本田村	822.365			7 大区 1 小区		本田村	本田村				
上本田村	862.779	本巢郡38区			本田村		本田村					
生津村	816.967	本巢郡39区		7 大区 2 小区	生津村		生津村					
馬場村	632.529	笠松郡代支配所	7 大区 3 小区	馬場村	馬場村							
大野郡	宝江村	745.736	大垣藩		6 大区 20 小区	大野郡	宝江村	宝江村	本巢郡			
	横屋村	752.722						横屋村		横屋村		
	堤村	247.763						古橋村		古橋村		
	北脇村	756.908						中宮村		中宮村		
	中宮村	442.246						呂久村		呂久村		
	呂久村	592.32						大月村		大月村		
	大月村	457.71	大垣藩	6 大区 19 小区	大野郡	宮田村	宮田村	本巢郡				
	宮田村	603.036	大垣藩				唐栗村		唐栗村			
	唐栗村	432.79	徳永伊予守知行				田ノ上村		田ノ上村			
	田ノ上村	708.97	西尾錦三郎知行				森村		森村			
	森村	650.004	大垣藩	6 大区 18 小区	大野郡	居倉村	居倉村	川崎村				
	居倉村	749.503	青木九十郎知行			七崎村	七崎村					
	一木村	569.024	大垣藩預所(一番西)	6 大区 19 小区								
	東座倉村	160	西尾錦三郎知行									
三日市場村	147.5	津田興之助知行										
本巢郡	十五条村	567.245	大垣藩預所(一番西)	本巢郡40区	7 大区 3 小区	本巢郡	重里村	重里村	船木村			
	美江寺村	898.913					美江寺村	美江寺村				
	十七条村	1006	名古屋藩		7 大区 1 小区	本巢郡	十七条村	十七条村	北方町			
	十八条村	940.866	大垣藩預所(二番)	本巢郡38区				北方村		北方町		
	北方村	1515.6038	戸田主水知行・ 円鏡寺領	本巢郡37区	7 大区 4 小区	本巢郡	柱本村	柱本村				
	柱本村	452.227	磐城平藩		7 大区 3 小区		高屋村	高屋村				
高屋村	1141.967	本巢郡40区						生津村		北方町		
席田郡	加茂村	461.968	戸田主水知行		7 大区 10 小区	席田郡	加茂村	加茂村		席田村		
	芝原村	301.239	大垣藩預所(一番東)			席田郡	芝原村	芝原村				
本巢郡	上真桑村	1823.455	大垣藩預所(一番西)・ 八幡社領・外宮社領	本巢郡36区	7 大区 5 小区	本巢郡	上真桑村	上真桑村	真桑村			
	下真桑村	1479.236	大垣藩預所(一番西)・ 天満宮領				下真桑村	下真桑村				
	軽海村	916.567	磐城平藩		7 大区 3 小区	本巢郡	軽海村	軽海村				
	十四条村	687.928		本巢郡40区				十四条村		十四条村		

	宗慶村	545.666				宗慶村	宗慶村						
	小柿村	927.216				小柿村	小柿村						
大野郡	政田村	1788.19	大垣藩・野村藩・戸田三郎四郎知行		6大区18小区	政田村	政田村	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡
	国領村	325.833	大垣藩			国領村	国領村						
	浅木村	167.35	岩村藩			浅木村	浅木村						
	海老村	135.576	大垣藩		海老村	海老村							
	温井村	211.598	青木九十郎知行		温井村	温井村							
	福島村	306.41	大垣藩		下福島村	下福島村							
席田郡	仏生寺村	917.1829	戸田主水知行・春日社領		7大区10小区	仏生寺村	仏生寺村	席田郡	席田郡	席田郡	席田郡	席田郡	席田郡
	三橋村	811.7546	戸田主水知行			三橋村	三橋村						
	石原村	675.7494	笠松郡代支配所・戸田主水知行			石原村	石原村						
	郡府村	601.116	戸田主水知行			郡府村	郡府村						
	春近村	474.095	戸田主水知行			春近村	春近村						
	北野村	398.078	戸田銃五郎知行・伊勢神領・天満宮領			北野村	北野村						
上之保村	1113.82	大嶋喜八郎知行		上保村	上保村								
本巢郡	早野村(東・西)	665.726	大垣藩預所(一番西)	本巢郡36区(東早野村)	7大区5小区	早野村	早野村	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡
	小弾正村	267.259	大垣藩預所(一番西)・土岐左景大夫知行			七五三村	七五三村						
	中野村	192.242	土岐鎗吉知行										
	更屋敷村	286.792	大垣藩預所(一番西)・土岐鎗吉知行										
大野郡	南屋井村	706.595	大垣藩		6大区17小区	屋井村	屋井村	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡
	随原村	371.1357	岡田鏿之助知行			随原村	随原村						
	有里村	362.15	大垣藩			有里村	有里村						
	高屋村	898.633	大垣藩・岡田鏿之助知行・大福寺領			高屋村	上高屋村						
	数屋村	451.414	岡田鏿之助知行			数屋村	数屋村						
	石神村	375.327	大垣藩			石神村	石神村						
本巢郡	見延村(東・西)	1063.582	大垣藩預所(一番西)・松波平右衛門知行	本巢郡36区	7大区5小区	見延村	見延村	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡	本巢郡
	長屋村	862.624	大垣藩預所(一番西)	本巢郡36区	7大区6小区	長屋村	長屋村						
	文殊村	2228.432	戸田銃五郎知行	本巢郡36区		文殊村	文殊村						
	法林寺村	131.2				法林寺村	法林寺村						
	曾井村	1614.368	名古屋藩		曾井中島村	曾井中島村							
	山口村	521.219	大垣藩		山口村	山口村							
大野郡	島村	158.526	大垣藩預所(一番西)		6大区14小区	島村	清水村	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡	大野郡
	岐礼村	525.627		6大区9小区	岐礼村	岐礼村							
	高科村	330.483		6大区15小区	高科村	高科村							
	西方村	515		6大区12小区	西方村	豊木村							
	志名村	196.345		6大区14小区	志名村	松山村							
	大衣斐村	492.9015		6大区14小区	大衣斐村	大衣斐村							
	上磯村	805.31		6大区16小区	上磯村	上磯村							
方県郡	則松村	1258.888	大垣藩預所(一番東)		7大区13小区	則松村	網代村	方県郡	方県郡	方県郡	方県郡	方県郡	
雛倉村	588.929			雛倉村	雛倉村								
西秋沢村	583.837			西秋沢村	西秋沢村								

長屋村を含んだ大垣藩預所(一番西組)、戸籍区の本巢郡36区、第7大区6小区、連合役場設置期の連合村、市制及び町村制下での連合村などの村々や、自治体には網掛けをした。

*1 『岐阜県史 史料編近世一』所収の美濃・飛騨両国郡村旧高及所轄沿革取調帳を参照した。大垣藩預所の組合名(一番西・一番東・二番組)は、長屋家文書の明治323を参照した。/*2 長屋家文書の明治92・明治116より確認した。明治4年の本巢郡の戸籍区13か村は大枠で囲み、明治5年に戸籍区の戸長・副戸長がいた村は戸籍区(第36区~40区)を表記した。/*3 2014年現在の自治体名を入れた。

目 録

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	い1	美濃国本巢郡長屋村新田検地帳（写）	明和二酉年九月	1765	縦	1
	い2	美濃国本巢郡長屋村検地帳	安永六酉年十月	1777	縦	1
河	い3	方県郡河渡村荒地高反別小前帳	安政二年卯八月	1855	横長	1
	い4	名寄帳	寛政三年亥十二月	1791	縦	1
	ろ1	文化六巳年御膳別上納御勘定目録	（文化6～13年）	1809	縦	1
	ろ2	〔長屋村代々支配之覚・巳年御膳別上納御勘定目録など書付〕	（文化6～8年）	1809	横半	1
	ろ3	年々村方免割相場附并出役日記帳	文化八年未十二月ヨリ （～文政元年）	1811	横長	1
	ろ4	御年貢米掟小前勘定帳	天保九年戊戌八月ヨリ （～天保14年）	1838	横長	1
	ろ5	御年貢米小前勘定帳	天保九年戊戌八月ヨリ	1838	横長	1
	ろ6	《参番年々免割勘定帳》	天保12・11	1841		
	ろ7	大和・栄蔵高九升越違濟口為取替証文之写（大和所持畑、栄蔵へ質流れの処、その高9升間違いのまま去午年まで年貢など差出すにつき）	弘化四丁未年七月	1847	横半	1
	ろ8	辰御年貢米内納庭帳	安政三年十月日	1856	横長	1
	ろ9	寅ノ免割仮帳	慶応二年十二月	1866	横長	1
	ろ10	諸運上冥加納高其外取調書	慶応三年卯十月	1867	縦	1
	ろ11	御廻米押切帳	慶応三年卯十月	1867	横長	1
	ろ12	御蔵米庭帳	（慶応3年）卯十月ヨリ	1867	横長	1
	ろ13	御冥加献金名前帳（ノ金39両余）	慶応三丁卯年十一月	1867	横長	1
	ろ14	御蔵米振分帳	慶応三年卯十二月	1867	横長	1
	ろ15	卯免割仮帳	慶応三年十二月	1867	横長	1
	ろ16	《卯本途御年貢免割勘定帳》	慶応3・12	1867		
	ろ17	辰秋早稲方・晩稲方内見毛揃帳	慶応四年八月	1868	縦	1
	ろ18	安政五午年より慶応三卯年迄拾ヶ年御免状写（高862石6斗2升4合）	慶応四辰年八月	1868	縦	1
	ろ19	御年貢米小作未進帳	慶応四年丁卯十二月ヨリ	1868	横長	1
	ろ20	辰秋立毛平引帳	慶応四年	1868	横長	1
	ろ21	辰秋立毛乎引帳	慶応四年	1868	横長	1
	ろ22	辰秋立毛乎引帳	慶応四年	1868	横長	1
	ろ23	辰秋立毛乎引帳	慶応四年	1868	横長	1
	ろ24	辰秋立毛乎引帳	慶応四年	1868	横長	1
	ろ25	卯年御廻米御通（廻米498俵は一番船入り、廻米35俵は四番船入り、317俵は蔵揚げ）	（慶応3年カ）	1867	一紙 （包紙付）	1
	ろ26	辰年御廻米御通（廻米180俵は二番船入り、廻米317俵は五番船入り）	（慶応4年カ）	1868	一紙 （包紙付）	1
	ろ27	巳年御廻米御通（廻米164俵は二番船入り）	（明治2年カ）	1869	一紙 （包紙付）	1
	ろ28	巳御廻米一村限帳（ノ米3808俵3斗9升6合6夕）	（明治2年カ）十二月	1869	縦	1

作 成	受 取	備 考
御代官石原清左衛門印、手代中泉豊治印、牧野信八郎印、案内八郎右衛門、孫三郎、多郎兵衛、弥平次、九郎次、庄三郎、又左衛門		裏表紙「長屋村戸長 長屋八郎扣」、「表紙共紙数八枚 削字なし」とあり、『糸貫町史 史料編』pp. 191～193に収載
戸田采女正家来高田彦十郎印、同断堀田野右衛門印、同断松井元八印、同断五十川喜惣次印、同断大橋喜久次印、案内八郎右衛門印、同断平左衛門印、同断弥平次印		裏表紙「本巢郡長屋邸戸長 長屋八郎」、剥離紙あり、『糸貫町史 史料編』pp. 193～195に収載
方県郡河渡村百姓代宇右衛門、年寄助儀右衛門、年寄四郎右衛門、庄屋兼年寄忠左衛門、庄屋忠兵衛、同断長兵衛長屋弥平治扣	笠松御役所	破損あり、表紙付箋朱書「(印：白木) 第六十二号 二百八十三号」
		表紙「戸田采女正御預所」「平蔵印」、『糸貫町史 史料編』pp. 636～638に収載
		表紙「御歴代附御膳糺」「長屋景明(歌左衛門)」
		破損あり
支配預り歌左衛門扣		
支配預り長屋歌左衛門		
		現在所在不明
長屋村天王神主訴訟方高橋大和、同村庄屋相手方平治右衛門	松野茂一郎様、桑原金鋪様	表紙「歌左衛門扣」
長屋歌左衛門扣		
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋金八郎	大垣御預御役所	挿入紙あり、表紙「本巢郡長屋村」
長屋村		挿入紙あり
長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋金八郎	大垣御預御役所	破損あり、表紙「本巢郡長屋村扣」、『糸貫町史 史料編』pp. 548～549に収載
庄屋		
長屋村		
		現在所在不明
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断長屋八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)	御検見御奉行衆	挿入紙あり、表紙「本巢郡長屋村」
戸田采女正御預所本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)	駅通御役所	表紙「濃州本巢郡長屋村」
長卯蔵本		
小兵衛、喜左衛門、新平、清九郎		ろ20～ろ24は綴、表紙「壺番」「鎌田、ならの木」
治三郎、庄助		表紙「二番」「林分」
長屋歌左衛門、耕兵衛、壺左衛門		表紙「三番」「かけろふ」
喜藤二、藤十郎、徳右衛門		表紙「四番」「人宿り」
利左衛門、十右衛門		表紙「五番」「壺町ノ田」
小森房助(印)		ろ25・ろ26はこより紐一括、包紙「本巢郡長屋村」、表題は包紙より
安保貞次郎(印)、和田為助(印)		包紙「本巢郡長屋村」、表題は包紙より
丸井□太夫(印)		包紙「本巢郡長屋村」、表題は包紙より
大垣藩御預役所	上下村々惣代	表紙「郡中惣代」、美江寺村から島村まで18か村

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ29	辰秋晩稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ30	辰秋晩稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ31	辰秋晩稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ32	辰秋晩稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ33	辰秋晩稲方内見合附附(帳)	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ34	〔辰秋早稲方内見合附帳〕	(慶応4年8月ヵ)	1868	横長	1
	ろ35	辰秋早稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ36	辰秋早稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ37	辰秋早稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ38	辰秋早稲方内見合附帳	慶応四年八月	1868	横長	1
	ろ38-1	〔田方下見歩刈小前帳面〕	慶応四年辰四月	1868	横長	1
野	ろ39	安政六己未年御年貢米納通	安政六己未年	1859	横長 (袋共)	1
	ろ40	本免割(帳)			横長	1
木	ろ41	覚(納米帳)	(巳11~12月)		横長	1
	ろ42	覚(過納米の儀、郷蔵預りにつき)	寅四月		切紙	1
	は1	一札(脇百姓に取立ての処、家名唱え・上下着用にて郷例守り方の儀は差障り申さずにつき)	天保二年卯七月	1831	一紙	1
	は2	一札(頭分格に取立ての処、慎方一札通り慎み、そのほか郷例の儀は差障り申さずにつき)	天保二年卯七月	1831	一紙	1
	は3	《頭百姓に取立書》	天保2・7	1831		
	は4	一札(頭分格に取立ての処、慎方一札通り慎み、そのほか郷例の儀は差障り申さずにつき)	天保二年卯七月	1831	一紙	1
	は5-1	一札(頭分格に取立ての処、慎方一札通り慎み、そのほか郷例の儀は差障り申さずにつき)	天保二年卯七月	1831	一紙	1
	は5-2	〔頭分格取立ての処、慎方一札通り慎み、そのほか郷例の儀は差障り申さずにつき一札証文書留帳〕	(天保2年7月)	1831	縦	1
	は6	差出申一札之事(脇百姓に取立てにて、家作の儀などの3か条守るにつき)	天保二年卯七月	1831	一紙	1
	は7	差出申一札之事(脇百姓に取立てにて、家作の儀などの3か条守るにつき)	安政二卯年十一月	1855	一紙	1
	は8	差出申一札之事(天保2年頭分格に取立て慎み方一札差出し置きの処、今般慎み方一札差戻し頭分同格になるにつき)	安政二卯年十一月	1855	一紙	1
	は9	御引合之事(頭分格に取立てにて取替書面の通り取扱いの旨、立入人より頭分衆へ渡しにつき)	安政三辰年三月	1856	一紙	1
	は10	〔郷例勘弁差出一札書付〕	(安政3年7月)	1856	縦	1
	は11	郷例勘弁慎一札写	安政三辰年八月吉日	1856	縦	1
	は12	《郷例融通書面取遣本紙》	安政3・8	1856		
	は13	差出申一札之事(頭分格に取立てにて、組分け・井頭役の儀など慎み方5か条慎むにつき)	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は14	一札(身分取立て金15両のうち金7両2分は出金し残りは立入人へ任せ、身分取立て聞き届けにて頭分衆中へ不敬の儀毛頭無きにつき)	安政三辰年八月	1856	一紙	1

作 成	受 取	備 考
		ろ29～ろ33は綴、表紙「西壺番」「鎌田、ならの木」
		表紙「西式番」
		表紙「三番」「神下路」
		表紙「四番」「人宿り」
		表紙「東五番」
		ろ34～ろ38は綴、表紙なし
		表紙「西式番」
		表紙「三番」「神下路」
		表紙「四番」「人宿り」
		表紙「東五番」
長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、 同断長屋八郎左衛門、同断喜藤治	御検見御奉行衆	
名主勘吾(印)		袋「安政七庚申年二月日 未年御年貢米納通入 世十郎」、 挿入紙あり
		破損あり
庄屋	長屋歌左衛門様	
長屋村頭百姓長屋筑前(印)、可左衛門 (印)、篤左衛門(印)、平左衛門(印)、 立入人芦敷村庄屋平八(印)、同断下真 桑村庄屋治郎左衛門(印)	当村八平殿、太蔵殿、喜蔵殿、 善右衛門殿	
長屋村頭百姓長屋筑前(印)、可左衛門 (印)、平左衛門(印)、篤左衛門(印)、 立入人芦敷村庄屋平八(印)、同断下真 桑村庄屋治郎左衛門(印)	当村貫造殿	
		現在所在不明
長屋村頭百姓長屋筑前(印)、可左衛門 (印)、篤左衛門(印)、平左衛門(印)、 立入人芦敷村庄屋平八(印)、同断下真 桑村庄屋治郎左衛門(印)	当村丹蔵殿、篤平殿	
長屋村頭百姓長屋筑前(印)、同断可左 衛門(印)、同断篤左衛門(印)、同断平 左衛門(印)、立入人芦敷村庄屋平八 (印)、同断下真桑村庄屋治郎左衛門 (印)	当村茂蔵殿	
長屋村喜蔵(印)、善右衛門(印)、立入 人下真桑村庄屋治郎左衛門印、芦敷村 庄屋平八印	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛 門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、 耕兵衛殿	「下宿村嘉平次(印)、岩崎村庄屋俊司(印)」の奥書あ り
長屋村磯八、立入人下宿村嘉平治、右 同断岩崎村庄屋俊司		
源蔵、茂作、吉左衛門、篤平	頭分衆中	「向後分家之者は本家同格ニ御取計ひ」とあり
右(御立入人下宿村)嘉平治印、(御 立入人岩崎村御庄屋)俊司印	長屋村御頭分御惣代高橋秀吉 殿、長屋伊勢殿、治三郎殿、定 四郎殿、藤十郎殿、米之助殿、 庄助殿	
		表紙「郷例勘弁銘々より差出候書付案紙入」
長屋歌左衛門ひかへ		
		現在所在不明
長屋村才三郎(印)、立入人下宿村嘉平 次(印)、同断岩崎村俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛 門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、 耕兵衛殿	
長屋村才三郎(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛 門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、 耕兵衛殿	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	は15	一札（頭分格に取立ての処、差入れの慎み方一札の通り 慎み、その余の郷例は差障り申さずにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は16	差出申一札之事（天保2年に頭分格となり慎み方一札差 出しの処、今般、先般の慎み方一札差戻し、向後頭分と なり分家の節は本家同格に取計らいにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は17	差出申一札之事（天保2年に同姓の利左衛門外5人頭分 格となる処、此度頭分となり分家の節は本家同格に取計 らいにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は18	一札之事（拙者方の儀、先年子細有り絶交の処、和談整 い、向後頭分仲間になるにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は19	差出申一札之事（天保2年に頭分格となり慎み方一札差 出しの処、今般、先般の慎み方一札差戻し、向後頭分と なり分家の節は本家同格に取計らいにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は20	《頭百姓に取立書》	安政3・8	1856		
	は21	御引合之事（頭分に取立てになり取替書納得、立入人へ 一札差出しにて、一札の写しに奥印しお渡しにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は22	差出申一札之事（脇百姓に取立てにて、家作の儀などの 3か条守るにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は23	差出申一札之事（脇百姓に取立てにて、家作の儀などの 3か条守るにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は24	差出申一札之事（脇百姓に取立てにて、家作の儀などの 3か条守るにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は25	差出申一札之事（頭分に取立てにて、組分け・庄屋・井 頭役の儀など慎み方5か条慎むにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は26	差出申一札之事（頭分に取立てにて、組分け・庄屋・井 頭役の儀など慎み方5か条慎むにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は27	差出申一札之事（頭分に取立てにて、組分け・庄屋・井 頭役の儀など慎み方5か条慎むにつき）	安政三辰年八月	1856	一紙	1
	は28	御願申入候一札之事（喜蔵・善右衛門、郷例に差障り申 さざる儀、見逃しに預りたきにつき）	安政三辰年九月	1856	一紙	1
	は29	差出申一札之事（安政3年に頭分格となり組分け望まな き旨一札差出す処、このたび田中組庄屋立ち田中組付け になる儀、許容下さるにて郷例守るにつき）	慶応三年卯正月	1867	一紙	1
	は30	差出申一札之事（安政3年に頭分となり組分け望まな き旨一札差出す処、このたび田中組庄屋立ち田中組付け になる儀、許容下さるにて郷例守るにつき）	慶応三年卯正月	1867	一紙	1
	は31	〔頭分に取立てにて差出申一札・本巢郡長屋村牛頭天王 下済証文写〕	（天保2年7月）	1831	縦	1
	は32	差出申一札之事（天保2年に頭分格となり慎み方一札差 出しの処、今般、先般の慎み方一札差戻し、向後頭分と なり分家の節は本家同格に取計らいにつき）	（安政3年8月）	1856	一紙	1
	は33	乍恐返答書を以申上候（筵田郡上之保村より糸貫川辺長 屋村附きの河原の草芝訴訟にて、長屋村よりの証拠書付）	享保十五年戊正月	1730	一紙	1
	は34	差出申一札之事（筵田郡上之保村より本巢郡長屋村へ糸 貫川河原境争論、糸貫川中央を境にするよう仰せ付けに つき）	享保十五年戊六月十三日	1730	一紙	1
浅	は35	内阿原村郷境引合日記帳	安永六丁酉年三月廿七日	1777	縦	1
	は36	公用記 全（各役所への願書・請書など覚書）	（天明8年3月～弘化5 年正月）	1788	縦	1

作 成	受 取	備 考
長屋村頭分長屋伊勢(印)、歌左衛門(印)、篤左衛門(印)、喜藤治(印)、耕兵衛(印)、立入人下宿村嘉平次(印)、同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村栄藏殿、太市殿、清九郎殿、善助殿	
長屋村利左衛門(印)、藤右衛門(印)、丹治(印)、十右衛門(印)、猪左衛門(印)、逸治(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村与三右衛門(印)、文吾(印)、兵四郎(印)、清藏(印)、立入人下宿村嘉平次(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤次殿、耕兵衛殿	
長屋村平三郎(印)、立入人下宿村嘉平次(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村玄迪(印)、茂平(印)、立入人下宿村嘉平次(印)、同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
		現在所在不明
右(御立入人)嘉平治(印)、俊司(印)	長屋村長屋伊勢殿、歌左衛門殿、徳左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村藤平(印)、栄作(印)、立入人下宿村嘉平次(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村儀八(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村市右衛門(印)、周藏(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村半左衛門(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村茂七(印)、弥兵衛(印)、彦次郎(印)、三右衛門(印)、金左衛門(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	破損あり
長屋村猪兵衛(印)、繁右衛門(印)、立入人下宿村嘉平治(印)、右同断岩崎村庄屋俊司(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村栄藏(印)、清九郎(印)、太市(印)	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村才三郎(印)、立入人岩崎村庄屋俊司(印)、右同断見延村理右衛門(印)	当村御頭分長屋筑前殿、長屋歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
長屋村半左衛門(印)、立入人岩崎村庄屋俊司(印)、右同断見延村理右衛門(印)	当村御頭分長屋筑前殿、長屋歌左衛門殿、篤左衛門後家殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	
利左衛門外拾老二人連印	六姓七筋頭分衆中	
長屋村庄屋官助、同村年寄常五郎、同村同断宇平次、惣百姓代秀助	御奉行所様	破損あり、端裏貼紙「上保村ト河原境論一件」
訴訟方大島久左衛門知所美濃国莚田郡上之保村庄屋儀兵衛、同五郎右衛門、同藤右衛門、同与右衛門、同惣門、辻甚太郎御代官所同国本巢郡長屋村庄屋官助、年寄常五郎、百姓代秀助	御評定所	端裏貼紙「享保十五戊年六月 河原出入請証文本紙 戸田采女御預所濃州本巢郡長屋村」
		裏表紙見返し「長屋嘉左衛門扣」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	は37	御用留	(享和3年3月～文化2年5月)	1803	縦	1
	は38	天王修復田并諸入用差引勘定帳	文化十四丁丑年ヨリ弘化元甲辰年迄	1817	横長	1
	は39	乍恐以書付奉願上候(山口村地内一之井立会論出入裁許の一件の入用方の儀にて切通文殊役所へ取扱い願いたく添翰願ひにつき)	(文政12年) 丑十月	1829	一紙	1
	は40	御定法并諸回留書帳(神祇道御条目、関東御条目など写)	弘化二年巳三月吉日写	1845	縦	1
	は41	大和より之歎願書写(牛頭天王神主高橋大和より、牛頭天王社修復金料などの儀につき平左衛門・啓十郎ら一同吟味願ひにつき)	(弘化2年) 四月廿四日ニ出ス	1845	縦	1
	は42	一件要用書記(牛頭天王神主高橋大和より頭百姓への訴訟一件につき写)	弘化三丙午年五月日	1846	縦	1
	は43	[牛頭天王神主高橋大和より頭百姓への訴訟一件、双方争い示談行き届かず破談の旨など届書写]	(弘化3年6月27日)	1846	縦	1
	は44	一件要用書記(牛頭天王神主よりの出入関係書付など)	弘化三丙午年八月日	1846	縦	1
	は45	一件要用書記(牛頭天王神主よりの出入関係書付など)	弘化三丙午年九月日	1846	縦	1
	は46	一件要用書記(牛頭天王神主よりの出入関係書付など)	弘化三丙午年十月日	1846	縦	1
	は47	大和より掛り出入一件留(牛頭天王神主高橋大和よりの訴訟一件)	嘉永二己酉年正月吉日(～嘉永4年)	1849	縦	1
	は48	乍恐以書付奉願上候(神主大和より定四郎への論木一件、不実不法の趣申し掛け、一件に加わる直右衛門召出し吟味下されたきにつき)	(弘化2年) 巳四月	1845	縦	1
	は49	長屋村一件下済証文(牛頭天王神主高橋大和より長屋村庄屋などを相手取り訴訟の処、議定取極め熟談内済につき)	嘉永四亥年十二月	1851	縦	1
	は50	乍恐以書付奉願上候(牛頭天王神主よりの訴訟熟談の処、除地境界の儀につき)	(嘉永5年以降)	1852	縦	1
	は51	乍恐以書付奉願上候(牛頭天王神主よりの訴訟熟談の処、除地境界の儀につき)	(嘉永5年以降)	1852	縦	1
	は52	下済証文之事(牛頭天王神主高橋大和より長屋村庄屋などを相手取り訴訟の処、議定取極め熟談内済につき写)	(嘉永4年12月)	1851	縦	1
	は53	乍恐以書付奉願上候(牛頭天王神主よりの一件熟談し、除地境界取極めにて絵図面差下げ願ひの処、出入り書類評定書土蔵に納めるにて出府決心につき)	(嘉永5年以降)	1852	一紙	1
	は54-1	差出シ申取締一札之事(村方大酒・喧嘩・口論好む者など吟味の所、心得違ひの者多人数にて、当人・五人組を取締りにつき)	弘化三年午正月	1846	一紙	1
	は54-2	諸用記(牛頭天王社修復・祭礼・訴訟関係書付など)	弘化四未年五月日	1847	横半	1

作 成	受 取	備 考
		美濃方御領所のうち私領替地の件
セ話人治三郎		
長屋村庄屋平左衛門(印)、年寄啓十郎(印)、見延村庄屋平之丞(印)、同断八右衛門(印)、年寄治郎左衛門(印)、□定右衛門(印)	大垣御預御役所	破損あり、端裏「添状願 一札写添 長屋村・見延村」
長屋平左衛門控		
定四郎扣		
長屋元好控		
(戸田采女正御預所濃州本巢郡長屋村牛頭天王神主高橋大和、頭百姓周助外九人煩ニ付代兼庄屋平左衛門、年寄啓十郎死失ニ付弟治三郎、天王社司長屋伊勢煩ニ付代兼同人兄頭百姓篤左衛門)	(寺社御奉行所様)	
長屋元好控		付箋あり
長屋元好扣		
長屋元好扣		文久元年7月から翌年7月までのもの
年寄治三郎控		
長屋村頭百姓十老人惣代可左衛門、年寄定四郎、同断話十郎、庄屋平左衛門	大垣御預御役所	
訴訟方本巢郡長屋村牛頭天王神主高橋大和(印)、相手方同郡同村牛頭天王社司と申立候長屋伊勢(印)、牛頭天王末社金子神主高橋山城(印)、庄屋平左衛門(印)、年寄定四郎(印)、同断治三郎(印)、百姓代喜左衛門(印)、頭分歌左衛門(印)、同断藤三郎(印)、同断耕兵衛(印)、同断徳左衛門(印)、同断小兵衛(印)、同断周助(印)、同断又左衛門(印)、同断庄助(印)、同断鍋太郎(印)、脇百姓喜右衛門(印)、同断平助(印)、同断熊治(印)、下百姓庄右衛門(印)、同断富蔵(印)、春日一件惣代頭分格年寄利左衛門(印)、脇百姓兵四郎(印)、同断半左衛門(印)、同断治兵衛(印)、引合人頭分直右衛門(印)、同断千治郎(印)、頭分格玄迪(印)、同断利左衛門(印)、同断丹治(印)、同断喜左衛門(印)、同断藤右衛門(印)、同断茂蔵(印)、同断丹蔵(印)、同断篤平(印)、脇百姓格栄蔵(印)、同断太市(印)、同断喜蔵(印)、同断善右衛門(印)	御取嘆人安八郡下宿村御庄屋嘉平治殿、右同断方県郡岩崎村御庄屋俊司殿	「右嘉平次(印)、俊司(印)」の奥書あり
		破損あり、下書カ
本人磯八(印)、五人組辛右衛門(印)、同断藤蔵(印)、同断利平(印)、惣代歌左衛門(印)	御村役人衆中	り8と同内容カ
可左衛門扣		

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	は55	諸用留 (「十六日晴風有り…」)	弘化四丁未年七月十六日ヨリ (~10月9日)	1847	横半	1
	は56	乍恐以書付奉願上候(長屋村庄屋役の儀、年番勤めの処、心配にて私所持の高組分け支配願い、もしくは庄屋役見立て願ひにつき)	安政二卯年	1855	一紙	1
	は57	御引人之覚(去卯年中、村役人より高持者へ仕法取極め高懸り入用割の儀、小入用帳調印の旨承知につき)	安政三辰年九月	1856	一紙	1
	は58	御請申一札之事(牛頭天王神事の節、6月祭礼の御は神輿をかつぎ退転なく勤めにて今般家作の儀など勘弁に預りにつき)	安政三辰年 月	1856	一紙	1
	は59	御請申一札之事(牛頭天王神事の節、6月祭礼の御は神輿をかつぎ退転なく勤めにて今般家作の儀など勘弁に預りにつき)	安政三辰年	1856	縦	1
	は60-1	取究一札之事(長屋村の儀、弘化度以来長々出入りにより莫大の入用嵩み大借にて、10人の者より講相続金出金取極めにつき)	安政五年十二月	1858	一紙	1
	は60-2	取究一札之事(長屋村の儀、弘化度以来長々出入りにより莫大の入用嵩み大借にて、10人の者より講相続金出金取極めにつき)	安政五年十二月	1858	一紙	1
	は61	十月十六日垂井宿御本陣江差上ル歎願之下書(垂井宿助郷村難渋にて、長屋村へ代助郷組込みの儀、免除願ひにつき)	万延元年申十月	1860	縦	1
	は62	乍恐以書付再三御歎願奉申上候(長屋村の儀、往古より御料所の処、今般私領渡しの風聞ありて私領渡しにならないよう願ひにつき)	文久元酉年六月	1861	一紙	1
	は63	御替地一件二付江戸表歎願書下	文久元年酉六月	1861	縦	1
	は64	御用留	元治二年乙丑三月ヨリ (~慶応2年5月)	1865	横長	1
	は65	御用留	慶応二年丙寅五月朔日ヨリ慶応三丁卯年正月十日迄記之	1866	横長	1
	は66	御用留	慶応三年丁卯正月十一日ヨリ同年十一月十三日迄記之	1867	横長	1
	は67	御用留	慶応三歳十一月十四日ヨリ同四歳戊辰三月十日迄記之	1867	横長	1
浅	は68	御用御触留并諸願写	慶応三丁卯年 (~明治元年3月)	1867	横長	1
	は69	御用廻状留	慶応四年戊辰正月吉旦 (~12月)	1868	横長	1
	は70	御用留	慶応四年戊辰三月十日ヨリ明治二己巳年二月十四日迄記之	1868	横長	1
	は71	書類并道具請取帳	慶応二丙寅年十二月大晦日	1866	横半	1
	は72	内組分為取替書写(田中組庄屋1人立てるにて取計らい方引分け箇条守るにつき)	慶応三年卯正月	1867	縦	1
	は73	内組分為取替書(田中組庄屋1人立てるにて取計らい方引分け箇条守るにつき)	慶応三年卯正月	1867	縦	1
	は74	乍恐以書付奉願上候(高札3枚文字見え兼ねるにて書替願ひにつき)	慶応三年卯四月	1867	一紙	1
	は75	乍恐以書付奉申上候(組合村々の廻米残石分の件、御一新の折柄、石代納につき願書下書)	(明治2年)己正月	1869	一紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋元好		
本巢郡長屋村頭百姓歌左衛門	大垣御預御役所	挿入紙あり
長屋村神主秀吉	御立入人岩崎村俊司殿	
長屋村御神事之節警固式拾四人惣右衛門(印)、忠平(印)、芸蔵後家(印)、ほか21人	当村御頭分長屋伊勢殿、歌左衛門殿、篤左衛門殿、喜藤治殿、耕兵衛殿	「下宿村嘉平治(印)、岩崎村俊司(印)」の奥書あり
長屋村御神事之節警固式拾四人惣右衛門、忠平、芸蔵後家、ほか21人	当村御頭分誰殿	「下宿村嘉平次、岩崎村俊司」の奥書あり
藤十郎(印)、周助(印)、耕兵衛、小兵衛(印)、米之助(印)、伊勢(印)、庄助(印)、篤左衛門(印)、たみ(印)、又左衛門(印)		
藤重郎(印)、周助(印)、耕兵衛、小兵衛(印)、米之助(印)、伊勢(印)、庄助(印)、篤左衛門(印)、たみ(印)、又左衛門(印)		
戸田采女正御預所濃州本巢郡長屋村年寄利左衛門、同断治三郎、同断定四郎、庄屋喜藤治	後藤忠一郎様、森惣蔵様	
本巢郡長屋村百姓代喜左衛門、年寄利左衛門、同断治三郎、同断定四郎	大垣御預御役所	
長屋歌左衛門		
長屋村庄屋		近年の付箋貼付あり
長屋村庄屋		近年の付箋貼付あり
長屋村庄屋		近年の付箋貼付あり
長屋村庄屋		近年の付箋貼付あり
名主大橋富五郎		近年の付箋貼付あり
長屋氏扣		表紙「明治元年九月十七日改元」、近年の付箋貼付あり
庄屋所		表紙「明治元改元」、裏表紙「当番喜藤治」
庄屋長屋金八郎(印)		表紙「附り諸用留」
庄屋長屋金八郎、同断喜藤治、同断利左衛門、百姓代小兵衛、高持惣代治三郎、同断藤十郎、同断十右衛門、同断源三、同断栄蔵、同断五良右衛門		表紙「本巢郡長屋村」、「見延村庄屋理右衛門、岩崎村庄屋俊司」の奥書あり、付箋あり
庄屋長屋金八郎(印)、同断喜藤治(印)、同断利左衛門(印)、百姓代小兵衛(印)、高持惣代治三郎(印)、同断藤十郎(印)、同断十右衛門(印)、同断源蔵(印)、同断栄蔵(印)、同断五郎右衛門(印)		表紙「本巢郡長屋村」、「見延村庄屋理右衛門、岩崎村庄屋俊司」の奥書あり
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋金八郎	大垣御預御役所	
惣代上真桑村兵蔵、同断長屋村長屋歌左衛門	大垣御預御役所	端裏「式番」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	は76	乍恐以書付奉申上候（組合村々の廻米残石分の件、御一新の折柄、石代納につき願書下書）	（明治2年）巳正月	1869	一紙	1
	は77	乍恐以書付奉申上候（今般京地不容易の形勢にて殿様の上京心配にて見舞申し上げにつき）	（明治元年）辰正月	1868	一紙	1
	は78	乍恐以書付奉歎願候（御一新の折柄、預所村々の廻米の儀、諸雜費入用品々・御米欠石に至るまで桑名湊限りにて納済願につき）	（明治元年）辰十月	1868	一紙	1
	は79	〔川巾など書付図面〕			一紙	1
	は80	儉約ヶ條定			一紙	1
	は81	為取替一札之事（弘化2年の村方出入、嘉永5年熟談の処、入用出金の儀につき）			一紙	1
	は82	乍恐以書付奉願上候（源太夫義、年貢立替銀滞りにて庄屋より出訴の処、親類引請け出銀するにて出訴差し下げ願につき）			一紙	1
	は83	見延村ニ而日々勤書（身上がり一件、牛頭天王神主出入り一件などにつき）			縦	1
	は84	済口証文之下（牛頭天王神主出入り一件につき）			横半	1
	は85	証拠物留帳（牛頭天王神主出入り一件につき）			横半	1
	は86	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の義、昨辰年洪水などにて稀なる凶作により精米無きにて石代金納願につき）	（明治2年カ）	1869	縦	1
	は87	〔牛頭天王神主より出入り一件、相手方訴え書付〕			縦	1
	は88	乍恐以書付奉歎願候（御進発にて冥加献上金50両上納したきの処、金200両献金すべき旨申し聞き上納難渋至極につき）	（慶応元年）丑六月	1865	一紙	1
	は89	〔長屋村絵図〕	（幕末～明治）		絵図	1
	は90	〔濃州本巢郡長屋村絵図〕	天保九戊戌年閏四月	1838	絵図	1
	に1	村方身上り一件ニ付諸雜用方江引当金残り割付帳	天保二年卯十二月	1831	横半	1
河	に2①	去卯十一月朔日より当辰五月晦日迄会所小役割賦帳	天保三年辰六月日	1832	縦	1
河	に2②	濃勢州村々去々寅出張所入用帳	天保三年辰六月	1832	縦	1
河	に2③	御膳・御廻糶余荷米一村限帳	天保二卯年	1831	縦	1
河	に2④	去卯濃州御糶米納入用御割賦帳	天保三年辰六月	1832	縦	1
野	に3	御鋤林并新割山上木雜費帳	嘉永二己酉年正月日	1849	横長	1
	に4	連中割賦帳	嘉永五子年八月吉日	1852	横長	1
	に5	村入用金通	安政五戊午年正月吉日	1858	横半	1
	に6	午年御払米駄附帳	安政五年九月	1858	横半	1
	に7	村方下用帳	安政五午年	1858	横半	1
	に8	村法諸入用割賦帳	万延元庚申年十二月日	1860	横長	1
	に9	三ヶ年賦拝借金振入帳	万延元年申十二月	1860	横長	1
	に9-1	〔金銭・人名書付〕			横長	1
	に9-2	おほへ（金銭・人名書付）			横長	1
	に9-3	覚（金銭・人名書付）			一紙	1
	に9-4	〔金銭札〕			切紙	1
	に10	三ヶ年賦拝借金振入帳	万延元年申十二月	1860	横長	1
	に10-1	〔金銭・人名書付〕			横長	1
	に11	文久元辛酉年安藤対馬守御換地之儀ニ付出府歎願中入費并住返小入用とも諸取替差引勘定仕訳書	文久元辛酉年	1861	横半	1
	に12	庄屋前勘定帳	文久元年酉極月	1861	横半	1

作 成	受 取	備 考
惣代上真桑村兵藏、同断長屋村長屋歌左衛門	大垣御預御役所	端裏「三番」
長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門、同断喜藤治(印)、同断長屋金八郎(印)、長屋歌左衛門(印)	大垣御預御役所	
郡中惣代松村早野常右衛門(印)、楡保村棚橋五郎太夫(印)、牛牧村説田文藏(印)、則松村儀左衛門(印)、鏡嶋村常右衛門(印)、下真桑村三之丞(印)、早野村半助(印)、直江村休三郎(印)、上穂積村惣四郎(印)、表佐村庄左衛門(印)、下宿村嘉兵衛(印)、垂井村松兵衛(印)	大垣御預御役所	端裏「郡中惣代」
		2枚重ね折
一同連印		
長屋村願主庄屋喜藤治、同断八郎左衛門、高橋源太夫、親類為弥、同断長三郎	大垣御藩御預御役所	
歌左衛門扣		綴じ紐切れ
右(戸田采女正殿御預所村々惣代本巢郡長屋村庄屋)歌左衛門、(同郡上真桑村庄屋)兵藏		
		破損あり
長屋村長屋歌左衛門、親類庄屋喜藤治	大垣御預御役所	
		91.8×74.0cm、一部分、「四番」とあり
濃州本巢郡長屋村庄屋平左衛門、年寄啓十郎、同断利左衛門、同断定四郎、百姓代喜左衛門		60.2×42.0cm、「村高八百六拾貳石六斗貳升四合」「御巡見二付大垣御預所御役所差上ル扣」「村扣」とあり、口絵参照
長屋可(歌)左衛門		大和方代々地藏院過去帳之写、八王子神主免許之写、美濃明細記、春日明神修覆田高附之事の書付あり
方県郡・葦田郡惣代庄屋忠兵衛扣、忠左衛門扣		に2①~④は綴
		破損あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり
		裏表紙「庄屋治三郎(印)」
元種		破損あり
歌左衛門扣		
		破損大、結び文2通あり
		に9・に10は綴、表紙「角組」
		「西田中 東田中」とあり
		5点あり
		表紙「瀬古組」
長屋歌左衛門		
長屋歌左衛門(印)		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	に13	濃州本巢郡長屋村丑年小入用帳	元治二年丑正月	1865	横長	1
	に14	寅年暮勘定帳	(寅年)		横長	1
	に15	御用人馬継立并木銭米代留帳	慶応三年卯正月吉日	1867	横半	1
	に16	年内村方小入用月々帳	慶応三年丁卯正月ヨリ	1867	横長	1
	に17	卯御蔵米買納勘定帳	慶応三年十二月	1867	横長	1
	に18	卯十二月割賦取立帳	慶応三年同十二月より辰十二月迄	1867	横長	1
	に19	卯御用人足夫割帳	慶応三年十二月	1867	横長	1
	に20	年内村方下用帳	慶応三年丁卯正月吉日	1867	横長	1
	に21	熱田笠松御蔵番給扶持米代割賦触	辰十二月十四日		切紙	1
	に22	人足賃銭帳	巳二月		横半	1
	に23	濃州村々御年貢津出シ川船賃米仕訳書	辰十月		一紙	1
	に24	覚(18か村の田方廻米辻書付)			一紙	1
	に25	年内下用并小買物帳			横長	1
	に26	覚(下用など書付)	(明治元年)辰十二月	1868	横長	1
	に27	他借金利足	巳十一月		一紙	1
	に28	郷借金利足	午十一月		一紙	1
	に29	他借金利足	未十一月		一紙	1
	に30	他借金利足	申十二月		一紙	1
	に31	[下用帳]			横長	1
	に32	覚(銀12両、廻米納所出張支度につき)	十一月廿二日		一紙	1
	ほ1	人別増減差引帳	弘化五年申三月	1848	縦	1
	ほ2	人別増減差引帳	万延二年酉三月	1861	縦	1
	ほ3	人別増減差引帳	万延二年酉三月	1861	縦	1
	ほ4	人別増減差引帳	慶応三年卯三月	1867	縦	1
	ほ5	《五人組御仕置帳》	安政5	1858		
	ほ6	五人組御仕置帳	慶応三年卯三月	1867	縦	1
	ほ7	五人組御仕置帳	慶応四年辰三月	1868	縦	1
	ほ8	当酉宗門人別御改帳	万延二酉年三月	1861	縦	1
	ほ9	宗門人別御改帳	文久二年戌三月	1862	縦	1
	ほ10	宗門人別御改帳	文久三年亥三月	1863	縦	1
	ほ11	宗門人別御改帳	文久四年子三月	1864	縦	1
	ほ12	宗門人別御改帳	元治貳年丑三月	1865	縦	1
	ほ13	宗門人別御改帳	慶応三年卯三月	1867	縦	1
	ほ14	宗門人別御改帳	慶応四年辰三月	1868	縦	1
	ほ14-1	西本願寺宗門人別御改帳	明治二年巳三月	1869	縦	1
木	ほ15	[方県郡木田村西本願寺宗門人別改帳]			縦	1

作 成	受 取	備 考
濃州本巢郡長屋村百姓代喜左衛門(印)、年寄政助(印)、同断利左衛門(印)、同断治三郎(印)、庄屋喜藤治(印)		
長屋村庄屋		
庄屋長屋金八郎(印)		綴じ紐切れ、付箋貼り付け、月ごとに村役人・高持惣代の印あり、『糸貫町史 史料編』pp. 555～576に収載
庄屋		綴じ紐に書付添付（慶応三年丁卯冬御蔵米勘定）
庄屋		表紙「取替物元利ノ」
長屋村庄屋長屋金八郎		
庄屋長屋金八郎		綴じ紐に書付添付（人足数・人名など書付）
大垣御預役所	上下村々惣代	
中山道美江寺宿		
八郎		
御宿屋又兵衛	真桑村安藤三之丞様、中嶋半助様	
		に27～に30は綴
		破損あり、結び文あり
猪俣十平(印)		
濃州本巢郡長屋村扣		『糸貫町史 史料編』pp. 530～532に収載
本巢郡長屋村年寄利左衛門、同断治三郎、同断定四郎、庄屋喜藤治	大垣御預御役所	破損あり、表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村年寄利左衛門、同断治三郎、同断定四郎、庄屋喜藤治	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村扣」
本巢郡長屋村庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断長屋金八郎(印)	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村」
		現在所在不明
本巢郡長屋村庄屋長屋金八郎(印)、同断喜藤治(印)、同断利左衛門(印)、治三郎(印)、定四郎後家(印)、元淳(印)、(以下123名の連印省略)	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村庄屋長屋八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断利左衛門(印)、治三郎(印)、角之助(印)、元朔(印)、(以下124名の連印省略)	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村」
美濃国本巢郡長屋村長屋歌左衛門 平景明(花押)	大垣御預御役所	表紙「文久元年三月」、『糸貫町史 史料編』pp. 522～523に収載
美濃国本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
美濃国本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
濃州本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
濃州本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
濃州本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
濃州本巢郡長屋村長屋歌左衛門(印)(花押)	大垣御預御役所	
濃州本巢郡長屋村庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)		付箋あり
		破損あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ほ16	奉公人御請状之事（11月20日まで奉公にて給金1両余受取につき）	文久二年戊四月二日	1862	一紙	1
	ほ17	奉公人御請状之事（来11月23日まで奉公にて給金2両余受取につき）	文久二年戊十二月	1862	一紙	1
	ほ18	奉公人御請状之事（来11月23日まで奉公にて給金2両余受取につき）	元治二年丑正月	1865	一紙	1
	ほ19	奉公人御請状之事（来12月8日まで奉公にて給金1両余受取につき）	慶応貳年寅正月廿一日	1866	一紙	1
	ほ20	奉公人御請状之事（来卯11月23日まで奉公にて給金3両余受取につき）	慶応貳年寅十二月	1866	一紙	1
	ほ21	奉公人御請状之事（来卯11月23日まで奉公にて給金6両余受取につき）	慶応貳年寅十二月	1866	一紙	1
	ほ22-1	奉公人御請状之事（来辰11月23日まで奉公にて給金3両受取につき）	慶応三年卯十二月	1867	一紙	1
	ほ22-2	奉公人御請状之事（来辰11月23日まで奉公にて給金3両余受取につき）	慶応三年卯十二月	1867	一紙	1
	ほ23	奉公人御請状之事（来甲戌1月23日まで奉公にて給金5両余受取につき）	明治六年癸酉一月	1873	一紙	1
	ほ24	奉公人御請状之事（来辰11月23日まで奉公にて給金6両余受取につき）	卯十二月		一紙	1
	ほ25	古郷送証文之事（長屋村林蔵倅九右衛門、生津村喜内方へ養子につき）	天保十二年丑閏正月日	1841	一紙	1
	ほ26	古郷送り証文之事（本巢郡小弾正村福応寺娘たき、長屋村直右衛門方へ養女につき）	嘉永七甲寅二月六日	1854	一紙	1
	ほ27	古郷送り証文之事（大野郡宝江新入方由弥孫すて、長屋村熊治方へ養女につき）	安政三丙辰年二月	1856	一紙	1
	ほ28	古郷送り証文之事（厚見郡御茶屋新田村常三郎娘みき、長屋村十右衛門方へ縁付けにつき）	安政五年午正月	1858	一紙	1
	ほ29	古郷送証文之事（大野郡高屋入方柳蔵娘すて、長屋村清右衛門方へ縁付けにつき）	安政五戊午年正月	1858	一紙	1
	ほ30	古郷送り証文之事（大野郡隋原村惣兵衛娘たひ、長屋村千代八後内方へ養女につき）	安政五年午正月	1858	一紙	1
	ほ31	古郷送証文之事（武儀郡八幡村左門娘みせ、長屋村為弥方へ縁付けにつき）	安政五年午正月日	1858	一紙	1
	ほ32	古郷送り証文之事（大野郡石神村儀八娘らい、長屋村文左衛門方へ縁付けにつき）	安政五戊午年三月	1858	一紙	1
	ほ33	古郷送証文之事（大野郡高屋村三蔵娘ちへ、長屋村忠平方へ縁付けにつき）	安政五戊午年五月	1858	一紙	1
	ほ34	古郷送り証文之事（方県郡御望村与吉娘りを、長屋村代蔵方へ縁付けにつき）	安政六年未正月	1859	一紙	1
	ほ35	古郷送り証文之事（大野郡温井村権八郎娘はま、長屋村藤十郎方へ縁付けにつき）	安政六己未年正月日	1859	一紙	1
	ほ36	古郷送り証文之事（本巢郡早野村新三郎娘おいせ、長屋村市右衛門方へ縁付けにつき）	安政七申年正月	1860	一紙	1
	ほ37	古郷送り証文之事（本巢郡見延村安兵衛倅勘助、長屋村直右衛門方へ養子につき）	安政七年申二月	1860	一紙	1
	ほ38	古郷送証文之事（本巢郡曾井中島村作左衛門娘こう、長屋村栄助方へ縁付けにつき）	万延元申三月	1860	一紙	1
	ほ39	古郷送り証文之事（本巢郡木知原村忠右衛門姉さた、長屋村善平方へ縁付けにつき）	万延二辛酉年正月	1861	一紙	1
	ほ40	古郷送り証文之事（席田郡上之保村彦三郎娘つる、長屋村為蔵方へ縁付けにつき）	万延二年酉正月	1861	一紙	1

作 成	受 取	備 考
大野郡高屋村奉公人親彦助(印)、同郡同村請人為七(印)	本巢郡長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
山口村奉公人親和蔵(印)、同村請人清助(印)	長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
大野郡更地村本人弟源八(印)、同村請人政吉(印)	本巢郡長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
本巢郡曾井村奉公人親九右衛門、同郡同村請人治助	長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
本巢郡文殊村本人親今助(印)、同請人新右衛門(印)	長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
本巢郡曾井村奉公人本人喜助(印)、同請人領七(印)	長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
大野郡高屋村奉公人親丹蔵(印)、同郡同村請人嘉左衛門(印)	本巢郡長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
大野郡高屋村奉公人親清助(印)、同郡同村請人円蔵(印)	本巢郡長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
大野郡高屋村奉公人親栄蔵(印)、同郡同村請人安蔵(印)	本巢郡長屋村御主人長屋平馬殿	
本巢郡曾井村本人喜助(印)、当人親兼帶証人祐右衛門(印)	長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
戸田采女正御預所本巢郡長屋村親林蔵(印)、年寄定四郎(印)、庄屋平左衛門(印)	本巢郡生津村御庄屋助之丞殿	端裏朱書「九右衛門」、文久3年、生津村庄屋・年寄から九右衛門差戻しの次添書あり
本巢郡小弾正村本人親御除地福応寺(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏貼紙朱書「直右衛門娘」
大野郡宝江新入方本人親由松(印)、同郡同村附名主五郎兵衛(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「熊治娘」
永井肥前守知行所厚見郡御茶屋新田村本人親常三郎(印)、庄屋平兵衛(印)、同断文右衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「十右衛門女房」
戸田左門領分大野郡高屋入方本人親柳蔵(印)、同村名主庄六(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「清右衛門女房」
大野郡随原村本人親惣兵衛(印)、同村年寄帳元安兵衛(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中様	端裏「千代八後家養女」、『糸貫町史 史料編』p.534に収載
岩田鉄三郎支配所武儀郡八幡村左門(印)、右村親類忠蔵(印)、同村庄屋清右衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・年寄衆中	破損あり、端裏「為弥女房」
戸田采女正領分大野郡石神村本人親儀八(印)、同村五人組頭嘉十郎(印)、同村名主青木理兵衛(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	破損あり、端裏「文左衛門女房」、『糸貫町史 史料編』pp.533~534に収載
戸田采女正領分大野郡高屋村本人親三蔵(印)、五人組頭周助(印)、名主古田平右衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「忠平女房」
松平隼之丞知行所方県郡御望村本人親与吉、組頭左伝次(印)、庄屋郷捨九郎(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「代蔵」
青木孫太郎知行所大野郡温井村本人親権八郎(印)、年寄平右衛門(印)、庄屋温井常蔵(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏朱書「藤十郎女房」
戸田采女正御預所本巢郡早野村本人親新三郎(印)、庄屋三左衛門(印)、年寄代升(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「市右衛門」
松波平右衛門知行所本巢郡見延村庄屋庄左衛門(印)、組頭嘉十郎(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏朱書「勘助」
尾州御領本巢郡曾井中島村本人親作左衛門(印)、同村庄屋高橋兵左衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「永助女房」
戸田采女正領分本巢郡木知原村本人兄忠右衛門(印)、同郡同村御百姓代武左衛門(印)、同郡同村五人組頭与三右衛門(印)、同郡同村名主名和九平次(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「善平女房」
大島雲四郎知行所席田郡上之保村本人親彦三郎(印)、年寄孝平(印)、庄屋堀口健輔(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏朱書「為蔵女房」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ほ41	古郷送り証文之事（本巢郡山口村十六娘すへ、長屋村和平方へ縁付けにつき）	万延二辛酉年正月	1861	一紙	1
	ほ42	古郷送り証文之事（方県郡上西郷村柳助娘よふ、長屋村佐五平方へ縁付けにつき）	万延二年酉正月	1861	一紙	1
	ほ43	古郷送り証文之事（本巢郡宗慶村清十郎妹うめ、長屋村利平方へ縁付けにつき）	万延貳年酉正月	1861	一紙	1
	ほ44	古郷送り一札之事（本巢郡曾井村七右衛門妹けい、長屋村為右衛門方へ縁付けにつき）	文久二年戌正月	1862	一紙	1
	ほ45	古郷送り一札之事（本巢郡北方両町地方孫次後家すて、長屋村金助方へ懸り人に遣わずにつき）	文久二壬戌年二月	1862	一紙	1
	ほ46	古郷送り一札之事（方県郡上西郷村忠蔵娘そよ、長屋村八平へ縁付けにつき）	文久二戌年二月日	1862	一紙	1
	ほ47	古郷送り証文之事（方県郡則松村伊兵衛娘こせん、長屋村藤七方へ縁付けにつき）	文久三年亥正月	1863	一紙	1
	ほ48	願書（長屋村岩蔵娘、西早野村兵治方へ縁付けの処、離縁にて長屋村人別帳へ載せるようお願いにつき）	文久四甲子年正月	1864	一紙	1
	ほ49	古郷送り証文之事（厚見郡近嶋村三右衛門娘すま、長屋村武右衛門方へ縁付けにつき）	文久四年子二月	1864	一紙	1
	ほ50	預ヶ一札之事（長屋村惣七・助蔵家は光沢寺檀那の処、後住の儀にて差入組により、後住定まるまで2軒家内の者を円勝寺へ預けにつき）	慶応元乙丑年八月	1865	一紙	1
	ほ51	差出申一札之事（長屋村2軒家内共一同、光沢寺門徒の処、後住の義にて差入組により円勝寺預るにつき）	慶応元乙丑年八月	1865	一紙	1
	ほ52	宗門送一札之事（武儀郡片知村谷戸組甚右衛門娘ひな、長屋村久助方へ縁付けにつき）	慶応三年卯二月	1867	一紙	1
	ほ53	古郷送り一札之事（大野郡赤石村たか妹はな、長屋村治八方へ縁付けにつき）	慶応三丁卯二月	1867	一紙	1
	ほ54	古郷送り証文之事（方県郡鷲山村庄蔵娘みを、長屋村百姓次郎平方へ縁付けにつき）	慶応四辰二月	1868	一紙	1
	ほ55	古郷送り証文之事（方県郡黒野村喜八娘つる、長屋村松助方へ縁付けにつき）	明治元年巳五月	1868	一紙	1
	ほ56	村送一札之事（大野郡温井村百姓権八郎娘たい、長屋村新九郎へ縁付けにつき）	明治二己巳年二月日	1869	一紙	1
	ほ57	送一札之事（御園町半兵衛、長屋村方より養子に縁付けの処、離縁にて長屋村方清帳に書載願につき）	明治二年巳三月	1869	一紙	1
	ほ58	古郷送り証文之事（上真桑村乗泉寺娘けん、長屋村常德寺へ縁付けにつき）	明治二年巳三月	1869	一紙	1
	ほ59	古郷送り証文之事（方県郡黒野村与右衛門娘しも、長屋村幸三郎方へ縁付けにつき）	明治二年巳三月	1869	一紙	1
	ほ60	古郷送り証文之事（武儀郡関村納土町定蔵娘まつ、長屋村金兵衛方へ縁付けにつき）	明治二年巳三月	1869	一紙	1
	ほ61	古郷送り証文之事（筵田郡三ツ橋村清松伯母、長屋村長右衛門方へ縁付けにつき）	明治二己巳年五月	1869	一紙	1
	ほ62	古郷送り一札之事（筵田郡福田地村市右衛門女房、長屋村より縁付けの処、不縁にて長屋村方帳面に書載願につき）	明治二己巳年五月	1869	一紙	1
	ほ63	古郷送証文之事（山県郡小倉村宇助娘けひ、長屋村進助方へ縁付けにつき）	明治二巳年五月	1869	一紙	1
	ほ64	古郷送り証文之事（大野郡黒野村張蔵娘まつ、長屋村伊八方へ縁付けにつき）	明治二己巳年五月	1869	一紙	1
	ほ65	古郷送り証文之事（方県郡上西郷村要蔵娘あさの、長屋村柳助方へ縁付けにつき）	明治二巳年五月日	1869	一紙	1

作 成	受 取	備 考
本巢郡山口村本人親十六(印)、御百姓代十右衛門(印)、五人組頭源吾(印)、名主筑間仙右衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏朱書「和平女房」
戸田孫十郎知行所方県郡上西郷村本人親柳助(印)、組頭要助(印)、庄屋勘左衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「左五平女房」
安藤対馬守御領分本巢郡宗慶村本人兄清十郎(印)、年寄民之丞(印)、庄屋国崎慶十郎(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「利平女房」
尾州御領本巢郡曾井村本人兄七右衛門(印)、同親類宗右衛門(印)、組頭青木佐左衛門(印)、庄屋青木右藤次(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中・御年寄衆中	端裏「為右衛門女房」
右(本巢郡北方両町)村庄屋利右衛門(印)	長屋村御庄屋御衆中	端裏「金助□懸り人二成」
戸田孫十郎知行所方県郡上西郷村東組親忠蔵(印)、同村庄屋清左衛門(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	端裏朱書「八平女房」
戸田采女正御預所方県郡則松村本人親伊兵衛(印)、年寄忠左衛門(印)、庄屋儀左衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
本巢郡西早野村庄屋三左衛門(印)	長屋村御村役人中	
厚見郡近嶋村百姓代嘉兵衛(印)、年寄喜太夫(印)、庄屋藤井甚左衛門(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
大野郡寺内村光沢寺義音、同寺壇那惣七印、同断同断助蔵印	金原村円勝寺殿	
金原村円勝寺(印)	寺内村光沢寺殿、同寺壇那惣七殿、助蔵殿	
右(武儀郡片知)村親甚右衛門(印)、親類治兵衛(印)、庄屋新兵衛(印)	本巢郡長屋村御庄屋所	
赤石村親元たか(印)、同村庄屋専右衛門(印)、同村同断孫助(印)	戸田采(女)正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
方県郡鷲山村本人親庄蔵(印)、年寄義左衛門(印)、庄屋陸左衛門(印)	戸田采女正御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
方県郡黒野村本人親喜八(印)、年寄又右衛門(印)、庄屋利左衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	端裏「松助女房」
青木九十郎領知大野郡温井村百姓代佐平(印)、右同断同郡同村年寄林内(印)、右同断同郡同村庄屋隼之助(印)	大垣御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	
永井肥前守領分厚見郡御園町頭棚橋吉郎兵衛(印)、年寄田中新兵衛(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「古郷返り 半平」
戸田采女正御預所本巢郡上真桑村本人親乘泉寺(印)、年寄記市(印)、庄屋理太郎(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
笠松県長谷部甚平御支配所方県郡黒野村親与右衛門(印)、年寄又右衛門(印)、庄屋利左衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
武儀郡関村納土町本人親定蔵(印)、町代勝次(印)、庄屋河村彦十郎(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中様	端裏「金兵衛女房」
蕨田郡三橋村本人甥清松(印)、年寄浚三郎(印)、同断清六(印)、庄屋八郎左衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「長右衛門女房」
蕨田郡福田地村与頭仙三(印)、庄屋八郎左衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
山県郡小倉村本人親宇助(印)、百姓代秀之助(印)、年寄宗太郎(印)、同請元存治郎(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「進助女房」
戸田采女正様御領分大野郡黒野村五人組頭領助(印)、同郡同村名主鑄太郎(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	端裏「伊八女房」
方県郡上西郷村庄屋遠山治左衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「柳助女房」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ほ66	古郷送証文之事（方県郡上尻毛村兵藏娘たか、長屋村増次方へ縁付けにつき）	明次（治）二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ67	古郷送り証文之事（春日井郡西堀江村とせ、長屋村宇吉方へ縁付けにつき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ68	古郷送り証文之事（本巢郡北方俵町兵吉妹とく、長屋村長三郎方へ縁付けにつき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ69	古郷送り証文之事（本巢郡曾井村青木春高弟禎助、長屋村惣左衛門方へ養子につき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ70	一札之事（長屋村桃林寺へ東光寺弟子義要看坊に遣わす処、多年勤めにて住職として寺役勤め取計らいにつき）	明治二年己巳五月日	1869	一紙	1
	ほ71	古郷送り手形之事（本巢郡長屋村善助娘たつ、上西郷村源左衛門方へ縁付けにつき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ72	宗門寺送一札（曾井中島村鷹助弟嘉兵衛、長屋村玄啓方の新宅相続方へ養子にて寺替えにつき）	明治二巳年五月	1869	一紙	1
	ほ73	古郷送り証文之事（方県郡中西郷村半左衛門娘さた、長屋村宗左衛門方へ縁付けにつき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ74	宗門寺手形之事（大野郡長楯村九左衛門弟長右衛門、長屋村熊治方へ養子につき）	明治二巳五月	1869	一紙	1
	ほ75	古郷送り証文之事（本巢郡曾井中島村鷹助弟嘉兵衛、長屋村玄啓方へ養子につき）	明治二年巳五月	1869	一紙	1
	ほ76	古郷送り証文之事（本巢郡曾井中島村治八娘いち、長屋村勝平方へ縁付けにつき）	明治三年三月十七日	1870	一紙	1
	ほ77	古郷送り証文之事（厚見郡御園町千草次兵衛倅鉄吉、長屋村半平方へ養子につき）	明治三年午三月	1870	一紙	1
	ほ78	故郷送り証文之事（長屋村筑前方へ厚見郡江崎村清次郎妹じゅう縁付け、じゅう母懸り人につき）	明治三庚午三月	1870	一紙	1
	ほ79	古郷送証文之事（厚見郡東島村林藏後家、長屋村代助妻に縁付けにつき）	明治三年八月	1870	一紙	1
	ほ80	古郷送り証文之事（大野郡黒野村治兵衛娘おみな、長屋村常三郎方へ縁付けにつき）	明治四辛未年四月	1871	一紙	1
	ほ81	送書之事（山県葛原村大西為三郎、長屋村高橋用藏方へ養子につき）	明治五壬申年 月	1872	一紙	1
	ほ82	古郷送り証文之事（雛形）	年号月日		一紙	1
	ほ83	宗門寺手形之事（雛形）	年号月日		一紙	1
	ほ84	古郷送り証文之事（雛形）	年号月日		一紙	1
	ほ85	覚（村々の宗門人別御改帳取調べ差上げにつき）	（明治2年）巳六月	1869	切紙	1
	ほ86	〔当組合宗門御判、例年のごとく美江寺宿にて御改めにて印形持参し出勤につき廻章〕	（明治2年）巳六月十四日	1869	一紙 （包紙付）	1
	ほ87	〔当組合宗門御判、例年のごとく美江寺宿にて御改めにて印形持参し出勤につき廻章〕	（明治2年）巳六月十四日	1869	一紙 （包紙付）	1
	ほ88	〔当組合宗門御判、例年のごとく美江寺宿にて御改めにて印形持参し出勤につき廻章〕	（明治2年）巳六月十四日	1869	一紙 （包紙付）	1

作 成	受 取	備 考
方県郡上尻毛村たか親兵藏(印)、年寄助作(印)、庄屋秋助(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「増治女房」
春日井郡西堀江村本人兄清六(印)、組頭要蔵(印)、庄屋伊八(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「宇吉女房」
本巢郡□北方俵町本人兵吉(印)、同郡同断親類嘉左衛門(印)、同郡同断町頭織右衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	端裏「長三郎女房」
尾州御領本巢郡曾井村兄青木春高(印)、組頭青木伝左衛門(印)、庄屋青木右藤太(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
山県郡掛ヶ村東光寺(印)、毒湛(花押)	本巢郡長屋村御庄屋・御同役衆中	
戸田采女正御預所本巢郡長屋村年寄喜藤治(印)、庄屋八郎左衛門(印)	笠松県御支配戸田銃五郎様御知行所方県郡上西郷村御役人中	
同(本巢)郡同(曾井中島)村正尊寺(印)	長屋村常德寺	
方県郡中西郷村本人親半左衛門(印)、同村年寄増蔵(印)、同村庄屋甚右衛門(印)	戸田采女正様御預所本巢郡長屋村御庄屋衆中	
戸田采女正御預所本巢郡長屋村常德寺(印)	同村御役人衆中	
尾州領分本巢郡曾井中島村高橋鷹助(印)、同村組頭与三左衛門、同村庄屋青木伊左衛門(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「嘉兵衛送り」
右(曾井中島)村本人親治八(印)、庄屋高橋兵左衛門(印)	大垣藩御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
御園町町頭河合嘉七(印)、年寄大野与八(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「半平倅鉄吉養子送り」
加納藩支配所厚見郡江崎村親類親代林造(印)、年寄左十郎(印)、庄屋塩谷宇内(印)	大垣藩御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏「長屋筑前方女房・母懸り人送り」
大垣藩御預所美濃国厚見郡東島山村庄屋半平(印)、百姓代六左衛門(印)	大垣藩御預所美濃国本巢郡長屋村御役人中	端裏「代助女房」
大垣藩御支配所当国大野郡黒野村年寄俊平(印)、同村庄屋嘉左衛門(印)	笠松県御支配所当国本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
副長大西亀蔵(印)、戸長宮川文吾(印)	岐阜県御管轄第九十五区美濃国本巢郡長屋村戸長・副長御中	
誰支配所何郡何村本人親一、年寄一、庄屋一	大垣藩御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	端裏朱書「案文御戻シ可被下候」
誰領分何郡何村何寺印	何郡何村御役人衆中	端裏朱書「案文御戻シ可被下候」
誰領分何郡何村親誰印、年寄誰印、庄屋誰印	大垣藩御預所本巢郡長屋村長屋歌左衛門殿	端裏「案文御戻シ可被下候」
壹番西組惣代兵藏、歌左衛門	大垣御預御役所	「覚」とあり
壹番西組惣代林兵藏、長屋歌左衛門(印)	長屋村大安寺様(印)、同村常德寺様(印)、上之保村善照寺様(印)、三ッ橋村勝林寺様(印)、郡符村福応寺様(印)、(ほか10か寺は省略)	包紙「廻章 壹番西組惣代」
壹番西組惣代林兵藏、長屋歌左衛門(印)	見延村正善寺様(印)、上真桑村乘泉寺(印)、同村法英寺様(印)、同村慶円寺様(印)、同村薬師寺様(印)、(ほか28か寺は省略)	包紙「廻章 持ち廻り東南筋 壹番西組惣代 正善寺様始メ」
壹番西組惣代林兵藏、長屋歌左衛門(印)	曾井村正尊寺様○、同村正光寺様○、山口村祐国寺様、金原村円勝寺様(印)、水島村西光寺様(印)、(ほか48か寺は省略)	包紙「廻章 持ち廻り北筋 壹番西組惣代 曾井中嶋村正尊寺様始メ」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	へ1	糸貫川通井水鑑（条約書写）	明治十五年六月十五日	1882	縦	1
河	へ2	一ノ手限り御普請御役人様人馬継立仕出シ帳	天保七年申二月	1836	横長	1
野	へ3	三水川通土除丁場割帳	天保七丙申年三月日	1836	横長	1
	へ4	巳年南原井水三ヶ村立会割賦牒	弘化二年十二月廿日	1845	横長	1
	へ5	井水方諸入用八ヶ村割賦帳	弘化三年午十二月	1846	横長	1
	へ6	宿並家作修覆大積取調帳	嘉永三年戌十月	1850	横長	1
	へ7	水防一件諸入用割符銀村々取立勘定帳	文久二年戌七月	1862	横長	1
	へ8	寅春役御普請并籠替見立帳	慶応二年二月ヨリ	1866	横長	1
	へ9	春役竹代金渡帳	慶応三年卯正月	1867	横半	1
	へ10	卯春役御普請并籠替見積帳	慶応三年二月吉日	1867	横長	1
	へ11	卯春役御普請小前渡金帳	慶応三年四月九日	1867	縦	1
	へ12	御堤通水防方御縁書写帳	慶応三丁卯年六月日	1867	横長	1
	へ13	辰春役御普請并籠替見立帳	慶応四年正月吉日	1868	横長	1
野	へ14	三水川浚人足代銀并請取替継渡帳			横長	1
	へ15	番水雑用帳	申四月日		横長	1
	へ16	新開堤町張留	慶応三年卯正月	1867	横半	1
	と1	助情方村中人別帳（人別329人へ玄米施しにつき）	嘉永四辛亥年四月廿日	1851	横半	1
	と2	村方困窮者助情金（覚）	慶応三年卯二月六日より	1867	横半	1
	と3	長屋村極窮者取調帳	慶応三年卯三月（卯三月廿一日）	1867	横長	1
	と4	乍恐以書付奉歎願候（田方立毛凶作にて晩稲など勘弁願いの処、斗耕削り下げにより廻米取立てにも差支えにて取締り願ひにつき）	（明治2年）巳十月	1869	一紙	1
	と5	〔組合村々の儀、近年凶作にて米値段引上げ難渋にて年貢救免願書下書〕			一紙	1
	と6	乍恐謹而奉言上候（御一新後、大垣藩預所村々郡中惣代、大垣藩鎮題所属願ひの処、苛政により村々難渋にて所屬改め願ひにつき）	（明治元年）辰四月	1868	一紙	1
	と7	覚（鰥寡孤独・極窮者取調べにつき）	（慶応2年寅6月）	1866	横長	1
	と8	拝借米御請印帳（人数43人、拝借米2石7斗余）	（慶応2年）丙寅七月	1866	横長	1
	り1	長屋牛頭天王棟札写	（元禄4年6月）	1691	一紙	1
	り2	濃州本巢郡長屋村寺社書上帳扣	安永四年未四月	1775	縦	1
	り3	濃州本巢郡長屋村寺社書上帳	安永四年未四月	1775	縦	1
	り4	取喫済口一札之事（六条村惣社牛頭天王棟札一件にて鍵預り借物などの儀、差揉出入りの処、向後の心得方規定し内熟整うにつき）	天保七丙申年六月	1836	一紙	1
	り5	名寄帳	天保八酉年正月吉日改之	1837	縦	1

作 成	受 取	備 考
南原井組美濃国本巢郡山口村惣代筑間鉄三郎印、同国同郡同村戸長山口鶴次郎印、同国同郡曾井中島村総代高橋瀬一郎印、同国同郡同村戸長青木清次郎印、同国同郡長屋村総代高橋源三印、同国同郡同村戸長長屋好貞印、同国大野郡石神村総代青木利一印、同国同郡同村戸長青木十平印		表紙「享録三寅年ヨリ 井上井頭長屋平馬控」、罫紙使用
方県郡河渡宿		表紙朱書「下書」
		破損大、結び文あり
休治、芳右衛門、右藤太		
井頭久治、同断空助、同断治三郎	長屋村、曾井中島村、見延村、文殊村、清林寺村、上西郷村、中西郷村、下西郷村 右村々御庄屋中	
		表紙破損あり
拾五ヶ村組合		
長屋村		
庄屋		
長屋村		
長屋村		
長屋村		破損大
山口村宿武藤貞助	御井頭衆中青木宇藤太様、長屋嘉左衛門様	
長屋歌左衛門扣		
長屋村(印)	御講懸り御惣代三右衛門様	表紙「村控」
長屋村庄屋八郎左衛門(印)、同後見歌左衛門(印)	大垣藩御預御役所	破損あり
村々庄屋、年寄、百姓代		破損あり、端裏「未正月廿九日下書」
元戸田采女正御預所濃州六郡村々百姓共	上	
長屋村百姓代喜左衛門(印)、利左衛門(印)、次三郎(印)、庄屋喜藤治(印)	大垣御預御役所	
		表題は貼紙より、貼紙「長 本歌 控」、「但シ板巾巻尺七寸八分 長三尺七寸」とあり
本巢郡長屋村庄屋孫八印、年寄孫三郎印、同断弥平治印、同断平左衛門印、百姓代松太郎印	大垣御預御役所	表紙「大垣御預所江江戸表より御改ニ付名前連印之帳面差上ル」、『岐阜県史 史料編近世八』pp.722~726に収載
本巢郡長屋村庄屋孫八、年寄、百姓代	御預御役所	表紙「大垣御預御役所江江戸表より御改ニ付差上ル写」
六條村准頭左右衛門印、ほか18人、同断親類惣代出府人与四郎印、市右衛門跡式列外頭分岩次郎印、文七跡式同断出府人彦左衛門印、頭分惣代嘉兵衛印、ほか5人、同断百姓代左平次印、同断民之丞印、同断弥三右衛門印、組頭秀蔵印、同断儀兵衛印、同断治右衛門印、庄屋見習領右衛門印、庄屋久之助、同断勇助印、頭分惣代出府人勘平印、同断百姓代出府人武左衛門印、与頭出府人新左衛門、庄屋出府人塩谷其八印、同断石口利左衛門印	御立入青木徳次郎殿、同断浅野助左衛門殿、同断浅野堅次郎殿、同断辻利兵衛殿	破損あり、「江戸御用人御掛り小左源太印、右同断小和兵衛印、加納両奉行出府杉伝右衛門印」の裏書あり
大安寺控		挿入紙あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	り6	神主大和方内徳米勘定帳	天保九戌年より(天保14年)	1838	横長	1
	り7	神社仏閣志并寄附物帳	弘化元年甲辰正月改	1844	横長	1
	り8	差出申取締一札之事(村方大酒・喧嘩・口論好む者など吟味の所、心得違いの者多人数にて、当人・五人組を取締りにつき)	弘口(化)三年午正月	1846	一紙	1
	り9	今般立入人より被差出候趣意書写(除地、本社并末社その外修復入用金、牛頭天王宮修復田徳米勘定などの儀、議定取極めにて熟談内済につき)	嘉永四年亥九月	1851	縦	1
	り10	乍恐対談書ヲ以奉願上候(牛頭天王境内樹木、神主伐木一件、氏子惣代など出訴の処、引合人入り熟談納得にて吟味下げ願ひにつき)	嘉永四年亥十二月	1851	一紙	1
	り11	差出申一札之事(牛頭天王境内倒木などの伐採一件、頭分より出訴にて召出しの処、立入人に頼み訴状願下げの旨承知下さるにつき)	文久元年酉八月	1861	一紙	1
	り12	下済熟談一札之事(牛頭天王境内倒木などの売払い一件など、頭百姓より神主へ訴訟の処、熟談一札差出しにて奥書調印し双方へ渡しにつき)	(文久元年)酉八月	1861	一紙	1
	り13	差出申御請取書之覚(牛頭天王境内倒木などの伐採一件、頭百姓より訴訟の処、別紙下済熟談一札、神主へ遣わし請取一札取置きにて写し認め奥書調印し渡すにつき)	(文久元年)酉八月	1861	一紙	1
	り14	弁天宮境内石垣諸入用払并社木・堀土売払立合勘定帳	安政二卯年十二月二日	1855	横長	1
	り15	預り金一札之事(字角屋敷敷並びに屋敷地1か所の地高、天王社へ寄付にて高掛り諸夫銭などの勤め手当てとして寄付の保金5両預りにつき)	安政五年七月	1858	一紙	1
	り16	一札(当寺弟子石応儀、長屋村大安寺へ寺相続につき)	慶応三年卯正月	1867	一紙	1
	り17	[貳拾ヶ村組合寺院印鑑帳]	慶応四年辰三月	1868	縦	1
	り18	寺院村々取調帳	慶応四年辰七月日	1868	横長	1
	り19	[大安寺入用帳]	(酉～子年)		横長	1
	り20	辛未八月五日社木尺度取調帳	(明治4年8月5日)	1871	横長	1
	り21	乍恐以書付奉願上候(去月28・29日夜、天照太神宮そのほか多度太神宮杯御祓い降りの処、そのまま差し置きにて来る7・8日御神酒備え神事執行願ひにつき)	(慶応3年)卯十月	1867	一紙	1
	り22	乍恐対談書を以奉願上候(牛頭天王境内樹木、神主伐木一件、氏子惣代など出訴の処、引合人入り熟談納得にて吟味下げ願ひの対談書調印し差出しにつき)	(嘉永4年)亥十一月十五日	1851	一紙	1
	り23	乍恐以書付奉願上候(長屋牛頭天王の儀、御一新にて牛頭天王号変更の旨仰出でにより長屋神社と唱えたき願書下書)	(明治元年)辰閏四月	1868	一紙	1
	り24	乍恐以書付奉願上候(禅宗桃林寺儀、山県郡掛村東光寺末寺にて文政5年住職病死後、留守居の差入れの処、東光寺弟子義要住職に願ひ上げにつき)	(明治2年)巳五月	1869	一紙	1
	り25	乍恐以書付奉願上候(長屋牛頭天王の儀、御一新にて牛頭天王号変更の旨仰出でにより長屋神社と唱えたき願書下書)	(明治元年)辰閏四月	1868	一紙	1
	り26	乍恐以書付御届奉申上候(長屋神社祭礼の儀、例年6月14・15日の処、代参・御出役のため当年祭礼延引につき)	(明治2年)巳六月	1869	一紙	1

作 成	受 取	備 考
支配預り可左衛門扣		
長屋可左衛門		
本人茂作(印)、同断磯八(印)、同断藤平(印)、五人組篤左衛門(印)、同断幸右衛門(印)、同断佐右衛門(印)	惣代歌左衛門殿	破損あり
本巢郡長屋村氏子惣代兼村役人惣代訴訟方年寄定四郎印、同断治三郎印、同郡同村牛頭天王神主相手方高橋大和印、引合人下宿村庄屋嘉平治印、同断岩崎村庄屋俊司印	大垣御預御役所	り10〜り13は袋一括、袋「嘉永四亥年十二月社木一件対談書写 壺通、文久元酉年八月社木済口一件一札面 三通」、端裏貼紙「嘉永四亥年社木対談書ヲ以御役所様江奉願上候写」
長屋村牛頭天王神主高橋日向(印)、立入人見延村年寄儀右衛門(印)	訴訟方頭分衆中	端裏貼紙「文久元酉八月日向ヨリ差入候一札」
立入人見延村年寄儀右衛門(印)	長屋村訴訟方頭分衆中	端裏貼紙「文久元酉八月下済一札」
立入人見延村年寄儀右衛門(印)	長屋村訴訟方頭分衆中	端裏付箋「日向ヨリ儀右衛門江差入候請取書写」
高橋秀吉(印)、長屋伊勢(印)、為弥(印)、直右衛門(印)、元淳(印)、耕兵衛(印)、庄助(印)、周助(印)、篤左衛門(印)、藤十郎(印)、小兵衛(印)、又左衛門(印)、歌左衛門(印)、米之助(印)、喜藤治(印)、治三郎(印)、定四郎(印)		表紙「帳面式冊之内老冊ツ、預り 秀吉・歌左衛門」
長屋村牛頭天王御寄附金預主高橋日向印、証人長三郎印	同村長屋伊勢殿、治三郎殿、定四郎殿、喜藤治殿、米之助殿、寿左衛門殿、藤十郎殿、耕兵衛殿、徳左衛門殿、直右衛門殿、小兵衛殿、周介殿、又左衛門殿、庄介殿、清右衛門後家殿、為弥殿、元淳殿	
本庄宮内少輔領分方県郡岩利村慈昭寺(印)	本巢郡長屋村御庄屋衆中	
惣代下真桑村三之丞(印)、同断東早野村半助(印)	御奉行様	
壺番西組惣代安藤三之丞控		
		表紙「戌ノ正月吉祥日 大安寺 大安寺」
長屋村		
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門、同断喜藤治(印)、同断長屋金八郎(印)	大垣御預御役所	
訴訟方本巢郡長屋村氏子惣代兼村役人惣代年寄定四郎(印)、同断治三郎(印)、相手方同郡同村牛頭天王神主高橋大和(印)	御噺人下宿村御庄屋嘉平治殿、同断岩崎村御庄屋俊司殿	
長屋牛頭天王祠官願主長屋筑前(印)、同断長屋歌左衛門(印)、百姓代小兵衛(印)、庄屋喜藤治(印)、同断長屋八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	本文に墨消しあり
長屋牛頭天王祠官願主長屋筑前、百姓代小兵衛、庄屋喜藤治、同断長屋八郎左衛門	大垣御預御役所	
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断八郎左衛門	大垣御預御役所	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	り27	乍恐以書付奉願上候（長屋牛頭天王の儀、御一新にて牛頭天王号改めの趣意の旨仰出でにより長屋神社と唱えたく願書下書）	（明治元年）辰六月	1868	一紙	1
	り28	為取替約定一札（天王社修復入用勘定の儀につき）			縦	1
	り29	長屋神社祭礼式之覚			縦	1
	り30	〔本巢郡長屋村長屋神社明細書上〕	（明治3年）辛未八月	1870	縦	1
	り31	〔美濃国本巢郡長屋村鎮座長屋神社明細書上〕			縦	1
	り32	長屋牛頭天王来歴之事	辛午		一紙	1
	り33	〔末社八王子社・本社・拝殿屋根図面〕			一紙	1
	り34	土砂加持祠堂勸進記			縦	1
	り35	〔美濃国不破郡今須駅青坂山妙応寺縁起〕			縦	1
	り36	改正大日本国神代系図附社			一紙	1
	り37	〔寄付金高など書付〕			一紙	1
	り38	開山禪師三百五十大遠年諱香資（金2両2分）	安政七庚申歲閏三月	1860	一紙	1
	り39	〔常徳寺後住一件など内済につき届書写〕	（寛政9年）巳十月	1797	一紙	1
	り40	寺院村順（書付）			切紙	1
	り41	乍恐以書付奉願上候（牛頭天王境内杉1本売渡し手附金など渡し置きの処、伐取り延引、祭礼中は貸渡し願いなど下書）			切紙	1
	り42	乍恐以書付御請奉申上候（牛頭天王境内大杉2本売払い手附金40両請取の処、杉伐渡しは村中治まらずにて手附金など返済につき）	（慶応3年）卯十月	1867	一紙	1
	り43	乍恐以書付御請奉申上候（牛頭天王改号の儀にて御布令拒み呼出しに応じず不届きにて、百日禁錮仰せ付けにつき）	（明治2年）巳十二月	1869	一紙	1
	り44	乍恐以書付奉願上候（社人神社改号の義にて禁錮の処、社務差支えにて神社鍵ならびに社附けの諸品、神田など引渡し願いの件などにつき）	（明治2年カ）	1869	縦	1
	り45	増補絵図高野山独案内			絵図 （帯封共）	1
	り46	はりま金毘羅名所附			横本	1
	り47	《芝居番附》				
	り48	《大阪名所つくし》				
	り49	《撰州天下茶屋津田助三郎薬品広告》				
	り50	〔大坂・京都間の道程書付〕			一紙	1
	り51	〔社木の儀につき牛頭天王神主大和召出し願書下書〕	巳二月		一紙	1
	ぬ1	長屋一家累（後欠）			切紙	1
	ぬ2	長屋系（図）			切紙	1
	ぬ3	〔長屋氏家系図〕（後欠）			一紙	1
	ぬ4	長屋家系（図）			一紙	1
	ぬ5	〔長屋氏今須城・垂井城・相羽城主書付〕			一紙	1
	ぬ6-1	中興長屋系（図）	（明治2年頃カ）	1869	一紙	1
	ぬ6-2	命名（出生男子名前につき）	文久紀元辛酉年仲秋	1861	折紙 （包紙共）	1
	ぬ7	田畑高反別掟帳	寛政二年庚戌五月日写	1790	縦	1
	ぬ8-1	田畑掟方万覚帳	寛政五癸丑年正月吉日	1793	横長	1
	ぬ8-2	金銭小払帳	寛政六年寅正月吉日	1794	横半	1
	ぬ9	名寄畝歩帳	享和元年辛酉年十一月	1801	縦	1
	ぬ10	金銀取替帳	文化八年未十二月ヨリ	1811	横長	1
	ぬ11	土蔵普請帳	文政十年亥五月	1827	横半	1
	ぬ12	壺番金貸帳	文政十一年子十一月ヨリ	1828	横長	1
	ぬ13	家普請諸入用帳	文政十二年丑三月廿日	1829	横半	1
	ぬ14	万当座帳	天保四年巳七月盆後より	1833	横長	1
	ぬ15	万当座帳	天保十二年丑九月	1841	横長	1

作 成	受 取	備 考
濃州本巢郡長屋村長屋牛頭天王祠官願主長屋筑前、同断長屋歌左衛門、親類耕兵衛、庄屋喜藤治、同断長屋八郎左衛門		端裏「六月廿四日牛頭天王号御変革二付由緒書下書」、付箋多数あり
右(長屋)村三役連印		
濃州本巢郡長屋村社頭長屋元太夫		
		継目剥がれ、破損あり
		3枚紐綴じ
高野山金剛峯寺大阿遮梨堯遍		印刷物
		印刷物
		印刷物
		前後欠、破損あり
崇福寺(印)	長屋邑長屋加左衛門様	
長屋村百姓和吉印	大垣御預御役所	前欠
本巢郡長屋村高橋日向病気二付代兼高橋播磨、差添人文左衛門、長屋歌左衛門	大垣御預御役所	
長屋村神主高橋播磨	大垣藩御預御役所	「右村百姓代小兵衛」の奥書あり
		表題は帯封から、印刷物、66.8×39.4cm、「学文路村仁徳寺蔵板」とあり
		印刷物、7.3×15.0cm、裏表紙「大坂日本橋南詰西入御定宿櫛屋市兵衛」
		現在所在不明
		現在所在不明
		現在所在不明
		後欠、印刷物、「日本橋南詰大坂宿ますや市兵衛」とあり
長屋村年寄願主定四郎、親類可左衛門、同断庄屋平左衛門		前欠、破損あり
		端裏「長屋系他見不許」
		継目剥がれ
東都 竹堂小原亭撰(印)(印)	長屋金八郎殿	包紙「御名乗」
長屋好元		
		裏表紙「馬淵治郎右衛門」、綴じ紐切れ
長屋嘉左衛門元行		
長屋嘉左衛門(印)		綴じ紐切れ
長屋可左衛門元行		
長屋可左衛門		表紙「文政十三年寅十二月廿六日天保元年と年号改」
加茂□布屋源右衛門	長屋村長屋嘉左衛門様	表紙「長屋可左衛門」
長屋姓		

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ぬ16	当座日記帳	天保十四年癸卯正月吉祥日	1843	横長	1
	ぬ17	当座帳	弘化二年乙巳正月吉日	1845	横長	1
	ぬ18	当座日記帳	嘉永三年己酉正月吉日	1849	横長	1
	ぬ19	万当座日記帳	安政六年九月吉日	1859	横長	1
	ぬ20	当座日記帳	文久元年酉十月吉日	1861	横長	1
	ぬ21	式番金貸帳	天保三年辰十月ヨリ	1832	横長	1
	ぬ22	材木板類諸色留帳	天保四年巳正月ヨリ	1833	横半	1
	ぬ23	米穀類払帳	天保七年申秋九月日	1836	横半	1
	ぬ24	坪帳	天保七年申九月日	1836	横半	1
	ぬ25	御染物之通	天保八年丁酉正月吉日	1837	横半	1
	ぬ26	種并諸色寄帳	天保八年酉五月日	1837	横半	1
	ぬ27	台所入用帳	天保九年戌秋小前内納当座之覚	1838	横長	1
	ぬ28	現金通	天保十年己亥正月六日	1839	横半	1
	ぬ29	田畑掟覚帳	弘化二乙巳年正月吉日	1845	横長	1
	ぬ30	金銀出入遣払日記	弘化三年午八月日ヨリ	1846	横半	1
	ぬ31	道中日記帳（長屋村から江戸迄）	弘化三年午八月八日出立	1846	横半	1
	ぬ32	名寄畝歩帳	弘化三年	1846	縦	1
	ぬ33	高石村所持地年々勘定帳	嘉永三年庚戌正月吉日	1850	横長	1
	ぬ34	金銀出入覚	嘉永五壬子年八月四日ヨリ	1852	横長	1
	ぬ35	長屋村喜左衛門方諸借財済方仕法帳	嘉永七年寅七月改割合	1854	横長	1
河	ぬ36	算用稽古本 全	安政二乙卯正月上旬	1855	縦	1
	ぬ37	巳年小作米勘定帳	安政四年	1857	横長	1
	ぬ38	南別荘普請諸入用留帳	安政五年午年十月四日始り	1858	横長	1
	ぬ39	大吉万福帳	安政五年午年十二月廿五日	1858	横長	1
	ぬ40	諸用日記（長屋村から京都間）	安政六年未九月五日	1859	横半	1
	ぬ41	乍恐以書付奉申上候（献金・施米など書上につき）	安政六未年十二月	1859	一紙	1
河	ぬ42	質覚帳	安政七年庚申正月吉日（～文久3年）	1860	横長	1
	ぬ43	公私要用雑記	万延元年申三月吉日	1860	横長	1
	ぬ44	家諸道具作方雑帳	万延元年申十二月六日	1860	横長	1
	ぬ45	万当座おほゑ帳	文久元年辛酉四月吉日	1861	横長	1
木	ぬ46	和宮様御下向ニ付諸事覚帳	文久元年酉十月廿一日	1861	横半	1
	ぬ47	戌年金銀出入覚帳	文久二年正月吉日	1862	横半	1
	ぬ48	名寄畝歩帳	文久二壬戌年八月改	1862	縦	1
	ぬ49	万小入帳	文久四歳甲子正月吉祥日	1864	横長	1
	ぬ50	一札（御蔵縮緬織屋仲間加入の義、頼み入りの処、一統承知にて規定守るにつき）	元治二年丑二月	1865	切紙	1
	ぬ51	尾州御蔵縮緬売揚当座帳	（慶応元年）乙丑卯月十五日ヨリ	1865	横長	1
	ぬ52	尾州御蔵縮緬要用記	（慶応元年）乙丑七月吉祥日	1865	横半	1
	ぬ53	判取	慶応元年丑八月ヨリ（慶応3年8月迄）	1865	横半	1
	ぬ54-1	縮緬棟方之伝受			縦	1
	ぬ54-2	島（縞）手本	元治元年甲子九月吉日	1864	縦	1
	ぬ55	御家木口積帳	慶応元年乙丑六月吉祥日	1865	横長	1
	ぬ56	〔御進発用途に上納金致すにつき褒美として俵代まで名字免許につき申渡書〕	慶応元丑年十月	1865	切紙	1
	ぬ57	申渡写（御進発用途に上納金致すにつき褒美として俵代まで名字免許につき）	（慶応元丑年10月）	1865	切紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋可十郎		綴じ紐切れ
長屋可左衛門		綴じ紐切れ
長屋氏 しげ		
本巢郡長屋邑長屋姓しげ、本巢郡長屋村長屋村長屋金八郎		表紙「文久元辛酉歳」
文左衛門、長屋氏しげ		
長屋可左衛門		破損あり、綴じ紐切れ
		挿入紙あり
長屋可左衛門		
		破損あり
紙店（印：濃州芝北方津国屋惣四郎）	長屋村長屋嘉左衛門様	
歌左衛門扣		
濃州本巢郡長屋村長屋可左衛門		
		破損あり、綴じ紐切れ、表紙「丙午時雨月改 歌左衛門扣」に墨消しあり
長屋邑長屋歌左衛門		
		表紙「本紙元」
立入人松尾庄左衛門		
		裏表紙「河渡駅村木義促（印）（印）」
大安寺分支配長屋歌左衛門		
長屋歌左衛門		
長屋歌左衛門		挿入紙あり
戸田采女正御預所濃州本巢郡長屋村長屋歌左衛門（印）平景明		
長屋村歌左衛門	大垣御預り御役所	下書
		裏表紙「村木店」
長屋歌左衛門扣		付箋貼り付け
売主治八		結び文2通あり
長屋氏台所		
山田扣		破損あり
元種		挿入紙あり
長屋歌左衛門		付箋多数あり
長屋氏控		
加納宿三宅左兵衛、請人本庄村織屋繁八、江崎村江崎屋新兵衛、本田村関谷源右衛門、長屋村長屋歌左衛門		破損あり、『岐阜県史 通史編近世下』 pp. 455～457参照
織元長印（印）		裏表紙「長 長屋姓」、付箋貼り付け
（印：濃州長屋 織元長印）		裏表紙「濃州長屋村長屋歌左衛門（印）」
（印：濃州長屋 織元長印）		裏表紙「長屋氏（印）」
濃州御蔵縮緬織元長屋姓		
		裏表紙「濃州本田 関谷 []」、裏表紙見返し「関谷喜□司 橋正□」
上之保村大工嘉藏（印）		
中村孫平（印）、藤江彦之丞（印）、平井仲右衛門（印）	長屋村長屋歌左衛門	ぬ56～ぬ58は包紙一括、包紙「書付 長屋村長屋歌左衛門」
	元戸田采女正御預所美濃国本巢郡長屋村百姓長屋歌左衛門	

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ぬ58	「紋附上下一具」〔覚〕			切紙	1
	ぬ59	諸用日記留（長屋村から京都間）	慶応元年乙丑十一月吉祥日	1865	横半	1
	ぬ60	当座金銀出入覚帳	慶応貳年寅六月十六日より（慶応3年8月迄）	1866	横長	1
	ぬ61	諸画買入附留	慶応寅天	1866	縦	1
	ぬ62	差出申御詫一札之事（当2月祭礼の節、偽言を申し金子借用の件、露頭し役所にて吟味の処、大安寺・常德寺へ廻るなどにて許容となるにつき）	慶応三年卯三月	1867	一紙	1
	ぬ63	差出し申御詫頼一札之事（私共種々の心得違いなどにて役所への呼出し申渡され、懺悔し村法に背かざる事など守るにて御詫び執り成し願いつき）	慶応三年卯八月	1867	一紙	1
	ぬ64	差出し申御詫頼一札之事（私共種々の心得違いなどにて役所への呼出し申渡され、懺悔し村法に背かざる事など守るにて御詫び執り成し願いつき）	慶応三年卯八月	1867	一紙	1
	ぬ65	諸用おぼゑ日記帳	慶応三ねん九月吉日	1867	横長	1
	ぬ66	当座金銀出入帳	慶応四年戊辰四月六日ヨリ（12月迄）	1868	横長	1
	ぬ67-1	辛未七月払懸方取調帳	（明治4年7月）	1871	横長	1
	ぬ67-2	辛未七月割賦仮帳	（明治4年7月）	1871	横長	1
	ぬ68	〔諸事覚帳〕			横長	1
	ぬ69	〔掟米覚帳〕			横長	1
	ぬ70	高掟帳			横長	1
	ぬ71	〔掟米覚帳〕	[] 元辛酉年		縦	1
	ぬ72	新古名寄畝歩帳			縦	1
	ぬ73	詩歌（手習）			縦	1
	ぬ74	年内諸事日記	安政五年午年正月吉旦	1858	横本	1
	ぬ75	《諸用日記》	元治元・12	1864		
	ぬ76	〔稲覚帳〕			横本	1
	ぬ77	差出申一札之事（私共制法筋守らざる段、時節柄捨て置き難く役所への届け申渡さるにて、先非を悔い心底改め御咎の仰付け違乱申さずにつき）	安政二年卯十月	1855	一紙	1
	ぬ78	口上書覚（先代身元の儀、内々尋ねにて申上げにつき）	安政五戊午年八月	1858	縦	1
	ぬ79	公私雑記	（慶応2年8月～明治3年9月）	1866	横本	1
	ぬ80	〔御進発御用途の内へ上納金致すにて御目見につき達し〕	慶応元丑年十二月	1865	切紙	1
	ぬ81	覚（金15両、東山道鎮撫御用途の内へ献金受取につき）	（明治元年）辰三月十九日	1868	切紙	1
	ぬ82	覚（金13両余、小兵衛請負の内へ渡申し承知につき）			切紙	1
	ぬ83	酒造免状之事（米高5石、酒蔵したき旨、願上げにつき）	文化丙寅（3年）十二月	1806	一紙	1
	ぬ84	「景奥一景直一景康…」〔家系図〕			一紙	1
	ぬ85	世代（戒名など書付）			一紙	1
	ぬ86	差出申御詫一札之事（密奸一条、全くの虚言にて不行跡の金子謀り借用の段露頭ににつき）	慶応三年卯二月	1867	一紙	1
	る1	諸方頼母子講留帳	天保二年正月吉日	1831	横長	1
	る2	牧田講口附並証文書入帳	天保十四年癸卯年五月日（～弘化3年11月）	1843	縦	1
	る3	諸方頼母子講留帳	弘化二年巳仲冬吉日	1845	横長	1
	る4	新牧田講帳（村方難法にて新牧田講企てにつき）	嘉永七年寅十二月	1854	縦	1
	る5	新牧田講帳（講規定、口数覚、借入金証書など書付）	安政貳年卯十二月	1855	縦	1
	る6	牧田講口附証文帳	安政四巳年十二月日	1857	縦	1

作 成	受 取	備 考
美濃郡代岩田歙三郎支配水防役長屋歌左衛門		付箋貼り付け
長屋村長屋歌左衛門(印)平景明		
長屋景寿齋(八郎左衛門)		
長屋村当人十五郎、兄嘉平(印)、懸合平助(印)、十五郎親類富三郎(印)、見延村詫人小文治(印)、同断理右衛門(印)	長屋村御村役衆中	ぬ86と関連
長屋村百姓当人米之助(印)、親類小兵衛(印)、五人組彦治(印)、同断善助(印)、同村同断当人五平(印)、親類九助(印)、五人組伊平(印)、同断藤十郎(印)	見延村御庄屋儀右衛門殿、村方御村役御衆中	
長屋村百姓当人米之助(印)、親類小兵衛(印)、五人組彦治(印)、同断善助(印)、同村同断当人五平(印)、親類九助(印)、五人組伊平(印)、同断藤十郎(印)	見延村御庄屋儀右衛門殿、村方御村役御衆中	
長屋台所		
長屋姓		
長屋		
長屋		
		表紙破損
長屋与祢		
長屋金八郎(印)平景寿		
長屋村長屋歌左衛門		9.0×19.1cm
		現在所在不明
		表紙破損、9.5×18.9cm、紐付き
長屋村本人庄右衛門、太市、茂作、又左衛門、与助、五人組栄蔵、彦治、篤左衛門、喜平、周助	御村役衆中	
呂久村五軒之内太兵衛印、同村同断幾次印、同村名主伝八印	御噺人改田村高木耕平殿、右同断国領村高木七兵衛殿	破損あり、表紙「横山姓太兵衛」
長屋歌左衛門		13.4×19.0cm、表紙見返し「慶応三丁卯年春正月吉辰日(印：濃州長屋 長屋歌左衛門)」
中村孫平、藤江彦之丞、平井仲右衛門	長屋村長屋歌左衛門	ぬ80・ぬ81は包紙一括、包紙「書付 長屋村長屋歌左衛門」
大垣御預役所(印)	長屋村長屋歌左衛門	
治三郎	長屋歌左衛門様	
西尾若狭守内加納庄兵衛、願主五之里村佐平		
		「景好 当主(朱書)」とあり
長屋村本人十五郎、兄嘉平、平助、詫人		『岐阜県史 史料編近世八』p.303に収載、ぬ62と関連
長屋村長屋元好		破損あり、結び文あり
講元常之助		
長屋歌左衛門		
長屋村		新牧田講の規定あり
講元喜兵衛		
講元茂兵衛		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	る7	新牧田講年々勘定帳	慶応元年丑十一月ヨリ	1865	横長	1
	る8	新槇田講口附并ニ証文帳	慶応四辰年二月日	1868	縦	1
	る9	講地内済証文（呂久村馬淵孫右衛門死後跡目相続の儀、他借多分にて訳立方仕方立ち兼ね入組みにつき）	亥二月		縦	1
	る10	（欠番）				
	る11	借用申金子之事（金5両、質物下々田1反7畝余）	明和八年卯十二月廿二日	1771	一紙	1
	る12	譲田地証文之事（雛形）	享和元辛酉年十一月	1801	一紙	1
	る13	譲田地証文之事（上田8畝10歩ほか7か所）	享和元辛酉年十一月	1801	一紙	1
	る14	一札扣（別家にて上田8畝余ほか7か所の田地など譲りにつき）	享和元辛□（酉）年十一月	1801	一紙	1
	る15	証文之事（弥兵次母さの儀、弟方へ引移り隠居の旨にて隠居分の下田7畝余ほか3か所遣わしにつき）	享和三年亥十月	1803	一紙	1
	る16	質流相渡申地所証文之事（金4両余、質流地中田3畝28歩）	文化七年午十二月	1810	一紙	1
	る17	質流相渡申地所証文之事（金17両余、質流地下田1反8畝余ほか2か所）	文化九年申十二月	1812	一紙	1
	る18	質流相渡申地証文之事（金9両余、質流地上田2反歩）	文化十五戊寅年四月	1818	一紙	1
	る19	借用申金子証文之事（金6両、質地上田1反2畝余）	文政五年午十二月	1822	一紙	1
	る20	借用申金子之事（金2両2分、質物屋敷）	文政十年亥十二月	1827	一紙	1
	る21	借用申金子之事（金7両、質物下田3畝19歩）	文政十年亥十二月	1827	一紙	1
	る22	借用申金子之事（金10両、質地上田1反20歩ほか2か所）	文政十二年丑五月	1829	一紙	1
	る23	借用申金子之事（金50両、質地上田1反8畝歩ほか7か所）	文政十二年丑五月	1829	一紙	1
	る24	借用申金子証文之事（金6両、質地屋敷田6歩）	文政十二年丑ノ極月	1829	一紙	1
	る25	質流相渡申田地之事（金18両、質流地上田6畝12歩ほか1か所）	文政十三年寅閏三月日	1830	一紙	1
	る26	借用申金子之事（金2両）	文政十三年寅七月	1830	切紙	1
	る27	借用申金子証文之事（金1両、質地畑高2升）	天保元年寅十二月	1830	一紙	1
	る28-1	質流ニ相渡田地証文之事（金35両余、質地上田8畝2歩ほか3か所）	天保二卯年四月	1831	一紙	1
	る28-2	売渡申田地之事（上田6畝12歩ほか1か所、金14両余）	天保三年辰三月	1832	一紙	1
	る29	覚（買請け田地、譲り申上げにつき一札）	天保三辰四月朔日	1832	一紙	1
	る30	質流相渡申田地証文之事（金17両余、質流地上田7畝26歩）	天保三年辰四月	1832	一紙	1
	る31	借用申種質金子証文之事（金5両、質物業種拾叀）	天保三年辰ノ六月十三日	1832	一紙	1
	る32	乍恐以書付奉願上候（金860両、長屋村困窮にて高借し当11月限り返済の処、当年難渋にて拝借仕法年済返納願上げにつき）	（明治元）辰十一月	1868	一紙	1
	る33	借用申金子之事（金1歩）	天保三辰十二月	1832	一紙	1
	る34	質流ニ相渡申田地証文之事（金50両余、質地中田9畝23歩ほか4か所）	天保四□（癸）巳三月日	1833	一紙	1
	る35	質流ニ相渡申田地証文之事（金63両余、質地中田1畝17歩ほか2か所）	天保四巳ノ年三月	1833	一紙	1
	る36	質流相渡申田地証文之事（金16両余、質流地下田4畝17歩）	天保四年巳三月	1833	一紙	1

作 成	受 取	備 考
		表紙「三番」
講元長三郎		
訴訟方呂久村馬淵孫右衛門娘多に(印)、同村同人分家勝六(印)、右多に親類赤坂村広助(印)、多に勝手方世話人新屋敷村宇野十兵衛(印)、多に後兄中宮村馬淵藤兵衛(印)、相手方講地持主呂久村孫太郎親早太郎後家(印)、同村同断清七(印)、同村同断幾治郎兼宇内(印)、右同断中宮村五人組頭弥三郎(印)、右同断呂久村林之助(印)、同村同断源之助(印)、同村同断五人組頭太兵衛(印)、同村同断馬淵治郎右衛門(印)	御立入 政田村高木是山殿、中宮村徳左衛門殿、呂久村伝八殿	「高木是山(印)、徳左衛門(印)、伝八(印)」の奥書あり
借主長八(印)、請人平次郎(印)	孫三郎殿	端裏「長八」
兄弥平次、親類伴六	加左衛門殿	
兄弥平次(印)、親類伴六(印)	加左衛門殿	「長屋村庄屋直右衛門(印)」の裏書あり
弟嘉左衛門、親類伴六	兄弥平治殿	破損大
長屋村弥平次後家久女の(印)、親類伴六(印)、本田村親類宅平(印)	おさの殿、嘉左衛門殿	「庄屋直右衛門(印)」の奥書あり
長屋村本人吉蔵(印)、証人茂蔵(印)	嘉左衛門殿	「庄屋直右衛門(印)」の奥書あり
長屋村本人治郎右衛門(印)、証人丈八(印)	長屋村嘉左衛門殿	「右村庄屋九十郎(印)」の裏書あり
石神村本人善七(印)、曾井村証人領八(印)	長屋村嘉左衛門殿	「長屋村庄屋平左衛門(印)」の奥書あり
本人留三郎(印)、証人伊蔵(印)	可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
上ノ保村借主伴蔵(印)、同村年寄清蔵(印)、同村庄屋孫左衛門(印)	講御連中	端裏「上ノ保常右衛門分 二又孫三郎講」
長屋村借主兵四郎(印)、同村証人喜左衛門(印)	長屋村嘉左衛門殿	端裏「兵四郎」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
かり主貫造(印)、か印茂蔵(印)	可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
借主平左衛門(印)、同断茂蔵(印)	可左衛門殿	「年寄喜十郎(印)」の裏書あり
長や村かり主甚右衛門(印)、同村加判茂平衛(印)	可左衛門殿	端裏「甚右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人八郎(印)、同村証人元淳(印)、中西郷村同断七右衛門(印)	御望村作市郎殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
借主林蔵(印)、証人平左衛門(印)	可左衛門殿	
長屋村本人藤平(印)、同村証人藤蔵(印)	可左衛門殿	
長屋村本人利左衛門(印)、証人八蔵(印)	当村賀左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
田地売主御望村佐市郎(印)、証人長屋村喜十郎(印)	長屋村嘉左衛門殿	
御望村郷只左衛門(印)	長屋村長屋嘉左衛門殿	
本人清蔵(印)、証人藤右衛門(印)	長屋村可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
かり主治三郎(印)、加判孫右衛門(印)	可左衛門殿	端裏「治三郎 種」
百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断長屋八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)	大垣御預御役所	
借主才三郎、請人仁左衛門	嘉左衛門殿	端裏「才三郎」
長屋村本人利左衛門(印)、加判八蔵(印)	当村賀左衛門殿	破損あり、端裏「利左衛門質流証文」
長屋村田地主茂蔵(印)、加判多蔵(印)	可左衛門殿	破損あり、端裏「質流証文茂蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の奥書あり
本人清蔵(印)、証人八蔵(印)	長屋村可左衛門殿	破損あり、端裏「清蔵質流証文」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	る37	質流相渡申田地証文之事(金71両余、質流地上田1反2畝歩ほか4か所)	天保四年巳三月	1833	一紙	1
	る38	質流証文之事(金65両、質地中田8畝8歩ほか5か所)	天保四年巳六月	1833	一紙	1
	る39	借用金子証文之事(金5両、質地南屋敷12歩)	天保四年巳十二月	1833	一紙	1
	る40	質流相渡申地所証文之事(金54両余、質流地中田1反5畝12歩ほか3か所)	天保四年巳十二月	1833	一紙	1
	る41	質流相渡シ申田地証文之事(金14両余、質流地屋敷6歩)	天保拾四年卯十二月日	1843	一紙	1
	る42	借用申金子証文之事(金2両、質物下畑3畝6歩)	天保五月日	1834	一紙	1
	る43	質流相渡シ田地証文之事(金18両余、質流地上田8畝27歩)	天保六未年三月	1835	一紙	1
	る44	永々替地取替セ証文之事(畑田9斗余替地につき)	天保七年申三月	1836	一紙	1
	る45	[借用金証書、金10両、質地下田1反2畝26歩]	天保七申年十二月	1836	一紙	1
	る46	一札(伊平南屋敷、質流れの処、元金返金あらば質流れの南屋敷差戻しにつき)	天保八年酉五月	1837	切紙	1
	る47	質流相渡申屋敷証文之事(金10両、質流地居屋敷2畝19歩)	天保八丁酉十二月	1837	一紙	1
	る48	借用金子証文之事(金15両、質物屋敷1畝歩ほか1か所)	天保八酉ノ十二月日	1837	一紙	1
	る49	質流相渡田地証文之事(金20両余、質流地下田1反2畝26歩)	天保九戌年三月日	1838	一紙	1
	る50	質流相渡申地所証文之事(金16両余、質流地中田1反2畝2歩)	天保九年戌三月	1838	一紙	1
	る51	借用申金子之事(金20両、村方小入用方の差支えにつき)	天保九年戌四月	1838	一紙	1
	る52	質流ニ相渡申田地証文之事(金7両余、質流地屋敷15歩)	天保九年戌十二月	1838	一紙	1
	る53	借用申金子之事(金5両)	天保九年戌十二月	1838	一紙	1
	る54	借用申□□(金子)之事(金75両、質地上田1反23歩ほか5か所)	天保九年戌十二月	1838	一紙	1
	る55	借用申金子証文之事(金12両、質地中田4歩)	天保九年戌十二月	1838	一紙	1
	る56	質流相渡申田地証文之事(金32両余、質流地屋敷田4歩)	天保十年亥十一月	1839	一紙	1
	る57	質流ニ相渡申畑証文之事(金2両余、質流地新開畑高2斗6合)	天保十年亥十二月	1839	一紙	1
	る58	質流ニ相渡申田地証文之事(金143両余、質地中田1反2畝5歩ほか9か所)	天保十一年子十二月	1840	一紙	1
	る59	質流相渡申田地証文之事(金123両余、質流地上田2畝20歩ほか5か所)	天保十二年丑ノ正月八日	1841	一紙	1
	る60	借用申金子之事(金50両、質地中田1反2畝5歩ほか5か所)	天保十二年丑三月日	1841	一紙	1
	る61	質流相渡シ申候地所証文之事(金22両、質地中田7畝6歩ほか1か所)	天保十二年丑ノ三月	1841	一紙	1
	る62	質流相渡申田地証文之事(金28両余、質流地上田2反22歩)	天保十三年寅三月	1842	一紙	1
	る63	質流相渡申田地証文之事(金13両余、質流地上田5畝歩)	天保十三年寅九月	1842	一紙	1
	る64	質流相渡申田地証文之事(金53両、質流地上田7畝10歩ほか2か所)	天保十三年寅十二月	1842	一紙	1
	る65	借用申金子証文之事(金1両、質地麦田6俵)	天保十三年寅極月日	1842	一紙	1
	る66	借用申金子証文之事(3分2朱、質地掬米1斗)	天保十三年寅十二月廿五日	1842	一紙	1
	る67	質流相渡申田地証文之事(金1両余り、質流地上田1歩)	天保十五年辰霜月日	1844	一紙	1
	る68	質流相渡申田地証文之事(金2両余、質地畑2歩)	天保十五年辰霜月日	1844	一紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋村本人貫造(印)、証人茂蔵(印)	長屋村可左衛門殿	破損あり、端裏「質流貫造」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
本人八蔵(印)、証人藤右衛門(印)	嘉左衛門殿	破損あり、端裏「質流八蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村借主伊平(印)、加判甚右衛門(印)	当村可左衛門殿	破損あり、端裏「伊兵衛」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり、る46と関連
本人次三郎(印)、請人半左衛門(印)	賀左衛門殿	破損あり、端裏「質流治三郎」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人儀蔵(印)、同村証人仙助(印)	当村嘉左衛門殿	端裏「義蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
借主嘉右衛門(印)、加判半左衛門(印)	嘉左衛門殿	破損あり、端裏「加右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人孫右衛門(印)、証人藤右衛門(印)	同村嘉左衛門殿	端裏「天保六未三月質流ニ而入 孫右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
本人利左衛門(印)、証人茂蔵(印)、同断甚右衛門(印)、同断賀右衛門(印)	賀左衛門殿	端裏「替地 利左衛門」
借主元淳(印)、加判平左衛門(印)	可左衛門殿	前欠
可左衛門(印)	伊平殿	る39と関連
長屋村本人高橋山城(印)、証人林蔵(印)、加判多蔵(印)	嘉左衛門殿	破損あり、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
借主五郎衛門(印)、証人半右衛門(印)	可左衛門殿	端裏「五郎右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人玄淳(印)、同村加判鉄三郎(印)	可左衛門殿	端裏「質流証文 元淳・直右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人庄左衛門(印)、同村証人太蔵(印)	可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村庄屋平左衛門(印)	可左衛門殿	
長屋村田地主善九郎(印)、加印半右衛門(印)	可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
かり主喜左衛門(印)、同断太市(印)	可左衛門殿	
かり主八蔵(印)、請人藤右衛門(印)	賀左衛門殿	破損あり、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長松方村本人甚右衛門(印)、同村受人茂蔵(印)	当村可左衛門殿	端裏「長松方村甚右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村田地主甚右衛門(印)、加判茂蔵(印)	可左衛門殿	破損あり、「右村庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人千代八後家(印)、同村親類伊平(印)	当村可左衛門殿	
長屋村地主八蔵(印)、証人藤右衛門(印)	嘉十郎殿	端裏「質流八蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村田地主茂蔵(印)、同証人郡蔵(印)	可左衛門殿	破損あり、端裏「茂蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村借主可十郎(印)、証人篤左衛門(印)	利左衛門殿御取次	破損あり
うり主平五郎(印)、証人茂十郎(印)	可十郎殿	端裏「平五郎」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村田地主小兵衛(印)、加印定四郎(印)	可十郎殿	端裏「□□(兵)衛」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村田地主茂蔵(印)、加印郡蔵(印)	可重郎殿	端裏「茂蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村本人清蔵(印)、同村証人丈三郎(印)	長屋村可十郎殿	破損あり、端裏「清蔵」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村かり主藤平(印)、同村受人栄作(印)	同村可十郎殿	
長屋村かり主藤平(印)、同村受人栄作(印)	同村可十郎殿	
長屋村売主直右衛門(印)、証人浅蔵、同断岩蔵	嘉右(左)衛門殿	端裏「直右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村うり主儀蔵(印)、同村加判茂蔵(印)	同村可左衛門殿	端裏「義蔵」、「年寄定四郎(印)」の裏書あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	る69	質流相渡申田地証文之事（金18両余、質流地上田1反4畝6歩）	天保十五年辰十二月日	1844	一紙	1
	る70	質流ニ相渡申田地之事（金37両、質流田地2か所）	天保十五年辰十二月	1844	一紙	1
	る71	差出申一札之事（年貢米不足し住居も無く難渋となり、藤三郎より可左衛門へ新開畑・住居頼む処、承知にて新開畑年貢米上納につき）	弘化二年巳二月	1845	一紙	1
	る72	質地証文之事（金35両）	弘化三年丙午十二月	1846	一紙	1
	る73	質流相渡申田地証文之事（金29両余、質流地上田5畝20歩ほか2か所）	弘化三年午十二月	1846	一紙	1
	る74	質地証文之事（金35両、質物屋敷1反1畝5歩ほか1か所）	弘化三年丙午十二月	1846	一紙	1
	る75	借用申金子証文之事（金50両、質物上田高1石ほか8か所）	弘化四未年三月	1847	一紙	1
	る76	借用申金子之事（金55両）	嘉永貳年酉十二月	1849	一紙	1
	る77	借用申金子之事（金60両）	嘉永貳年酉十二月	1849	一紙	1
	る78	預り申修復金之事（金2両、弘法大師堂修復金につき）	嘉永三年庚戌三月	1850	一紙	1
	る79	借用申金子証文之事（金3両）	嘉永三戌年七月	1850	一紙	1
	る80	借用申金子之事（金1両余、質物住家1軒）	嘉永三戌年十二月	1850	一紙	1
	る81	金子借用申証文之事（金6両）	嘉永五年閏二月二日	1852	一紙	1
	る82	年済金証文之事（年貢未進金のうち一部勘弁にて残金5両10年賦につき）	嘉永五年子十二月	1852	一紙	1
	る83	借用申金子之事（金25両、質物中田1反3畝10歩ほか2か所など、住家類焼にて家作・百姓道具などまで取り繕いにつき）	嘉永六癸丑年	1853	一紙	1
	る84	質流ニ相渡申田地証文之事（金20両余、質流地上田4畝29歩）	嘉永六年丑十二月	1853	一紙	1
	る85	村入用借用申講金証文之事（金450両、村方難渋にて新牧田講企てにつき）	嘉永七年寅十二月	1854	一紙	1
	る86-1	借用申講金証文之事（金17両）	安政二卯年十一月	1855	一紙	1
	る86-2	借用申講金証文之事（金127両余、質地上田1反5畝14歩ほか6か所）	安政二卯年十一月	1855	縦	1
	る86-3	借用申金子証文之事（金10両、上田8畝20歩）	安政二年卯十二月	1855	一紙	1
	る87	質流ニ相渡申田地証文之事（金105両余、上田1反4畝22歩ほか1か所）	安政二年卯三月	1855	一紙	1
	る88	乍恐以書付奉願上候（牛頭天王神主家秀吉親大和へ亡父取替金貸付にて、大和死失後、世話人直右衛門らに取替金元利共に訳立て願いにつき）	安政三年辰十月	1856	一紙	1
	る89	借用申金子之事（金1両）	安政三年辰十二月日	1856	一紙	1
	る90	質流ニ相渡申田地証文之事（金19両余、質流地中田9畝9歩ほか1か所）	安政四巳年三月	1857	一紙	1
	る91	借用金証文之事（金5両、質物住家1軒）	安政四丁巳年三月	1857	一紙	1
	る92	借用金子証文之事（金5両、質物三右衛門講落金）	安政四巳年十二月	1857	一紙	1
	る93	借用申金子之事（金2両）	安政四巳十二月	1857	一紙	1
	る94	借用申金子之事（金3両）	安政五年正月廿七日	1858	一紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋村本人庄右衛門(印)、証人太市(印)	可左衛門殿	端裏「庄右衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
当村本人喜左衛門(印)、証人庄助(印)	可左衛門殿	端裏「喜左衛門」、「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
地所借主伊兵衛(印)、証人藤三郎(印)、親類同断加助(印)	可左衛門殿	破損あり
長屋村借主年寄定四郎(印)、庄屋平左衛門、年寄治三郎、百姓代喜左衛門	同村可左衛門殿	
借主治三郎(印)、証人耕兵衛(印)	同村可左衛門殿	「庄屋平左衛門(印)」の裏書あり
長屋村借主年寄治三郎(印)、庄屋平左衛門、年寄定四郎(印)、百姓代喜左衛門	同村可左衛門殿	
菟田郡上之保村借主堀口佐藤太(印)、証人堀口孫作久(印)	長屋村定四郎殿御取次	「右村庄屋大熊東作」の奥書あり
見延村借主半左衛門(印)	長屋村歌左衛門殿	
見延村借主半左衛門(印)	長屋村歌左衛門殿	
借主角喜左衛門(印)	大師様御世話方可左衛門殿御取次	
長屋村借主治三郎(印)	歌左衛門殿	
うり主藤平(印)、証人栄作(印)	歌左衛門殿	
かり主五郎兵衛(印)	嘉左衛門殿	
借主高橋山城(印)、親類証人用蔵(印)	歌左衛門殿	「見延村庄左衛門」の奥書あり
中西郷村借主浪蔵印、同村請人平左衛門印、同村組頭久三郎印、同村同断儀兵衛印、同村同断増蔵印、同村同断市之丞印、同村庄屋村瀬兵四郎印、同村同断山田甚右衛門印	御同行惣代長屋村おうた殿、文殊村彦三郎殿	
長屋村本人庄助(印)、証人小兵衛(印)	歌左衛門殿	破損あり
長屋村高持惣代歌左衛門(印)、百姓代米之助(印)、年寄治三郎(印)、同断定四郎(印)、庄屋平左衛門(印)、中西郷村世話方請人七右衛門(印)、見延村同断半左衛門(印)、同村取締方八右衛門(印)、同村同断平之丞(印)、早野村庄屋同断寛治(印)、岩崎村庄屋同断俊司(印)、下宿村庄屋同断嘉平治(印)	講御連中	
長屋村借主太郎(印)、親類証人栄蔵(印)	村御役人衆中	
長屋村借り主栄蔵(印)、同断清九郎(印)、同断善助(印)	村御役人衆中	
借主藤右衛門判、加判定助印	大安寺殿 御納所	
質流主耕兵衛(印)、証人喜藤治(印)	歌左衛門殿	「右村庄屋定四郎(印)」の奥書あり
長屋村歌左衛門、親類年寄定四郎	大垣御預御役所	
中西郷邑借主作十郎(印)、同断受人佐兵衛(印)	長屋村御苗嘉左衛門殿	
長屋村本人彦治郎(印)、証人弥兵衛(印)	当村歌左衛門殿	破損あり、「庄屋治三郎(印)」の裏書あり
中西郷村借り主継蔵(印)、上西郷村親類惣代平助(印)、中西郷村組惣代領助(印)、同村請人勝助(印)、同村同断勘助(印)、同村同役人惣代市之丞(印)、同村同断庄屋山田甚右衛門(印)	長屋村長屋嘉左衛門殿	
かり主又四郎(印)、証人彦治郎(印)	当村歌左衛門殿	
か印堀口才三郎、かり主渡辺宗静(印)	長屋嘉左衛門殿	
証人堀口才三郎、かり主渡辺宗静(印)	長屋歌左衛門殿	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	る95	借用申金子証文之事（金10両、質物喜兵衛講1口分）	安政五年十二月	1858	一紙	1
	る96	借用申講金証文之事（金75両、質物田2か所ほか15か所）	安政五年十二月	1858	一紙	1
	る97	質流ニ相渡申地所証文之事（金4両、質地下畑1か所）	安政七申年三月	1860	一紙	1
	る98	預申金子之事（金50両）	安政七申年閏三月	1860	一紙	1
	る99	三ヶ年済借用金割賦之覚（金80両、角組など6組へ割合につき）	万延元年申十二月	1860	一紙	1
	る100	借用申御年貢金之事（金80両、当申年前代未聞の凶作にて年貢皆済差詰りの処、貸渡しにつき）	万延元年申十二月	1860	一紙	1
	る101	覚（金30両無心につき）	文久元年酉十二月	1861	切紙	1
	る102	一札（屋舗3畝26歩など質流れにて請取り、5か年内に金52両余差入れなら質流れ地指戻しにつき）	文久二戌年二月	1862	一紙	1
	る103	借用申金子之事（講9会目取口30両出金のうち金5両借用につき）	文久二年戌十二月五日	1862	一紙	1
	る104	借用申村入用金証文之事（金20両、村入用金借用にて来子年11月村高割合をもって返済につき）	文久三年亥十二月	1863	一紙	1
	る105	質流相渡申田地証文之事（金6両余、質流地屋敷1畝2歩ほか1か所）	文久四年子二月日	1864	一紙	1
	る106	借用申金子証文之事（金4両）	元治元子十二月日	1864	一紙	1
	る107	借用申金子証文之事（金50両）	慶応貳年とらの十二月日	1866	一紙	1
	明治1	郡中惣代ニ付下用人足留	明治元戌辰年十一月ヨリ（明治2年6月迄）	1868	横長	1
	明治2	巳村方小入用月ノ并七月十二月割賦取立帳	明治元戌辰年十二月ヨリ同二巳年十一月御免割迄	1868	横長	1
野	明治3	野村後藤世重郎様御下雑用帳	明治元戌辰十二月	1868	横長	1
	明治4	高寄帳	明治元辰年十一月	1868	縦	1
	明治5	辰秋免引帳	明治元戌年	1868	横半	1
	明治6	覚（下用帳）	辰極月日		横長	1
	明治7	巳春役竹木杭代金渡覚帳	明治二巳年正月	1869	横半	1
	明治8	御用廻状継送留	明治貳年巳正月吉日	1869	横半	1
	明治9	名寄畝歩高帳	明治貳年巳正月吉旦	1869	縦	1
	明治10	御用村用留	明治二巳巳年正月ヨリ	1869	縦	1
	明治11	村方他所銘々取替帳	明治二年巳正月吉日	1869	横半	1
	明治12	美江寺宿助郷人馬触留帳	明治二年巳巳正月ヨリ	1869	横長	1
	明治13	御用留	明治二年巳巳二月十五日ヨリ同年九月十九日迄記之	1869	横長	1
	明治14	明治二巳年二月石代一件ニ付上京逗留中取替金差引割賦	（明治2年2月）	1869	横長	1
	明治15	□（田）畑普請諸〔 〕	明治二巳巳年二月吉日	1869	横半	1
	明治16	五人組帳	明治二年巳三月	1869	縦	1
	明治17	〔天台宗・真言宗・浄土宗・禅宗・日蓮宗・東本願寺宗・西本願寺寺院印鑑帳〕	明治二年巳三月	1869	縦	1
	明治18	宗門人別御改帳	明治二年巳三月	1869	縦	1
	明治19	天台宗寺院印鑑帳	明治二年巳三月	1869	縦	1

作 成	受 取	備 考
曾井村借主梅英寺(印)、支配人青木伊左衛門(印)、加印高橋小兵衛(印)、証人長屋歌左衛門(印)	源藏殿	
更屋敷村借主宅平(印)、同村証人井作(印)、同村庄屋善左衛門(印)	長屋村講御支配人歌左衛門殿	
本人与作(印)、証人喜左衛門(印)	当村歌左衛門殿	
長屋村長屋歌左衛門(印)	上本田村関の屋豊助殿	
長屋村小前惣代喜左衛門、同栄藏、同小兵衛(印)、同用藏(印)、同幸右衛門(印)、同藤平(印)、同周助、同五郎右衛門(印)、同藤右衛門(印)、同半左衛門(印)	当村御村役御衆中	
長屋村小前惣代喜左衛門、同断栄藏(印)、同断源藏、同断幸右衛門(印)、同断藤平(印)、同断周助(印)、同断重右衛門、同断藤右衛門(印)、同断半左衛門(印)、同断五郎右衛門(印)、同断小兵衛(印)、同断用藏(印)	当村御村役人御衆中、御高持御衆中	
長屋村かり主長屋歌左衛門(印)	上真桑村福田継治郎殿	
長屋歌左衛門(印)	当村勘助殿	
曾井中島村借主高橋孫四郎(印)	長屋村長屋歌左衛門殿	
本巢郡長屋村百姓代喜左衛門(印)、年寄政助(印)、同断喜藤治(印)、庄屋治三郎(印)	上真桑村福田藤藏殿	作成の(印)に墨消しあり
長屋村地主栄藏(印)、加判多市(印)	長屋歌左衛門殿	「庄屋喜藤治(印)」の奥書あり
曾井村借主梅英寺(印)	長屋村長屋歌左衛門殿	
見延村借用主松尾源吉(印)	長屋村長屋可左衛門殿	「見延村庄屋理右衛門(印)」の裏書あり
壱西組 長屋姓		表紙「壱番」、反故紙使用
長屋村庄屋長屋八郎左衛門		
京□□兵衛(印)		破損あり
長屋村高持惣代五郎右衛門(印)、同断真平(印)、同断十右衛門(印)、同断源藏、同断藤十郎、同断治三郎、百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋八郎左衛門		挿入紙あり、表紙「明治元戊辰年十二月日」
長屋姓		
大垣関野源八(印：濃大垣柳原町関野屋)	長屋村長屋歌左衛門様	
長屋村庄屋		結び文2通あり
長屋氏登茂		破損大
庄屋長屋八郎左衛門		
元種		表紙「明治二巳年ヨリ向六年申酉年迄相用候事」、覚書など挿入紙多数あり
庄屋長屋八郎左衛門		
庄屋所		裏表紙「当番 長屋八郎左衛門」
		反故紙使用
長 []		破損あり
本巢郡長屋村	大垣御預御役所	
		表紙「貳拾ヶ村組合 七冊之内」
濃州本巢郡長屋村歌左衛門(印)	大垣御預御役所	
惣代上真桑村兵藏(印)、同断長屋村歌左衛門(印)	御奉行様	表紙「長屋村、岐礼村」「貳拾ヶ村組合 七冊之内」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治20	本巢郡長屋村天王・八王子社神主人別御改帳	明治二巳年三月	1869	縦	1
	明治21	人別増減差引帳	明治二年巳三月	1869	縦	1
	明治22	孝子農業出情篤実者取調帳	明治二己巳年三月	1869	縦	1
	明治23	当巳春役御普請御願箇所附帳	明治二年三月	1869	縦	1
	明治24	当巳春役御普請仕様帳	明治二年四月	1869	縦	1
	明治25	本巢郡長屋村人別取調帳	明治二己巳年五月	1869	縦	1
	明治26	番水雑用帳	明治二巳年五月吉日	1869	横長	1
	明治27	式番六月仮制後郡中組合諸用留	明治二己巳年六月下旬ヨリ	1869	横長	1
	明治28	巳正月より小払帳	明治二年七月吉祥日	1869	横長	1
	明治29	御用留	明治二巳年九月二十日ヨリ明治三庚午年二月廿八日迄録(録)之	1869	横長	1
	明治30	当座金銀出入帳	明治二己巳年九月二十四日ヨリ明治三庚午年五月十七日迄録之	1869	横長	1
	明治31	巳秋早稲方晩稲方内見毛揃帳	明治二年九月	1869	縦	1
	明治32	巳秋早稲方晩稲方内見毛揃帳	明治二年九月	1869	縦	1
	明治33	村方軒別贖金員数取調帳	明治二年巳九月十五日	1869	横長	1
	明治34	辰年出勤雑用頭割・御廻米割・畑方石代割・定例臨時高割郡々引分清勘定帳	明治二己巳年十月	1869	横長	1
	明治35	御蔵米庭帳	明治二年十月	1869	横長	1
	明治36	当巳諸金納壺番触取立帳	明治二年十一月四日	1869	横長	1
	明治37	清勘定諸取替請取調帳	明治二己巳年十一月	1869	横長	1
	明治38-1	巳本途御年貢免割勘定帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治38-2	巳本途御年貢免割勘定帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治39	年々庄屋前引分勘定帳	明治二己巳年ヨリ	1869	横長	1
	明治40	組合清勘定割賦扣帳	明治二己巳年十二月	1869	横長	1
	明治41	辰年清勘定過不請払帳	明治二己巳年十二月三日	1869	横長	1
	明治42-0	〔井水方八ヶ村割賦帳并書類入〕〔袋〕	明治二己巳年十二月	1869	袋	1
	明治42-1-1	覚(銀414匁余、8か村割当限出金につき)	未正月晦日		切紙	1
	明治42-1-2	覚(8か村割27匁受取下さるようにつき)	未正月		切紙	1
	明治42-1-3	覚(銀729匁、8か村割当村出銀分差上げにつき)	二月朔日		切紙	1
	明治42-2	〔去る卯年真桑方新川一条にて井上8か村文殊郷宿にて出合いの節の諸入用、私立替にて割賦割入れ願いにつき〕	十二月廿五日		切紙 (封筒共)	1
	明治42-3	〔金子借用にて証書認めぬの処、印形笠松へ遣わしにて印形持ち帰り次第認め願いにつき書状〕	一月三十一日		切紙	1
	明治42-4	覚(小使・定使、下用雑用代銀勘定につき)	とり一月		切紙	1
	明治42-5	記(金2円余、申年井上8か村割、当村出銀分差上げにて請取勘定願いにつき)	一月廿四日		切紙 (包紙共)	1
	明治42-6-1	記(治三郎講金差引請取につき)	一月廿七日		切紙	1
	明治42-6-2	〔講金取替の件などにつき書状〕	一月廿七日		切紙	1
	明治42-7	記(下用雑用銀書付)	酉一月十日		切紙	1
	明治42-8-1	〔8か村払銀書付〕			切紙	1
	明治42-8-2	覚(払い金銭書付)			切紙	1
	明治42-8-3	八ヶ村青平方(銀銭書付)			切紙	1

作 成	受 取	備 考
濃州本巢郡長屋村庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	
本巢郡長屋村庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村」
長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋八郎左衛門		表紙「本巢郡長屋村控」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	笠松県御役所	表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	
山口宿武藤貞助		
壺番西組惣代長屋姓		反故紙使用
定使扣		
庄屋所		
		裏表紙「長屋蔵本」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断八郎左衛門		表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断八郎左衛門		表紙「本巢郡長屋村」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛、利左衛門、喜藤治、八郎左衛門	大垣藩民政御役所	表紙「本巢郡長屋村」
壺番西組長屋歌左衛門		
長屋村		
壺西惣代長屋歌左衛門		
惣代長屋姓		結び文あり
長屋村庄屋八郎左衛門		
大垣藩御預所本巢郡長屋郷庄屋八郎左衛門		表紙「両組引分ヶ」
長屋八郎		
壺番西組惣代長屋姓		
壺番西組惣代長屋姓		
長屋村井頭小野治三郎		
上西郷村庄屋河部惣左衛門	長屋歌左衛門様	明治42-1-1~-3は重ね折一括
法林寺村役人	長屋村御井頭中様	
文殊村庄屋河村逸吉	長屋村御井頭長屋歌左衛門様	
高橋東作	長屋村御井頭長屋喜藤治様、長屋歌左衛門様	
青木右藤太	長屋平馬様	
長屋青平	御村方戸長様	
文殊村戸長高橋東作	長屋村御井頭長屋平馬様	
青木右藤太	長屋平馬様	明治42-6-1が-2をくるんでいた
青木右藤太	長屋平馬様	
清川屋青平	八ヶ村御井頭中様	
		明治42-8-1~-3は-4に挟まれていた

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治42-8-4	〔8か村別割賦銀銭書付〕			切紙	1
	明治42-9-1	記（7月分金銭書付）			切紙	1
	明治42-9-2	記（金5円請取につき）	酉一月廿八日		切紙	1
	明治42-9-3	覚（銀190両余、割賦金差上げにつき）	未正月晦日		切紙	1
	明治42-9-4	覚（金2両余、8か村割請取下さるようにつき）	未二月晦日		切紙	1
	明治42-9-5	記（小使人足賃・裁許一件にて集会入用金など書付）	（申年）		切紙	1
	明治42-10	覚（耕兵衛方、8か村割賦金など書付）			切紙	1
	明治42-11-1	覚（銀1貫50匁余、乙井組へ出分からの差引など書付）	未正月廿二日		切紙	1
	明治42-11-2	覚（講金など1貫340匁余頂戴につき）	正月廿二日		切紙	1
	明治42-11-3	〔村別割賦金書付〕			一紙	1
	明治42-11-4	雑用（井水宿貞助受取金など書付）			一紙	1
	明治42-11-5	記（当10月井頭一条にて出会の節、入用金など書付）	未十二月		一紙	1
	明治42-11-6	〔酒肴などの人数・代金書付〕	酉一月廿七日		横長	1
	明治42-11-7	覚（菓子・酒肴代など書付）	未十二月		一紙	1
	明治43	高寄帳	明治二己巳年十二月	1869	縦	1
	明治44	已御用人足夫割帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治45	已御用人足夫割帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治46	已免割後村小入用月ノ帳	明治二年十二月十日ヨリ	1869	横長	1
	明治47	已邨方小入用月ノ帳	明治二年十二月迄	1869	横長	1
	明治48	清勘定林氏差引勘定帳	明治二己巳年十二月	1869	横長	1
	明治49	辰清勘定組合村々過不差引帳	明治二己巳年十二月	1869	横長	1
	明治50	巳年夫寄・夫割・七月十二月払・組割・本違割御免割仮帳	明治二巳年十二月	1869	横長	1
	明治51	巳年井水方八ヶ村立会下用雑用帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治52	井水方諸入用八ヶ村割賦	明治二巳年十二月	1869	横長	1
	明治53	已御年貢米小前振分帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治54	巳年買納帳	明治二年十二月	1869	横長	1
	明治55	総郡取替之覚	明治二己巳年孟冬新調	1869	横長	1
	明治56	下用帳	明治二己巳年	1869	横長	1
	明治57	〔林氏勘定・巳3月29日上納諸金納残金触村々取立差引過不足之覚・巳8月18日人足賃銀割賦取立触覚〕	（明治2年）	1869	横長	1
	明治58	午年御役人井水方立会井頭村役人下用造用帳	明治三正月吉日	1870	横長	1
	明治59	御用留	明治三歲庚午三月ヨイ朔日ヨリ明治四辛未年二月四日迄録之	1870	横長	1
	明治60	奉公人雇入名録	明治四年未四月	1871	縦	1
	明治61	当座金銀出入帳	明治三庚午年五月十八日ヨリ同年十二月十七日迄録之	1870	横長	1
	明治62	難渋者救助目録	明治三庚午年五月七日早朝より夕方迄	1870	横長	1
	明治63	隠居部田畑掟小作帳	明治三庚午歲夏六月吉旦	1870	横長	1
	明治64	院居分田畑畝歩帳	明治三庚午歲夏六月吉旦	1870	縦	1
	明治65	年々七月十二月払方覚帳	明治三庚午歲ヨリ	1870	横長	1
	明治66①	午秋早稲方内見合附簡	明治三年八月	1870	横長	1
	明治66②	午秋早稲方内見合附帳	明治三年	1870	横長	1
	明治66③	午秋早稲方内見合附簡	明治三庚年八月	1870	横長	1

作 成	受 取	備 考
		明治42-9-1～-5は重ね折一括
喜藤二(印)	八郎殿	
下西郷村	ナガヤ村長屋歌左衛門様	
見延村松尾小文次	長屋村長屋歌左衛門様	
耕十郎	歌左衛門様	明治42-11-1～-7は重ね折一括
右藤太	歌左衛門様	
		綴じ穴跡あり
山口井水宿貞助	長屋村長屋嘉左衛門様	
上西郷村河村宮蔵	井頭村瀬兵四郎様	
□□貞すけ	御井頭長屋平馬殿	
小見山又吉	中西郷村御役前衆中様	
長屋村高持惣代五郎右衛門、同断真平、同断十右衛門、同断源蔵、同断藤十郎、同断治三郎、百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断喜藤治、同断長屋八郎左衛門		表紙「長屋村」
大垣藩御預所本巢郡長屋村庄屋八郎左衛門		表紙「両組引分ケ」
長屋村庄屋八郎左衛門		
長屋村庄屋長屋八郎左衛門		表紙「明治三庚午年十二月十九日ヨリ 同四辛未年御免割迄同未年御免割渡候 同五壬申年御免割迄同申御免割渡候」
長屋村庄屋長屋八郎左衛門		
惣代長屋氏		
老西惣代長屋歌左衛門		表紙「惣代長屋氏」
長屋村		
□□貞太郎		
井頭耕十郎(印)、同断右藤太(印)、同断治三郎(印)	長屋村(印)、曾井中島村、見延村(印)、文殊村(印)、法林寺村(印)、上西郷村(印)、中西郷村(印)、下西郷村(印) 右村々御庄屋中	「右之通立会致割賦候間、御承知之上、来廿八日迄ニ長屋村井頭方江為持可被遣候、以上」とあり
長屋村庄屋八郎左衛門		
庄屋長屋八郎左衛門		
老西惣代長屋氏		
長屋八郎左衛門当番		
元種		
庄屋		
長屋姓庄屋八郎左衛門(印)	笠松御県御役所	表紙「明治三年」、表紙貼紙「明治四辛未年四月 本巢郡長屋郷庄屋八郎左衛門支配」
長屋総裁		
長屋景明(歌左衛門)		
長屋景明(歌左衛門)		破損あり
長屋八郎		
		明治66①～⑥は綴、表紙「老番 鎌田」
		表紙「老番之内 奈良の木」
		表紙「式番 林分」

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	明治66④	午秋早稲方内見合附帳	明治三年八月	1870	横長	1
	明治66⑤	午秋早稲方内見合附帳	明治三年	1870	横長	1
	明治66⑥	午秋早稲方内見合附帳	明治三年八月	1870	横長	1
	明治67	午秋晚稲方内見合附帳	明治三年八月	1870	横長	1
	明治68	午秋晚稲方内見合附帳	明治三年	1870	横長	1
	明治69	午秋晚稲方内見合附帳	明治三年八月	1870	横長	1
	明治70	午秋晚稲方内見合附帳	明治三庚年八月	1870	横長	1
	明治71	午秋晚稲方内見合附帳	明治三年	1870	横長	1
	明治72	午秋晚稲方内見合附簡	明治三年八月	1870	横長	1
	明治73	午秋早稲方晚稲方内見毛揃帳	明治三年九月	1870	縦	1
	明治74	午秋早稲方晚稲方内見毛揃帳	明治三年九月	1870	縦	1
	明治75	美濃国本巢郡長屋村神社帳	明治三庚午年十月	1870	縦	1
	明治76	上京諸入用仕訳帳	明治三庚午年十月	1870	横長	1
	明治77	辰年清勘定并石代上京入用割決算帳	明治三庚午年十一月十八日ヨリ十九日夜迄仕上ケ	1870	横長	1
	明治78	辰年清勘定并石代上京入用割決算帳	明治三庚午年十一月十八日ヨリ十九日迄仕上ケ	1870	横長	1
	明治79	高寄帳	明治三庚午年十二月	1870	縦	1
	明治80	井水方諸入用八ヶ村割賦帳	明治四辛未年正月	1871	横長	1
	明治81	午年八ヶ村諸入用割賦帳	明治三年十二月	1870	横長	1
	明治82	当座金銀出入帳	明治三庚午年十二月十八日ヨリ明治四辛未年五月晦日迄録之	1870	横長	1
	明治83	午春役小井水并籠替両井水掘浚帳	明治三年	1870	横長	1
	明治84	午秋立毛手引簿	明治三年	1870	横長	1
	明治85	午秋立毛手引簿	明治三年	1870	横長	1
	明治86	午年御収納米三組仕訳帳	明治三年	1870	縦	1
	明治87	森井古木壳壤勘定簡	明治辛未季春中之七日	1871	横長	1
	明治88	年内下用とめ帳	明治四辛未年正月吉祥日	1871	横長	1
	明治89	年内下用とめ帳	(明治4年)辛未春王正月吉旦	1871	横長	1
	明治90	井組八ヶ村割賦請扣帳	明治四辛未年正月	1871	横長	1
	明治91	村方小入用月ノ七月十二月割賦取立帳	明治四辛未年正月吉祥日	1871	横長	1
	明治92	御用留	明治四辛未年二月ヨリ同年八月晦日迄録之	1871	横長	1
	明治93	已七月ヨリ当未二月迄諸御用継送人足里数帳	明治四辛未年二月廿日限差上ル	1871	横長	1
	明治94	式番御用郵用留	明治四辛未年二月吉日	1871	縦	1
	明治95	式番御用村用留	明治四辛未年二月吉日	1871	縦	1
	明治96	未春役籠代并伏賃人足賃銀渡帳	明治四辛未年三月	1871	横長	1
	明治97	耕地宅地買附代金帳	明治四辛未年三月ヨリ	1871	縦	1
	明治98	美濃国本巢郡長屋村社寺戸籍	明治四未年四月	1871	縦	1
	明治99	家数人別増減差引帳	明治四辛未年四月	1871	縦	1
	明治100	戸籍人別増減帳	明治四辛未四月	1871	横長	1

作 成	受 取	備 考
		表紙「三番 神下路」
		表紙「四番 人宿り」
		表紙「五番 壺町田」
		明治67～明治72は綴、表紙「壺番 鎌田」
		表紙「壺番之内 奈良ノ木」
		表紙「式番 林分」
		表紙「三番 神下路」
		表紙「四番 人宿り」
		表紙「五番 壺町田」
本巢郡長屋村御百姓代小兵衛、年寄十右衛門、同断糸之丞、庄屋利左衛門、同断八郎左衛門、同断喜藤治	御検見判事衆	表紙「本巢郡長屋村扣」
本巢郡長屋村御百姓代小兵衛(印)、年寄十右衛門(印)、同断糸之丞(印)、庄屋利左衛門(印)、同断八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)		表紙「本巢郡長屋村」
御百姓代高橋小兵衛印、年寄成瀬十右衛門印、同断高橋糸之丞印		表紙「大垣藩江書上候下書 庄屋長屋八郎控」
長屋氏		
長屋□		
長屋□		
長屋村高持惣代五郎左衛門、同断真兵衛、同断藤十郎、同断賀久之介、年寄十左衛門、同断糸之丞、御百姓代小兵衛、庄屋利左衛門、同断八郎左衛門、同断喜藤治		表紙「本巢郡長屋村」
井頭山田耕十郎、同断青木右藤太、同断長屋歌左衛門	長屋村、曾井中島村、見延村、文殊村、法林寺村、上西郷村、中西郷村、下西郷村 右村々御庄屋中	表紙「明治三庚午年十二月 長屋・青木・山田控」
□□貞太郎		
会計管轄長屋八郎左衛門(印)		
長屋扣		
喜藤治、藤十郎、徳右衛門		綴じ紐切れ、表紙「四番 人宿り」
利左衛門、重右衛門		表紙「五番 壺町田」
上組扣		
長屋卍庄屋		表紙以外白紙
長屋氏賄方		
長屋		
井上井頭長屋氏		
庄屋当番長屋八郎左衛門		
庄屋		
当番長屋八郎		表紙「本巢郡長屋村」
長屋村庄屋長屋八郎		
長屋村庄屋長屋八郎左衛門		
当番長屋八良		表紙「長屋卍」
長屋八郎		挿入紙あり、罫紙使用
本巢郡長屋卍庄屋八郎左衛門(印)		挿入紙あり、表紙貼紙「明治四辛未四月 長屋卍庄屋喜藤治、同断八郎左衛門、同断利左衛門支配」
本巢郡長屋卍庄屋八郎左衛門	笠松御県御役所	表紙「本巢郡長屋卍」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治101	当座金銀出入帳	明治四辛未年六月朔日ヨリ同年極月大三十日迄繰之	1871	横長	1
	明治102	上（長屋村長屋神社祭礼6月14・15日にて御出役様御越しくださるようお願いにつき）	（明治4年）辛未六月	1871	縦	1
	明治103-1	神社諸取替勘定帳	明治四辛未年六月吉日ヨリ	1871	横長	1
	明治103-2	濃州本巢郡長屋村寺院絵図面	明治四辛未年六月	1871	絵図	1
	明治104	御用留	明治四年未八月晦日ヨリ（12月迄）	1871	横長	1
	明治105	本巢郡長屋村御除地・社木取調書上帳	明治四年辛未八月	1871	縦	1
	明治106-1	本巢郡長屋村御除地・社木取調書上帳	明治四年辛未八月	1871	縦	1
	明治106-2	〔本巢郡長屋村御堤絵図〕	明治四辛未年九月	1871	絵図	1
	明治106-3-0	〔古書・新出類 古・新絵図面〕〔袋〕	明治四辛未年九月二日改調之入	1871	袋	1
	明治106-3-1	〔植木書付図面〕			一紙	1
	明治106-3-2	〔長屋神社建物・参道絵図〕	明治三庚午年十二月七日八日改	1870	絵図	1
	明治106-3-3	〔長屋村論所絵図〕			絵図	1
	明治107	御蔵米星附庭帳	明治四年辛未十月ヨリ（明治5年4月迄）	1871	横長	1
	明治108	辛未御蔵米庭帳	明治四年十月	1871	横長	1
	明治109	壬申堤防川除定式修繕出来形帳	（明治4年）壬申十月	1871	縦	1
	明治110	御用私用武根濃志摩利	明治四辛未年十一月吉日	1871	横長	1
	明治111	辛未夫礼寄・邨方他所寄・夫銀寄・夫米別・相場つけ・本免別免割仮帳	明治四年十一月	1871	横長	1
	明治112	新横田法口附簿	明治四辛未年十一月十四日初会	1871	縦	1
	明治113	辛未本途御年貢免割勘定帳	明治四年十二月	1871	横長	1
	明治114	辛未御貢米小前振分勘定帳	明治四年十二月	1871	横長	1
	明治115	辛未御用人足夫割帳	明治四年十二月	1871	横長	1
	明治116	御用留	明治四辛未十二月八日ヨリ（明治5年6月迄）	1871	横長	1
	明治117	辛未十二月邨方自分小払記録	明治四年暮冬吉祥日	1871	横長	1
	明治118	辛未貢物勘定帳	明治四年十二月吉日	1871	横長	1
	明治119	《両組引分ケ未本途御年貢免割勘定帳》	明治4・12	1871		
	明治120	両組引分ケ辛未御用人足夫割帳	明治四年十二月	1871	横長	1
	明治121	辛未十二月割賦取立帳	明治四年極月吉祥日	1871	横長	1
	明治122	取締書（神社境内での商い、他村よりの出商人などの件につき）	明治四年辛未十二月	1871	縦	1

作 成	受 取	備 考
会計管轄長屋八郎		
本巢郡長屋邨御百姓代高橋小兵衛(印)、年寄成瀬十右衛門(印)、同断高橋条之丞(印)、庄屋平瀬利左衛門(印)、同断長屋喜藤治(印)、同断長屋八郎左衛門(印)	笠松御県御役所	
祭主平朝臣長屋景寿(八郎左衛門)		
濃州本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、年寄十右衛門(印)、同断条之丞(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	笠松御県御役所	28.2×40.5cm、表紙「庄屋当番長屋八郎左衛門」、絵図4枚紐綴じ
本巢郡長屋村		結び文あり
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、年寄条之丞(印)、同断十右衛門(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	笠松御県御役所	表紙「戸長長屋八郎扣」
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、年寄十右衛門(印)、同断条之丞(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	笠松御県御役所	表紙「放古」
庄屋長屋八郎左衛門、同断長屋喜藤治、同断平瀬利左衛門、年寄高橋条之丞、同断平瀬十吾衛門、百姓代高橋小之丞		27.8×118.6cm、高・反別などを記した添付史料あり、付箋あり、「右之通取調、明治四年未九月二日笠松県土木司江差上ル下タ」とあり
長屋歌左衛門景明、同八郎左衛門景寿		明治106-3-1～-3は袋一括、袋「大要書」、袋は反故紙使用
		39.4×27.6cm
筆写長屋八郎左衛門平景寿(花押)、青木賀久之亮源元珍(花押)控之		28.2×110.6cm、彩色、「御出役大垣御藩小倉権少属殿、史生土屋林四郎殿」とあり
		92.0×83.2cm、彩色、剥離紙あり
定使平助・利平扣		結び文4通あり
庄屋		
本巢郡長屋村		
長屋八郎		反故紙使用
長屋		
世話人多田八平、同断同彦平、同断遠山八百蔵、講元同彦次		
岐阜県管轄所本巢郡長屋邨庄屋長屋八郎		
岐阜県管轄所本巢郡長屋邨庄屋長屋八郎		
笠松県管轄所本巢郡長屋村庄屋長屋八郎		
長屋邨		
長屋八郎		
岐阜県管轄所本巢郡長屋邨庄屋長屋八郎		
		現在所在不明
岐阜県管轄所本巢郡長屋村庄屋長屋八郎		
庄屋長屋八郎		
本巢郡長屋村願主高橋領八(印)、同断同徳得(印)、同断吉田新平(印)、同断高橋門作(印)、同断遠山忠平(印)、同断成瀬清平(印)	御村役人中様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治123	高寄帳	明治四辛未年十二月	1871	縦	1
	明治124	調達金証文写（金130両差出金請取証文の件）	（慶応2年11月・明治4年12月）	1866	縦	1
	明治125	壹番 御用郵用記	明治五壬申歳春王正月吉日	1872	縦	1
	明治126	糸貫川通壬申井水方要記	明治五春王正月吉祥日	1872	縦	1
	明治127	申春役御普請并小井水見立帳	明治五年正月吉日	1872	横長	1
	明治128	当座金銀出入帳	明治五壬申年正月吉祥日ヨリ同六年癸酉一月念三日迄祿之	1872	横長	1
	明治129①	番水ニ付森井懸分水并用水要録	明治五壬申年六月下旬ヨリ録之同九丙子年時刻	1872	横半	1
	明治129②	番水ニ付森□井分水并用水摘要記	明治十六年六月ヨリ同二十年・同二十一年・同十九年モ附記ス	1883	横半	1
	明治129③	森□井分水并用水摘要記	明治貳拾貳年丑六月ヨリ（明治33年7月）	1889	横半	1
	明治130	御用留	明治五壬申七月吉日ヨリ（10月迄）	1872	横長	1
	明治131	年内下用帳	明治五壬申七月十五日ヨリ	1872	横長	1
	明治132	本巢郡長屋郷小入用帳	明治五壬申七月中旬ヨリ（12月迄）	1872	横長	1
	明治133	御用廻状継立請取牒	明治五壬申八月八日ヨリ（明治6年4月迄）	1872	横半	1
	明治134	公私要用記	明治五申年八月吉日ヨリ六酉年六月三十日マテ	1872	縦	1
	明治135	明治五壬申年八月御貢米御改正ニ付御規則書	（明治5壬申年8月）	1872	縦	1
	明治136	名寄畝歩帳	明治五壬申年八月改	1872	縦	1
	明治137	《本巢郡長屋高反別取調帳》	明治5・8	1872		
	明治138	地券取調ニ付諸入用録	明治五壬申年八月	1872	横長	1
	明治139	高反別総計	明治五壬申八月	1872	横長	1
	明治140	無税地間数取調録	（明治5年）壬申秋八月	1872	横長	1
	明治141	《長屋村順番字 反別 高捷 地代金取調帳》	明治5・10	1872		
	明治142	岐阜県御布令録	明治五壬申冬十月吉日ヨリ（明治6年2月迄）	1872	横長	1
	明治143	《地券調代価盛帳》	明治5・11	1872		
	明治144	田畑上中下畝歩高人別総計帳	明治五壬申年十一月	1872	横長	1
	明治145	申年南原井水三ヶ村立会諸入用割賦帳	明治五年十一月十日	1872	横長	1
	明治146	壬申田畑貢米石代金仕訳帳	明治五年十一月ヨリ	1872	横長	1
	明治147①	第一号 学校書記（十七区羽栗郡笠松村育英南北義校規則書写）	（明治6年2月）	1873	縦	1
	明治147②	〔小学義校開業願書綴〕	（明治6年3月）	1873	綴	1
	明治148	高寄帳	明治五壬申年十二月	1872	縦	1
	明治149	壬申御用人足夫割帳	明治五年十二月	1872	横長	1
	明治150	《壬申本途御年貢免割勘定帳》	明治5・12	1872		
	明治151	申年米金入費附込帳	（明治5年）二千五百三十二年十二月	1872	横長	1
	明治152	下用帳			横長	1
	明治153	岐阜県管轄第九十五区戸籍職分総計	明治五壬申年	1872	縦	1
	明治154	壬申貢勘定籍	明治六癸酉年一月吉日	1873	横長	1
	明治155	《壬申本途米金組割帳》	明治6・1	1873		

作 成	受 取	備 考
長屋村庄屋長屋八郎(印)、同断長屋喜藤治(印)、同断成瀬定助(印)、御百姓代高橋小平(印)、年寄高橋彥助、同断成瀬重平(印)、高持惣代青木賀久之助(印)、同断宇佐見藤十郎(印)、同断吉田新平(印)、同断成瀬猪三郎		表紙「本巢郡長屋村」
美濃本巢郡長屋郷戸長長屋八郎		表紙「戸長長屋景寿」、「第三十六区本巢郡」の罫紙使用
井上井頭長屋平馬		表紙朱書「壺番」、「第三十六区本巢郡」の罫紙使用、挿入紙あり
長屋村		
		裏表紙「会計懸長屋蔵本」
長屋八郎控		明治129①～③は綴、挿入紙あり
長屋八郎		
長屋八郎		
岐阜県管轄美濃国本巢郡長屋村戸長長屋八郎		結び文3通あり、挿入紙あり、表紙「長屋郷戸長」
当番台所		
戸長長屋八郎		
本巢郡長屋郷		結び文2通あり
長屋景寿(八郎左衛門)		表紙「弍号」、「第三十六区本巢郡」の罫紙使用、挿入紙あり
戸長長屋扣		
青木三郎		破損あり
		現在所在不明
長屋		
本巢郡長屋村		付箋多数
長屋		図面貼付
		現在所在不明
岐阜県管轄第九十五区美濃国本巢郡長屋村戸長長屋八郎		表紙「第九十五区戸長」
		現在所在不明
本巢郡長屋村戸長		綴じ紐切れ
長屋村戸長		
長屋八郎、青木利一扣工		明治147①・②は綴
本巢郡長屋村		
本巢郡長屋村戸長長屋八郎		挿入紙あり
		現在所在不明
戸長長屋八郎		
一平方		
第九十五区本巢郡長屋村戸長長屋八郎、同副高橋源三		表紙「美濃国本巢郡長屋村控」
戸長長屋八郎		
		現在所在不明

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治156	壬申本途御年貢免割勘定帳	明治六癸酉一月	1873	横長	1
	明治157	戸長前金銀出入日々検査帳	明治六癸酉年一月吉日ヨリ	1873	横長	1
	明治158	《掟総計收取米代金利米平均帳》	明治6・1	1873		
	明治159	壬申免割済ヨリ下用帳	(明治6年)記元二千五百三十三年癸酉一月吉日	1873	横長	1
	明治160	当座金銀出入帳	明治六癸酉年一月吉日同七年甲戌三月十二日迄録之	1873	横長	1
	明治161	美濃国本巢郡長屋村小入用帳	明治六年第一月	1873	横長	1
	明治162	出生月々取調書	明治六年	1873	縦	1
	明治163	入籍月々取調書	明治七年一月	1874	縦	1
	明治164	送籍月々取調書	明治七年一月	1874	縦	1
	明治165	死亡月々取調書	明治七年一月	1874	縦	1
	明治166	岐阜県第九十五区戸籍総計	明治六年一月	1873	縦	1
	明治167	旧大垣藩調達金之儀御尋問二付御答書	明治六癸酉一月十五日	1873	縦	1
	明治168	壬申本途金割・小入用金割取立帳	明治六癸酉一月	1873	横長	1
	明治169	壬申御用人足夫割帳	明治六癸酉一月	1873	横長	1
	明治170	《本巢郡長屋村地券調帳》	明治6・2	1873		
	明治171	癸酉春役自普請籠両井水掘浚見立帳	明治六年二月	1873	横長	1
	明治172	《総計并敷地米取調帳》	明治6・2	1873		
	明治173	畝歩高寄名帳	明治六癸酉第二月改	1873	縦	1
	明治174	新開取調帳	二千五百三十三年四月	1873	横長	1
	明治175	開業以降諸費計算帳	明治六癸酉年三月ヨリ七月ニ至ル	1873	横長	1
	明治176	小学校有志助成金記	明治六癸酉年三月	1873	横長	1
	明治177	《掟総計簿》	明治6・4	1873		
	明治178	地券願取調簿	明治六年五月	1873	縦	1
	明治179	堤敷溝敷道敷弁米改帳	明治六癸酉五月二日	1873	横長	1
	明治180	諸払請取帳	明治六年六月	1873	横長	1
	明治181	明治六年七月仮割賦取立帳	(明治6年7月)	1873	横長	1
	明治182	公私要用記	紀元二千五百三十三年明治六年癸酉七月ヨリ(明治10年3月迄)	1873	縦	1
	明治183	愛敬義校諸記録(録)	明治六癸酉年八月八日ヨリ(9月迄)	1873	縦	1
	明治184	癸酉八月ヨリ十二月マテ出納計算簿	明治七年一月十五日	1874	縦	1
	明治185	第七大区々画(本巢郡一小区から十七小区までの村名書付)	(明治6年カ)	1873	縦	1
	明治186①	進達書(徴兵免役者届出につき)	明治六年十一月	1873	縦	1

作 成	受 取	備 考
戸長長屋八郎		
長屋八郎		反故紙使用
		現在所在不明
長屋台所		
長屋平馬		挿入紙あり
戸長長屋八郎		
		罫紙使用、表紙「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)		罫紙使用、表紙「明治六年」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)		罫紙使用、表紙「明治六年」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、表紙貼紙「此外出寄留月々取調書扣 此分ハ当二月御手元ニ差上置候心得ニ御座候事」
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)		罫紙使用、表紙「明治六年」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」
第九十五区本巢郡長屋村戸長長屋八郎(印)、同副高橋源三(印)		「岐阜県」の罫紙使用、表紙「本巢郡長屋村」
岐阜県管下美濃国本巢郡第九十五区長屋村農長屋平馬(印)	大蔵省負債掛御出張所	同内容のものが2点綴られている
戸長長屋八郎		
戸長長屋八郎		
		現在所在不明
戸長長屋八郎		表紙「長屋村」
		現在所在不明
青木三郎		
本巢郡長屋邸		
愛敬舎		
会計世話方		
		現在所在不明
持主青木元珍		罫紙使用、付箋あり
長屋村		
長屋(印)		
長屋		
長屋景寿(八郎左衛門)		罫紙使用、表紙「三号」、挿入紙あり
長屋景寿(八郎左衛門)		罫紙使用、挿入紙あり
第三十二中学区五十四番小学愛敬義校取締高橋源三、成瀬利太郎、青木利一、長屋八郎、校下石神村戸長青木竹三郎、副戸長青木十平、校下長屋村戸長長屋好真、副戸長成瀬利三		表紙「愛敬舎」
		明治185～明治193は包紙一括、包紙「明治六年十一月満十七歳之者国民軍連名簿・同国民軍羸弱之者連名簿・満二十歳之者徴兵連名簿・同徴兵免役連名簿 第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」 「岐阜県」の罫紙使用
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)	岐阜県戸籍掛御中	明治186①～④は綴、表紙「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村年番戸長」、罫紙使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治186②	記（徴兵者の滞留地・往復距離など書付）	明治七年八月	1874	縦	1
	明治186③	記（徴兵連名簿3通上納につき）	明治七年九月	1874	縦	1
	明治186④	記（徴兵者の往復距離書付）	明治七年	1874	縦	1
	明治187	満十六歳之者国民軍成丁簿（総計人員9人）	明治六年八月	1873	縦	1
	明治188	満十七歳之者国民軍成丁簿（総計人員29人）	明治六年十一月	1873	縦	1
	明治189	満十七歳之者国民軍羸弱之者成丁簿（総計人員2人）	明治六年十一月	1873	縦	1
	明治190	徴兵免役箇条書（総計人員28人）	明治六年十一月	1873	縦	1
	明治191	満十七歳之者国民軍成丁簿・同国民軍奉職之者成丁簿・同国民軍羸弱之者成丁簿・満二十歳之者徴兵連名簿・同徴兵免役一連名簿・満十八歳以上満四十歳以下之者国民軍成丁簿・同国民軍奉職之者成丁簿・同国民軍羸弱之者成丁簿	明治六年六月	1873	縦	1
	明治192	満十七歳国民軍成丁簿・同国民軍羸弱之者成丁簿・満二十歳徴兵連名簿・同徴兵免役連名簿	明治六年十一月	1873	縦	1
	明治193	国民軍成丁簿・同羸弱之者成丁簿・徴兵連名簿・同免役連名簿	明治六年十二月	1873	縦	1
	明治194	貢米并上納金割賦金勘定書ノ写	明治六年十一月廿五日	1873	縦	1
	明治195	貢米并上納金割賦金勘定帳	明治六年十一月廿五日	1873	横長	1
	明治196	貢米并上納金割賦金勘定帳	明治六年十一月廿五日	1873	横長	1
	明治197	田畑地引録（録）	神武天皇即位紀元貳千五百三十三年	1873	横長	1
	明治198	田畑屋舗也并名寄惣計帳	明治六年	1873	横長	1
	明治199	〔本巢郡長屋村石高・地代金書上帳〕	明治六年 月	1873	縦	1
	明治200	本巢郡長屋村地券総計帳	明治六年	1873	縦	1
	明治201	美濃国本巢郡長屋村・席田郡上之保村地券願取調帳（長屋村・上之保村立会秣場の地券下げ渡し願につき）	明治六年	1873	縦	1
	明治202	学資金取立簿	明治六年十二月廿一日改	1873	横長	1
	明治203	美濃国本巢郡長屋村・席田郡上之保村立会地券願取調帳（長屋村・上之保村立会秣場の件につき）	明治六年	1873	縦	1
	明治204	美濃国本巢郡長屋村・席田郡上之保村地券願取調帳（長屋村・上之保村立会秣場の地券下げ渡し願につき）	明治六年 月	1873	縦	1
	明治205	区内取替調帳	明治七年一月	1874	横長	1
	明治206	郷社諸入用取調帳	明治七年一月三日	1874	横長	1
	明治207①	岐阜県第七大区六ノ小区戸籍総計控	（明治7年1月）	1874	縦	1
	明治207②	岐阜県第七大区六ノ小区職分総計控	（明治7年1月）	1874	縦	1
	明治207③	岐阜県第七大区六ノ小区ヨリ他府県江寄留総計控	（明治7年ヵ）	1874	縦	1

作 成	受 取	備 考
右（第七大区六ノ小区本巢郡長屋）村戸長長屋好貞(印)	岐阜県徴兵議官御中	罫紙使用
第七大区六ノ小区副戸長本巢郡曾井中嶋村高橋瀬一郎(印)	大区月番御中	罫紙使用
右（第七大区六ノ小区本巢郡法林寺）村戸長鷺見耕蔵	岐阜県徴兵議官御中	罫紙使用
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作	学区取締御中	表紙「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、表紙朱書「追加」、罫紙使用
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)	岐阜県戸籍掛御中	表紙「明治七年二月」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村始五ヶ村」、罫紙使用
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)	岐阜県戸籍掛御中	表紙「明治七年二月」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村外四ヶ村」、罫紙使用
第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作(印)	岐阜県戸籍掛御中	表紙「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、表紙朱書「上ヶ帳袋綴ニ可致事 扣」、罫紙使用
(第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作)	(学区取締御中)	表紙「第七大区六ノ小区 本巢郡———合五ヶ村」、表紙朱書「上包ミ箱ノ上ニ如斯相認候事」、罫紙使用
(第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作)		表紙「二」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、罫紙使用
(第七大区六ノ小区年番戸長本巢郡文殊村高橋東作)	(岐阜県戸籍掛御中)	表紙「第二」「第七大区六ノ小区本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、罫紙使用、明治193と明治194の間に紙片（「長屋 明七 ス」）あり
原告人長屋八郎(印)	小崎岐阜県参事殿	表紙「本巢郡長屋村長屋八郎」、罫紙使用
原告人長屋八郎(印)	小崎岐阜県参事殿	表紙「本巢郡長屋村長屋八郎」
原告人長屋八郎(印)	小崎岐阜県参事殿	表紙「本巢郡長屋村長屋八郎」
長屋景寿（八郎左衛門）、青木元珍		表紙朱書「中帳江出ス済」
本巢郡長屋村		表紙「調簿」
副戸長高橋源三、戸長長屋八郎	長谷部岐阜県令殿	
副戸長高橋源三(印)、戸長長屋八郎(印)	長谷部岐阜県令殿	表紙朱書「明治六年」
席田郡上之保村副戸長立木喜内(印)、同太田友左衛門(印)、戸長松原孝平(印)、本巢郡長屋村副戸長高橋源三(印)、戸長長屋八郎(印)	長谷部岐阜県令殿	
愛敬舎取締長屋恭		
席田郡上之保村副戸長立木喜内、同太田友左衛門、戸長松原孝平、本巢郡長屋村副戸長高橋源三(印)、戸長長屋八郎(印)	長谷部岐阜県令殿	
席田郡上之保村副戸長、戸長、本巢郡長屋村副戸長高橋源三、戸長長屋八郎	長谷部岐阜県令殿	表紙「長屋村扣」
長屋		
長屋村戸長長屋好貞(印)、曾井中嶋村戸長青木右藤太(印)、法林寺村戸長鷺見耕蔵(印)、文十（殊）村戸長高橋東作(印)、西秋沢村戸長早川八郎		
本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村		明治207①～③は綴（袋共）、袋「岐阜県第七大区六小区戸籍・職分・寄留一ヶ村毎総計 本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」「本巢郡」の罫紙使用
本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村		「第七大区六小区本巢郡」の罫紙など使用
本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村		罫紙使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治208	当座金銀出納帳	明治七甲戌年三月十三日 ヨリ明治八乙亥年九月三十日マテ禄之	1874	横長	1
	明治209	岐阜県第七大区六ノ小区戸籍総計（戸数767軒、人員総計3,416人）	明治八年一月	1875	縦	1
	明治210	岐阜県第七大区六ノ小区職分総計	明治八年一月	1875	縦	1
	明治211	岐阜県第七大区六ノ小区ヨリ他府県江寄留総計	明治八年一月	1875	縦	1
	明治212	〔岐阜県第七大区六ノ小区戸籍総計下書〕	（明治8年）	1875	縦	1
河	明治213	金銭出納当座簿	明治八乙亥年一月	1875	横長	1
	明治214	□□□（本巢郡）長屋村実地□□□（丈量）帳（字鎌田・人宿り・新開・大構・壱町田・神下路・荒川・林分・奈良之木）	□□□（明治八）年三月	1875	横長	1
	明治215	新道潰地記録	明治八年五月吉祥日	1875	横長	1
	明治216	田方等級区別簿	明治八年五月廿二日	1875	横長	1
	明治217	《田方等分地価標》	明治8・6・22	1875		
	明治218	《地租改正地価取調帳》	明治8・7	1875		
	明治219	《地租改正地価取調帳》	明治8・7	1875		
	明治220	岐阜県下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村地価取調帳 上ノ巻	明治八年乙亥七月上浣	1875	縦	1
	明治221	岐阜県下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村地価取調帳 中ノ巻	明治八年乙亥七月上浣	1875	縦	1
	明治222	岐阜県下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村地価取調帳 下ノ巻	明治八年乙亥七月上浣	1875	縦	1
	明治223	第七大区六ノ小区本巢郡長屋村字限等分総計	明治八年七月二十九日	1875	縦	1
	明治224	第七大区六ノ小区五ヶ村入籍人取調書	明治八年	1875	縦	1
	明治225	十七歳之者戸長届書	明治八年九月	1875	縦	1
	明治226	二十歳之者戸長届書	明治八年九月	1875	縦	1
	明治227	十七歳之者・二十歳之者進達書	明治八年九月	1875	縦	1
	明治228	二十歳之者名簿	明治八年九月	1875	縦	1
	明治229	二十歳之者免役箇条書	明治八年九月	1875	縦	1
	明治230	〔徴兵検査表綴〕	（明治9年）	1876	綴	1
	明治231	本巢郡上真桑郷字北林開拓諸入費清算帳	明治十年四月九日	1877	横長	1
	明治232	本巢郡上真桑村地内字北林開拓入□（費）〔 〕	明治八年亥九月ヨリ初メ	1875	横長	1
	明治233	明治八年三月御廻米桑名四日市湊納諸入費割賦帳	明治八年十二月清算	1875	縦	1
	明治234	〔岐阜県第七大区六小区戸籍総計・岐阜県第七大区六小区職分総計・岐阜県第七大区六小区出寄留人総計・岐阜県第七大区六小区入寄留人総計〕	（明治9年1月）	1876	縦	1
	明治235	〔岐阜県第七大区六小区一村毎戸籍総計・岐阜県第七大区六小区ヨリ他府県へ寄留総計・岐阜県第七大区六小区職分総計・岐阜県第七大区六小区へ他府県ヨリ寄留総計〕	（明治9年1月）	1876	縦	1
	明治236	〔第七大区六小区5か村入籍・送籍・出生・死亡人取調帳〕	（明治9年1月分）	1876	縦	1
	明治237	〔第七大区六小区5か村入籍・送籍・出生・死亡人・隠居戸替取調帳〕	（明治9年2月分）	1876	縦	1
	明治238	第七大区六小区五ヶ村戸籍取調（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留の件）	明治九年三月分	1876	縦	1

作 成	受 取	備 考
長屋八郎		
第七大区六ノ小区副区長高橋瀬一郎		明治209～明治212は袋一括、袋「岐阜県第七大区六ノ小区戸籍総計・職分総計・他府県江寄留総計 本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」 表紙「本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、罫紙使用
第七大区六ノ小区副区長高橋瀬一郎		罫紙使用
第七大区六ノ小区副区長高橋瀬一郎		表紙「本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」、罫紙使用
		罫紙使用
有隣舎監事		
長屋八郎		破損あり
長屋八郎、青木三郎、長屋ヨ子、長屋トモ		
青木		
		現在所在不明
		現在所在不明
		現在所在不明
長屋八郎蔵(印)		挿入紙あり
長屋八郎蔵(印)		破損あり、挿入紙あり
長屋八郎蔵(印)		挿入紙あり
第七大区六ノ小区本巢郡長屋村副戸長成瀬利太郎、戸長高橋源三	岐阜県権令小崎利準殿	表紙「明治八年八月 成瀬利太郎」、罫紙使用
本巢郡曾井中嶋村副区長		表紙朱書「検閲済」、罫紙使用、付箋多数
第七大区六小区副区長		明治225～明治230は袋一括、袋「十七歳之者・二十歳之者取調書 明治八年九月 第七大区六小区副区長(印)」、罫紙使用
第七大区六小区副区長		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎	岐阜県戸籍掛御中	罫紙使用
第七大区六小区副区長		罫紙使用
第七大区六小区副区長		罫紙使用
		3枚
本巢郡長屋村開拓主長屋八郎(印)、本巢郡早野村同断高橋幸三郎、安八郡大垣町同断佐竹源兵衛(印)		表紙「従明治八年九月六日至同十年四月九日決算 開拓主事(印)」
地主本巢郡長屋村長屋八郎		破損あり
岐阜県管下第七大区六ノ小区納総代長屋八郎		表紙朱書「明治七年酉ノ公租」
(第七大区六小区副区長高橋瀬一郎)		明治234・明治235は袋一括、袋「岐阜県第七大区六小区戸籍・職分・寄留総計并一ヶ村毎総計 本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」 「西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」とあり、罫紙使用
		罫紙使用、「本巢郡西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中嶋村、長屋村 合五ヶ村」とあり
(本巢郡曾井中嶋村副区長)		明治236～明治246は袋一括、袋「明治九年分 入送籍月々届 第七大区」、罫紙使用
(本巢郡曾井中嶋村副区長)		罫紙使用
本巢郡曾井中嶋村副区長		表紙朱書「書入済(印)」、罫紙使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治239	第七大区六小区戸籍取調書（入籍・送籍・出生・官省府県奉職者・死亡の件）	明治九年四月分	1876	縦	1
	明治240	第七大区六小区入籍・送籍・出生・死亡人取調書	明治九年五月分	1876	縦	1
	明治241	〔第七大区六小区入籍・送籍・出生・死亡人取調帳〕	（明治9年6月分）	1876	縦	1
	明治242	〔第七大区六小区送籍・入籍・出生・死亡人取調帳〕	（明治9年7月分）	1876	縦	1
	明治243	入送籍・出生死亡・出入寄留人月之取調書	明治九年八月分	1876	縦	1
	明治244	第七大区六小区五ヶ村入籍・送籍・出生・奉職・死亡人取調書	明治九年九月分	1876	縦	1
	明治245	第七大区六小区入籍・送籍・出生・死亡・出寄留人取調書	明治九年十月分	1876	縦	1
	明治246	第七大区六小区五ヶ村十一月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・隠居戸主替・死亡の件）	明治九年十二月十日	1876	縦	1
	明治247	《地租改正に付反別等級小作掬米取調帳》	明治9・5	1876		
	明治248	野口井懸配水帳	明治九年丙子第八月ヨリ （明治33年6月迄）	1876	横半	1
	明治249	改正普通掬取調帳	皇明九年秋十月	1876	横長	1
	明治250	庭田井組規則約定書（井水配にて規則・約定書など其他関係書類悉皆、県庁へ持参につき）	明治九年十月	1876	縦	1
	明治251①	〔明治九年美濃国本巢郡西秋沢村外4か村普通・特有物産表綴〕	（明治9年）	1876	綴	1
	明治251②	第七大区六小区五ヶ村明治九年普通・特有物産表	（明治）十年十月二十日	1877	縦	1
	明治252	第七大区六小区五ヶ村十二月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・奉職者・隠居戸主替者の件）	明治十年一月十日	1877	縦	1
	明治253	第七大区六小区五ヶ村一月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡の件）	明治十年二月十日	1877	縦	1
	明治254	第七大区六小区五ヶ村二月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・隠居戸主替者の件）	明治十年三月十日	1877	縦	1
	明治255	第七大区六小区五ヶ村三月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・奉職者・隠居戸主替者の件）	明治十年四月十日	1877	縦	1
	明治256	第七大区六小区五ヶ村四月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・隠居戸主替者の件）	明治十年五月十日	1877	縦	1
	明治257	第七大区六小区五ヶ村五月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留の件）	明治十年六月十日	1877	縦	1
	明治258	第七大区六小区五ヶ村六月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留の件）	明治十年七月十日	1877	縦	1
	明治259	第七大区六小区五ヶ村七月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・寺院本籍届の件）	明治十年八月十日	1877	縦	1
	明治260	第七大区六小区五ヶ村八月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留の件）	明治十年九月十日	1877	縦	1
	明治261	第七大区六小区五ヶ村九月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留の件）	明治十年十月十日	1877	縦	1
	明治262	第七大区六小区五ヶ村十月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・隠居戸主替者・寺院本籍届の件）	明治十年十一月十日	1877	縦	1
	明治263	第七大区六小区五ヶ村十一月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・奉職者の件）	明治十年十二月十日	1877	縦	1
	明治264	第七大区六小区五ヶ村十二月分戸籍取調書（入籍・送籍・出生・死亡・出寄留・奉職者・出奔人婦村並びに官寺院奉職免職者の件）	明治十一年一月十日	1878	縦	1
	明治265	井水方要用日録	明治十丁丑年三月ヨリ （明治17年10月6日迄）	1877	縦	1
	明治266	公用勤日記	明治十丁丑年八月六日ヨリ （明治11年8月4日迄）	1877	縦	1
	明治267	名寄帳	明治十年丁丑三月改	1877	縦	1
	明治268	〔明治十年美濃国本巢郡西秋沢村外4か村特有物産表綴〕	明治十年	1877	綴	1
	明治269	〔明治十年美濃国本巢郡第七大区六小区普通物産表綴〕	明治十年	1877	綴	1
	明治270	〔明治十年美濃国本巢郡第七大区六小区馬一覧表5か村綴〕	明治十年	1877	綴	1
	明治271	区費諸取替并下用雑用帳	明治十一年一月区費割渡ヨリ （12月迄）	1878	横長	1

作 成	受 取	備 考
本巢郡曾井中嶋村副区長		表紙朱書「書入済」、罫紙使用
第七大区六小区本巢郡曾井中嶋村副区長		表紙朱書「書入済」、罫紙使用
本巢郡曾井中嶋村副区長		罫紙使用
		罫紙使用
第七大区六小区副区長扣		罫紙使用
本巢郡曾井中嶋村副区長		罫紙使用
本巢郡曾井中嶋村副区長		罫紙使用
		罫紙使用
		現在所在不明
長屋八郎		
長屋景寿（八郎左衛門）		
糸貫川通井上井頭長屋平馬		罫紙使用
		明治251①・②は綴、罫紙使用
		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎(印)		明治252～明治264は袋一括、袋「第七大区六小区五ヶ村明治十年月調書」、罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎		表紙「明治十年二月十日」、罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎(印) (下札「代印長屋好貞」)		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎(印) (下札「代印長屋好貞」)		罫紙使用
		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長高橋瀬一郎(印)		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		破損あり、罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		表紙「副区長」、罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		破損あり、罫紙使用
糸貫川通井上井頭長屋平馬		
岐阜県第七大区副区長六小区事務取扱長屋八郎		挿入紙あり、表紙「第壱号」
長屋八郎蔵書(印)		
副区長長屋		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治272	上真桑村開墾地丈量簿	明治十一年二月廿二日ヨ リ廿四日マテ	1878	横長	1
	明治273	新築仕上ケ造作追仕用帳并工手間作料附	明治十一年五月吉日	1878	横長	1
	明治274	[諸取替・受領書など綴]	(明治11~12年)	1878	綴	1
	明治275	第七大区六小区五ヶ村一月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留の件)	明治十一年二月十日	1878	縦	1
	明治276	第七大区六小区五ヶ村二月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・寺院本籍届・徴兵婦村届の件)	明治十一年三月十日	1878	縦	1
	明治277	第七大区六小区五ヶ村三月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・入寄留・出寄留の件)	明治十一年四月十日	1878	縦	1
	明治278	第七大区六小区五ヶ村四月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・奉職者・隠居戸主替などの件)	明治十一年五月十日	1878	縦	1
	明治279	第七大区六小区五ヶ村五月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留などの件)	明治十一年六月十日	1878	縦	1
	明治280	第七大区六小区五ヶ村六月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・入寄留などの件)	明治十一年七月十日	1878	縦	1
	明治281	第七大区六小区五ヶ村七月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・入寄留の件)	明治十一年八月十日	1878	縦	1
	明治282	第七大区六小区五ヶ村八月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・隠居戸主替の件)	明治十一年九月十日	1878	縦	1
	明治283	第七大区六小区五ヶ村九月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・入寄留の件)	明治十一年十月十日	1878	縦	1
	明治284	第七大区六小区五ヶ村十月分戸籍取調書(入籍・送籍・ 出生・死亡・出寄留・入寄留・隠居戸主替などの件)	明治十一年十一月十日	1878	縦	1
	明治285	第七大区六小区五ヶ村十一月分戸籍取調書(入籍・送 籍・出生・死亡・出寄留・入寄留の件)	明治十一年十二月十日	1878	縦	1
	明治286	第七大区六小区五ヶ村十二月分戸籍取調書(入籍・送 籍・出生・死亡・出寄留・入寄留などの件)	明治十二年一月十日	1879	縦	1
	明治287	持出砂石取除ノ一件・糸貫川水行障害ノ一件 裁判言渡 書写	(明治11~12年)	1878	縦	1
	明治288	区費・地価費・郷社費・其他諸費・取替金割賦帳	明治十年一月廿日	1877	縦	1
	明治289	区費・郷社費・其他諸費・取替金割賦帳	明治十二年一月廿四日	1879	縦	1
	明治290	明治十年四月十日ヨリ十二年四月廿四日マテ開拓地諸入 費勘定帳	明治十二年四月廿四日	1879	横長	1
	明治291	愛敬学校江取替金・元普賢寺田地買請金・神社并豊事件 二付喜藤次江渡金差引決算簿	明治十二年卯四月	1879	横長	1
	明治292	[学校補助金請取証綴]	(明治12年)	1879	綴	1
	明治293	明治十二年上半年学区費割(取換金の受持校数割・受持 各校下人口割金など書付)	(明治12年)	1879	縦	1
	明治294	記(北方学校など巡視につき)	(明治12年6月30日)	1879	一紙	1
	明治295①	記(学区取締在職中の取替金・適宜割賦願いにつき)	(明治)十二年六月	1879	一紙	1
	明治295②	元学区取締豊田定受持各校割(学区取締在職中の取替 金・割合につき)	(明治12年)	1879	一紙	1
	明治296	[人足賃その他取替金取調べにて、割符の節に割入れ願 いにつき書状]	(明治12年)六月三十日	1879	切紙	1
	明治297	[旅費請取覚]	(明治12年)	1879	切紙	1
	明治298	糸貫川水行障害一件東京上等裁判所裁判不法上告ノ判文	明治十二年五月三十日	1879	縦	1
	明治299	愛敬学校・元普賢寺地代・豊出入事件・安藤対馬侯事 件・敷地代金付属・村方三ヶ年賦貸金差引勘定帳	明治十二年卯八月調同十五 午八月決算	1879	横半	1

作 成	受 取	備 考
地主長屋八郎		破損あり
		挿入紙あり
第七大区六小区副区長長屋八郎		明治275～明治286は袋一括、袋「第七大区六小区五ヶ村 明治十一年月調書」、表紙「副区長」、罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		表紙「副区長」、罫紙使用
副区長		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		破損あり、罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎(印)		表紙「副区長」、罫紙使用
第七大区六小区副区長代理河村清吾 (下札「代印長屋好貞(印)」)		表紙「副区長」、罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		罫紙使用
第七大区六小区副区長長屋八郎		表紙「副区長」、罫紙使用
		罫紙使用
第七大区六小区 副区長		明治288・明治289は袋一括、袋「明治十二年一月廿四日 明治十一年経費区費割賦書類 副区長長屋」、袋は反故 紙使用、罫紙使用
第七大区六小区副区長		罫紙使用
長屋八郎(印)、幸三郎男高橋一郎、佐 竹源兵衛		表紙「十二年四月廿四日廿五日北方伊勢屋ニテ立会決算 開拓主事 (印：長屋)」
長屋八郎		表紙「他見不許」
		明治292～明治297は封筒一括、封筒「明治十二年五月ヨ リ 会計ニ属スル書類入 岐阜県学区取締長屋」、「第廿二 番中学区事務所」の罫紙使用
		朱書「明治十二年前半年 学区事務存費割下調帳」、「第 廿二番中学区事務所」の罫紙使用
		明治294～明治296は封筒一括、封筒表「本巢郡長屋村学 区取締長屋八郎殿 馬場村河合愛平 (印：河合) 御親展 別紙在中」、封筒裏「十二年六月三十日」
河合愛平(印)	学区取締長屋八郎殿	明治295①・②は綴、罫紙使用
豊田定	学区取締河合愛平殿	「第廿二番中学区事務所」の罫紙使用
豊田、河合(印)	長屋君	
大審院(印)		「裁許用」の罫紙使用、原告：岐阜県下美濃国本巢郡長 屋村・見延村・曾井中島村・文殊村・法林寺村・柱本 村・高屋村・馬場村・生津村・小柿村・本田村・只越 村・別府村・稲里村・穂積村・祖父江村・北方村、被 告：岐阜県下美濃国本巢郡下真桑村・上真桑村・早野 村・七五三村・見延村・同県同国大野郡隋原村・有里 村・屋井村・数屋村・高屋村・稲富村・黒野村・古川 村・寺内村・上秋村
美左雄		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治300	明治十二年四月廿五日ヨリ十三年三月十五日マテ開拓地勘定帳	(明治)十三年三月十五日北方三柳屋ニテ立会決算	1880	横長	1
	明治301	[頼母子講懸金・落金書付帳]	(明治)十五年九月～明治十六年六月)	1882	縦	1
	明治302	[預り金・返済金など書付帳]	(明治)十五年九月～明治十六年五月)	1882	縦	1
	明治303-0	[明治十五年度井水入費八ヶ村割賦書類][袋]	明治十六年一月廿五日	1883	袋	1
	明治303-1	記(井水入費8か村割賦金など書付)			横長	1
	明治303-2	記(金15円、武藤貞助へ渡金取換分掌握につき)	明治十二年八月五日	1879	一紙	1
	明治303-3	[明日9日午後2時番水七つ目になるにて助行願いにつき書状]	八月八日		切紙 (封筒共)	1
	明治303-4	[封筒]	明治十八年一月廿九日	1885	封筒	1
	明治303-5	[祖先深応院27回忌、本月20日仏事供養営むにて参詣願いにつき書状]	五月十七日		切紙 (封筒共)	1
	明治303-6	[席田井水、野口・森ノ井組合村など調方の儀にて面談したきにて出張依頼書]	明治十八年十月廿二日	1885	一紙 (封筒共)	1
	明治303-7	御届(井水路の義にて召出しの処、病につき届書)	明治十八年二月廿五日	1885	一紙	1
	明治303-8	[席田井水、野口・横井・森ノ井水組合村など調書差出し面談したき儀にて示談関係の書類携帯出頭依頼書]	明治十八年二月二十一日	1885	一紙 (封筒共)	1
	明治303-9	[明治十七年度井水方8か村割賦、来る24日に決算に預りたく出頭案内]	(明治)十八年一月廿二日	1885	切紙 (封筒共)	1
	明治303-10	[調出方達し置き野口・横井・森ノ井水組合村など調書の儀、進達無きにつき督促状]	明治十八年一月十三日	1885	一紙 (帯封共)	1
	明治303-11	[本月18日、本田村にて懇親会開催案内]	(明治)十八年一月十二日	1885	葉書	1
	明治303-12	[罫紙断片]			切紙	1
	明治303-13	[歌合せの短冊の件などに書状]	五月七日		切紙 (封筒共)	1
	明治303-14	[山口水除留堰口切れの儀、取払いの間、承知につき書状]	明治十一年五月九日	1878	切紙	1
	明治303-15	[郡衙より井水に係る書類携帯出頭するよう督促の件、取計らい願いにつき書状]	二月廿四日		切紙 (封筒共)	1
	明治303-16	[8か村費の割賦の件、並びに昨年来の一件の照会願上げなどにつき書状]	(明治)十六年二月十四日	1883	切紙	1
	明治303-17	記(酒代など書付)	十月		切紙	1
	明治303-18	[金拾円在中][封筒]			封筒	1
	明治303-19	証(明治十六年度井水費井上8か村割賦金書付)	(明治)十六年)	1883	切紙	1
	明治303-20	[貼薬の調査書付]			切紙	1
	明治303-21	記(井上8か村割賦金、当村より出金にて勘定過金戻しにつき)	(明治)十七年一月三十一日	1884	切紙	1
	明治303-22	講金借用証券(金100円)			一紙 (帯封共)	1
	明治303-23	[駅通局振込の件につき書状]	(明治)一七・四・二	1884	葉書	1
	明治303-24	記(金5円渡しにつき)	(明治)十七年四月十五日	1884	切紙	1
	明治303-25	記(金1円遣わしにつき)	(明治)十七年四月十四日	1884	切紙	1
	明治303-26	郵便為替願書(金95銭渡し願いにつき)	明治十七年四月十四日	1884	一紙	1
	明治303-27	八ヶ村割賦仕払(人別金銭書付)	(明治)十七年一月	1884	一紙	1
	明治303-28	御尋問ニ付取調書(本巢郡糸貫川通井上8か村聯合組合村内の井水取締職務の件につき)	明治十八年一月	1885	縦	1
	明治303-29	記(酒肴・小使給料など代金請取につき)	□八月三十一日		切紙	1
	明治303-30	記(唐紙障子代金請取につき)	二月廿日		切紙	1
	明治303-31	八ヶ村取替(金銭など書付)	(明治)十六年)	1883	切紙	1
	明治303-32	記(井上8か村割賦金入手下さるようにつき)	明治十七年一月廿六日	1884	切紙	1
	明治303-33	記(金12円余差上げにて請取書渡しにつき)	(明治)十七年二月十二日	1884	切紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋八郎(印)、高橋一郎、佐竹源兵衛		
		罫紙使用
		罫紙使用
井上井水取締長屋平馬		明治303-1~-33は袋一括
村瀬辰造(印)	長屋平馬様	
年番村瀬平四郎	長屋村井水取締長屋平馬様、曾井中島村同断青木貞太郎様	宛先の青木貞太郎様に墨消しあり
下西郷村外五ヶ村戸長役場(印)	長屋村井水取締長屋平馬殿	封筒「金八円三拾銭ツ、□」
関谷貫三	長屋村長屋八郎様	
岐阜県本巢席田郡役処(印)	井水取締長屋平馬殿	「岐阜県本巢席田郡役所」の罫紙使用
糸貫川通井上井水取締長屋平馬	岐阜県本巢席田郡長増田作蔵殿	罫紙使用
岐阜県本巢席田郡役所(印)	井水取締長屋平馬殿	「岐阜県本巢席田郡役所」の罫紙使用
長屋平馬	邨瀬兵四郎様、青木貞太郎様	
岐阜県本巢席田郡役所(印)	井水取締長屋平馬殿	「岐阜県本巢席田郡役所」の罫紙使用
本巢郡本田村関谷醇三	岐阜県下本巢郡長屋村長屋八郎殿	
福島得齊	長屋八郎様	
井水取締	青木貞太郎様、長屋平三様	
青木□□	長屋平馬様	封筒「長屋村長屋平馬様 青木楨次郎拜」
青木貞太郎	長屋平馬様	
□光二	御会所様	
上西郷村戸長役場	井上井水取締長屋平馬殿	
上西郷村戸長役場	井水取締長屋平馬殿	
		「本巢郡長屋村戸長役場」の罫紙使用、上部切れ
(印：東京府葛飾郡下今井村橋本省吾之印)	美濃国本巢郡長屋村長屋平馬殿	年代は消印より
長屋いら(印：岐阜県本巢郡長屋村戸長役場之印)	父上へ	
長屋いら	いら内へ	
岐阜県美濃国本巢郡長屋村長屋平馬		綴じ穴跡あり
糸貫川通井上井水取締	岐阜県本巢席田郡長増田作蔵殿	「本巢郡長屋村戸長役場」の罫紙使用
長屋青平		
山口村宿武藤貞助(印)	長屋村長屋八郎様	
中西郷村村瀬寛吾	井水御取締長屋平馬殿	
曾井中嶋村戸長役場	長屋村長屋平馬様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治304	井水方入費八ヶ村割賦帳	明治十六年一月廿五日	1883	横長	1
	明治305	井水下用帳	明治十六年五月吉日	1883	横長	1
	明治306	明治十六年度井水費八ヶ村割賦帳	明治十七年一月廿四日	1884	横長	1
	明治307	本巢郡長屋邨地券大帳総計	(明治17年9月)	1884	縦	1
	明治308	諸法口附帳(頼母子講発規定)	明治十七年六月	1884	縦	1
	明治309	井水勤日記	明治十八年五月ヨリ(明治20年8月迄)	1885	横半	1
	明治310	井水下用帳	明治十九年二月八日	1886	横長	1
	明治311	明治十八年三月八日ヨリ十九年九月三十日迄開拓地諸費勘定帳	明治十九年九月三十日北方伊勢嘉方同十月十九日長屋六良方決算	1886	横長	1
	明治312①	西年南原井四ヶ村立会諸入費割賦帳	明治十九年一月廿日	1886	横長	1
	明治312②	南原井水諸具人足帳	明治十八年十二月	1885	横長	1
	明治312③	南原井水掛り御下用帳	明治十八年十二月	1885	横長	1
	明治313	明治十八年度井水費八ヶ村割賦帳	明治十九年一月廿四日	1886	横長	1
	明治314	記(酒肴代など書付)	明治十九年一月吉日	1886	横長	1
	明治315	南原井水熟談工事諸費	明治十九年九月二十二日	1886	縦	1
	明治316	明治十九年御祭礼当本勤日記	(明治19年)	1886	横長	1
	明治317	見延村外三ヶ村聯合村費支出元帳	明治廿年度	1887	縦	1
	明治318	井水日記	明治貳拾壹年ヨリ明治貳拾二年まで	1888	横半	1
	明治319	明治貳拾貳年五月一日ヨリ 年 月 日迄開拓地諸勘定帳	(明治22年5月1日ヨリ同年8月23日迄)	1889	横長	1
	明治320	藍川丁樽屋堀平七方小入用差引勘定帳	明治參拾二年九月起	1899	横半	1
	明治321	養鶏諸経費	明治三拾二年十月	1899	横長	1
	明治322	青木ちゑ分与地ノ件訴訟事件日誌	大正七戌午年三月七日起(7月19日)	1918	横半	1
	明治323	郡中惣代御用留	(明治元年12月~明治3年11月)	1868	横本	1
	明治324	郡中御用日記帳	明治元辰年十一月ヨリ(明治2年12月迄)	1868	横本	1
	明治325	屋満登多満志伊(検見、取箇、蔵米、畑方米など覚書)	明治二己巳年正月ヨリ	1869	横本	1
	明治326	公私日用雑記	明治三年庚午正月吉旦(~明治4年2月迄)	1870	横本	1
	明治327	武根濃志摩利(公私雑記)	(明治4年正月~明治6年1月)	1871	横本	1
	明治328	武根濃志摩理(公私雑記)	明治六癸酉年四月三日ヨリ同年十二月十五日マテ祿之	1873	横本	1
	明治329	武根濃志摩利(公私雑記)	紀元貳千五百三十三年明治六年癸酉十二月十六日ヨリ(明治8年4月迄)	1873	横本	1
	明治330	御用□用記	明治四年辛未□月□旦(~明治7年1月迄)	1871	横本	1

作 成	受 取	備 考
井水取締村瀬兵四郎(印)、同断長屋平馬(印)、同断青木貞太郎(印)	長屋村、曾井中嶋村、見延村、文殊村、法林寺村、上西郷村、中西郷村、下西郷村 右村々戸長御中	表紙「井上井水取締」
山口村井水宿武藤貞助		
井水取締青木貞太郎(印)、同村瀬兵四郎(印)、同長屋平馬(印)(下札「代印長屋八郎」)	長屋村、曾井中嶋村、文殊村、法林寺村、上西郷村、中西郷村、下西郷村、見延村 右村々戸長御中	表紙「井上井水取締」
		破損あり
発起人東海石応(印)、賛成者長屋八郎(印)		
長屋		
武藤貞助(印)代馬場捨吉		表紙「明治十八年八月日 山口村井水宿武藤貞助」
長屋八郎、高橋一郎、旦内四名		破損あり
南原井組		明治312①～③は綴、表紙朱書「長屋村扣」
井水会所青木吉平	四ヶ村井掛り御中	
井水会所青木吉平	四ヶ村井掛り御中	
井水取締青木楨次郎(印)、同断村瀬兵四郎(印)、同断長屋平馬(印)	長屋村、曾井中嶋村、文殊村、法林寺村、見延村、上西郷村、中西郷村、下西郷村 右村々惣代御中	表紙「井上井水取締」
奈賀路具	井水取締御中	
南原井組総代筑間黙郎、青木利一	長屋村、曾井中嶋村、山口村、石神村御中	「大野郡石神村戸長役場」の罫紙使用
		表紙「青木三郎扣ヲ廿四年七月十一日長屋八郎写之」
(印：本巢郡見延村外三ヶ村戸長役場)		挿入紙あり
井水取締長屋平馬		
長屋八郎		表紙「本期ヨリ決算ヲ年一度トシ金高ノ多額ニ不関様二三ヶ月ニ一度凡割ヲ以テ各自出金シ年末ハ只々利子ト米差引勘定トニテ決算スルコトニ決約シ松浦理三郎ヲ担当トス」
		表紙「岐阜県中学生長屋泉・長屋金之助」「飯米・金員」、挿入紙あり
安田氏		反故紙使用
長屋氏		挿入紙(葉書)あり
壺番西組惣代長屋村長屋歌左衛門		9.1×18.6cm
壺番西組惣代長屋村長屋歌左衛門		9.0×19.0cm
奈賀屋勘解比佐(長屋八郎左衛門)		9.1×18.6cm、紐付き
長屋景明(歌左衛門)		9.1×19.1cm
濃国逸史奈賀屋□□□		7.7×16.2cm
濃国南賀屋満左□(雄)		9.0×18.0cm、紐付き
長屋満左雄		8.6×15.8cm
長屋景明(歌左衛門)		9.0×18.4cm

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	明治331	井水方要記	明治七甲戌年第一月ヨリ (同年12月迄、明治12年 6月より明治20年8月 迄)	1874	横本	1
	明治332	経済日要録	明治八年十月一日ヨリ同 九年五月十九日マテ	1875	横本	1
	明治333	井水要用記	紀元式千五百三十六年明 治九年子春王一月ヨリ同 十年丑二月マテ	1876	横本	1
	明治334	公用出頭記	皇明十一年一月(～明治 12年1月迄)	1878	横本	1
	明治335	持出砂石取除ケ・南原井口石籠取除・糸貫川水行障害控 訴ニ付東行紀事	明治十一年寅九月二日出 立(明治13年1月迄)	1878	横本	1
	明治336	藪川通持出シ砂石差障事件日誌	明治十一年五月(～9月 迄)	1878	横本	1
	明治337	□覚(田・畑方手作覚)			横本	1
	明治338	修覆田小作米勘定帳	明治十七申年十二月	1884	横長	1
	明治339	修覆田小作米勘定帳	明治十八年酉十二月	1885	横長	1
	明治340	修覆田小作掟米勘定帳	明治十九年戌十一月	1886	横長	1
	明治341	修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾年亥十一月	1887	横長	1
	明治342	修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾壹年子十一月	1888	横長	1
	明治343	修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾貳年丑十一月	1889	横長	1
	明治344	修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾三年寅十一月	1890	横長	1
	明治345	修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾四年卯十二月	1891	横長	1
	明治346	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾五年辰十二月	1892	横長	1
	明治347	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾六年巳十二月	1893	横長	1
	明治348	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾七年午十二月	1894	横長	1
	明治349	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾八年未十二月	1895	横長	1
	明治350	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治貳拾九年申十一月	1896	横長	1
	明治351	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三十年酉十一月	1897	横長	1
	明治352	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三拾壹年戌十一月	1898	横長	1
	明治353	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三拾貳年己亥十二月 吉日	1899	横長	1
	明治354	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治参拾参年子十二月	1900	横長	1
	明治355	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治参拾四辛丑年十一月 吉祥日	1901	横長	1
	明治356	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三拾五壬寅年十一月 吉祥日	1902	横長	1
	明治357	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三十六年度十一月吉 祥吉日	1903	横長	1
	明治358	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治三拾七年度拾壹月吉 祥日	1904	横長	1
	明治359	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治参拾八年度拾壹月吉 日	1905	横長	1
	明治360	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治参拾九年度拾壹月吉 日	1906	横長	1
	明治361	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治四十年度十一月吉日	1907	横長	1
	明治362	長屋神社修覆田小作掟米勘定帳	明治四拾壹年度十月吉日	1908	横長	1
	明治363	本巢郡長屋邨地券大帳	(表紙付箋「明治十七年 九月廿六日訂正(印:長 屋)」)	1884	縦	1
	明治364	本巢郡長屋村地券大帳	(明治17年9月26日)	1884	縦	1
	明治365	本巢郡長屋邨地券大帳	(明治17年9月26日)	1884	縦	1
	明治366	所有地修繕帳	明治十八年十一月ヨリ	1885	縦	1
	明治367	《原簿》	明治18	1885		
	明治368	原簿(諸支出入費)	明治十九年九月一日ヨリ (明治20年8月迄)	1886	縦	1

作 成	受 取	備 考
糸貫川通井上井頭長屋景明(歌左衛門)		9.0×18.6cm
長屋満左雄		7.4×15.0cm、罫紙使用
糸貫川通井上井頭長屋平馬		8.7×15.8cm、表紙破損、罫紙使用
奈賀屋		6.0×13.2cm、罫紙使用
惣代長屋		8.7×16.1cm、裏表紙「長屋恭」
長一泉		8.4×16.1cm、罫紙使用
[]		9.7×19.2cm、表紙かすれあり
支配人長屋八郎		表紙「及桃林寺分」
支配人長屋		表紙「及桃林寺納分」
支配人長屋		表紙「及桃林寺納分共」、結び文あり
支配人長屋		表紙「及桃林寺納共」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納共」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納共」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納共」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納共」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋氏		表紙「附薬師料 桃林寺納」
支配人長屋氏		表紙「附薬師料□ 桃林寺納」
支配人長屋氏		表紙「附薬師料□ 桃林寺納」
支配人長屋八郎		
修覆田支配人長屋八郎		
支配人長屋氏		
長屋神社修覆田支配人 長屋八郎 (印)(印)		表紙「附記 神社境外地払下二係ル収支精算書アリ」 表紙付箋剥がれ、破損あり、表紙「壱号」、挿入紙あり
(印)(印)		破損あり、表紙「弐号」
(印)(印)		破損あり、表紙「弐号」(横に「三」と記載)、挿入紙あり
長屋八郎景寿		現在所在不明
長屋		表紙朱書「十九年度」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治369	原簿（諸支出入費）	明治貳拾三年九月一日ヨ リ同貳拾四年八月三十一 日マテ	1890	縦	1
	明治370	原簿（諸支出入費）	明治貳拾九年九月一日ヨ リ同参拾年八月三十一日 マテ	1896	縦	1
	明治371	原簿（諸支出入費）	明治参拾八年九月壹日ヨ リ同参拾九年八月三十壹 日マテ	1905	縦	1
	明治372	原簿（諸支出入費）	明治四拾四年九月第一日 ヨリ同四十五年八月三十一 日まで	1911	縦	1
	明治373	原簿（諸支出入費）	大正五年丙辰九月一日起 （大正6年9月）	1916	縦	1
	明治374	所有地名寄帳	明治貳拾三年四月一日現 在	1890	縦	1
	明治375	本巢郡長屋村土地台帳	明治貳拾三年四月一日調 製	1890	縦	1
	明治376	本巢郡長屋村土地台帳	□□（明治）貳拾三年四 月一日調製	1890	縦	1
	明治377	本巢郡長屋村土地台帳	明治貳拾三年四月一日調 製	1890	縦	1
	明治378	本巢郡長屋村土地台帳	明治貳拾三年四月一□ （日）調製	1890	縦	1
	明治379	本巢郡長屋村土地台帳	明治貳拾三年四月一日調 製	1890	縦	1
	明治380	第七大区六小区本巢郡長□□（屋村）字分切絵図	明治七年	1874	絵図	1
	明治381	〔掟米手作覚〕			横長	1
	明治382	〔組合村々高割など覚〕			横長	1
	明治383	田成畑成屋敷成取調簿			横長	1
	明治384	〔長屋平馬所持地高・代金并掟書付帳〕			横長	1
	明治385	神下路中帳（反別など書付）			横長	1
	明治386	巳清勘定兵蔵与小向勘定下調帳（郡中差引取替金など書付）			横長	1
	明治387	覚（金銭渡しにつき）			横長	1
	明治388	旅籠料之御通	巳二月		横長	1
	明治389	大構長松新畑反別高・掟・地代金取調帳			横長	1
	明治390	総計掟地代金簿			横長	1
	明治391	〔上京入用金覚〕			横長	1
	明治392	覚（郡中取替金など）			横長	1
	明治393	〔反別高・地代金など書付〕			横長	1
	明治394	〔反別高、代金など書付〕			横長	1
	明治395	〔金子証文・調達金滞取調書など綴〕	（慶応2年～明治4年）	1866	綴	1
	明治396	拾五ヶ年元切筋助成講規定帳			縦	1
	明治397	新古名寄畝歩帳			縦	1
	明治398	新古名寄畝歩帳			縦	1
	明治399	本巢郡長屋村地券総計帳			縦	1
	明治400	新古名寄畝歩帳			縦	1
	明治401～500	（欠番）				
	明治501	覚（去巳年年貢米金・高掛物納払い小手形にて勘定につ き）	明治三午年三月	1870	一紙	1
	明治502- 1	辛未貢米皆済目録	明治五壬申年四月	1872	一紙	1
	明治502- 2	壬申貢米皆済目録	明治六年八月	1873	一紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋		表紙朱書「貳拾三年度」
長屋景寿（八郎左衛門）		表紙朱書「貳拾九年度」
長屋景寿（八郎左衛門）		表紙朱書「參拾八年度」
長屋景慈		表紙朱書「四拾四年度」
長屋□（鏝）太郎		挿入紙あり
長屋八郎平景寿		表紙「勅令特別地価修正ニ付更生」、挿入紙3点あり
長□□（屋八）郎		表紙破損あり、表紙「墨書ハ明治八年改租ノ原書地価」、表紙朱書「朱書ハ明治廿三年一月□(特)別修正ノ地価」、小口「五冊之内 壺」
長屋八郎蔵書		表紙「墨書ハ明治八年地租改正ノ原地価」、表紙朱書「朱書ハ明治廿三年一月特別修正ノ地価」、小口「五冊之内 式」
長屋八郎蔵書		表紙「墨書□（ハ）明治八年地租改正ノ原地価」、表紙朱書[]（朱書ハ明治廿三年一月特別修正ノ地価）、小口「五冊之内 參」
長屋八郎蔵書		表紙「墨書ハ明治八年改租ノ原地価」、表紙朱書「朱書ハ明治廿三年一月特別修正ノ地価」、小口「五冊之内 四」
長屋八郎蔵書		表紙「墨書ハ明治八年地租改正ノ原地価」、表紙朱書「朱書ハ明治廿三年一月特別修正地価」、小口「五冊之内 五」
長屋八郎控		破損大、26.8×38.0cm、絵図等103枚紐綴じ、綴じ紐切れ
本巢郡長屋村		
		表紙朱書「会議所」
まつ吉		表紙「廿四」「上」
長屋		
奈賀屋控		挿入紙あり
長屋平馬隠居領		
長屋登茂		
長屋平馬		破損あり
右（長屋）村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御藩御預役所	端裏「本巢郡長屋村」、裏に大垣藩御預役所の裏書あり
岐阜県庁(印)	右（長屋）村庄屋・年寄・惣百姓	端裏「本巢郡長屋村」
岐阜県庁(印)	右（長屋）村正副戸長	端裏「美濃国本巢郡長屋村」、端裏貼紙「明治五申年皆済目録 ○六酉年八月七日御下渡シ 長屋」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治503	古郷送り証文之事（大野郡上長瀬村長右衛門、長屋村熊治方へ養子につき）	明治二己巳年五月日	1869	一紙	1
	明治504	古郷送り証文事（大野郡府内村林左衛門娘くま、長屋村常德寺弟子へ縁付につき）	明治庚午三年三月日	1870	一紙	1
	明治505	故（古）郷送り証文之事（鏡嶋村娘きゆう、長屋村甚右衛門方へ縁付につき）	明治三年午四月	1870	一紙	1
	明治506	奉公人御請状之事（大野郡石神村百姓和助、巳11月23日まで奉公にて金7両請取につき）	明治元年辰十二月	1868	一紙	1
	明治507	奉公人御請状之事（当村九平娘、11月23日まで奉公にて金5両受取につき）	明治四年辛未十二月	1871	一紙	1
	明治508	乍恐以書付奉願上候（長屋村牛頭天王社の儀、御一新にて牛頭天王号変更の旨仰せにて長屋神社と唱え申したきにつき）	（明治元年）辰閏四月	1868	一紙	1
	明治509	乍恐以書付御届奉申上候（長屋村日向善助儀、天王社木の出訴にて郷宿預けの処、居所不明につき）	（明治元年）辰十月	1868	一紙	1
河	明治510	差入申内熟一札之事（酉年御下向の節諸入用向きにて夫錢割差支え役所へ願上げの処、熟談整うにて奥印差出しにつき）	明治元辰年十二月	1868	一紙	1
	明治511	乍恐以書付御歎願奉申上候（辰年稀な凶作にて残石分、東壺番組村々同様の石代上納願いにつき）	（明治2年）巳正月	1869	一紙	1
	明治512	乍恐以書付奉願上候（常德寺住持病死にて、新発意泰忍へ後住相続願いにつき）	明治二巳年三月	1869	一紙	1
	明治513	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村の内、東一番組を除く村々税米納め残り分、石代金納願いにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治514	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の税米残り分、石代金納願いなどにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治515	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の税米残り分、石代金納願いなどにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治516	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の税米残り分、石代金納願いなどにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治517	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の税米残り分、石代金納願いなどにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治518	乍恐以書付奉歎願候（大垣藩預所村々の税米残り分、石代金納願いなどにつき）	明治二巳年二月	1869	縦	1
	明治519	乍恐以書付御届奉申上候（社号改めにて当村御本社長屋神社・末社とも取調べにつき）	（明治2年）巳六月	1869	一紙	1
	明治520	〔養子貰請け並びに桃林寺住職願いなど書付〕	（明治2巳年5月）	1869	切紙	1
	明治521	乍恐以書付奉願上候（歌左衛門より秀吉へ懸る金談一件、熟談整い済口面の通り頼母講滞り無きなどにより歌左衛門より願書差下げ願いにつき）	（明治2年カ）巳七月	1869	一紙	1
	明治522	〔長屋村禅宗桃林寺住職相続許可につき請書ならびに長屋神社境内大杉売払い代金延引の件につき覚〕	（明治2年巳6月）	1869	一紙	1
	明治523	乍恐御請出差上候（御一新にて長屋村牛頭天王、長屋神社と改号の件につき）	明治二巳年十一月	1869	切紙	1
	明治524	乍恐以書付御歎願奉申上候（私娘7か年前、次木村方へ縁付、翌年女子出産とも嫁披露無く死去にて衣類・諸道具差し戻しにつき）	（明治2年）巳十月	1869	縦	1
	明治525	乍恐以書付御届奉申上候（御一新にて欠落人・帳外者取調べにつき）	（明治2年）巳七月	1869	一紙	1

作 成	受 取	備 考
戸田采女正領分大野郡上長瀬村親類九左衛門(印)、同村五人組頭友右衛門(印)、同村同断伝次郎(印)、同村名主横山孫兵衛(印)	本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
美濃国大野郡野村藩支配所府内村親林左衛門(印)、同村五人組頭角右衛門(印)、同村同断小左衛門(印)、同村名主八三郎(印)	大垣藩御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
大垣藩御預所厚見郡鏡島村年寄空市(印)、庄屋常右衛門(印)	大垣御藩御預所本巢郡長屋村御庄屋・御年寄衆中	
大野郡石神村奉公人本人和助(印)、同郡同村請人岩吉(印)	本巢郡長屋村御主人長屋歌左衛門殿	
当村奉公人親九平(印)、請人長右衛門(印)	当村御主人長屋平馬殿	
長屋牛頭天王祠官願主長屋筑前、同断長屋歌左衛門、百姓代小兵衛、庄屋喜藤治、同断長屋八郎左衛門	大垣御預御役所	端裏「御一新二付天王号御変更相成ニ付由緒書下書 他見不免」
長屋村善助親類太市(印)、百姓代小兵衛(印)、庄屋長屋八郎左衛門(印)、同断喜藤治(印)	大垣御預御役所	
助三郎(印)、清市、孫右衛門(印)	河渡村御役人衆中	朱書「明治十一年九月九日第二百八十号判事補田中碌郎 閣 (印)」
壱番西組惣代上真桑村兵藏(印)、長屋村長屋歌左衛門(印)	大垣御預御役所	
長屋村常德寺檀家惣代九十郎、利左衛門		
戸田采女正御預所村々惣代本巢郡長屋村庄屋歌左衛門、同郡上真桑村庄屋兵藏、不破郡今須村庄屋治部右衛門		朱書で訂正あり
右(戸田采女正殿御預所村々惣代本巢郡長屋村庄屋)歌左衛門、(同郡上真桑村庄屋)兵藏、(不破郡今須村年寄)治部右衛門		明治514~明治518は綴
右(戸田采女正殿御預所村々惣代濃州本巢郡長屋村庄屋)歌左衛門、(同国同郡上真桑村庄屋)兵藏	上	訂正の貼紙などあり
右(戸田采女正殿御預所村々惣代濃州本巢郡長屋村庄屋)歌左衛門、(同国同郡上真桑村庄屋)兵藏	上	
右(戸田采女正殿御預所村々惣代濃州本巢郡長屋村庄屋)歌左衛門、(同国同郡上真桑村同断)兵藏	上	訂正の貼紙などあり
戸田采女正御預所村々惣代本巢郡長屋村庄屋歌左衛門、同郡上真桑村庄屋兵藏、不破郡今須村年寄治部右衛門		朱書などで訂正あり
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門(印)、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	朱書「御一新二付神仏混淆不相成趣、神号御改ニ付明治二己巳年六月廿七日上書之写」
長屋村訴訟人歌左衛門、相手方秀吉、噯人嘉平次、同断寅次、庄屋喜藤二	大垣御預御役所	
長屋村神主隠居高橋日向爪印	大垣藩御預御役所	「右村庄屋歌左衛門代耕兵衛印」の奥書あり
本巢郡長屋村長屋歌左衛門	上	
本巢郡長屋村百姓代小兵衛(印)、庄屋利左衛門、同断喜藤治(印)、同断八郎左衛門(印)	大垣御預御役所	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治526	〔金札拝借村々、11月限り金見役所へ切手へ差出すよう 触れあるにつき廻状〕	(明治2年カ)十月十九 日	1869	一紙	1
	明治527	乍恐以書付御届ケ奉申上候(盗賊物の儀、今般賊人分り、 竹五郎方盗品18品売払い申立てにて尋ねる処、確認出来 につき)	明治三庚午年七月	1870	一紙 (包紙共)	1
	明治528	乍恐以口上書奉申上候(長屋村社人源太夫義、隠居にて 弟または俵へ神主職願いの処、氏子惣代中より右一類の 者への神職赦免願いにつき)	(明治3年)午閏十月	1870	一紙	1
	明治529	〔永代大々御神楽願主名書付〕	于時明治四年二月廿五日	1871	一紙	1
	明治530	小学義校開業願書(第七大区六ノ小区本巢郡長屋村普賢 寺を愛敬舎と唱え学校とするにつき)	明治六年四月	1873	縦	1
	明治531	小学義校開業願書(第七大区六ノ小区本巢郡長屋村普賢 寺を愛敬舎と唱え学校とするにつき)	明治六年四月	1873	縦	1
	明治532	小学義校開業願書(第七大区六ノ小区本巢郡長屋村普賢 寺を愛敬舎と唱え学校とするにつき)	明治六年四月	1873	縦	1
	明治533	愛敬義校寄附積金取調簿(金911円余預りにつき)	(明治)		縦	1
	明治534	〔牛馬鑑札冥加永受取証〕	(明治4年)辛未七月四 日	1871	切紙	1
	明治535	〔去午国役金受取証〕	(明治4年)辛未	1871	切紙	1
	明治536	記(庄屋・名主・年寄は廃止し、戸長・副戸長と改称の 件などにつき達書)	明治五壬申五月十七日被 仰渡候記	1872	縦	1
	明治537	御口達(区内郷社定め、祠官の儀は追って人撰にて区内 戸ごとに1か月金1銭つつ村々戸長・年番戸長ら取りま とめ県庁へ納め、祠官月給渡すにつき)	明治六年一月	1873	一紙	1
	明治538	証券(隠居により本家相続方挨拶人に任せ、加入の頼母 子講金引渡しにつき)	明治六年癸酉二月九日	1873	一紙	1
	明治539	乍恐奉願上候(普賢寺無住にて廢寺仰せの処、今般学校 所に願上げにつき)	明治六年二月	1873	縦	1
	明治540	小学義校開業願書(第七大区六ノ小区本巢郡長屋村普賢 寺を愛敬舎と唱え学校とするにつき)	明治六年四月	1873	縦	1
	明治541	送り書之事(方県郡正木村徳三郎長女、長屋村箕浦虎吉 妻に縁付けにつき)	明治六年六月	1873	一紙	1
	明治542	貢米不納催促之訴(長屋八郎戸長勤役中、昨壬申御貢米 上納、立替金・村費割賦とも滞りにつき)	明治六年十一月廿四日	1873	縦	1
	明治543	御届(本巢郡上真桑村の官林、明治7年払下げ分、今般 見延村早野村用水余流にて田面に開拓したきにつき)	明治八年九月三十日	1875	一紙	1
	明治544	御伺(明治8年分各大区副区長給料賦課方法の儀、改正 反別・人口、または旧反別・人口にて割符か指令願い上 げにつき)	(明治)九年一月	1876	一紙	1
	明治545	証(金2円、沅獵税受取につき)	明治十年一月廿二日	1877	一紙	1
	明治546	記(金5円、見延村へ罷越し手切金受取につき)	明治十年丑二月十一日	1877	一紙	1
八	明治547	御願(池田郡八幡村八幡社社殿破損、有志者の寄附金に て修繕願いにつき)	明治十年四月六日	1877	縦	1
八	明治548	御願書(谷汲山開扉にて順礼街道傍らに諸人参詣の人へ 教導職を設立したきにつき)	明治十年四月十二日	1877	縦	1

作 成	受 取	備 考
惣代長屋歌左衛門(印)	別紙村々(一ツ木・上磯・大衣斐・西方・岐札・高科村)御役人中様	破損あり、包紙「上 桜大門村」
桜大門村願主竹五郎(印)、同村百姓代儀三郎(印)、同村五人組頭武八(印)	司農局御役所	破損大
長屋村氏子惣代藤十郎、同断兼百姓代小兵衛、同断兼年寄十右衛門、同断久米之丞	大垣御藩民政御預御役所	
第七大区六ノ小区本巢郡長屋村学社高橋小平、第六大区十七ノ小区大野郡石神村副長青木十平、同村戸長青木利一、長屋村副長高橋源三、同村戸長長屋八郎	長谷部岐阜県令殿	破損あり、表紙「岐阜県管下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村、第六大区十七小区同国大野郡石神村」、「第三中学区取締安藤参、大野弘平」の奥書あり、訂正の貼紙などあり
第七大区小ノ六区本巢郡長屋村学社高橋小平(印)、第六大区小ノ十七区大野郡石神村副長青木十平(印)、同村戸長青木利一(印)、長屋村副長高橋源三(印)、同村戸長長屋八郎(印)	長谷部岐阜県令殿	破損あり、表紙「岐阜県管下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村、第六大区十七小区同国大野郡石神村」、「第三中学区取締安藤参(印)、大野弘平(印)」の奥書あり
第七大区小ノ六区本巢郡長屋村学社高橋小平(印)、第六大区小ノ十七区大野郡石神村副長青木十平(印)、同村戸長青木利一(印)、長屋村副長高橋源三(印)、同村戸長長屋八郎(印)	長谷部岐阜県令殿	破損あり、表紙「岐阜県管下第七大区六ノ小区美濃国本巢郡長屋村、第六大区十七小区同国大野郡石神村」、「第三中学区取締安藤参(印)、大野弘平(印)」の奥書あり、「私学開業御差許相成候事(印)」とあり
青木十平(印)、青木利一(印)、高橋源三(印)、長屋八郎(印)	愛敬舎監務局御中	表紙「長屋村」、「大三中学区取締安藤参、大野弘平」の奥書あり
笠松県出納局(印)	本巢郡長屋村清八、納人八郎左衛門	
笠松県出納方(印)	長屋村	
岐阜県管下第四百四区戸長長屋八郎		「第三十六区本巢郡」の罫紙使用、「壬申五月十又七日岐阜県庁ヨリ美濃国一円戸長副戸長江御達書之」とあり
第九十五区年番戸長高橋東作(印)	長屋村正副戸長御中	
本家相続人高橋源三(印)、挨拶人長屋平馬(印)	高橋門作殿、高橋吉三殿、高橋徳治殿	
右(長屋)村副戸長高橋源三、戸長長屋八郎	長谷部岐阜県令殿	
第九十五区本巢郡石神村・長屋村愛敬義校給社人総代高橋小平、石神村副戸長、同戸長、長屋村副戸長、同戸長	長谷部岐阜県令殿	表紙「岐阜県管下第九十五区美濃国本巢郡長屋村」
右(岐阜県管下第七大区十六小区本国方県郡正木)村副戸長高橋又造(印)、戸長山田与造(印)	岐阜県管下第七大区六ノ小区本巢郡長屋村正副戸長御中	罫紙使用
(本巢郡長屋村農原告人)長屋八郎(印)、大野郡石神村農代書人青木利一(印)	小崎岐阜県参事殿	罫紙使用
本県貴属士族大野郡野村住神戸皆人	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用
総大区月番字佐美宗平〇、守屋小十郎〇	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用、朱書「昨八年之儀者、先以従前之通可相心得事」
岐阜県権令小崎利準(印)	第六大区一小区五島重吉納外壺人	
当人松尾こふ(印)、証人青木仙三(印)	長屋八郎殿	
右(池田郡八幡)村氏子惣代竹中平馬(印)、副戸長竹中勘兵衛(印)、戸長松岡善之介(印)、受持神官石山善部(印)	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用、「組合月番細野唯七郎(印)」の奥印あり、朱書「願之趣聞届候事 明治十年四月七日(印)」
右(池田郡八幡)村副戸長竹中勘兵衛(印)	大垣警察署御中	罫紙使用、朱書「願之趣聞置候事 但区内分署へモ可届出候事 明治十年四月十四日(印)」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
八	明治549	御願（池田郡八幡村八幡社境内の杉、修復費に御下げ願 いにつき）	明治十年十一月六日	1877	縦	1
八	明治550	〔瑞泉寺所有地下げ渡し、本年7月より民有地に編入に つき達書〕	明治十年	1877	一紙	1
	明治551	〔入籍・送籍・出生・寺院本籍届など戸籍取調書綴〕	（明治10年）	1877	綴	1
	明治552	〔入籍など戸籍取調書綴〕	（明治10年）	1877	綴	1
八	明治553	御□（第六大区一小区池田郡八幡村正円寺本堂、懇志500 円にて修復したく、本年4月5日着手願いにつき）	明治十一年二月十九日	1878	縦	1
八	明治554	願書（岐阜県下第六大区一小区美濃国池田郡八幡村居住 稲葉祖文、八幡村瑞泉寺住職にしたきにつき）	明治十一年二月廿四日	1878	一紙	1
八	明治555	謹而奉願候（竹中利三郎へ家督相続・戸主換にて、嘉平 次家族とも兄竹中市左衛門方へ復籍したきにつき）	明治十一年三月十二日	1878	一紙	1
	明治556	〔1月分戸籍不分明にて至急取調べ、付箋に答書くよう につき依頼書〕	（明治）十一年三月十六 日	1878	一紙 （包紙共）	1
	明治557	伝染病予防法（腸チフス・赤痢・喉頭気管コロフ性 炎・小児疫咳・天然痘）	明治十一年四月出版	1878	縦	1
八	明治558	証（金1円22銭余、明治11年前半年分船税受取につき）	明治十一年五月一日	1878	一紙	1
	明治559	約定書（本巢郡上真桑村地内字土木東新開畑、今般同士 示談の上、作付方法につき）	明治十一年五月廿二日	1878	一紙	1
	明治560	〔訴出の条、来る25日午前8時答書持参につき達書〕	明治十一年六月廿一日	1878	縦	1
	明治561	糸貫川水行障害ノ訴答（本巢郡曾井中嶋村始め21か村よ り訴出る藪川筋持出しの土砂ならびに芻出し取払いの儀 につき）	明治十一年六月廿五日	1878	縦	1
	明治562	第七大区六小区五ヶ村戸籍月調不審御尋問ニ付答書（6 月分入籍者の件につき）	（明治11年）	1878	縦	1
	明治563	判断書（岐阜県下美濃国本巢郡曾井中嶋村外21か村よ り同郡山口村外16か村へ対する糸貫川水行障害の訴、初告 裁判の理否検案につき）	明治十一年九月十九日	1878	縦	1
	明治564	委任状（岐阜県第七大区五小区美濃国本巢郡下真桑村戸 長白木兵八郎外14名に係る糸貫川水行障害の訴訟控訴一 切の事務、代理人に任せるにつき）	明治十一年九月一日	1878	縦	1
	明治565	新吉原後俄細見	明治十一年寅九月	1878	一紙 （帯封共）	1
	明治566	当日代人願（病気により帰村願い書上げにて、石神村青 木利一人に立てるにつき）	明治十一年九月三十日	1878	一紙	1

作 成	受 取	備 考
右（池田郡八幡）村氏子惣代竹中平馬（印）、副戸長竹中勘兵衛（印）、受持神官石山善部（印）	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用、「右区副区長心得山田宇一郎（印）」の奥印あり、朱書「願之趣聞届候事 明治十一年二月廿二日（印）」
岐阜県（印）	池田郡八幡村	「岐阜県」の罫紙使用
		明治551・明治552は綴、罫紙使用、挿入紙あり
		破損あり、罫紙使用
正円寺住職八幡恵覚印、檀家総代脇野文左衛門印、同多四朗印、同嘉助印、同庄兵衛印、同利左衛門印、右（池田郡八幡）村戸長松岡善之介印	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用
村方惣代竹中平馬、同村戸長竹中勘平	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用、朱書「御県より御指令書・御受取書入」
右（池田郡八幡村9番地住）願人竹中嘉平次（印）、戸主竹中利三郎（印）、兄竹中市左衛門（印）、親族竹中耕平（印）、副戸長竹中勘兵衛（印）、戸長松岡善之助（印）	岐阜県権令小崎利準殿	罫紙使用、「右区副区長心得山田宇一郎」の奥印あり
副区長	文殊村・曾井中嶋村正副戸長御中	
著者 石川県士族土屋寛之 岐阜県第一大区三小区厚見郡今泉村寄留		印刷物、「岐阜県病院蔵版」「売弘所 岐阜県平民玉井忠造 岐阜県第二大区四小区笠松村、同人出店 岐阜県第一大区三小区今泉村七間町」とあり
岐阜県権令小崎利準代理 岐阜県大書記官斯波有造（印）	第六大区一小区八幡村納	
地主長屋八郎（印）、同高橋幸三郎（印）、同佐竹源兵衛（印）		罫紙使用
名古屋裁判所岐阜支庁	美濃国本巢郡山口村戸長筑間鏡三郎、下真桑村戸長白木兵八郎、上真桑村戸長福田理太郎、早野村副戸長中島栄太郎、七五三村戸長佐藤品司、見延村戸長飯尾富次郎、同国大野郡随原村戸長津屋佐七、有里村戸長寺町八三郎、数屋村戸長佐藤庫八郎、高屋村戸長古田権吉、稲富村戸長井深仁十郎、黒野村戸長関谷嘉左衛門、古川村戸長国枝利兵衛、寺内村戸長錦見耕之助、上秋村戸長長屋代次	明治560・明治561は綴、「訴訟用」の罫紙使用
右（岐阜県第二大区八小区美濃国中嶋郡須賀村平民被告代人）丸井作十郎、岐阜県第一大区二小区美濃国厚見郡小態村三番地平民差添人平尾半三郎	名古屋裁判所岐阜支庁 判事芹沢政温殿	罫紙使用
		罫紙使用
保権舎（印）		「保権舎」の罫紙使用
岐阜県第七大区六小区本巢郡曾井中嶋村戸長兼法林寺村戸長青木幹太郎（印）、曾井中嶋村副戸長高橋孫四郎（印）、同地持総代青木武作（印）、同県同区同法林寺村副戸長高松席関（印）、同村地持総代鷺見賢三（印）、同県同区同郡文殊村戸長高橋磐三郎（印）、同村副戸長河村半十郎（印）、同村地持総代高橋良二（印）、同県同区同郡長屋村戸長高橋源三（印）、同村副戸長成瀬利太郎（印）、同村地持総代長屋好貞（印）、他31名省略		「証券界紙」使用
出版人 新吉原伸之町俵屋山本和助		印刷物、包紙「二和賀番附」
岐阜県美濃国本巢郡長屋村平民長屋八郎	東京上等裁判所	罫紙使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治567	約定書之写（前野・穂積・下河原・別府・下本田村々錦見勝太郎扣地所有の分、親類へ利徳米にて譲り渡しにつき）	明治五年壬申十一月十七日	1872	一紙	1
	明治568	〔県会議員被選人票〕	明治十二年三月	1879	一紙	1
	明治569	〔県会議員選挙人票〕	明治十二年三月	1879	一紙	1
	明治570	御断（約定書・開業届書明日6日差出し調印遣わす処、無印により不都合にて来る8日に延引願いにつき）	（明治）十二年九月五日	1879	一紙	1
	明治571	口演（学校一件願書および約定書認め7日までに持参の処、公用差し掛り、10日まで延引願いにつき）	（明治）十二年九月六日認め	1879	一紙	1
	明治572	〔南原井口石籠取除け一件、東京上等裁判所裁判不当の上告の件につき回章〕	（明治12年）二月七日	1879	縦 （包紙共）	1
	明治573	裁判言渡書（岐阜県美濃国本巢郡下真桑村外12か村より同郡曾井中嶋村外3か村への糸貫川水行障害の訴訟控訴の件につき）	明治十二年一月十四日	1879	縦	1
	明治574	上下等小学教則（北方学校教則）	（明治12年6月3日）	1879	縦	1
	明治575	試験御届（明治12年7月15日卒業にて、別紙点数表添え届けにつき）	明治十二年七月十八日	1879	縦	1
	明治576	教則御届（先般正略教則併用願いの上施行の処、人民に適さざる件もあり更に土地状況を酌量し、別冊の通り教則折衷するにつき）	明治十二年九月十二日	1879	縦	1
	明治577	長屋ヨ子女分家領田地明細記	明治十三年辰三月三日	1880	縦	1
浅	明治578	〔帳附込見積金など書付〕	（明治13～14年）	1880	一紙	1
	明治579	証（明治13年輪島枕講開講の節、鬩落ちになり膳枕受取にて、不都合人あらば積立金弁償などにつき）	明治十四年三月五日	1881	一紙	1
	明治580	証（見延村へ引越しの処、隣田貴殿扣田地により作人迷惑申し小作米に掛る様な竹木など生え申さずなど厄介かけざるにつき）	明治十四年十一月十六日	1881	一紙	1
	明治581	記（金10円、講掛金請取につき）	（明治）十四年十月卅日	1881	切紙	1
	明治582	條約書（南原井水組合村々衆議にて定めるにつき）	明治十五年六月十五日	1882	縦 （袋共）	1
	明治583	水利土巧集會着席簿（決議事録など書付）	明治十六年第七月六日	1883	縦	1
	明治584	書留郵便物請取証（綴）	（明治16年9月）	1883	綴	1
	明治585	記（糸貫川堤塘・藪川堤塘水利土巧聯合会協議につき出頭通知）	明治十六年七月四日	1883	縦	1

作 成	受 取	備 考
伊藤友三、森保三、関谷貫三、井上武内、錦見健哉、同和藤治、同長矩、同常治、関谷醇三、錦見勝太郎		
本巢郡文殊村旧戸長高橋武吉(印)	本巢郡文殊村四番地居住平民山田市左	
本巢郡文殊村旧戸長高橋武吉(印)	本巢郡文殊村四番地居住平民山田市左	
右主者会計戸長兼国井清五郎(印)	学区御取締長屋八郎殿	罨紙使用
佐原村戸長浅埜孫七(印)	学区取締長屋村長屋八郎様	罨紙使用
高橋浅一郎	長屋村、曾井中島村、山口村各君□下	
東京上等裁判所	岐阜県美濃国本巢郡下真桑村外拾二ヶ村総代同村平民安藤三郎外四名代言人 東京府京橋区日吉町ろ十三番地平民原告星亨、岐阜県美濃国本巢郡曾井中島村外三ヶ村総代同村平民青木良外二名代言人 東京府下谷区練堀町拾番地平民被告田村訥	罨紙使用
長屋八郎扣		罨紙使用、表紙朱書「明治十二年六月三日 北方学校教則御届之写」
右校(第三十二番中学区内本巢郡見延村一色学校) 監事連順恵(印)、主者松尾小文治(印)、担当教員宮崎慎四郎(印)、立会教員竹内連(印)、同小久江周吉(印)(付箋「小久江他業ニ付堀に代印」)	岐阜県令小崎利準殿	罨紙使用
右校(第三十二番中学区内本巢郡十四條邨漸々学校) 主者戸部新九郎(印)、同教員伊藤計司(印)	岐阜県令小崎利準殿	罨紙使用、朱書「十二年九月十五日郵便ニテ進達ス」、「学区取締長屋八郎」の奥印あり
本家長屋平馬平景明(花押)、長男長屋八郎景寿(花押) 執事	新家分家長女長屋ヨ子江	破損あり、罨紙使用、表紙「明治十三年三月三日分地本家長屋景寿」
		綴じ穴あり、印紙貼付
青木三郎(印)、高橋文七(印)	長屋八郎殿	罨紙使用
元見延村当人松尾栄助(印)、長屋村保証人成瀬惣三郎(印)	長屋村地主長屋八郎殿	破損あり
高橋浅一郎(印)	長屋八郎様	
南原井組美濃国本巢郡山口村惣代筑間鉄三郎(印)、同国同郡同村戸長山口鶴次郎(印)、同国同郡曾井中島村惣代高橋瀬一郎(印)、同国同郡同村戸長青木清次郎(印)、同国同郡長屋村惣代高橋源三(印)、同国同郡同村戸長長屋好貞(印)、同国大野郡石神村惣代青木利一(印)、同国同郡同村戸長青木十平(印)		袋「南原井水組合約定書 本巢郡長屋村」、「証券界紙」使用
		罨紙使用、明治583と明治584の間に封筒あり、封筒「岐阜県本巢郡一色村役場」
		明治584～明治588は袋一括(袋は二重)、外袋「明治十六年九月 藪川・糸貫川水利土巧会証拠類 委員」、内袋「証拠写」、7枚綴り
本巢郡曾井中島村戸長青木貞太郎(印)、同郡長屋村戸長長屋八郎(印)、本巢郡軽海村戸長戸部新一(印)、大野郡石神村戸長青木十平(印)、同郡高屋村戸長青木利一(印)、同郡屋井村戸長久富要二代印寺町八三郎(印)	本巢郡見延村、同早野村、同上真桑村、同下真桑村、同七五三村、同宗慶村、同小柿村、同本田村、同十四條村、本巢郡重里村、美江寺村、大野郡福嶋村、同温井村、同国領村、同政田村、同浅木村、同海老村、随原村、有里村、敷屋村、本巢郡山口村(墨消)、右町村々戸長御中	罨紙使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治586	〔山口村より宗慶村までの糸貫川堤塘・石神村より温井村までの藪川堤塘絵図〕	(明治16年)	1883	絵図	1
	明治587-0	〔包紙〕			包紙	1
	明治587-1	〔堤防組合一件にて北方表集会の儀、配慮願いつき書状〕	六月二日		切紙	1
	明治587-2	〔別紙通知の処、不在にて返書願いつき書状〕	六月二日		切紙	1
	明治587-3	〔堤防組合の儀、北方分署より達し有るにて、打ち合わせ出頭願いつき書状〕	六月一日		切紙	1
	明治588	〔堤防維持のため水利土功会設置の儀にて協議申したく早野村吉平方へ出頭につき回章〕	(明治)十六年六月廿四日	1883	切紙 (包紙付)	1
	明治589	〔水利土功会規則検閲のため県庁前会議所にて集會に預りたきにつき通知〕	(明治)十六年十月十八日	1883	一紙	1
	明治590	県社加列願書(美濃国本巢郡長屋村鎮座郷社長屋神社、県社加列願いつき由緒取調書など添えにつき)	明治廿四年六月二日	1891	縦	1
	明治591①	〔別紙の通りにて来月3日限り惣代兩人へ差出すよう触状〕	(明治2年カ)十月二十六日	1869	切紙	1
	明治591②	〔当已諸金納巻番触、書面の通りにて村々取集め、来月金見役所へ納め、同所請取切手を役所へ差出すよう達し〕	(明治2年カ)十月廿四日	1869	縦	1
	明治592	〔長屋村極難者の者へ米4俵差し加えにつき達し〕	十二月		切紙	1
	明治593	覚(御膳糶代米勘定などにつき)	辰三月廿四日		切紙	1
	明治594	覚(講金として銀605匁など上納受取につき)	辰四月十四日		切紙	1
	明治595	覚(春夫役米代として13両余上納受取につき)	辰五月十四日		切紙	1
	明治596	覚(納達金として銀2貫41両余上納受取につき)	辰五月廿三日		切紙	1
	明治597	覚(夏夫役米代として金29両余上納受取につき)	辰七月十一日		切紙	1
	明治598	覚(諸金納として金368両余上納受取につき)	巳三月晦日		切紙	1
	明治599	覚(人足賃として銀846匁余上納受取につき)	巳八月廿五日		切紙	1
	明治600	覚(諸金納として金札264両上納受取につき)	巳十一月五日		切紙	1
	明治601	覚(貸附金として金札5両上納受取につき)	巳十一月十日		切紙	1
	明治602	覚(染地品縮緬4疋請取につき)	巳二月八日		一紙	1
	明治603	〔三都府金札融通猶予願ひ・御用継立人足賃割増し取立てに預り差引き渡し願ひなど書付〕	(明治2年)巳六月	1869	一紙	1
	明治604①	〔組合村々高札認め出来により、来る15日までに受取りに罷出るようにつき触〕	(明治2年)九月十日	1869	切紙	1
	明治604②	〔村々へ明日12日廻村につき達し〕	(明治2年)九月十一日	1869	切紙	1
	明治605	濃州方県郡上城田寺村河田佐八郎人相書(見当たり次第召し捕え届けにつき)	(明治2年)九月	1869	一紙	1
	明治606①	〔別紙の通り組合中へ触状〕	(明治2年)九月	1869	切紙	1
	明治606②	〔裁判所の儀、民政寮と唱えるようにつき達し〕	(明治2年)九月二日	1869	切紙	1
	明治606③	〔贖金所持者の員数、9月15日までに届けるようにつき達し〕	(明治2年)九月	1869	切紙	1
	明治607①	〔別紙の通り触状〕	(明治2年)	1869	切紙	1
	明治607②	〔公事出入りの件、済口見込みの分は願ひに及ばず、長引きの分は本願の趣意なるべく短文にし、分かるよう取調べ早々裁判請取などにつき通達〕	(明治2年)八月	1869	切紙	1

作 成	受 取	備 考
		57.0×40.0cm、彩色
屋井村寺町八三郎	長屋村長屋八郎殿	明治587-1~-3を一括していた包紙
寺町八三郎	長屋八郎殿	明治587-1が、-2・-3を巻きこんでいた
伊勢やニテ寺町八三郎	長屋八郎殿	明治587-2が、-3を巻きこんでいた
安藤豊之丞	長屋八郎様、寺町八三郎様	
曾井中嶋村戸長(印)、長屋村戸長(印)、山口村戸長(印)、石神村戸長(印)	見延村、有里村、随原村、早野村、上真桑村、下真桑村、宗慶村 右村々戸長御中	包紙「持廻り」
藪川系貫川水利土功会委員	石神村、高屋村、数屋村、有里村、随原村、屋井村、海老村、浅木村、国領村、改田村、温井村、福島村戸長御中	罫紙使用
崇敬人総代本巢郡長屋村長屋八郎(印)、同上長屋好貞(印)、同上吉田新平(印)、同上高橋栄太郎(印)、同上長屋七郎(印)、同上青木三郎(印)、池田郡片山村鎮座郷社八幡神社祠掌石原省熙(印)、同郡小津村鎮座郷社白山神社祠掌宗宮数衛(印)、大野郡揖斐町鎮座郷社三輪神社祠官浅羽讓(印)、他10名省略	岐阜県知事小崎利準殿	罫紙使用、表紙「本巢郡長屋村」、表紙に印(「本巢席田郡役所六月二日受 第九一号」「川俣」「岐阜県六月九日受 戊第六四八号」「第三課」)あり、「本巢郡見延村外六ヶ村組合村長飯尾菊治郎(印)」の奥印あり
壱西惣代(印)	東見延村、東西早野村、更屋敷村、中野村、上真桑村、下真桑村、十五条村、美江寺村、一ツ木村、小弾正村、大衣斐村、大野郡島村、志名村、南方村、長屋村 右村々御庄屋衆中様	明治591①・②は貼付
大垣藩御預役所(印)	長屋村歌左衛門、上真桑村兵藏	「至急 御用廻章 壱番西組惣代 東見延村始メ」とあり
大垣藩庁教育所		
高井儀左衛門	長屋歌左衛門様	
金見役所(印)	野村	明治594~明治601は綴破損あり
金見役所(印)	野村南組	破損あり
金見役所	野村	破損あり
金見役所(印)	野村	破損あり
金見役所	長屋村歌左衛門	
金見役所	長屋村歌左衛門外壱人	
金見役所	長屋村歌左衛門外壱人	
金見役所	高科村	
岐阜荷取扱所(印)	長屋嘉右衛門様	印「吟味物三年限」
大垣藩御預役所(印)	長屋村歌左衛門、上真桑村兵藏	明治604~明治611はこより紐一括、明治604①・②は貼付
大垣藩御預所検見方(印)	長屋村、西見延村、東見延村、東早野村、西早野村 右村々役人	
大垣藩民政寮(印)		
大垣御預役所(印)	長屋村歌左衛門、上真桑村兵藏	明治606①~③は貼付
大垣藩民政御役所		
大垣藩民政寮(印)		
大垣藩御預役所	長屋村歌左衛門、上真桑村兵藏	明治607①・②は貼付
大垣藩裁判所		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治608①	〔別紙の通り触状〕	(明治2年) 巳八月十八日	1869	切紙	1
	明治608②	〔政体変革・魚鳥殺生・衣服の儀などにつき達し〕	(明治2年) 八月	1869	切紙	1
	明治609	〔諸願書など向後正5つ時より9つ時まで差出すようにつき達し〕	(明治2年) 八月十八日	1869	切紙	1
	明治610①	〔別紙の通り組合村々へ触状〕	(明治2年) 十月十五日	1869	切紙	1
	明治610②	〔近頃村々へ強盗立入り難儀にて夜回りは勿論、村役人共も嚴重手配方心得えるようなどにつき達し〕	(明治2年) 十月十四日	1869	切紙	1
	明治611①	〔別紙の通り触状〕	(明治2年9月)	1869	切紙	1
	明治611②	〔8月22日、太政官よりの社寺にての菊御紋用・下馬下乗などの立札の件につき達し〕	(明治2年) 九月廿二日	1869	切紙	1
	明治612	〔来る22日、殿様東京へ発駕により林出町にて御目見仰せにつき廻状〕	(明治2年)	1869	切紙 (包紙付)	1
	明治613-1	覚(長屋村丹蔵に老糶米2人扶持下賜にて、長屋村物成米より渡すよう取計らいにつき)	(明治元年) 辰十一月	1868	切紙	1
	明治613-2	〔老糶米2人扶持下賜につき覚〕	明治元辰年十一月	1868	切紙	1
	明治614	田地目録(反別・作人・石高・掟米など書付)			切紙	1
	明治615	差入申一札之事(神社改号の御布令に背き咎め仰せの処、兄の倅嘉一郎に隔年神勤願い上げにつき)	— —		切紙	1
	明治616	普化宗門取締証文(近頃虚無僧体の者、村方へ入り不法難題の儀、申し掛け農業の妨げ・非常の出費出来につき)	(明治2年9月)	1869	一紙 (包紙共)	1
	明治617	荒川畑百五拾堂之図			絵図	1
	明治618	〔第三十二番中学区絵図〕			絵図	1
	明治619	借用申金証文之事(金30両)	明治貳年巳三月	1869	一紙	1
	明治620	借用申講金証文之事(金50両、質地麦田2反2畝5歩ほか1か所)	明治二年巳十二月	1869	一紙	1
	明治621①	借用証文之事(金20両)	明治二年十二月廿八日	1869	切紙	1
	明治621②	借用申金証文之事(金215両)	明治二年十二月日	1869	一紙	1
	明治622	借用申講金証文之事(金25両、質地下畑2畝歩)	明治三庚午年六月日	1870	一紙	1
	明治623	借用申金子証文之事(金290両、質地上田1反1畝歩ほか2か所)	明治三年午六月日	1870	一紙	1
	明治624	預り申金子之事(金200両)	明治三年庚午六月廿日	1870	一紙	1
	明治625	借用申講金証文之事(金10両、質地上畑23歩)	明治三庚午七月	1870	一紙	1
	明治626	借用申金子証文之事(金10両)	(明治3年ヵ) 午九月	1870	一紙	1
	明治627	借用申金子証文之事(金25両)	明治三年午閏十月十八日	1870	一紙	1
	明治628	預り申金子之事(金200両)	明治三年庚午十月四日	1870	一紙	1

作 成	受 取	備 考
壱番西組惣代		明治608①・②は貼付
大垣藩裁判所	美江寺村、一ツ木村、十五条村、下真桑村、上真桑村、中野村、小弾正村、更屋敷村、西早野村、東早野村、西見延村、東見延村、上磯村、大い斐村、島村、志名村、西方村、高科村、岐礼村、長屋村 右村々庄屋、年寄	
大垣藩裁判所(印)		端裏「御願支配所江」
大垣藩御預役所(印)	長屋村歌左衛門、上真桑村兵藏	明治610①・②は貼付
大垣藩民政寮(印)		
大垣藩御預役所	長屋村歌左衛門	明治611①・②は貼付
大垣藩		
大垣御預役所	美江寺村的之助(印)、他6人、十九条村祐平(印)、牛牧村昨造(印)、他4人、下本田村正平(印)、上本田村助左衛門(印)、他7人、十五条村良郎(印)、下真桑村三右衛門(印)、他3人、上真桑村民次(印)、他3人、中野村谷五郎(印)、他1人、早野村金作(印)、他7人、見延村子之助(印)、他4人、長屋村歌右(左)衛門(印)、八郎左衛門(印)、利左衛門(印)、源藏(印)、糸之丞(印)、利太郎(印)、岐礼村五左衛門(印)	明治612～明治615はこより紐一括、包紙「大急 廻状 大垣御預役所 美江寺村的之助始り」
大垣御預役所印	長屋邸役人	明治613-1が-2を巻いていた
大垣御預役所印	長屋邸源藏父丹藏	
長屋神社社人願主隠居高橋源太夫、親類一、一	御立入人早野村由助殿、御役人衆中、氏子衆中	挿入紙・剥離紙あり
遠州浜松鈴鐸山普大寺役僧(印)	吹笛修行留(印)	包紙「代替二付入替印 明治二己巳九月」、印刷物
		60.7×31.3cm
第三十二番中学区取締 郷佐太郎受持(印)		40.4×28.0cm、方県郡の範囲を記載(一部本巢郡あり)
借主久米之丞(印)	長屋八郎左衛門殿	
見延村借主梅太郎(印)、証人又右衛門(印)、庄屋小文次(印)	講御連中衆	
関谷与左衛門(印)	長屋八郎左衛門様	明治621①・②は貼付け
長屋村借主久米之丞(印)、加判吉左衛門(印)	同村歌左衛門殿	
借主九重郎(印)、右同断喜重郎(印)、質地主同断寅吉(印)	惣御連中衆	
借主徳右衛門(印)、証人吉左衛門(印)	長屋歌左衛門殿	
上本田村預り主関谷豊輔(印)、同村証人同与左衛門(印)	長屋歌左衛門様	
かり主吾市(印)、証人九重郎(印)	講御連中衆	
見延村かり主庄左衛門(印)	長屋村歌左衛門殿、喜藤次殿	
かり主半十郎(印)、証人伊八(印)	長屋可左衛門殿	
上本田村預り主関谷豊輔(印)、同村証人同与左衛門(印)	長屋歌左衛門様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治629	借用申講金証文之事（金50両、質物立木売代50両、山地所とも）	明治三庚午年十一月	1870	一紙	1
	明治630	預り申金子之事（金300両）	明治三年午十二月	1870	一紙	1
	明治631	預り申金子之事（金200両）	明治三年午十二月	1870	一紙	1
	明治632	借用申金子之事（金100両）	明治三年庚午十二月	1870	一紙	1
	明治633	借用申金子証文（金15両、質地掟3斗7升）	明治三年十二月	1870	一紙	1
	明治634	借用申講金証文之事（金10両、質地中田17歩）	明治四年未十一月	1871	一紙	1
	明治635	借用申金子之事（金12両3歩余、祭礼警固仲間の者の法被代残金勘定差詰りにつき）	明治四年未極月十八日	1871	一紙	1
	明治636	借用申金子証文之事（金50両、作馬買代金借用につき）	明治五年申正月廿九日	1872	一紙	1
	明治637	預り金申金子之事（金100両）	明治五壬申年二月	1872	一紙	1
	明治638	借用申講金証文之事（金100両、質地上田3反6畝11歩）	明治五壬申年十一月	1872	一紙	1
	明治639	借用申米手形之事（米49俵）	明治五年さる十二月五日	1872	一紙	1
	明治640	借用申金子之事（金20円）	明治六年酉十二月九日	1873	一紙	1
	明治641	借用申金子証文之事（金45円、書入田3反9畝5歩5厘）	明治七年戌一月日	1874	一紙	1
	明治642	借用申金子事（金50円）	明治七年戌十月一日	1874	一紙	1
	明治643	証券之事（金25円）	明治七年十二月廿五日	1874	一紙	1
	明治644	借用申金子証文之事（金10円）	明治八年五月十三日	1875	一紙	1
	明治645	添証券（金300円取次につき）	明治九年四月五日	1876	一紙	1
	明治646	証（紙幣30円借用につき）	明治九年九月四日	1876	一紙	1
	明治647	証券（金10円借用につき）	明治九子年十二月日	1876	一紙	1
	明治648	借入金証券（金2円46銭余）	明治十一年十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治649	借入金証券（金6円51銭余）	明治十一年十二月三十日	1878	一紙	1
	明治650	借入金証券（金3円10銭）	明治十一年寅十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治651	借入金証券（金2円17銭余）	明治十一年戊寅十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治652	借入金証券（金5円1銭余）	明治十一年戊寅十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治653	借入金証券（金2円59銭余）	明治十一年十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治654	借入金証券（金7円）	明治十一年十二月三十一日	1878	一紙	1
	明治655	借入金証書（金100円）	明治十二年四月一日	1879	一紙	1
	明治656	借入金証文之事（金5円23銭余）	明治十二寅年五月九日	1879	一紙	1
	明治657	借用申金子証文之事（金2円）	明治十二年五月八日	1879	一紙	1
	明治658	借入金証書（金100円）	明治十二年八月廿九日	1879	一紙	1
	明治659	借入金証券之事（金300円、地券納税差詰りにつき）	明治十二年九月四日	1879	一紙	1
	明治660	借入金証券（金6円）	明治十二年十二月三十一日	1879	一紙	1

作 成	受 取	備 考
神海村借主高橋権三郎(印)、同村受人高橋作右衛門(印)、同村組頭高橋右門七(印)、同村名主高橋墨吉(印)	長屋村講元小野元朝殿、講御連中衆	
預り主関谷与左衛門(印)、証人同源右衛門(印)	長屋八郎左衛門殿	
預り主関谷与左衛門(印)、証人同源右衛門(印)	長屋八郎左衛門殿	
長屋村借主長屋歌左(印) (衛門)、同村証人吉田真兵衛(印)	曾井村高橋久左衛門殿	破損あり
常德寺(印)	長屋八郎左衛門殿	
かり主由太郎(印)、質地主五市(印)	新榎田講御連中衆	端裏「明治四辛未年十二月〇〇講証文 由太郎より」
長屋村かり主警固惣代直藏(印)、同断増右衛門(印)、同断忠平(印)、証人小平	長屋平馬殿	端裏「〇〇〇〇預り金渡し証文」
長屋村借り主八百蔵(印)、同村請人喜平	当村長屋八郎様	
上本田村預主関谷源右衛門(印)、証人同貫三(印)	長屋村長屋八郎殿、同覚之助殿	
上之保村借主堀口唯助(印)、同村証人堀口健助(印)、同村戸長松原孝平(印)	講御連中衆	
岐阜大工町かり主山田庄八(印)、弁済人同町小川義三郎(印)	西文殊村河村利兵殿	罫紙使用
借用主北方増屋町横井啓助(印)	長屋金八様	
第七大区十三ノ小区方県郡秋沢邨一番地所借主関谷吉兵衛(印)、同郡同村二番地所証人関谷儀太郎(印)	第七大区六ノ小区本巢郡長屋村長屋八郎殿	「右(秋沢)村戸長森順平(印)」の奥書あり
借用主北方横井啓助	長屋八郎様	
上真桑村借主守屋光治郎(印)、証人守屋元平(印)	長屋嘉左衛門殿	
借主高橋利平(印)、証人高橋宇八(印)	当村長屋八郎殿	
北方仲町取次人日比野義兵衛(印)	長屋郎長屋八郎殿	罫紙使用
牧垣三郎(印)	長屋八郎殿	
借主成瀬惣十郎(印)、請人同瀧治(印)	長屋八郎殿	
長屋村借主吉田宇平(印)、証人吉田喜平	長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主遠山勝次(印)、高橋銀松(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主青木文四郎(印)、同証人青木奎平(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主箕浦為蔵(印)、同村証人名瀬平作(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主丸毛幸三郎(印)、同証人丸毛九平次	長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主吉田喜平(印)、同証人吉田宇平(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村借主後藤五市(印)、同証人青木奎平(印)	長屋八郎殿	「証券界紙」使用
本巢郡長屋村借用主長屋八郎〇、借用主成瀬利三〇	見延村飯尾辰助殿御取次	
本巢郡長屋村借主後藤五市(印)、同村請人青木奎平(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
長屋村高橋宇八(印)、同証人高橋利平	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
本巢郡長屋村借用主長屋八郎(印)、借用主成瀬利三(印)	加茂村石原甚助殿	
本巢郡長屋村借用主長屋八郎(印)、同成瀬利三(印)、保証人長屋好貞(印)、同高橋源三(印)、同青木三郎(印)	本巢郡見延村飯尾儀右衛門殿	
長屋村借主成瀬角蔵(印)、同証人成瀬善九郎	長屋八郎殿	「証券界紙」使用

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治661	借入金証書（金50円）	明治十四年十月六日	1881	一紙	1
	明治662	借入金証券（金10円）	明治十六年未二月廿日	1883	一紙	1
	明治663	借入金証券（金100円）	（明治）十六年二月七日	1883	一紙	1
	明治664	借入金証券（金2円、農業肥料に差詰りにつき）	明治十六年六月廿六日	1883	一紙	1
	明治665	借入金証券（金2円）	明治十七年三月十日	1884	一紙	1
	明治666	借入金証書（金10円）	明治十七年三月二十日	1884	一紙	1
	明治667	証券（金100円借用につき）	明治十七年八月廿七日	1884	一紙	1
	明治668	金子借用証書（金15円）	明治十七年十二月七日	1884	一紙	1
	明治669	借用仕金子証券（金20円）	明治十八年酉八月廿二日	1885	一紙	1
	明治670	借入金証券（金4円90銭）	明治十八年十二月廿六日	1885	一紙	1
	明治671	借入金証書（金3円29銭7厘）	明治十九年十一月二十二日	1886	一紙	1
	明治672	記（金31円63銭余領収につき）	明治廿年六月三十日	1887	一紙	1
	明治673	借入金証（金10円）	明治廿年十二月十九日	1887	一紙	1
	明治674	助成講金借用証券（金30円）	明治二十年四月 日	1887	一紙	1
浅	明治675	地所建物書入借入金証書（金600円、抵当市街住宅地・家1棟）	明治三十一年十月 日	1898	一紙	1
浅	明治676	地所建物書入借入金証書写（金600円、抵当市街宅地・家1棟）	明治三十一年十月 日	1898	一紙	1
	明治677	借用申金子之事（金10両、質物松ノ木1本）	子十月三日		一紙	1
	明治678	覚（金25両拝借にて後日本証文認め引替えにつき）	未ノ三月日		切紙	1
	明治679	覚（私共身上にて苦勞に預る節、酒料金1両差戻りにて請取につき）	（天保3カ）辰八月	1832	一紙	1
	明治680	質地書入証文之事（金30両、質地田1か所）	明治三年三月	1870	一紙	1
	明治681	質流ニ相渡申田地証文之事（金35円3分余、質流地所屋敷2畝10歩・中畑12歩ほか6か所）	明治五壬申年二月	1872	一紙	1
	明治682	添証書（米25俵借用につき）	明治八年十二月廿二日	1875	一紙	1
	明治683	売渡申田地証文之事（上田9畝10歩、代金30両）	明治四年未十二月日	1871	一紙	1
	明治684	売渡申田地証文之事（橋本村錦見長雄義、身代改革にて本巢郡本田村内入作分田畑屋敷売払いにつき）	明治六年一月	1873	一紙	1
	明治685	為取替約定之事（文殊村納米30俵、代金65円余売渡しにつき）	明治八年八月十一日	1875	一紙	1
浅	明治686	地所売渡申証券（多芸郡栗笠村内田地9か所、代金230円余）	明治九年子十一月	1876	一紙	1
浅	明治687	地所売渡証書（田4反2畝余、代金301円余）	明治十六年七月	1883	一紙	1
	明治688	覚（土蔵1軒売払い代金5両のうち手附金1両2分受取につき）	六月十日		一紙	1
	明治689	（欠番）				
	明治690	本巢郡長屋村匳絵図	明治四辛未年八月下旬	1871	絵図	1
	明治691-1	〔本巢郡長屋村御堤・川筋絵図〕	明治四辛未年九月	1871	絵図	1

作 成	受 取	備 考
美濃国本巢郡長屋村六番地所居住借用主成瀬惣十郎(印)、同国同郡同村保証人成瀬瀧治(印)	長屋村長屋八郎殿	「金高拾円以上ニテ証券印紙貼用スベキ分ノ用紙」使用
本巢郡長屋村借用主小野やつ(印)	当村長屋八郎殿	罫紙使用
青木三郎(印)	長屋八郎殿	罫紙使用
借用主丸毛幸三郎(印)	長屋八郎殿	「証券界紙」使用
本巢郡長屋村七番地西川源七(印)	当村長屋八郎殿	「証券界紙」使用
借用主長屋六郎(印)、請人長屋松平(印)	長屋八郎殿	「金高拾円以上ニテ証券印紙貼用スベキ分ノ用紙」使用
青木三郎(印)	長屋八郎殿	罫紙使用
本巢郡長屋村借主遠山重五郎(印)、同郡同村保証人遠山嘉平(印)	長屋八郎殿	罫紙使用
方県郡川部村借用主福島得齊(印)	本巢郡長屋村長屋八郎殿	
本巢郡長屋村借主遠山重五郎(印)	長屋八郎殿	
ミノ国本巢郡早野村四番地所居住借用主高橋宇平(印)	本巢郡長屋村長屋八郎殿	「証文用紙」使用
柴田秀悟郎(印)	長屋八郎殿	罫紙使用
京都府下京区第廿二組上田町十番戸長屋章(印)	長屋八郎殿	罫紙使用
本巢郡本田村借主関谷静平(印)、全弁保証人関谷嘉一(印)、全保証人関谷楠平(印)	本巢郡長屋村長屋八郎殿	罫紙使用
美濃国安八郡大垣町大字馬場九十三番戸借用主中村賢三(印)、保証人兼抵当物所有主中村サタ(印)、保証人佐藤兵四郎(印)	安八郡浅草村大字浅草東 番 戸大橋庄八殿	「証文用紙」使用
美濃国安八郡大垣町大字馬場九十三番戸借用主中村賢三、保証人兼抵当物所有主中村サタ、保証人佐藤兵四郎	安八郡浅草村大字浅草東 番 戸大橋庄八殿	「証文用紙」使用、「負債主中村賢三(印)、債主大橋庄八」とあり
当村借主大和(印)、証人小兵衛(印)	可左衛門殿	
秋沢村借主唯助(印)	長屋八郎様	
元淳(印)、伊勢(印)、小兵衛(印)、他11人	可左衛門殿	
加り主藤十郎(印)、加印周助(印)	長屋歌左衛門殿	
長屋村質流地主一、証人一	当村一殿	
本巢郡文殊村河村新吾(印)	同郡長屋村長屋八郎殿	
売主高橋源吾(印)、請人高橋豊(印)、加判高橋清記(印)	当村長屋八郎殿	明治683~明治688はこより紐一括
右長雄作代引請人本田村関谷貫三(印)、証人同村関谷桂蔵(印)、証人野白新田森保三(印)	大野郡更地村井深太郎殿、本巢郡長屋村長屋八郎殿、同郡本田村関谷醇三殿	
本巢郡文殊村証人河村正作(印)、同郡同村売主河村新吉(印)	同郡長屋村長屋八郎殿取次	罫紙使用
第三大区十一ノ小区多芸郡栗笠村売渡主大橋茂三郎(印)、同郡同村佐藤宇三郎(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	端裏「明治九年栗笠」、朱書「第百貳拾号」、「右(栗笠)村戸長高橋治兵衛(印)」の奥印あり
美濃国多芸郡栗笠村六番地居住売渡主小畑儀助(印)、保証人栗田忠七(印)	安八郡浅草東村大橋政尾殿	朱書「第五十六号」、「栗笠村戸長左様吉六(印)」の奥印あり
玄迪	可左衛門殿	
		破損あり、39.9×55.2cm、彩色、「御検見ニ付御支配笠松御庁江名田帳ニ添差上ル」とあり
百姓代高橋小兵衛、年寄成瀬十右衛門(印)、同断高橋桑之丞(印)、庄屋成瀬利左衛門(印)、同断長屋喜藤治(印)、同断長屋八郎左衛門(印)		明治691-1~-4はこより紐一括、28.2×79.2cm、彩色

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治691-2-1	〔本巢郡長屋村御堤・川筋絵図〕	明治四辛未年九月	1871	絵図	1
	明治691-2-2	〔春日社の儀にて火急の申上げにより、春日社氏子惣代・村方高持惣代2、3人入来願いにつき書状〕	五月十七日		切紙	1
	明治691-3	〔本巢郡長屋村御堤・川筋絵図〕	明治四辛未年九月	1871	絵図	1
	明治691-4	〔本巢郡長屋村御堤・川筋絵図〕	明治四辛未年九月	1871	絵図	1
	明治692	第七大区六之小区本巢郡長屋村字分切絵図	皇明九年元陽六月上院認之	1876	絵図	1
	明治693	本巢郡長屋村亀絵図			絵図	1
	明治694	〔本巢席田郡学区絵図〕			絵図	1
	明治695	〔本巢郡上真桑村開墾地及び周辺絵図〕			絵図	1
	明治696	大構新畑地引絵図	明治五壬申十月二十三日 八郎手元	1872	絵図	1
	明治697	学校略図（第三十二番中学区）			絵図	1
	明治698	本巢大野郡安藤参受持区図			絵図	1
	明治699	〔長屋村字人宿り絵図〕			絵図	1
	明治700	長屋村絵図	明治九丙子年秋八月写之	1876	絵図	1
	明治701	〔長屋村学校敷地願い場所絵図〕			絵図	1
	明治702	岐阜日日新聞号外（第一）	明治三十七年五月一日	1904	新聞	1
	明治703	岐阜日日新聞号外（第二）	明治三十七年五月一日	1904	新聞	1
	明治704	岐阜日日新聞号外（第三）	明治三十七年五月一日	1904	新聞	1
	明治705	岐阜日日新聞号外（第一）	明治三十七年五月六日	1904	新聞	1
	明治706	岐阜日日新聞号外（第三）	明治三十七年五月八日	1904	新聞	1
	明治707	岐阜日日新聞号外（第一）	明治三十七年五月二十二日	1904	新聞	1
	明治708	岐阜日日新聞号外	明治三十七年十月十六日	1904	新聞	1
	明治709	岐阜日日新聞号外（第一）	明治三十八年六月十一日	1905	新聞	1
	明治710	岐阜日日新聞号外	明治三十八年十月十七日	1905	新聞	1
	明治711	岐阜日日新聞号外	明治三十八年十一月二十四日	1905	新聞	1
	明治712	濃飛日報号外	明治三十七年六月二十日	1904	新聞	1
	明治713	濃飛日報号外	明治三十七年六月二十九日	1904	新聞	1
	明治714	濃飛日報号外	明治三十七年十月十三日	1904	新聞	1
	明治715	濃飛日報号外	明治三十八年三月六日	1905	新聞	1
	明治716	中京新報第一号外	明治三十七年五月二日	1904	新聞	1
	明治717	中京新報号外	明治卅七年五月十六日	1904	新聞	1

作 成	受 取	備 考
百姓代高橋小兵衛、年寄成瀬十右衛門(印)、同断高橋糸之丞(印)、庄屋成瀬利左衛門(印)、庄屋長屋喜藤治(印)、庄屋長屋八郎左衛門(印)		28.2×78.6cm、彩色
高橋東作	長屋八郎様、長屋好貞様、成瀬利三様	明治691-2-1に挟まれていた
百姓代高橋小兵衛(印)、年寄成瀬十右衛門(印)、同断高橋糸之丞(印)、庄屋成瀬利左衛門(印)、同断長屋喜藤治(印)、同断長屋八郎左衛門(印)		27.9×117.9cm、彩色
百姓代高橋小兵衛(印)、年寄成瀬十右衛門(印)、同断高橋糸之丞(印)、庄屋成瀬利左衛門(印)、同断長屋喜藤治(印)、同断長屋八郎左衛門(印)		27.9×117.9cm、彩色
		27.8×39.6cm、2枚(表紙含む)、彩色
戸長長屋八郎		56.2×40.6cm、彩色
岐阜県学区取締本巢席田郡受持長屋八郎(印)		45.2×32.4cm、彩色
		40.6×28.4cm、彩色
		51.0×28.0cm、彩色
第三十二番中学区取締梶原惣右衛門		27.6×39.3cm、彩色
		40.3×27.8cm、彩色
		27.0×39.0cm、20枚、「第二号」とあり
長屋八郎藏(印)		128.8×93.4cm、彩色、裏打ちあり
		40.8×28.0cm、彩色
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		明治702～明治711はビニール紐で綴られていた、23.4×39.0cm、見出し「九連城攻撃」「我海軍の安東県攻撃」
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		30.0×39.0cm、見出し「鴨緑江附近の戦闘」「又復旅順砲撃」
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		13.4×37.0cm、見出し「我軍九連城を占領す」「我艦隊浦港に現はる」「英国新聞紙の賞讃」
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		18.4×26.6cm、見出し「旅順閉塞公報」「敵兵の死傷増加」「露国の大動揺」など
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		19.6×38.0cm、見出し「優詔下る」「旅順閉塞隊の死傷生還者別」「旅順方面の情報」など
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		19.0×26.0cm、見出し「大孤山上陸軍の戦報」「旅順強行偵察の別報」
発行所：岐阜市今小二百九 岐阜日日新聞社		27.6×33.4cm、見出し「奉天前面追撃続報」「奉天前面激戦死傷者」「城廠来襲の敵兵」など
発行所：岐阜市今小二〇九 岐阜日日新聞社		19.0×29.7cm、見出し「媾和に就て米国の照会と我政府の回答」
発行所：岐阜市今小二〇九 岐阜日日新聞社		18.4×40.7cm、見出し「大詔煥発」「凱旋軍隊に対する陸相の訓示」「内相の訓令」
発行所：岐阜市今小二〇九 岐阜日日新聞社		28.0×34.6cm、見出し「満洲撤兵手続及鉄道線路引渡議定書」「大使遭難続聞」「遭難後の大使」など
発行所：岐阜市朝日町六百七十九番戸 濃飛日報社		明治712～明治715はビニール紐で綴られていた、19.6×27.3cm、見出し「上村艦隊報告」「黒鳩公南下の説」
発行所：岐阜市朝日町六百七十九番戸 濃飛日報社		19.8×13.8cm、見出し「旅順攻撃」「遼陽方面の戦情」
発行所：岐阜市朝日町六百七十九番戸 濃飛日報社		18.2×26.2cm、見出し「遼陽奉天間の大逆襲戦」「鹵獲と我が死傷者」
発行所：岐阜市朝日町六百七十九番戸 濃飛日報社		18.5×24.2cm、見出し「沙河方面の戦闘」「愈々大活動為さん」「露都人民の反昂」
発行所：愛知県名古屋市針屋町三丁目四番地(商法施行前創立)名古屋印刷合資会社		明治716・明治717はビニール紐で綴られていた、35.6×25.9cm、見出し「九連城占領公報」「我艦隊烏港に現る」「天晴!天晴!日本軍人の最後」など
発行所：愛知県名古屋市針屋町三丁目四番地(商法施行前創立)名古屋印刷合資会社		35.0×24.0cm、見出し「敵の戦報」「露帝亞総督を責る」「旅順の窮状」など

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	明治718	大阪朝日新聞第二号外	明治卅七年二月十日	1904	新聞	1
	明治719	大阪朝日新聞号外	明治三十七年二月二十七日	1904	新聞	1
	明治720	大阪朝日新聞号外	明治三十七年三月十三日	1904	新聞	1
	明治721	大阪朝日新聞第三号外	明治三十七年四月十四日	1904	新聞	1
	明治722	大阪朝日新聞号外	明治三十七年四月十五日	1904	新聞	1
	明治723	大阪朝日新聞第三号外	明治三十七年四月二十八日	1904	新聞	1
	明治724	大阪朝日新聞第二号外	明治三十七年四月二十九日	1904	新聞	1
	明治725	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月一日	1904	新聞	1
	明治726	大阪朝日新聞第二号外	明治三十七年五月一日	1904	新聞	1
	明治727	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月二日	1904	新聞	1
	明治728	大阪朝日新聞第二号外	明治三十七年五月二日	1904	新聞	1
	明治729	大阪朝日新聞第三号外	明治三十七年五月二日	1904	新聞	1
	明治730	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月六日	1904	新聞	1
	明治731	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月八日	1904	新聞	1
	明治732	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月二十三日	1904	新聞	1
	明治733	大阪朝日新聞号外	明治三十七年五月二十九日	1904	新聞	1
	明治734	大阪朝日新聞号外	明治三十七年六月二十日	1904	新聞	1
	明治735	大阪朝日新聞号外 第一号外	明治三十七年六月二十日	1904	新聞	1
	明治736	大阪朝日新聞号外 第一号外	明治三十八年一月四日	1905	新聞	1
	明治737	大阪朝日新聞号外	明治三十八年一月四日	1905	新聞	1
	明治738	大阪朝日新聞号外 第一号外	明治三十八年一月五日	1905	新聞	1
	明治739	大阪朝日新聞第二号外	明治三十八年一月五日	1905	新聞	1
	明治740	大阪朝日新聞第一号外	明治三十八年二月十九日	1905	新聞	1
	明治741	大阪朝日新聞号外	明治三十八年五月三十一日	1905	新聞	1
	明治742	大阪朝日新聞第二号外	明治三十八年五月卅一日	1905	新聞	1
	明治743	大阪朝日新聞号外	明治三十八年六月十日	1905	新聞	1
	明治744	大阪朝日新聞号外	明治三十八年六月十四日	1905	新聞	1
	明治745	大阪朝日新聞号外	明治三十九年一月六日	1906	新聞	1
	明治746	大阪朝日新聞号外	明治三十七年三月十七日	1904	新聞	1
	明治747	大阪朝日新聞 第五千八百四十二号	明治三十一年五月三日	1898	新聞	1

作 成	受 取	備 考
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		明治718～明治745はビニール紐で綴られていた、20.4×17.5cm、見出し「露艦撃沈せらる」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		17.8×40.6cm、見出し「旅順第三攻撃公報」「沈没船乗組の勇士」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		19.1×43.1cm、見出し「旅順第四回攻撃」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		16.9×38.6cm、見出し「ペトロパウロフスク沈没」「旅順砲撃と閉塞」「敵艦沈没と敵將溺死」など
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.4×14.4cm、見出し「大宮全焼」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.0×19.4cm、見出し「鴨緑江口の戦闘」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		19.8×19.2cm、見出し「金州丸遭難公報」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.8×54.0cm、見出し「黒木大将の公報」「鴨緑江口の威嚇砲撃」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		18.4×17.9cm、見出し「九連城の占領」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.8×29.2cm、見出し「我艦隊烏港に迫る」「馬賊の跋扈」「大孤山偵察」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.6×26.6cm、見出し「九連城占領の確報」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		21.6×54.8cm、見出し「上村艦隊の公報」「海軍の威嚇砲撃」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.5×18.8cm、見出し「遼東上陸」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		19.6×28.2cm、見出し「鳳凰城占領」「旅順交通遮断」「ダルニー占領」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		17.2×40.0cm、見出し「第二回国庫債券発行規程」「大孤山上陸軍戦報」「補助輸卒隊の敵兵捕獲」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		19.2×53.4cm、見出し「金州攻略詳報」「海軍の情報」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.4×26.4cm、見出し「羽後丸遭難の実況」
発行所：名古屋市本町五丁目六十六番地 大阪朝日新聞販売局		16.6×35.2cm、見出し「上村艦隊の敵艦搜索運動」「北海道沿岸の敵艦行動」
発行所：名古屋市本町五丁目六十六番地 大阪朝日新聞販売局		18.2×79.4cm、見出し「皇孫御降誕」「旅順要塞の引渡」「最後の旅順」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		40.2×28.0cm、見出し「最後の旅順」
発行所：名古屋市本町五丁目六十六番地 大阪朝日新聞販売局		18.0×40.2cm、見出し「降将の電奏」「開城規約の附録」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.6×17.6cm、見出し「旅順受降報告」
発行所：名古屋市本町五丁目六十六番地 大阪朝日新聞販売局		19.6×14.2cm、見出し「露国の恐慌」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.0×53.8cm、見出し「大海戦詳報」
発行所：名古屋市本町五丁目六十六番地 大阪朝日新聞販売局		19.7×27.4cm、見出し「大捷（日本海戦詳報）」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		20.8×27.0cm、見出し「露帝の平和宣示」「講和申込の次第」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		19.7×19.4cm、見出し「露国の回答」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		39.6×28.0cm、見出し「日清協約」
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		54.8×39.5cm、見出し「戦時財政計画諸案」「軍旗授与式」「首相邸の会見」など、破損あり
発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社		1・2・7・8面、見出し「局外中立の詔勅」「海上取締手続訓電」「西班牙の戦敗」など

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治748	大阪朝日新聞 第五千八百四十二号	明治三十一年五月三日	1898	新聞	1
	明治749	西濃新聞号外	明治三十七年六月五日	1904	新聞	1
	明治750	岐阜日日新聞 第三千百八十号	明治二十五年五月四日	1892	新聞	1
	明治751	岐阜日日新聞 第三千百八十六号	明治二十五年五月十一日	1892	新聞	1
	明治752	岐阜日日新聞 第三千七百三十七号	明治二十七年三月二十三日	1894	新聞	1
	明治753	岐阜日日新聞 第六千五百三十六号	明治三十六年七月十九日	1903	新聞	1
	明治754	中京新報 第二千九百五十五号	明治三十七年二月廿四日	1904	新聞	1
	明治755	大阪タイムス 第二百二十二号	明治三十八年六月四日	1905	新聞	1
	明治756	大阪毎日新聞号外	明治卅七年二月廿六日	1904	新聞	1
	明治757	大阪毎日新聞号外	明治卅七年三月十二日	1904	新聞	1
	明治758	日刊大阪毎日新聞号外	明治三十七年五月八日	1904	新聞	1
	明治759	大阪毎日新聞号外	明治三十七年六月十八日	1904	新聞	1
	明治760	第四回国庫債券発行規程摘要	明治三十八年三月	1905	一紙	1
	明治761	国庫債券応募申込書	明治三十 年 月 日		一紙	1
	明治762	〔第四回国庫債券募集取扱い広告〕	(明治38年2月15日現在)	1905	一紙	1
	明治763	〔電気器具広告〕			一紙	1
	明治764	呉服売出広告			一紙	1
	明治765	農事月報 第七十六号	明治三十八年六月廿日発行	1905	冊子	1
高	明治766-1	記(金30銭、茶料恵投につき)	四月一日		一紙	1
高	明治766-2	領収証(金38銭、中学世界4部代につき)	明治三十一年十二月 日	1898	一紙	1
高	明治766-3	記(金60銭、写真絵一組増絵1葉代金受領につき)	明治卅三年四月廿三日	1900	一紙	1
高	明治766-4	領収証(金27銭余、岐阜日日新聞代8月分につき)	明治三十三年八月 日	1900	一紙	1
高	明治766-5	領収証(金35銭余、大阪朝日新聞代8月分につき)	明治三十三年八月 日	1900	一紙	1
高	明治766-6	領収証(金41銭、大阪朝日新聞代5月分につき)	明治三十二年五月 日	1899	一紙	1
高	明治766-7	記(金2円、茶料恵投につき)	明治三十三年九月十日	1900	一紙	1
高	明治766-8	領収証(金39銭余、岐阜日日新聞代4月分につき)	明治三十三年(4)月 日	1900	一紙	1
高	明治766-9	領収証(金32銭余、岐阜日日新聞代11月分につき)	明治三十三年(11)月 日	1900	一紙	1
高	明治766-10	領収証(金32銭余、岐阜日日新聞代10月分につき)	明治三十三年十月 日	1900	一紙	1
高	明治766-11	領収証(金1円余、ギフ・大阪朝日新聞代など4月分につき)	明治卅五年四月 日	1902	一紙	1
高	明治766-12	領収証(金19銭、中学世界2部代につき)	明治三十二年一月 日	1899	一紙	1
高	明治766-13	領収証(金48銭、大阪朝日新聞代11月分につき)	明治卅三年十一月 日	1900	一紙	1

作 成	受 取	備 考
(発行所：大阪市北区中之島三丁目十四番屋敷 村山合名 大阪朝日新聞会社)		3・4・5・6面、見出し「貨幣鑄造予定額」「大阪工業学校」「選挙競争」など
発行所：西濃新聞社		39.6×54.4cm、見出し「西濃財界の一大椿事!」「戸田伯等共立銀行の急を救はる」「金森、大垣製糸場の繭買入れに就て」など
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		見出し「正副議長の確認」「各議員の所属」「議員召集前の動静」など、破損あり
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		見出し「震災問題」「総理大臣の演説」「内務大臣の演説」など、破損あり
発行所：岐阜市今小町二百九番戸 岐阜日日新聞社		見出し「民間の反目疾視」「郵船会社長定まる」「判事忌避申請の棄却」など
		見出し「博覧会再度の盗難」「繭商況」「県下の会社数及資本金」など、破損あり
発行所：愛知県名古屋市中区針屋町三丁目四番地(商法施行前設立)名古屋印刷合資会社		1・2・5・6面、見出し「登記公告」「戦争と総選挙(下)」「奈古浦丸船員生存後報」など、破損あり
		3・4面、見出し「北国便り(随筆)」「俳句教言」「俳諧発句 浪花道場練習会開廷(俳句)」など
発行所：大阪市東区大川町五拾五番屋敷 合資会社 大阪毎日新聞社		17.0×39.6cm、見出し「日本艦隊旅順を封鎖せんとす」「第三回旅順攻撃の説」「韓国内閣の改造」など
発行所：大阪市東区大川町五拾五番屋敷 合資会社 大阪毎日新聞社		20.0×53.8cm、見出し「浦塩砲撃詳報」「馬賊の暴行」
発行所：大阪市東区大川町五拾五番屋敷 合資会社 大阪毎日新聞社		20.7×25.6cm、見出し「鳳凰城占領」「第二軍の普蘭店占領 敵の交通絶」
発行所：名古屋市新柳町甲三十七番戸 大阪毎日新聞社名古屋支局		18.0×26.0cm、見出し「露艦津軽海峡に現る」「露の軍団長負傷」
岐阜市中竹屋町 株式会社 十六銀行		印刷物
	日本銀行名古屋支店岐阜派出所御中	印刷物、未記入、「(株式会社十六銀行)」とあり
岐阜市中竹屋町 株式会社 十六銀行		印刷物
名古屋市茶屋町長者町之角 愛知電機製造合資会社		印刷物
美濃国北方町 長門屋呉服店		印刷物、北方大野活版所印行
発行兼編輯人 東京豊多摩郡淀橋町七百八十九番地井上龍太郎		発行所：東京内藤新宿停車場際 耕牧園
伊勢二見浦海水浴場 清渚亭	上	明治766-1~-51はビニール紐で綴じられていた
北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
岐阜市伊奈波 写真師河村驍	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒□□(来町) 諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	破損あり
岐阜市今小町津の国屋渡辺光太郎(印)	古田様	表裏に書付あり
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞店(印)	古田義一殿	
北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
高	明治766-14	領収証（金33銭、岐阜日日新聞代6月分につき）	明治三十一年六月 日	1898	一紙	1
高	明治766-15	〔故矢島巡查建碑費及北方警察署落成式余興費5円受納証〕	明治卅五年四月九日	1902	一紙	1
高	明治766-16	記（酒・宿代など金2円57銭領収につき）	四月一日		一紙	1
高	明治766-17	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代4月分につき）	明治三十二年四月 日	1899	一紙	1
高	明治766-18	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代5月分につき）	明治三十二年五月 日	1899	一紙	1
高	明治766-19	領収証（金1円余、濃飛日報・大阪朝日・ギフ新聞代1月分につき）	明治三十五年一月 日	1902	一紙	1
高	明治766-20	証（金5円、本堂再建寄付金につき）	明治卅四年十一月二十二日	1901	一紙	1
高	明治766-21	証（金2円余、領収につき）	明治卅四年十月三十一日	1901	一紙	1
高	明治766-22	証（金5円、請取につき）	明治卅五年一月廿日	1902	一紙	1
高	明治766-23	証（金1円余、請取につき）	明治三十五年三月十日	1902	一紙	1
高	明治766-24	記（金1円余、広告料領収につき）	明治卅四年十月三十一日	1901	一紙	1
高	明治766-25	領収証（金35銭、岐阜日日新聞代8月分につき）	明治三十二年八月 日	1899	一紙	1
高	明治766-26	領収証（金32銭余、岐阜日日新聞代9月分につき）	明治三十三年九月 日	1900	一紙	1
高	明治766-27	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代9月分につき）	明治三十二年九月 日	1899	一紙	1
高	明治766-28	領収証（金19銭、中学世界雑誌3・4号につき）	明治三十二年二月 日	1899	一紙	1
高	明治766-29	証（金2円、鮭大尾拝受につき）	一月廿一日		一紙	1
高	明治766-30	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代11月分につき）	明治三十一年十一月 日	1898	一紙	1
高	明治766-31	領収証（金42銭、大阪朝日新聞代10月分につき）	明治三十二年十月 日	1899	一紙	1
高	明治766-32	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代10月分につき）	明治三十二年十月 日	1899	一紙	1
高	明治766-33	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代9月分につき）	明治三十二年九月 日	1899	一紙	1
高	明治766-34	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代4月分につき）	明治三十二年四月 日	1899	一紙	1
高	明治766-35	証（金1円余、修復料など受取につき）	明治三十年七月十日	1897	一紙	1
高	明治766-36	領収証（金35銭、岐阜日日新聞代7月分につき）	明治三十二年七月十八日	1899	一紙	1
高	明治766-37	領収証（金39銭余、岐阜日日新聞代3月分につき）	明治三十三年三月 日	1900	一紙	1
高	明治766-38	領収証（金20円、御寢殿集会所建築などにて懇志領収につき）	明治三十二年十二月十八日	1899	一紙	1
高	明治766-39	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代3月分につき）	明治三十二年三月 日	1899	一紙	1
高	明治766-40	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代11月分につき）	明治三十二年十一月 日	1899	一紙	1
高	明治766-41	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代12月分につき）	明治三十二年十二月 日	1899	一紙	1
高	明治766-42	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代12月分につき）	明治三十二年十二月 日	1899	一紙	1
高	明治766-43	領収証（金10銭、戸籍謄本請求手数料につき）	明治卅二年十月十二日領収	1899	一紙	1
高	明治766-44	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代1月分につき）	明治三十二年一月十七日	1899	一紙	1
高	明治766-45	領収証（金35銭、岐阜日日新聞代6月分につき）	明治三十二年六月 日	1899	一紙	1
高	明治766-46	領収証（金1円）	明治三十二年八月九日	1899	一紙	1

作 成	受 取	備 考
北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
右発起人総代西川文平(印)		「第二八〇号」とあり
伊勢二見浦海水浴場 清渚亭(印)	上	破損あり
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡一色村大字数屋瑞雲山千光寺建築事務所(印)	古田義一殿	
岐阜市今小町 岐阜日日新聞社(印)	古田儀一様	
石神山田藤平	古田儀吉殿	
石神山田喜七	古田義一殿	
岐阜市朝日町 濃飛日報社(印)	一色村古田様	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡数屋村野川杏平(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
岐阜県安八郡大垣町字若森 鉄砲火薬類売買免許商 奥田休左衛門(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本派岐阜別院(印)	御勘定古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	破損あり
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
一色村収入役青木信次郎(印)	本巢郡一色村大字上高屋古田義一納	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	破損あり
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社	古田義一殿	
岐阜市柳町神道学院事務所詰後藤金栗(印)	古田義一殿	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
高	明治766-47	領収証（金41銭、大阪朝日新聞代2月分につき）	明治三十二年二月 日	1899	一紙	1
高	明治766-48	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代11月分につき）	明治三十一年十一月 日	1898	一紙	1
高	明治766-49	領収証（金2円、開扉有志につき）	明治三十二年三月廿八日	1899	一紙	1
高	明治766-50	証（金50銭、御恵贈にて拝受につき）	四月廿七日		一紙	1
高	明治766-51①	領収証（金28銭、岐阜日日新聞代2月分につき）	明治三十二年二月 日	1899	一紙	1
高	明治766-51②	証（金5円、本巣郡教育会基本金受納につき）	明治三十二年七月十日	1899	一紙	1
高	明治767	〔衛生ニ関スル書類綴〕	（明治10～18年）	1877	綴 （袋共）	1
高	明治768	大野郡高屋村虎列拉病調書	（明治19年）	1886	縦	1
高	明治769	〔虎列拉病諸入費取調書など綴〕	（明治19年）	1886	綴	1
高	明治770	〔美濃国大野郡高屋村などでコレラ病に罹患にて出張所仕度料書付覚〕	（明治19年）	1886	横長	1
	明治771	〔神社敷設図・祝詞・祓詞・祓物など書付〕			一紙	1
	明治772	御届（正略教則施行の処、適さざるにて土地状況を酌量し教則折衷につき）	明治十二年八月六日	1879	縦	1
	未1	〔男子出産祝いの和歌など書付〕			切紙	1
	未2-0	〔括り紐〕			こより紐	1
	未2-1	〔暑中見舞い出勤日の件につき廻文〕	六月十一日		切紙 （包紙付）	1
	未2-2	〔先達て窺いの替米の件につき書状〕	十月晦日		切紙	1
	未2-3	覚（米利済みにつき）	（慶応2年）寅十二月	1866	切紙	1
	未2-4	舌代（鉄砲割・畑方引願い内入用とも引渡し金につき）			切紙	1
	未2-5	〔早野講の講金不足の件につき書状〕	十二月三日		切紙	1
	未2-6	〔預り置きのおさめの儀、買上げなどの件につき書状〕	十二月朔日		切紙	1
	未2-7	覚（当寅八会日懸金3両3分余受取につき）	（慶応2年）十一月	1866	切紙	1
	未2-8	〔貴家様へ引合いの田地の儀、見合わせ願いにつき書状〕	霜月十六日		切紙	1
	未2-9	〔当年田畑とも水腐れ米穀一粒も無い迷惑至極の年柄にて、皮麦払い方尋ねの件につき書状〕	十月廿七日		切紙	1
	未2-10	〔金子返済延引頼み金勘定の儀などの件ににつき書状〕	無神月十五日認		切紙 （封筒共）	1
	未2-11	〔青木方まで罷越しにて当方まで発向願いなどにつき書状〕	十月十四日		切紙 （封筒共）	1
	未2-12	〔鉄砲一条にて下真桑村安藤公方へ参り、右一件返事の儀などにつき書状〕	十一月十五日		切紙	1
	未2-13	急廻文（笠松横井氏への祝いにて同伴の義につき）	十月十四日		切紙 （包紙付）	1
	未2-14	〔残失金一件熟談にて取替金の儀につき書状〕	大晦日		切紙	1
	未2-15	〔関谷公へ村方分の委細答えの儀、組合内々惣代の儀などの件につき書状〕	四月中四日		切紙	1
	未2-16	口上（今晚桃林寺秋葉講勤めるよう庵主より頼みの処、取持当番不在にて代勤願いにつき）	十七日		切紙	1
	未2-17	〔上本田村源右衛門講寅懸金出金につき願書〕			切紙	1
	未2-18	〔寅八会日勘定懸金書付〕	（慶応2年）	1866	切紙	1
	未2-19	〔講懸金差出し願いにつき書状〕	十一月十三日		切紙	1
	未2-20	〔下真桑村安藤公村方一件にて相談につき書状〕	九月十四日		切紙	1
	未2-21	覚（金7両余借用につき）	（慶応2年）寅十一月六日	1866	切紙	1
	未2-22	覚（米10俵渡しにつき）	（慶応3年）卯正月二日	1867	切紙	1

作 成	受 取	備 考
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	
北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢 新聞合資会社(印)	古田義一殿	
山県郡上伊自良村甘南寺(印)	一色村上高屋古田義一殿	
大垣郭町江村頼庸(印)	古田様	
本巢郡北方駒来町諸新聞諸雑誌売捌所 本巢新聞合資会社(印)	古田義一殿	明治766-51①・②は貼付
岐阜県本巢郡教育会(印)	一色村古田義一殿	
		破損大、袋「明治十八年 衛生ニ関スル書類入 大野郡高 屋村杉山政助」
		明治768～明治770は袋一括、袋破損大、袋「明治十九年 中 高屋村虎列拉病ニ罹ル諸費調書 大野郡教屋村外五ヶ 村戸長役場」、「岐阜県美濃国大野郡教屋村外五ヶ村戸長 役場」の罫紙使用、表紙朱書「高橋代治」
		破損あり
		破損あり
		明治133と明治136の間にあり、2枚(1枚は綴じ紐から はずれ)、「申六月写 長屋扣」とあり
第三十二番中学区内本巢郡小柳村小柳 学校主者岡崎慶十郎、教員堀三作	岐阜県令小崎利準殿	明治573と明治574の間にあり、朱書「明治十二年八月七 日 日本県受附課へ出ス」、「第卅二番中学区事務所」の罫紙 使用
		未2-1～-35はこより紐一括
大垣ニ而土屋祐平	山本宇兵衛様、和田的之助様、 福田継次郎様、中嶋金作様、飯 尾平之助様、長屋嘉左衛門様	未2-1の包紙に-2～-35がくるまれている、包紙表「慶 応弍年寅之書状」、包紙裏「急廻文」
関谷与藤二	長屋歌左衛門様	
本屋仙治郎	長屋嘉左衛門様	
一貫	可左衛門殿	
松□泰治	長屋歌左衛門様	
飯尾順治郎	長屋歌左衛門様	
講元豊助(印)世話方	長屋嘉左衛門様	
慈眼□□	長屋むら長屋嘉左衛門様	
野白新田森信平	長屋村長屋歌左衛門様、同金八 様	
(長浜より)藤平覚元	長屋村長屋歌左衛門様	
青木ニ而三和□八郎	長屋歌左衛門様	
飯(尾)平之助	長歌左衛門様	
古沢武右衛門、土屋祐平	山本宇兵衛様、和田的之助様、 福田継次郎様、中嶋金作様、飯 尾平之助様、長屋嘉左衛門様	包紙「山本御氏始り」
ゐ、尾理右衛門	長屋可左衛門様	
飯尾平之助	長屋兄君様	破損あり
小兵衛	長屋金八郎様	
右(上本田村源右衛門)講世話方	長屋むら長屋嘉左衛門様	
講元豊助	長屋嘉左衛門様	
小柿村坪内政次	長屋村長屋歌左衛門様	
見延飯尾平之助	長屋歌左衛門様	
徳右衛門(印:濃州長屋米徳)	長屋歌左衛門様	
上ノ保藤右衛門(印)	長屋村長屋嘉左衛門様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未2-23	覚(本田与左衛門より申請の分、手形6俵受取につき)	(慶応2年)寅十二月廿四日	1866	切紙	1
	未2-24	覚(去丑年献金年賦・当寅年上納分、郷宿笠屋伊八方へ出金につき廻章)	(慶応2年)寅五月八日	1866	切紙 (包紙付)	1
	未2-25	[包紙]			包紙	1
	未2-26	覚(銅服羽織代など書付)	十一月廿一日		切紙	1
	未2-27	覚(兼ねて取次ぎ申上げの金子50両入手につき)	(慶応2年)寅十二月朔日	1866	切紙	1
	未2-28	覚(綿入・帯など衣類入手の件、帰宅日ならびに義兵隊の件につき)	十一月廿六日		切紙	1
	未2-29	[当年米方色高値にて甚だ困り入りの件などにつき書状]	九月十七日発		切紙	1
	未2-30	[書状]			切紙	1
	未2-31	[政助行きの書面の儀、早速帰路届けにて政助申す件などにつき書状]	極月十七日		切紙	1
	未2-32	[縮緬代金、不調向にて節季勘定願いにつき書状]	十二月朔日		切紙	1
	未2-33	[土蔵代金借用につき書状]			切紙	1
	未2-34	廻文(尾州北方ならびに笠松への年始の日並み、打合せにつき)	正月九日		切紙	1
	未2-35	[笠松表へ出張にて取計らい入用の内、中嶋氏100疋など差上げにて返納の件などにつき書状]	十月十五日		切紙	1
	未3-0	[括り紐]			紐	1
	未3-1	覚(金札引換え上納の儀にて下用雑用金、拙者取替え払置きにて金銭書付につき)	十一月四日		切紙	1
	未3-2	且内阿原大花火十句許			切紙	1
	未3-3	[金130円預りにて、預り証文の件につき書状]	明治七年九月二日	1874	切紙	1
	未3-4	覚(上田3反7畝10歩ほか7か所、代金57両余)	宝暦十年辰十二月	1760	一紙	1
	未3-5	覚(油代金など書付)	三月廿日		切紙	1
	未3-6	[金子借用にて返却の件、延引願いにつき書状]	廿七日		切紙	1
	未3-7	覚(酒・たばこ代金など請取につき)	五月六日		切紙	1
	未3-8	[見延杉尾殿、面会したきにて同伴案内につき書状]	二月五日		切紙	1
	未3-9	覚(酒代など受取につき)	三月十日		切紙	1
	未3-10	[心配にて返事下されたきなどにつき書状]			切紙	1
	未3-11	[探索の件の手配、組合勘定の件などにつき書状]	十一月七日		切紙	1
	未3-12	覚(川下げ俵数勘定につき)			切紙	1
	未3-13	[長屋村長屋神社祭礼日延引につき届書]	(明治2年)巳六月	1869	切紙	1
	未3-14	[払い勘定書付割賦の件にて組合分取集めの件につき書状]	四月二日		切紙	1
	未3-15	覚(半纏代など受取につき)	霜月十二日		切紙	1
	未3-16	覚(組合金清算過金差上げの件につき)	辰十二月廿六日		切紙	1
	未3-17	覚(酒肴代請取につき)	五月二日		切紙	1
	未3-18	キ(代金差引金書付)	二月八日		切紙	1
	未3-19	[上京中配慮に預りたく、役所へ上京中の手続きなど申上げの件などにつき書状下書]			切紙	1
	未3-20	[村方新料の儀にて歎願の件などにつき書状]	二月九日		切紙 (封筒共)	1
	未3-21	[借入金子の件につき書状]	十二月廿四日		切紙	1
	未3-22	講法覚(掛金、元利金など書付)			切紙	1
	未3-23	[父上京し種々高配に預るなどにつき書状]	二月廿四日		切紙 (封筒共)	1
	未3-24	おほへ(染縮緬4疋代金につき)	巳二月		切紙	1
	未3-25	[駕籠訴の儀、城下預所へ引渡し、廻米の儀などにつき書状]	三月朔日		切紙	1

作 成	受 取	備 考
真桑村あみ	長屋村長屋嘉左衛門様	
献金惣代理右衛門、伊兵衛、三右衛門 (印)	前書御一統中様(美江寺村和田 的之助、同山本宇兵衛、同大沢 定次、同小森治三郎、上真桑村 福田継次郎、早野村中嶋金作、 見延村飯尾平之助、長屋村長屋 歌左衛門、同源蔵)	包紙「急廻章 献金惣代 和田的之助様初」
紀伊国屋栄二郎	長屋村長屋可左衛門様	印(「江戸宿 馬喰町式丁目 紀伊国屋栄二郎」)あり
橋屋店平七	長屋金八郎様	
中嶋金作	長屋歌左衛門様	
大垣二而長屋金八郎	長屋村長屋歌左衛門様	
治三郎	長屋歌左衛門様	糊付のため開封不可
竹田伝次郎	長屋歌左衛門様	
浅屋茂兵衛	なかや嘉左衛門様上	破損あり
徳右衛門	長屋歌左衛門様	
下真桑村庄屋共	上真桑村、両早野村、見延村、 長屋村 右村々御庄屋中様	
き助	長歌左衛門様	
		未3-1~-77は紐一括
見延飯尾儀右衛門	長屋御惣代長屋歌左衛門様	
セキヤ楠平(印)	長屋八郎殿	
長や村壳主弥平次	右村惣右衛門殿	
五〇五〇おさ内吉蔵(カ)	御苗嘉左衛門様	
常德寺拜	長屋八郎様	
三好屋忠次〇(印)	上	
八郎	〇〇方二而長屋御尊父様	
(印: 大津小舟入 鍵屋伝吉)	上	
八郎景寿	長屋父上様	
村役人	大垣御預御役所	
〇山助右衛門、西松権兵衛、藤井幾之 助	長屋歌左衛門様	破損あり
橋屋忠助(印)	長屋歌左衛門様	
林兵蔵	長屋歌左衛門様	
太助右衛門	嘉左衛門様	
えひすや店忠五郎(印: 現銀正札附 京四條東洞院東江入諸色下直差上申候 えひすや専右衛門)	三和治郎右衛門様	
高井儀左衛門	長屋嘉左衛門様、林兵蔵様	
糸之丞	長屋歌左衛門様	
長屋八郎	新烏丸丸田町式丁上ル南組屋敷 三和美佐雄様	作成・受取は封筒より
京会所(印)	長屋嘉左衛門様	
稲見小忠太、守屋政助	長屋歌左衛門様、林兵蔵様	

推定 河	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	未3-26	覚(金60両請取につき)	明治元年辰十二月一日	1868	切紙	1
	未3-27	[奉公、縁付人など人数・名前書付]			切紙	1
	未3-28	金札雑用料払渡之覚(長屋村御下金212両)			切紙	1
	未3-29	覚(当辰十二会日講懸金書付)	辰十一月晦日		切紙	1
	未3-30	[昨冬廻米川下げ分、村方にて取調べの件につき書状]	正月廿一日夜認め		切紙 (封筒共)	1
	未3-31	覚(御用廻状1通請取につき)	十一月十三日戌上刻		切紙	1
	未3-32	[不用荷物の差出し、大垣にての米相場の件などにつき書状]	十一月廿四日		切紙 (包紙共)	1
	未3-33	[帳外者の帰籍、先だつて触れ置く処、申出無きにつき組合村々へ達し]	六月廿八日		切紙 (包紙共)	1
	未3-34	記(代金受取につき)	七月廿二日		切紙	1
	未3-35	口上(願申し上げの件、戻すようお願いにつき)	廿八日		切紙	1
	未3-36-0	[括り紐]			こより紐	1
	未3-36-1	乍恐以書付御歎願奉申上候(辰年凶作にて廻米残石分、石代金上納願につき下書)	(明治2年)巳正月	1869	切紙	1
	未3-36-2	乍恐以書付奉申上候(組合村々の儀、辰年違作にて廻米残石分の米納難洪につき)	(明治2年)	1869	切紙	1
	未3-36-3	乍恐以書付奉申上候(組合村々の儀、辰年違作にて廻米残石分の米納難洪にて上京歎願につき下書)	(明治2年)巳正月	1869	切紙	1
	未3-36-4	乍恐以書付奉申上候(組合村々の儀、辰年違作にて廻米残石分の米納難洪にて上京歎願につき下書)	(明治2年)巳正月	1869	切紙	1
	未3-36-5	乍恐以書付奉御歎願申上候(辰年凶作にて廻米残石分、石代金上納願につき下書)	(明治2年)	1869	切紙	1
	未3-37	[播磨一件探索方差向き取調べの件につき書状]	十一月十四日四ツ半時認め		切紙	1
	未3-38	[去辰廻米、当春積廻しの村別帳2冊差出しにつき達し]	十一月廿二日		切紙	1
	未3-39	乍恐御請書差上候(御一新にて牛頭天王、長屋神社と改号の件、承知につき)	明治二巳年十一月	1869	切紙	1
	未3-40	[諸勘定の義にて、中野村・小弾正村・更屋敷村の金納の件につき書状]	三月廿九日		切紙	1
	未3-41	乍恐(組合村々、昨辰年不作にて廻米残石分は代永上納歎願書下書)	(明治2年)巳正月	1869	切紙	1
	未3-42	[去冬より勘定不都合の義、取調べの件につき書状]	正月四日		切紙	1
	未3-43	長右衛門方買もの(代金書付)			切紙	1
	未3-44	乍恐以書付奉願上候(大野郡上長瀬村長右衛門、熊治方へ由緒あるにて養子貰受けにつき)			切紙	1
	未3-45	[播磨探索の件、役所より貸下げ品の納所の件などにつき書状]	十一月十三日夜九ツ時認め		切紙 (包紙共)	1
	未3-46	[普大寺代替わりにて留場料3か年分助成の件につき書状]	九月廿七日		切紙	1
	未3-47	[兼て配慮に預る一件、出張願いなどにつき書状]	卯月十五日		切紙	1
	未3-48	おほへ(御用1通、届書1通、村方へ届け願いにつき)	大晦日		切紙	1
	未3-49	[今日組合にて両様の一条決定にて出張の処、一同差支え断りの件につき書状]	正月廿六日		切紙	1
	未3-50	[過日拝借の金子返済の件につき書状]	三月九日		切紙	1
	未3-51	[金子拝借の件につき書状]	晦日		切紙	1
	未3-52	[当組合宗門請判、今月22日美江寺宿にて改めにて印形持参し出勤するように廻章]	(明治2年6月)	1869	切紙	1
	未3-53	[年貢不納の代金返済の件にて猶予願いにつき書状]	三月六日		切紙	1
	未3-54	覚(先般の割賦、講掛け件などにつき書状)	十一月十五日		切紙	1
	未3-55	[心配の一件破談にて上京し面談申すにつき書状]	二月三日		切紙	1
	未3-56	林氏上京持参金之覚(正金59両余、札65両の差引勘定書付)			切紙	1
	未3-57	覚(金札12両余請取などにつき)	(明治2年)巳七月廿八日	1869	切紙	1
	未3-58	[金見役所への2分金納め、不納の件につき書状]	三月晦日		切紙	1

作 成	受 取	備 考
市郎兵衛(印)	庄屋忠右衛門殿	朱書「明治十一年九月九日 第二百八十号判事補田中碌郎関 (印)」
平井	長屋様	
長屋八郎	長屋父上様	挿入紙あり
美江寺小岩治三郎	御惣代長屋歌左衛門様	
長屋八郎	大垣本町関の屋ニ而長屋父上	
大垣御預御役所(印)、長屋村歌左衛門(印)		
□指物や治郎	長屋八郎様	
松吉ニ而三輪次朗右衛門	麴屋町蛸薬師下□長屋歌左衛門様、林兵蔵様	
		未3-36-1~-5はこより紐一括
壱番西組惣代上真桑村兵蔵、長屋村長屋歌左衛門	御預御役所	
惣代		
惣代上真桑村兵蔵、長屋村長屋歌左衛門	— —	
(長屋八郎左衛門) 景寿(花押)	長屋父上様	端裏「大垣ニ而長屋歌左衛門様 同八郎」
鹿勢方		
長屋村神主隠居高橋日向爪印	大垣藩御預御役所	反故紙使用
上真桑村林兵蔵	長屋歌左衛門様	
壱番西組村々		
上真桑村林兵蔵拜	長屋村長屋歌左衛門様	
八郎景寿	長屋父上様	包紙「大垣魚屋町会所ニ而長屋歌左衛門様 長屋村長屋八郎」
安藤三右衛門	林兵蔵様、長屋歌左衛門様	端裏「長屋村長屋歌左衛門様、上真桑村林兵蔵様 大垣ニ而安藤三右衛門」
トキノ中嶋半介	長屋村長屋歌左衛門様	
山本五左衛門	御惣代長屋歌左衛門様	
美江寺宿松井□□衛	一番組御惣代中様	
三輪、伊藤	長屋様、林様	
箕(カ)浦□郎	三和美佐雄様	
壱番西組惣代林兵蔵、長屋歌左衛門	下真桑村教念寺様、同村光福寺様、十五条村浄明寺様	
高橋久米助	長屋八郎様	
下真桑村安藤三之丞より	長屋村長屋歌左衛門様	
松尾小文治	長屋歌左衛門様	端裏「御出張先長屋歌左衛門様 長屋村ニ而松尾小文治」 2枚
□□□□又兵衛代善左衛門	長屋歌左衛門様、林兵蔵様	
美江寺宿松井謙吉	大垣関屋ニ而長屋嘉左衛門様	2枚

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未3-59	〔惣代引替えの義、兼ねて願上げの一義などの件につき書状〕	霜月三日未之刻認メ		切紙	1
	未3-60	〔今明兩日の内に下げ札請取の件につき書状〕	廿四日		切紙 (包紙共)	1
	未3-61	〔秋田方挨拶の義、延引にて済まざる村々惣代へ差出しにつき書状〕			切紙	1
	未3-62	覚(当辰検見割金差上げにつき)	(明治元年カ)十二月五日	1868	切紙	1
	未3-63	覚(酒肴・茶菓子・旅籠代など受取につき)	三月十二日		切紙	1
	未3-64	おぼへ(代金受取につき)			切紙	1
	未3-65	「進上 御肴」〔包紙〕			包紙	1
	未3-66	〔廻米納方の引合い尋ねの件につき書状〕	十一月十五日		切紙	1
	未3-67	〔金300円拝借の件につき書状〕	明治十五年一月三日午後一時	1882	切紙 (封筒共)	1
	未3-68	〔惣代引替り引続き10月割の件、井水割にて集会の件などにつき書状〕	十一月廿三日		切紙	1
	未3-69	覚(当辰10月割村当り分、持参につき)	(明治元年カ)十二月五日	1868	切紙	1
	未3-70	〔枡の義、耕兵衛出垣の件、播磨探索の件などにつき書状〕	十一月九日九ツ半時発ス		切紙	1
	未3-71	〔拝借金の件、猶予願いにつき書状〕	大晦日		切紙	1
	未3-72	〔借用金子の儀、催促に預る処、延引願いにつき書状〕	四月朔日		切紙	1
	未3-73	覚(銀錢書付)	子極月		切紙	1
	未3-74	〔請判の節、寺院方宿仰付け有難く、入用の義につき書状〕	七月十三日		切紙	1
	未3-75	覚(検見割の儀にて、差引不足分請取りにつき)	明治元年辰十二月四日	1868	切紙	1
	未3-76	〔引取りの件、取計い願いにつき書状〕	十一月十八日		切紙	1
	未3-77	〔取調べの件につき書状〕			切紙	1
	未4-0	〔括り紐〕			紐	1
	未4-1	〔年内の井水取締りの謝辞ならびに金1円余領収につき書状〕	(明治)十九年十月三十一日	1886	切紙 (封筒共)	1
	未4-2-0	〔封筒〕	(明治19年)	1886	封筒	1
	未4-2-1	〔18年度中井水方入費8か村割賦の件にて出張願いにつき書状〕	明治十九年一月廿二日	1886	切紙	1
	未4-2-2-1	記(18年度8か村割賦金2円46銭余、受取につき)	(明治)十九年二月五日	1886	切紙	1
	未4-2-2-2	記(18年度8か村組合井水費取換金1円56銭余、受取につき)	(明治)十九年二月五日	1886	切紙	1
	未4-3	〔割賦金差上げにて勘定願いにつき書状〕	一月廿九日		切紙 (封筒共)	1
	未4-4	記(戸籍月調1冊、徴兵金納簿3冊差上げにつき)	十月五日		切紙	1
	未4-5	〔北方表にて約定申すにて取替書入手願い、委任状調印願いなどにつき書状〕	八月廿二日		切紙	1
	未4-6	〔金10円差上げにて書類頂戴につき書状〕	二月五日		切紙	1
	未4-7	〔封筒〕			封筒	1
	未4-8-1	〔頼み申す買物の儀、預り願い仮請取書差出しにつき書付〕	戌四月四日		切紙	1
	未4-8-2	記(金100円請取につき)	四月四日		切紙	1
	未4-9	〔丑太郎戸籍尋ねの処、去午正月送り差出しにつき報告〕	四月八日		切紙	1
	未4-10-0	「金三円五十銭 □」〔紙帯〕			紙帯	1
	未4-10-1	〔三菱汽船乗船人荷物運漕問屋引札〕			一紙	1
	未4-10-2	記(金銭書付)			切紙	1
	未4-10-3	記(泊り・飯料代など受取につき)	十月四日		切紙	1
	未4-10-4	〔白紙紙片一括〕			切紙	1
	未4-10-5	覚(代金請取につき)	五月		切紙	1
	未4-10-6	〔代金書付〕			切紙	1
	未4-10-7	通信料受取之証(第7号、2音信分金34銭)	明治十一年十月二日	1878	一紙	1
	未4-10-8	通信料受取之証(第20号、2音信分金34銭)	明治十一年九月十七日	1878	一紙	1

作 成	受 取	備 考
大垣笠屋二而長屋歌左衛門	上本田村関谷源右衛門様	
長屋金□□礼治	大垣二□□長屋歌左衛門様	
志名村庄屋卯之助	御惣代長屋村歌左衛門様	
瀬川庄平	上	
□□	上	
長屋村歌左衛門		
下真桑村安藤三右衛門	御出張先長屋歌左衛門様、林兵蔵様	
関谷醇三代筆与三郎	長屋八郎様	封筒「長屋村長屋八郎様 本田村関谷醇三」
稲見小忠太	林兵蔵様、長屋歌左衛門様	
岐礼村山本五左衛門	御惣代長屋歌左衛門様	
同（長屋）八郎	長屋父上様	
糸助より	長屋様	
高橋糸助	長屋八郎様	
大野屋我兵衛	長屋歌左衛門様	
美江寺宿千歳屋真治郎	長屋村長屋嘉左衛門様	
見延村理右衛門	御惣代長屋村可左衛門様	
笠屋二而林兵蔵	小川屋二而長屋歌左衛門様	破損あり
長屋益之□	長屋歌左衛門様	破損あり
		未4-1~-45は紐一括
飯尾辰助	長屋平馬殿	
長屋平馬	青木楨次郎殿、村瀬平四郎殿	未4-2-1・-2は封筒一括
長屋平馬(印)	村瀬平四郎殿、青木楨次郎殿	
青木牧治郎(印)	長屋平馬様	未4-2-2-1・-2は重ね折一括
村瀬兵四郎	長屋平馬殿	
青木牧二郎	長屋平馬様	
文殊村戸長	六小区副区長御中	
		後欠
中西郷村瀬兵四郎	長屋村長屋平馬様	
高橋瀬一郎	長屋八郎様	
関谷楠平（印：濃州本田関谷）	長屋八郎殿	未4-8-1に-2が包まれていた
関谷楠平、□店伊助	長屋八郎様	
西早野村村役人	長屋村御村役人様	
		未4-10-1~-14は紙帯一括
真誠講御定宿美濃大垣舟町京丸屋平吉 林庄五郎（印：横浜北仲通 林庄）	諸君様 上	
		8枚
ふら本(印)	上	
本巢ナガヤ	ギフ□□□	
本巢ナガヤ	岐阜高橋	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未4-10-9	〔住所・名前書付〕			切紙	1
	未4-10-10	記（料理代金51銭8厘請取につき）	九月廿七日		一紙	1
	未4-10-11	〔三菱郵便汽船貨物積問屋引札〕			一紙	1
	未4-10-12	証（代金受取につき）	寅九月廿三日		切紙	1
	未4-10-13	〔封筒〕			封筒	1
	未4-10-14	覚（桑名駅より大垣駅まで小船1艘運賃金1円24銭余受取につき）	明治十一年十月五日	1878	切紙	1
	未4-11	〔東京への返事の件につき書状〕	五月十五日		切紙	1
	未4-12	記（井上8か村割の文殊村割当の分延引にて、本日金6円52銭余上納につき）	明治十九年二月一日	1886	切紙	1
	未4-13	〔高橋氏へ届け紙面の件につき書状〕	十五日午後八時		切紙	1
	未4-14	〔急用につき書状〕	十月十四日朝発		切紙 (封筒共)	1
	未4-15	通信料受取之証（第19号、3音信分金51銭）	明治十一年十月十六日	1878	一紙	1
	未4-16	〔長屋八郎分第2期地租金書付〕			切紙	1
	未4-17	〔長屋平馬分第2期地租金書付〕			切紙	1
	未4-18	〔集会1日延引につき通知〕	十月八日		切紙	1
	未4-19	〔写し取りの書面落手し、東京へ差出し願ひにつき書状〕	十月十四日		切紙	1
	未4-20	〔鎮守長久大明神より歌左衛門帰宅願ひにつき書状〕	三月朔日夜		切紙	1
	未4-21	〔失礼の段ありて詫びにつき書状〕			切紙	1
	未4-22	熟談取極一札之事（長屋村借金の件、村役人・高持一同示談願ひ、村借済方頼母子講取立て熟談の件につき）			切紙	1
	未4-23	〔宗門請判改めにて美江寺宿の宿料、雑費の件につき書状〕	六月十五日		切紙	1
	未4-24	〔入来願ひにつき書状〕			切紙	1
	未4-25	〔廻米入用金銭書付〕			切紙	1
野	未4-26	覚（小入用金銭書付）	西十二月		切紙	1
野	未4-27	覚（白肴、玉子焼きなど代金受取につき）	十二月八日		切紙	1
	未4-28	乍恐以書付奉願上候（長屋村桃林寺の件につき）			切紙	1
野	未4-29	覚（代金書付）	西の極月		切紙	1
	未4-30	〔長屋村牛頭天王神主高橋大和より、庄屋平右衛門らへの訴訟一件につき書付〕			切紙	1
野	未4-31	覚（代金書付）	三月九日		切紙	1
野	未4-32	おぼへ（代金受取につき）	西十二月		切紙	1
	未4-33	覚（勤化配札取計料、金2両受納につき）	（明治2年）巳十月廿一日	1869	切紙	1
	未4-34	〔年始帳附届けの案内・呂久川渡舟人へ組合より年玉取計らいにつき書状〕	正月二日		切紙	1
	未4-35	〔村講取集め番に当たり、寄金集まらずにつき書状〕	十二月廿一日		切紙	1
	未4-36	覚（去辰諸金納残金差上げの件につき）	三月廿五日		切紙	1
	未4-37	覚（金100疋受取につき）	十二月廿四日		切紙	1
	未4-38	〔長屋村善助欠落ちにて3日尋ね申渡し、受書差出しの処、不届きにつき達し〕	十月十八日		切紙 (包紙共)	1
	未4-39-0	〔封筒〕	三月朔日夜□□発ス		封筒	1
	未4-39-1	〔封筒〕	三月朔日夜認メ		封筒	1
	未4-39-2	〔長屋牛頭天王神社号の義につき書状〕			切紙	1
	未4-39-3	〔大至急帰宅願ひにつき書状〕	三月朔日夜認メ		切紙	1
	未4-39-4	〔神明に祈願し大願成就の上、帰陣願ひにつき書状〕	二月二十四日認メ		切紙	1
	未4-40	〔書状〕	三月朔日		切紙 (包紙共)	1
	未4-41	〔長屋兄帰国、高橋氏も同行無しにて在京断りの件などにつき書状〕	（明治11年）十月十二日	1878	一紙 (封筒共)	1
	未4-42	〔高橋来ぬにて帰宅につき電報〕	（明治11年）十月十二日	1878	一紙 (封筒共)	1

作 成	受 取	備 考
京橋銀座壱丁目松田(印)	上	
横浜北仲通二丁目林屋庄五郎(印)		
心正堂(印)	上	
開一新講社・神風講社 桑名駅ふな場 にお善九右衛門		
桑名通運会社		「夜行二割増」とあり
高橋瀬一郎	長屋八郎様	
文殊村雑事	長屋村井頭長屋平馬様	
□□□□	ナガヤムラ長屋八郎様	一部継目剥がれ
長屋村長屋八郎	岐阜□□やにて高橋瀬一郎様	糊付のため開封不可
ミノナガヤ	東京銀坐西本信郎二而馬淵	
□□□□□	ナカヤ長屋八郎様	
青木理平	長屋八郎様	
八郎拝	長 父上様	
可内拝	御父上様	
		破損あり
安藤三之丞より	林兵蔵様	
梅屋□□	長七筋野村御村役人衆様	
小川屋勘兵衛	野村請名主衆様	
		後欠
みのや又兵衛	野村御苗義四郎様	
		「…返答書差出御糺中之所、大和義、右御役所之御吟味相拒ミ既ニ御奉行所江度々御駕籠訴等致、彼是我意強情申張候ニ付…」とあり
坂出や□助	野村後藤市三郎様	
あふらや□□	のむら南組御役人衆様	
黒田真八郎(印)	郷中御惣代長屋村長屋歌左衛門様	
安藤三之丞	長屋歌左衛門様	
治三郎	長屋歌左衛門様	
見延飯尾儀右衛門	長屋長屋歌左衛門様	
牧内	長屋様御使中	
大垣御預役所(印)	長屋村役人中	包紙「美□□(江寺)村 十五条村 上真桑村 見延村より可相届事」
長屋八郎左衛門	京都麴屋町辺り蛸薬師下ル鍵平方二而長屋歌左衛門様	未4-39-1~-4は封筒一括、封筒「從濃州」
同(長屋)八郎、同(長屋)角之助	長屋父上様	
長屋角之助、長屋八郎	長屋父上様	
長屋八郎	謹上長屋父上様	
高松殿御内半井一齊	右道頓堀下大和橋南詰東川 播磨屋新助様	糊付のため開封不可、包紙「從京都」
在東京馬淵興一	高橋瀬一郎様、長屋八郎様	罪紙2枚、封筒「美濃本巢郡曾井中島村高橋瀬一郎様、長屋村長屋八郎様」、年代は封筒より
トヲケイ マヅチ	キフダイクマチトサヤニテ ナガヤ	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未4-43	覚(秋廻り会所入用金2両、受納につき)	(明治元年)辰三月十五日	1868	切紙	1
	未4-44	[諸金納め仰せの処、延引にて今朝差上げにて入手願ひにつき書状]	十一月五日		切紙	1
	未4-45	[先般開講にて当年分の掛金願上げにつき書状]	三月廿二日		切紙	1
野	未5-0	[久□□ニ相成候節之御差紙入][袋]			袋	1
野	未5-1	北組人別不足方(金銭書付)			切紙	1
野	未5-2	覚(古酒代金書付)	戌二月十六日		切紙	1
野	未5-3	覚(御興代の内、金1両余預りにつき)	庚戌三月三日		切紙	1
野	未5-4	御嶽林新割山雑売金之訳			一紙	1
野	未5-5-1	売払山之覚(番号、字名など書付)			一紙	1
野	未5-5-2	売払覚(代金、人名など書付)			一紙	1
野	未5-5-3	[売払覚]			一紙	1
野	未5-5-4	[正月廿四日御嶽林木セリ売覚書]			一紙	1
野	未5-6-0	[紙紐]			紙紐	1
野	未5-6-1	[願書調印し差出しにて、印形持参につき書状]	霜月十二日		切紙	1
野	未5-6-2	[新規庇取払い願書]	文化十三丙子年十月	1816	一紙	1
野	未5-7	乍恐以書付奉願上候(文化年間に新規庇取払い願ひの処、差上げ願書の差下げ願ひにつき)			切紙	1
野	未5-8	覚(御用の儀あるにて来月2日、村役人附添い役所へ罷出るようにつき)	二月廿八日		切紙	1
野	未5-9	濟口(居宅に椽・庇附けの処、頭分中より差障り取払い申す件につき)			切紙	1
野	未5-10	[庇出入の儀にて尋ねたく、頭百姓2・3人罷出るようにつき差紙]	八月廿一日		切紙 (包紙共)	1
野	未5-11	覚(安永5・7・寛政元・4年の庇取払い人書付)			切紙	1
野	未5-12	[入組み内済の件にて城下出張願ひにつき書状]	林鐘十二日		切紙	1
野	未5-13	口上(出入り下済一件にて来光願ひにつき)	十八日		切紙	1
野	未5-14	[書状]			切紙 (包紙共)	1
野	未5-15	覚(5か年の内、諸事儉約にて村方法度16か条定めにつき書付)			切紙	1
野	未5-16	出入証拠書類目録扣(宗門改帳・田地証文など)	丑四月		一紙	1
野	未5-17	[御用あるにて頭分の者を召し連れ、明18日罷出るようにつき差紙]	十月十七日		切紙 (包紙共)	1
野	未5-18	[取払い願ひ申上者書付]			切紙	1
野	未5-19	[謙治一句手引き申さずにより、勸左衛門へ頼むにて断りの件につき書状]	十月十日		切紙 (包紙共)	1
野	未5-20	[出入り一件、挨拶に及ぶにて頭分中へ通達の件につき書状]	五月十六日		切紙	1
野	未5-21-0	[括り紐]			こより紐	1
野	未5-21-1	口上(兼ての一件にて、油屋庄三郎方へ村役人衆・頭分衆出会願ひにつき)	五月廿七日		切紙 (包紙共)	1
野	未5-21-2	[兼ての出入り一件にて内々に咄したきにつき書状]	十一月十八日		切紙	1
野	未5-21-3	[西照寺一件、延引につき書付]			一紙	1
野	未5-21-4	[村方只右衛門の門庇一件、相談の件につき書状]	九月十九日		切紙	1
野	未5-21-5	[只右衛門一件にて大垣庄三郎方にて相談につき書状]	七月廿三日		切紙	1
野	未5-21-6	覚(役所への差紙)	四月四日		切紙 (包紙共)	1
野	未5-21-7	[只右衛門一件、相談の処、勸考願ひにつき書状]	十一月九日		切紙	1
野	未5-22-0	[包紙]			包紙	1
野	未5-22-1	覚(石塔代、大きさなど書付)	四月十三日		切紙	1
野	未5-22-2	[法名書付]			切紙	1

作 成	受 取	備 考
□方出張黒田真八郎(花押)	郡中御惣代長屋村長屋歌左衛門様、上真桑村林兵蔵様	
松井謙吉	大垣ニ而長屋嘉左衛門様、林兵蔵様	
松尾小文治	長屋可左衛門様	
		未5-1~-23は袋一括
		破損あり
治左衛門	幾四郎様	
沢野市三郎	後藤幾四郎様	
		破損あり
		未5-5-1~-4は重ね折一括、破損あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり
		未5-6-1・-2は紙紐一括
(青木)利左衛門	(後藤)喜平次様、(後藤)六郎右衛門様、柴次郎様	破損大、端裏「自大垣」
野村頭百姓惣代仙蔵、同村同断藤四郎、同村同断後藤喜平次、丈四郎、同村五人組頭勤左衛門、同村名主柴□(次)郎、同村同断六郎右衛門		破損大、前欠
		破損あり
御代官所、野村名主	野村五人組頭弥右衛門、同村御百姓甚太夫	
御代官(印)	野村名主中	包紙「御用 御代官 野村南組名主中」
		破損あり
青木新左衛門	後藤六郎右衛門様	
□多方より新左衛門	野村六郎右衛門様	破損あり
石神青木新左衛門	野村御名主後藤六郎右衛門様、後藤柴次郎様	破損あり、糊付けのため開封不可
		破損あり
惣代仙右衛門、同断藤四郎、伝左衛門、村役人	御代官御役所	破損あり、「文化十五戊寅年四月朔日改」とあり
御代官(印)	野村名主中	
		破損あり
野村後藤兵蔵	大垣ニ而後藤六郎右衛門様	破損あり、作成・受取は包紙より
石神青木新左衛門	野村後藤六郎右衛門様、後藤芝次郎様	
		未5-21-1~-7はこより紐一括
	六郎右衛門様、柴次郎様、頭分衆様	2枚、包紙「野村□□六郎右衛門様、柴次郎様 呂久名主左五兵衛」
呂久馬測左五兵衛	野村後藤六郎右衛門様	破損あり
馬測左五兵衛	後藤六郎右衛門様、同柴次郎様	破損大にて披見不可
野村惣頭分惣代三郎左衛門、半蔵、藤四郎	呂久村左五兵衛様	
左五兵衛	村役人衆様、頭御百姓中様	
御代官(印)	右(野)村名主六郎右衛門方、柴次郎方	
左五兵衛	後藤喜兵次様、同六郎右衛門様	端裏「の村後藤六郎右衛門様 呂久馬測左五兵衛」
		未5-22-1~-4は包紙一括
善兵衛	清左衛門様	未5-22-1に-2~-4が包まれていた、破損あり
		破損あり、「釈 義善居士」とあり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
野	未5-22-3	〔法号、十松自筆につき書付〕			切紙	1
野	未5-22-4	〔自筆の旨、書付〕			切紙	1
野	未5-23	〔南組分神輿・人別割などの金銭書付〕			切紙	1
	未6	〔高橋氏の出京ならびに長屋氏の帰郷の件につき書状〕	十月四日		一紙 (封筒共)	1
	未7	〔検見割差引申請け分、尚義兵講の催促ありて延引叶い難く、差引申請け願につき書状〕	十二月十日		切紙	1
	未8	〔村方借財仕法金の件につき書状〕			切紙	1
	未9-1	覚(代金書付)	十月十七日		切紙	1
	未9-2	覚(58人分取替代金書付)	十月		切紙	1
	未10-0	〔包紙〕			包紙	1
	未10-1	記(送達12通受取ならびに高屋村種痘会社よりの達しにつき)	(明治)十一年十月九日	1878	切紙	1
	未10-2	〔東京より書状到着にて入手願につき書状〕	十月十二日		切紙	1
	未10-3	〔山口村番水所地形現場図、貸渡し願につき書状〕	十月十二日		切紙 (封筒共)	1
	未10-4	記(布告3通など送達につき)	(明治)十一年九月廿九日	1878	切紙	1
	未10-5	〔出府より、この頃帰館にて伺い申上げの件などにつき書状〕	十月九日		切紙	1
	未10-6	記(種痘調簿、種痘会社へ差送り入種したき旨、通報願につき)	(明治11年)十月十二日	1878	切紙	1
	未10-7	〔種痘児人名調簿差上げにて取計らいにつき書状〕	(明治11年)十月十四日	1878	切紙	1
	未10-8	〔昨夜電報あるにて通知〕	十月十二日		切紙	1
	未10-9	〔加茂町惣七、東京より帰宅し書状・伝言の趣達しにて羽織・袴・帯・襦袢などの荷物送りにつき書状〕	九月廿二日午前十時認メ		切紙 (封筒共)	1
	未10-10	〔南原井筋取調べなどの件につき書状〕	八月九日		切紙	1
	未10-11	〔種痘児名簿未提出の村は本日中に差出すようにつき通知〕	(明治)十一年十月十五日	1878	切紙	1
	未11	〔割賦の義の相談向きの件につき書状〕	十一月廿三日		切紙	1
	未12	〔検見割賦・尚義兵講金の取替金の件につき書状〕	十二月十五日		切紙	1
	未13	覚(屋敷、上田、中畑の反別・高・掬米など書付)			切紙	1
	未14	〔種痘入費、年内6両のうち盆前に3両渡し残金3両は当冬尊君より取替えにつき書状〕	(明治11年)十二月廿二日	1878	切紙	1
	未15	人足賃請取覚(上真桑村、中野村、更屋敷村につき)	八月廿五日		切紙	1
	未16	〔依頼申上げの金300円渡し下さるようにつき書状〕	(明治)十五年一月五日	1882	切紙	1
	未17	覚(検見割金受取につき)	十二月九日		切紙	1
	未18	〔拝借金子延引願につき書状〕	七月六日		切紙	1
	未19	覚(上粉差引金書付)	亥七月四日		切紙	1
	未20	〔無心申上げにて金銭貸渡し願につき書状〕	八月十七日		切紙	1
	未21	覚(六会目懸金書付)	子十二月		切紙	1
	未22-0	〔大垣御預所壺番西組惣代勤役中諸書類入〕〔袋〕	明治元辰年ヨリ同二巳年マテ	1868	袋	1
	未22-1	〔長屋氏由緒下書〕			切紙	1
	未22-2-1	〔郵便見るようにつき電報下書〕			切紙	1
	未22-2-2	〔小児病気にて心痛し、親戚見舞い罷越すにて帰宅願につき書状〕	十四日		切紙	1
	未22-3	〔書付〕			切紙	1
	未22-4	覚(代金書付)	正月十九日		切紙	1
	未22-5	記(金1円5銭、農事学校志につき)			切紙	1
	未22-6	〔東京馬淵氏よりの電報の義につき書状〕			切紙	1
	未22-7	〔包紙カ〕			切紙	1

作 成	受 取	備 考
		未5-22-3に-4が挟まれていた
		破損あり
馬 洩	長屋兄	罫紙使用、封筒「在横浜長屋八郎様 在東京馬洩興一」
早野村中嶋半助	長屋村長屋歌左衛門様	
見延村松尾小文治	大垣ニ而長屋歌左衛門様	後欠
肴屋嘉介	道源様	未9-1・-2は重ね折一括
道具屋源兵衛	長屋歌左衛門様	
		未10-1~-11は包紙一括
六小区事務扱所(印:長屋)	西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中島村、長屋村正副戸長御中	
ソイ青木幹太郎	長屋村長屋平馬様	
飯尾留次郎	長屋八郎様	
六小区事務扱所(印)	西秋沢村、文殊村、法林寺村、曾井中島村、長屋村正副戸長御中	
早川八郎、早川賢三	長屋様	端裏「長屋八郎様 早川賢三」
本巢郡文殊村	六小区副区長御中	
西秋沢村早川賢三	長屋村副戸長長屋八郎様	
青木幹太郎	長屋八郎様、青木利平様	
長屋平馬	東京銀座老丁目西本信ヨシ殿方ニ而長屋八郎殿	「昨廿一日加茂町惣七罷越、本月十五日東京出立、郵便船ニ而四ヶ市着、十八日夜帰宅…」とあり
青木幹太郎	長屋八郎様	
七大区六小区副区長	当区内五ヶ郷正副戸長御中	
安藤三之丞、中嶋半助	大垣ニ而長屋歌左衛門様、林兵藏様	
早野村中嶋半助	長屋村長屋歌左衛門様	
早野村中嶋半助	長屋村長屋歌左衛門様	
上真桑村林兵藏	大垣ニ而長屋歌左衛門様	挿入紙あり
関谷醇三	長屋八郎様	
高科村武十郎	長屋村御惣代衆中様	
高橋源三	長屋八郎様	
□□□	長屋嘉左衛門様	
古田権吉	長屋八郎様	
講元豊助	長屋嘉左衛門様	
壺番西組総代長屋歌左衛門		未22-1~-20は袋一括、袋「本巢郡 美江寺村、上真桑村、下真桑村、西早野村、東早野村、中野村、小弾正村、更屋敷村、西見延村、東見延村、長屋村、大野郡 西方村、上磯村、下磯村、大衣斐村、島村、志名村、岐礼村、高科村」
ミノナガヤ	ドヲケイギンザイツョウメニシモトノブヨシニテマブチ	未22-2-1が-2を包んでいた
長屋八郎	ソ井ニテ御尊父上	
		鉛筆書「借入金証文扣」
尾張屋長左衛門	上	
		後欠
高橋瀬一郎	長屋八郎様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未22-8	〔袋〕	明治元年辰十二月より	1868	袋	1
	未22-9	〔各届書下書〕	(明治11年1月17日)	1878	切紙	1
	未22-10	〔被選挙人通知書一括〕			一紙	1
	未22-11	〔書状の返書、衣類未到着などの件につき書状〕			葉書	1
	未22-12	〔近況報告などにつき書状〕	(明治11年ヵ) 九月廿八日出ス	1878	葉書	1
	未22-13-0	〔初審裁判中糸貫川水行障害雑書〕〔袋〕			袋	1
	未22-13-1	為取替約定書(山口村地内糸貫川通水行障害控訴の事件の費用賦課の件、包金にて挨拶になる筈につき)	明治十一年八月十九日	1878	一紙	1
	未22-13-2	為取換約定書(山口村地内糸貫川水害差障一件控訴の費用賦課の件、謝金にて挨拶になる筈につき)	(明治11年)	1878	一紙	1
野	未22-13-3	〔酒肴代請取覚〕	(とり極月)		横長	1
野	未22-13-4	覚(たこ、えび、いか代など請取につき)	とり極月		一紙	1
	未22-13-5	乍恐以書付奉歎願候(組合村々の儀、昨辰年違作にて廻米の残石分、御一新の折柄、石代上納願いにつき)	(明治2年)	1869	一紙	1
	未22-13-6	〔西本願寺使僧、廻達につき達し〕	二月廿四日		切紙	1
	未22-13-7	〔包紙〕			包紙	1
	未22-13-8	乍恐以書付奉願上候(百姓相統成り難き儀につき)			一紙	1
	未22-13-9-1	〔包紙〕			包紙	1
	未22-13-9-2	〔白米代金など書付〕			切紙	1
	未22-13-9-3	覚(東早野・西早野・西方村別金銭書付)			切紙	1
	未22-13-9-4	覚(杉大きさ・本数書付)			切紙	1
	未22-13-9-5	〔宗派別人数書付〕			切紙	1
	未22-13-9-6	〔封筒〕	[] 廿八日		封筒	1
	未22-13-9-7	〔石代上納願書下書〕	(明治2年) 巳正月	1869	切紙	1
	未22-13-9-8	〔組合村々割賦金など書付〕			一紙	1
	未22-13-9-9	〔歌左衛門分郷宿払い金銭など書付〕			一紙	1
	未22-13-9-10	覚(飛脚人足賃、ろうそく代など受取につき)	辰十二月日		一紙	1
	未22-13-9-11	〔日誌必用御布令字引〕〔帯封〕	明治元戊辰冬	1868	帯封	1
	未22-13-9-12	〔高・掟高・徳米・代金など書付〕			切紙	1
	未22-13-9-13	〔高・掟高・代金など書付〕	天保四年巳十二月	1833	切紙	1
	未22-13-9-14	記(年済金請取につき)	明治十五年一月七日	1882	切紙	1
	未22-13-9-15	〔差引勘定書付〕			切紙	1
	未22-13-9-16	覚(九十郎田地の高・掟高など書付)			切紙	1
	未22-13-10-1	〔禅宗桃林寺無住にて、本寺山県郡掛村東光寺より弟子義要住職にしたき旨につき願書〕	(明治2年)	1869	切紙	1
	未22-13-10-2	〔包紙〕			切紙	1
	未22-13-10-3	〔今之地江致勸請天文十六丁未年…〕〔金銭書付〕			切紙	1
	未22-13-10-4	右惣代より黒田一件二付申様之覚(奉加金の義につき)			切紙	1
	未22-13-10-5	〔長屋村御廻米端米数量書付〕			切紙	1
	未22-13-10-6	乍恐以書付申上候(今般御一新にて奥羽御征伐の処、鎮静にて祝いにつき)	(明治元年) 辰十一月	1868	切紙	1
	未22-13-10-7	〔東京麹町五丁目…〕〔大垣藩士三和氏の住所書付〕			切紙	1
	未22-13-10-8	おほへ(代金済みにつき)	十二月廿七日		切紙	1
	未22-13-10-9	〔知事・副知事名など書付〕	(明治元年ヵ) 辰十二月	1868	切紙	1
	未22-13-10-10	〔牛頭天王神主、倒木売払い一件につき願書下書〕			切紙	1
	未22-13-10-11	〔伝馬所役の名前人撰・月給など見込書の有無差出しにつき書付〕			切紙	1
	未22-13-10-12	覚(金銭など書付)	巳正月廿日		一紙	1
	未22-13-10-13	〔寺別人数書付〕			切紙	1
	未22-13-10-14	□諸金納残金取立覚(組合村々別)			一紙	1
	未22-13-10-15	〔和歌など書付〕			一紙	1
	未22-13-10-16	覚(家数・人数など書付)			一紙	1

作 成	受 取	備 考
		袋「郡中惣代ニ付書出し・請取入」
		印刷物、15枚
東京銀座西本伊良方ニテ青木□□	横浜北仲町二丁目林庄五郎殿ニ御止宿 長屋八郎君	破れあり
美濃国本巢郡本田村関谷醇三	東京銀座壱丁目七番地西本信良殿方御止宿長屋八郎様	破れあり
総代長屋・馬淵		未22-13-1~-21は袋一括
長屋八郎印、高橋瀬一郎印	河合愛平殿	罫紙使用
		下書、朱書で訂正などあり
(魚屋岩蔵)		破損あり
魚屋岩蔵	後藤幾四郎様	破損あり
		後欠
大垣藩御預役所早の村□町		後欠カ
御□□方ニ而石原嘉平次	長屋可左衛門様	
		下書カ
長屋村歌左衛門	大垣藩御用御預役所	未22-13-9-1~-16は重ね折一括
在岐阜市 長屋亭	[]一色村長屋 [] □(長)屋八郎様	上部破れ
壱番西組村々		前欠
大垣関屋源八(印:濃大垣柳原町関野屋)	上真桑村旦内□屋兵蔵様	
黙山四方茂萃輯		「皇都平楽寺・翠松園発兌」と印刷、書込み「長屋氏」
ギフ中竹屋町菊原(印:キフ竹ヤ町幾久平)	長屋八郎様	
		継目剥がれ、後欠
		未22-13-10-1~-19は重ね折一括
丸井屋内お□□より	だんな様	
魚□□八(印)	上	破損あり
関屋源八	長屋歌左衛門様	
		朱書
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未22-13-10-17	〔包紙〕			包紙	1
	未22-13-10-18	〔米廻米成り難く、石代上納願いの件などにつき書状〕	(明治2年カ)	1869	切紙	1
	未22-13-10-19	〔廻米石数・沖船頭名・上乘名など書付〕			一紙	1
	未22-13-11	〔秋奉加・種痘仰付けなど組合取替金書付〕			切紙	1
	未22-13-12	覚(酒代など書付)	巳ノ七月		一紙	1
	未22-13-13	舌代(加納一条認め方の儀、相談申上げたきにつき)	正月廿八日		切紙	1
	未22-13-14	〔袋〕			袋	1
	未22-13-15	〔当春、村方借受書に調印願ひにつき書状〕	八月廿六日		切紙	1
	未22-13-16-0	〔三ヶ村 御通三通 中仕書付入〕〔包紙〕			包紙	1
	未22-13-16-1	覚(米88俵蔵出しにつき)	辰十一月廿一日		切紙	1
	未22-13-16-2	覚(米15俵蔵出しにつき)	辰十一月廿一日		切紙	1
	未22-13-17	覚(米代など書付)			一紙	1
	未22-13-18	〔村別石数書付〕			切紙	1
	未22-13-19	〔白紙〕			一紙	1
	未22-13-20	預り申金子之事(下書)			切紙	1
	未22-13-21	舌代(催しの金件の義、勘定承知にて当年利済みに願ひ、利子取立て講懸け金に差入れ願ひにつき)			一紙	1
	未22-14	〔書付断簡〕			切紙	1
	未22-15-1	〔質物手形差上げの件につき書状〕	十二月廿三日		切紙	1
	未22-15-2	〔献金にて、2代目相続取計らいの件につき書状〕			切紙	1
	未22-15-3	〔頭分の突合いにて分家は本家同格に取計らいにつき証文〕			一紙	1
	未22-15-4	〔水防組設立諸書類〕〔袋〕	(明治)十一年五月ヨリ同年	1878	袋	1
	未22-15-5	熟談約定書之事(近年川筋変地にて入水難洪に及び、糸貫川悪水長谷川通りより押込む分、防ぎ方の儀は水災無きよう普請につき)			一紙	1
	未22-15-6	覚(本高割・御廻米割・役高割・端米割・歌左衛門取替銀など書付)			一紙	1
	未22-15-7	愛敬舎図書之記(皇朝史略など書名書付)			一紙	1
	未22-15-8	〔書籍箱・茶碗など学校備品代など書付〕			一紙	1
	未22-15-9	〔罫紙一括〕			一紙	1
	未22-15-10	〔訴訟用罫紙一括〕			一紙	1
	未22-16	〔土地図面〕			一紙	1
	未22-17-1	〔土地図面〕			一紙	1
	未22-17-2	〔間数など書付〕			一紙	1
	未22-18	〔帰省後、今般出京の件につき書状下書〕			一紙	1
	未22-19-1	覚(酒代など書付)	四月二日		切紙	1
	未22-19-2	覚(金5両2分余、去辰金納残金差上げにて落手につき)	三月廿八日		切紙	1
	未22-19-3	覚(買物勘定など書付)			切紙	1
	未22-19-4	覚(銀20匁、旅盲人順行者仕切済みにつき)	巳正月廿二日		一紙	1
	未22-19-5	乍恐以書付奉申上候(組合村々の儀、昨辰年違作にて御廻米の残石分、御一新にて石代上納願ひにつき)	(明治2年)巳正月	1869	一紙	1
	未22-19-6	〔長屋神社神主兄弟・伯父ら、今般の触にて権威を得、御趣意と称し末社悉く改め、春日明神の仏像の手折るなど一同心痛につき願書下書〕			一紙	1
	未22-20-1	記(不足金書付)	辰二月六日		切紙	1
	未22-20-2	〔投票用紙数など書付〕	四月五日 六日		切紙	1
	未23	〔徳米代金勘定など書付〕	戌七月		切紙	1
	未24	〔江戸入用物勘定書遣わし、拝借金願ひなどにつき書状〕	四月廿二日		切紙	1
	未25	〔東口・西口長さなど書付〕			切紙	1
	未26	舌代(講金落金の件につき)	廿四日		切紙	1
	未27	〔金20円拝借にて礼状〕	(明治18年カ)乙酉八月廿二日	1885	切紙 (封筒共)	1
	未28	〔長屋村方又左衛門娘、早野村百姓方へ養女に貰い受けの処、差し戻しの件につき書状〕	十一月廿八日		切紙	1

作 成	受 取	備 考
長屋八郎	大垣□所ニ而長屋父上様	破損あり 2枚 「三月廿六日出帆」とあり
い勢屋嘉介	長屋嘉左衛門様	綴じ穴あり
関谷源右衛門	長屋歌左衛門様	
長屋好貞	成瀬利三様、長屋八郎様	印「御用 京寺町四條上町三木宗右衛門御茶所」 未22-13-16-1・-2は包紙一括
伊八（印：勢州桑名新田屋）	十九条村三好屋庄六殿	未22-13-16-1・-2は重ね折一括
伊八（印：勢州桑名新田屋）	古橋村三好屋庄六殿	
		前欠
秋沢村関谷吉兵衛	長屋八郎様	罫紙使用 「御自筆ニテ長屋八郎印、成瀬利三印」とあり
文十河村新吾	長屋村長屋八郎様	未22-15-1～-10は重ね折一括
利左衛門外十三人連印	六姓筋頭分衆中	前欠カ
長屋		袋朱書「明治十一年本県甲第拾号御達ニ付」、反故紙使用 綴じ穴跡あり、一部分カ 綴じ穴跡あり 罫紙使用 2枚、罫紙使用 30枚、未使用 2枚、未使用、印あり 鉛筆書、間数など書付 未22-17-1・-2は重ね折一括、鉛筆書、間数など書付 鉛筆書 2枚、罫紙使用
清月亭店	上	未22-19-1～-6は重ねてねじられていた、印：濃州大垣本町酒治
志名村庄屋卯之助	御惣代長屋村歌左衛門様	
大矢田村喜代之部(印)	長屋村御役人中	
惣代上真桑村兵藏、長屋村長屋歌左衛門	大垣御預御役所	
京屋甚助（印：美濃芝北方加茂町）	長屋村長屋八郎様	未22-20-1・-2は重ねて丸められていた 破損あり
直右衛門	加左衛門様	
同好貞	長屋八郎様	破れあり
刈	可左衛門様	
自北方戸田旧邸内福島得齊拝	長屋八郎様	
早野村高橋三左衛門	長屋村御庄屋中様	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	未29	覚（長屋村高橋勘太夫、御用にて罷出るようにつき）	正月廿四日		切紙	1
	未30	〔願上げの件につき書状〕	九月十九日朝		一紙	1
	未31	〔笠松表への寒中見舞い礼ならびに割賦出金の分、入帳願いにつき書状〕	霜月廿九日		切紙	1
	未32	〔寺別男女増減書付〕			切紙	1
	未33	覚（畑反別・高書付）			切紙	1
	未34	〔持病すぐれずお目にかかりたきにつき書状〕			切紙	1
	未35	覚（酒代など受取につき）	二月廿八日		切紙	1
	未36	〔婦村整わず、郡代様へ金1両など取計らいの件につき書状〕	六月廿六日		切紙	1
	未37	覚（菓子・芸者代など受取につき）	七月十六日		切紙	1
	未38	〔極上物ばかり有るだけ糸下さるよう願いにつき書状〕	九月十六日		切紙	1
	未39	〔御詫び申し上げたく御光来願いにつき書状〕	六月廿八日		切紙	1
	未40	〔大安寺雑木払い代金の件につき書状〕	霜月十八日		切紙	1
	未41	覚（菓子代など書付）	亥七月		切紙	1
	未42	覚（代金請取につき）	三月五日		切紙	1
	未43	覚（代金受取につき）	三月廿二日		切紙	1
	未44	覚（銭350文遣わしにつき）			切紙	1
	未45	〔講会出席の件につき書状〕			切紙	1
	未46	覚（金1両余請取につき）	三月五日		切紙	1
	未47	覚（米代金差引書付）			切紙	1
	未48	〔袋〕			袋	1
	未49	〔300円証文遣すにて、入用時は何時にても返金につき書状〕			切紙	1
	未50	〔寺別男女増減書付〕			切紙	1
	未51	口上（申上げに間違いあり、追って申上げにつき）	二月廿六日		切紙	1
	未52	〔御幸町姉小路下る…〕〔住所書付〕			切紙	1

作 成	受 取	備 考
大垣藩御預役所	右(長屋) 村庄屋	
□□内直右衛門	長屋村役人中様、嘉左衛門様	破損あり
長屋拝	古沢満氏様 玉机下	
	長可様	
栄屋平八		
□□□拝	長屋□様	
大黒屋(印)	御兩人様	
八文字屋作兵衛	長屋歌左衛門様	
関屋卯太郎	長屋歌左衛門様	
成瀬猪左衛門	長屋可左衛門様	
清川屋小兵衛	長屋嘉左衛門様	
改田甚助(印:濃州改田綿甚)	長屋嘉左衛門様	
(印:諸流御筆所并墨硯石 京都新町 西五条下ル町 宇治川藤助)	長屋歌左衛門様	
歌左衛門	おしげ殿	
福島市之□	長屋歌左衛門様	破損あり
大垣舟町岩田屋治八	高富村おみを様	
長屋歌左衛門	庄八殿	
		家・味噌蔵図面書付
三浦八重より	長谷八郎様	
同村喜藤三	馬淵次郎右衛門様	
		後欠

編集後記

長屋村長屋家文書は、近世・近代移行期の史料が豊富な文書群であり、とくに御用留などの史料公開を検討していきたいと考えております。より良い史料の公開方法など、皆さまからご教示をいただけたら幸いです。
(中尾)

ご協力・ご教示いただいた方々 (敬称略)

岐阜県歴史資料館 佐藤貴裕

本目録の担当

監修 朴澤直秀 (日本大学法学部准教授)

編集・執筆 中尾喜代美

編集補助 山田美由紀

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録(6)

美濃国本巢郡長屋村長屋家文書目録

発行日 2014年2月28日

編集・発行 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センター
<http://rilc.forest.gifu-u.ac.jp/>

TEL: 058-293-2312

印刷 西濃印刷株式会社

